



ユーザーガイド

Amazon Pinpoint SMS



Amazon Pinpoint SMS: ユーザーガイド

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、お客様に混乱を招く可能性がある態様、または Amazon の信用を傷つけたり、失わせたりする態様において、Amazon のものではない製品またはサービスに関連して使用してはなりません。Amazon が所有しない他の商標はすべてそれぞれの所有者に帰属します。所有者は必ずしも Amazon との提携や関連があるわけではありません。また、Amazon の支援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

Amazon Pinpoint SMS とは何ですか?	1
Amazon Pinpoint SMS を初めて使用する方ですか?	3
Amazon Pinpoint SMS の機能	3
Amazon Pinpoint SMS へのアクセス	4
リージョナルな可用性	4
SMS メッセージングの仕組み	9
Amazon Pinpoint SMS の概念	10
Amazon Pinpoint SMS のセットアップ	13
AWS アカウントへのサインアップ	13
管理ユーザーの作成	14
AWS SDK の操作	15
開始	16
初回ユーザーチュートリアル	16
ステップ 1: プールを作成する	18
ステップ 2: 設定セットを作成する	19
ステップ 3: SMS シミュレーターを使用してテストメッセージを送信する	20
次のステップ: サンドボックスから本番環境に移行する	21
SMS および音声サンドボックスについて	23
SMS サンドボックス	23
SMS サンドボックスからの移行	24
音声サンドボックス	26
音声サンドボックスから本番環境への移行	27
検証済みの送信先を追加する	29
メッセージパートのプレビュー	30
シミュレータ電話番号	31
オリジネーションシミュレーターの電話番号	32
送信先シミュレーターの電話番号	32
ベストプラクティス	35
SMS ベストプラクティス	35
法律、規制、および通信事業者の要件の遵守	37
禁止メッセージの内容	38
許可を取得する	40
古いリストにメッセージを送信しない	44
顧客リストを監査する	45

レコードを保持する	45
メッセージは明確、正直、簡潔にしてください	45
適切に応答する	49
エンゲージメントに基づく送信を調整する	49
適切な時間に送信する	49
複数チャンネルでの重複を回避する	50
専用ショートコードを使用する	50
送信先の電話番号を確認する	50
冗長性を考慮した設計	50
非アクティブ化された電話番号の処理	51
音声のベストプラクティス	54
法律と規制の遵守	54
適切な時間に送信する	55
複数チャンネルでの重複を回避する	55
音声不正被害の防止	55
Configurations	57
SMS の制限と規制	58
SMS 文字制限	58
メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限	61
メッセージルート	64
オプトアウト	64
電話番号または送信者 ID の選択	65
送信者 ID	66
ロングコード	67
10 桁のロングコード (10DLC)	68
ショートコード	68
通話料無料番号 (TFN)	69
発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項	69
一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択	70
双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択	73
電話プール	75
電話プールの管理	76
電話番号または送信者 ID を追加する	80
双方向 SMS メッセージング	83
キーワード	91
オプトアウトリスト	97

共有ルート	99
削除保護	100
タグ	100
電話番号	102
SMS 国の機能と制限	103
サポートされている国と地域 (音声チャンネル)	122
電話番号をリクエストする	126
電話番号の解放	140
双方向 SMS メッセージング	141
キーワード	150
オプトアウトリスト	156
削除保護	158
タグ	159
送信者 ID	161
送信者 ID の国機能と制限	162
登録済みおよび動的送信者 IDs	162
送信者 ID に関する考慮事項	162
送信者 IDs の管理	162
タグ	167
登録	169
新しい登録を作成します。	170
登録名を変更	188
登録のステータスを確認する	188
登録を編集する	189
インドの送信者 ID 登録	191
シンガポール登録プロセス	196
中国 SMS テンプレート登録プロセス	199
フリーダイヤル番号登録プロセス	201
10DLC の登録プロセス	206
設定セット	220
設定セットの管理	220
イベント送信先の管理	224
オプトアウトリスト	253
オプトアウトリストのキーワード	253
オプトアウトリストの管理	254
オプトアウトリストの電話番号の管理	256

タグ	259
メッセージの送信	260
SMS メッセージの送信	260
音声メッセージの送信	263
SMS の請求と使用状況レポートについて	265
例 1: 英国へのメッセージの送信	268
例 2: 米国へのメッセージの送信	269
SMS および音声メッセージングのサポートをリクエストする	269
使用クォータの引き上げのリクエスト	270
セキュリティ	274
データ保護	275
データ暗号化	276
転送中の暗号化	276
キー管理	276
ネットワーク間トラフィックのプライバシー	276
Amazon Pinpoint SMS 用のインターフェイス VPC エンドポイントの作成	277
ID およびアクセス管理	279
対象者	279
アイデンティティを使用した認証	280
ポリシーを使用したアクセスの管理	284
Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法	286
アイデンティティベースポリシーの例	295
トラブルシューティング	300
Amazon Pinpoint SMS ポリシーアクション	302
コンプライアンス検証	313
耐障害性	315
インフラストラクチャセキュリティ	315
Amazon Pinpoint SMS での設定と脆弱性の分析	316
サービス間の混乱した代理の防止	316
セキュリティに関するベストプラクティス	318
モニタリング	319
によるモニタリング CloudWatch	320
SMS と音声支出のモニタリング	321
SMS の月別使用量の表示	321
SMS または音声通話アラームを作成します。	322
CloudTrail ログ	324

Amazon Pinpoint SMS 情報 CloudTrail	324
によってログに記録できる Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクション CloudTrail	326
Amazon Pinpoint SMS ログファイルエントリについて	328
AWS PrivateLink	331
考慮事項	331
インターフェースエンドポイントの作成	332
エンドポイントポリシーを作成する	332
クォータ	334
ショートメッセージクォータ	337
10DLC クォータ	339
音声クォータ	340
クォータ引き上げのリクエスト	343
ドキュメント履歴	345
.....	cccxlvi

Amazon Pinpoint SMS とは何ですか？

Amazon Pinpoint SMS は application-to-person (A2P) SMS およびボイスメッセージサービスで、あらゆるウェブ、モバイル、またはビジネスアプリケーションで SMS メッセージングを配信するために必要な、グローバルな規模、耐障害性、柔軟性を提供します。SMS は最も効果的でユビキタな通信チャネルであることが証明されているため、SMS メッセージは最も重要で緊急の通信に使用されます。顧客は、ワンタイムパスワード (OTP) によるログインと認証、マーケティングメッセージ、市民への働きかけ、配信状況の更新、予約のリマインダーなど、タイムクリティカルで必須のユースケースを優先しています。

このユーザーガイドの情報は、マーケティング担当者、ビジネスユーザー、開発者を含むすべての Amazon Pinpoint SMS ユーザーを対象としています。このガイドには、主に Amazon Pinpoint SMS を使用して操作するユーザーにとって特に役立つ情報が含まれています。AWS Management Console

このドキュメントに付随する他の文書がいくつかあります。以下のドキュメントには、Amazon Pinpoint SMS API に関するリファレンス情報が記載されています。

- [Amazon Pinpoint SMS と音声 v2 API](#)
- [Amazon Pinpoint SMS AWS CLI と音声リファレンス](#)

Amazon Pinpoint SMS には、SMS と音声メッセージを送信するために設計された API (Amazon Pinpoint SMS and Voice v2 API と呼ばれる) が含まれています。Amazon Pinpoint API は、スケジュールされたイベント主導型のキャンペーンやジャーニーを通じてメッセージを送信することに重点を置いていますが、SMS and Voice v2 API は、SMS や音声メッセージを個々の受信者に直接送信するための専用機能を備えています。SMS と Voice API は Amazon Pinpoint のキャンペーン機能やジャーニー機能とは別に使用することも、異なるユースケースに対応するために両方を同時に使用することもできます。既に Amazon Pinpoint を使用して SMS または音声メッセージを送信している場合、アカウントはこの API を使用するよう既に設定されています。この 2 つの API の主な機能の違いは次のとおりです。

	Amazon Pinpoint API	Amazon Pinpoint SMS と音声 v2 API
機能	1. プロジェクト — プロジェクトは、受信者情報、セ	1. 電話プール — 電話プールは、同じ設定を共有する

	Amazon Pinpoint API	Amazon Pinpoint SMS と音声 v2 API
	<p>グメント、キャンペーン、ジャーニーの集まりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> マルチチャンネル — チャンネルは、オーディエンスセグメントにメッセージを届けるためのプラットフォームです。 セグメント — セグメントとは、特定の属性を共有する顧客のグループです。 キャンペーン — キャンペーンは、特定のオーディエンスセグメントを対象とするメッセージングイニシアチブです。 ジャーニー — ジャーニーとは、カスタマイズされた複数ステップのエンゲージメント体験です。 分析 — Amazon Pinpoint が提供する分析を使用して、ユーザーエンゲージメント、キャンペーンへの働きかけ、収益などに関連する傾向を確認することで、ユーザーベースに関する洞察を得ることができます。 	<p>電話番号と送信者 ID の集まりで、メッセージの送信に使用でき、プール内の番号に障害が発生した場合のフェイルオーバーにも使用できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 電話番号 — 発信者番号とも呼ばれる電話番号は、送信者を識別する数値列です。 送信者 ID — 送信者 ID は、SMS メッセージの送信者を識別する英数字の名前です。 設定セット — 設定セットは、メッセージを送信するときに適用される一連のルールです。 オプトアウトリスト — オプトアウトリストは、メッセージを送信してはならない送信先 ID のリストです。 登録 — 一部の国では、その国で使用するには電話番号と送信者 ID を登録する必要があります。Amazon Pinpoint SMS では、登録を管理できます。
AWS リージョン	13. AWS リージョン	29 AWS リージョン

この API は、独立系ソフトウェアベンダー (ISV) など、マルチテナントアーキテクチャのユーザーに適したソリューションです。この API を使用すると、イベントデータ、送信元電話番号、およびオプトアウトリストをテナントごとに分けることが容易になります。

SMS and Voice v2 API を使用するときは、電話プール、設定セット、およびイベント宛先を設定することをお勧めします。SMS and Voice v2 API は、送信したメッセージのイベントデータを自動的に送信しません。イベント送信先を設定すると、メッセージ配信や失敗イベントなどの重要なイベントデータを確実にキャプチャできます。

この API のバージョン 2 の前に、バージョン 1 がありました。この API のバージョン 1 を現在使用している場合は、引き続き使用でき、引き続き使用できます。ただし、バージョン 2 に移行すると、電話番号プールの作成、プログラムによる新しい電話番号のリクエスト、電話番号の特定の機能の有効化/無効化などの追加機能を利用できます。

トピック

- [Amazon Pinpoint SMS を初めて使用する方ですか？](#)
- [Amazon Pinpoint SMS の機能](#)
- [Amazon Pinpoint SMS へのアクセス](#)
- [リージョナルな可用性](#)
- [ショートメッセージサービス \(SMS\) の仕組み](#)
- [Amazon Pinpoint SMS の概念](#)

Amazon Pinpoint SMS を初めて使用する方ですか？

Amazon Pinpoint SMS を初めて使用する場合は、まず以下のセクションを読むことをお勧めします。

- [Amazon Pinpoint SMS とは何ですか？](#)
- [初回ユーザーチュートリアル](#)

Amazon Pinpoint SMS の機能

Amazon Pinpoint SMS には以下の特徴と機能があります。

グローバルメッセージング application-to-person

application-to-person メッセージングは、携帯電話番号に SMS メッセージを送信します。

オリジネーション ID の登録

Amazon Pinpoint SMS を使用して電話番号または送信者 ID を登録し、登録ステータスを追跡します。

SMS シミュレーター

SMS シミュレーターを使用してメッセージング環境をテストします。

Amazon Pinpoint SMS へのアクセス

Amazon Pinpoint SMS 発信元アイデンティティ (電話番号または送信者 ID) は、以下のインターフェイスを使用してリクエストおよび管理できます。

Amazon Pinpoint SMS コンソール

Amazon Pinpoint SMS リソースを作成および管理するためのウェブインターフェイスです。AWSアカウントにサインアップした場合は、から Amazon Pinpoint SMS コンソールにアクセスできます。AWS Management Console

AWS Command Line Interface

AWSコマンドラインシェルのコマンドを使用してサービスとやり取りできます。Windows、macOS、Linux でサポートされています。AWS CLI の詳細については、「[AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#)」を参照してください。Amazon Pinpoint SMS コマンドについては、「[AWS CLIコマンドリファレンス](#)」を参照してください。

AWS SDK

HTTP や HTTPS 経由でリクエストを送信する代わりに、言語固有の API を使用してアプリケーションを構築することを好むソフトウェア開発者向けに、ライブラリ、サンプルコード、チュートリアル、AWSその他のリソースが用意されています。これらのライブラリには、リクエストへの暗号署名、リクエストの再試行、エラーレスポンスの処理などのタスクを自動化する基本機能が備わっています。これらの関数を使うと、より効率的に作業を開始できます。詳細については、「」と「[AWS で構築するツール](#)」を参照してください。

リージョナルな可用性

Amazon Pinpoint SMS は、北米、ヨーロッパ、アジア、AWSオセアニアの複数のリージョンでご利用いただけます。各地域で、AWS は複数のアベイラビリティゾーンを維持しています。これらのアベイラビリティゾーンは物理的に相互に分離されていますが、低レイテンシーで高スループット

の冗長性に優れたプライベートネットワーク接続で統合されています。これらのアベイラビリティゾーンにより、非常に高いレベルの可用性と冗長性を提供しながら、レイテンシーを最小限に抑えています。

AWS リージョンの詳細については、「Amazon Web Services 全般のリファレンス」の「[AWS リージョンの管理](#)」を参照してください。Amazon Pinpoint SMS が現在利用可能なすべてのリージョンのリストと各リージョンのエンドポイントについては、以下の表またはにある [Amazon Pinpoint SMS と Voice API v2 の Amazon Pinpoint SMS エンドポイントとクォータ](#)、[AWSおよびサービスエンドポイントを参照してください](#)。Amazon Web Services 全般のリファレンス各リージョンで利用できるアベイラビリティゾーンの数の詳細については、「[AWS グローバルインフラストラクチャ](#)」を参照してください。

利用可能なリージョン

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS チャネルをサポートします。	音声チャネルをサポートします。
米国東部 (バージニア北部)	us-east-1	sms-voice.us-east-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-east-1.amazonaws.com	はい	はい
米国東部 (オハイオ)	us-east-2	sms-voice.us-east-2.amazonaws.com sms-voice-fips.us-east-2.amazonaws.com	はい	はい
米国西部 (北カリフォルニア)	us-west-1	sms-voice.us-west-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-	はい	はい

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS チャンネルをサポートします。	音声チャンネルをサポートします。
		west-1.amazonaws.com		
米国西部 (オレゴン)	us-west-2	sms-voice.us-west-2.amazonaws.com sms-voice-fips.us-west-2.amazonaws.com	はい	はい
アフリカ (ケープタウン)	af-south-1	sms-voice.af-south-1.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (ハイデラバード)	ap-south-2	sms-voice.ap-south-2.amazonaws.com	はい	いいえ
アジアパシフィック (ジャカルタ)	ap-southeast-3	sms-voice.ap-southeast-3.amazonaws.com	はい	いいえ
アジアパシフィック (メルボルン)	ap-southeast-4	sms-voice.ap-southeast-4.amazonaws.com	はい	いいえ
アジアパシフィック (ムンバイ)	ap-south-1	sms-voice.ap-south-1.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (大阪)	ap-northeast-3	sms-voice.ap-northeast-3.amazonaws.com	はい	はい

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS チャネルをサポートします。	音声チャネルをサポートします。
アジアパシフィック (ソウル)	ap-northeast-2	sms-voice.ap-northeast-2.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (シンガポール)	ap-southeast-1	sms-voice.ap-southeast-1.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (シドニー)	ap-southeast-2	sms-voice.ap-southeast-2.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (東京)	ap-northeast-1	sms-voice.ap-northeast-1.amazonaws.com	はい	はい
AWS GovCloud (米国東部)	us-gov-east-1	SMS-音声。 us-gov-east-1.amazonaws.com sms-voice-fips。 us-gov-east-1.amazonaws.com	はい	いいえ
AWS GovCloud (米国西部)	us-gov-west-1	SMS-音声。 us-gov-west-1.amazonaws.com sms-voice-fips。 us-gov-west-1.amazonaws.com	はい	はい

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS チャネルをサポートします。	音声チャネルをサポートします。
カナダ (中部)	ca-central-1	sms-voice.ca-central-1.amazonaws.com sms-voice-fips.ca-central-1.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (フランクフルト)	eu-central-1	sms-voice.eu-central-1.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (アイルランド)	eu-west-1	sms-voice.eu-west-1.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (ロンドン)	eu-west-2	sms-voice.eu-west-2.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (ミラノ)	eu-south-1	sms-voice.eu-south-1.amazonaws.com	はい	いいえ
欧州 (パリ)	eu-west-3	sms-voice.eu-west-3.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (スペイン)	eu-south-2	sms-voice.eu-south-2.amazonaws.com	はい	いいえ

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS チャネルをサポートします。	音声チャネルをサポートします。
欧州 (ストックホルム)	eu-north-1	sms-voice.eu-north-1.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (チューリッヒ)	eu-central-2	sms-voice.eu-central-2.amazonaws.com	はい	いいえ
イスラエル (テルアビブ)	il-central-1	sms-voice.il-central-1.amazonaws.com	はい	いいえ
中東 (バーレーン)	me-south-1	sms-voice.me-south-1.amazonaws.com	はい	はい
中東 (アラブ首長国連邦)	me-central-1	sms-voice.me-central-1.amazonaws.com	はい	いいえ
南米 (サンパウロ)	sa-east-1	sms-voice.sa-east-1.amazonaws.com	はい	はい

ショートメッセージサービス (SMS) の仕組み

ショートメッセージサービス (通称 SMS) は、モバイルデバイス間でテキストメッセージを交換できるサービスです。SMS メッセージは通常、最大 160 文字の短いメッセージで、ほぼすべてのモバイルデバイスでサポートされており、さまざまなモバイルネットワークで送受信できます。SMS は個人やビジネスのコミュニケーションに広く使用されており、個人やグループに簡潔なメッセージをすばやく簡単に送信できます。

個人宛アプリケーション (A2P) SMS はどのように機能しますか？

SMS は、モバイルネットワークのシグナリングチャネル上で動作する、音声通話用にすでに導入されているインフラストラクチャを使用します。SMS の仕組みを簡単にまとめると、次のようになります。

1. アプリケーションがメッセージを開始します。アプリケーションはテキストメッセージを作成し、メッセージを受信者の電話番号に送信します。
2. メッセージは SMSC に送信されます。送信者のアプリケーションは、SMS メッセージの処理を担当する集中型サーバーであるショートメッセージサービスセンター (SMSC) にメッセージを送信します。
3. SMSC はメッセージルートを決めます。SMSC は、受信者の電話番号を確認して、メッセージを配信する適切なネットワークを決めます。
4. SMSC はメッセージを配信します。SMSC は一連の信号メッセージを使用してメッセージを受信者のモバイルネットワークに送信します。
5. メッセージは保存されます。受信者の SMSC はメッセージを受信し、受信者のデバイスが受信できるようになるまで一時的に保存します。
6. 受信者のデバイスに通知が届きます。受信者のデバイスにアクセスできるようになると、受信者の SMSC は、新しい SMS が利用可能になったことを示す通知メッセージを送信します。
7. メッセージ取得:受信者のモバイルデバイスが受信者の SMSC に接続してメッセージを取得します。
8. メッセージ表示:受信者のモバイルデバイスがメッセージを受信し、受信者に表示します。
9. 配信確認が可能です。受信者のモバイルデバイスは、メッセージが正常に受信されたことを示す配信確認 (DLR) を送信者の SMSC に送り返す場合があります。

Amazon Pinpoint SMS の概念

設定セット

設定セットは、メッセージを送信するときに適用される一連のルールです。例えば、設定セットではメッセージに関連するイベントの送信先を指定できます。SMS イベント (配信イベントや失敗イベントなど) が発生すると、メッセージの送信時に指定した設定セットに関連付けられた送信先にルーティングされます。

イベント送信先

イベント送信先は、SMS イベントと音声イベントの送信先の場所 (Amazon CloudWatch Logs グループ、Amazon Data Firehose ストリーム、Amazon Simple Notification Service トピックなど) です。イベント送信先を使用するには、まず送信先を作成し、次にその送信先を設定セットに関連付けます。メッセージを送信するとき、API コールに設定セットへの参照を含めることができます。

キーワード

キーワードとは、顧客がレスポンスを引き出すためにユーザーの電話番号に送信できる特定の語句です。例えば、情報メッセージや、追加のメッセージを受け取るためのオプトイン、スペシャルオファー、その他のプロモーションメッセージやトランザクションメッセージなどです。キーワードから始まるメッセージを番号が受信すると、Amazon Pinpoint はカスタマイズ可能なメッセージで応答します。

オプトアウトリスト

メッセージを送信してはならない送信先 ID のリスト。送信先 ID が送信元番号に STOP というキーワードで返信すると、送信先 ID が自動的にオプトアウトリストに追加されます。オプトアウトリスト内の送信先番号にメッセージの送信を試みたときに、そのオプトアウトリストがメッセージ送信に使用されたプールに関連付けられている場合、Amazon Pinpoint はメッセージの送信を試みません。電話番号のセルフマネージド型オプトアウト機能を有効にした場合、受信者が「STOP」というキーワードを含むメッセージに返信しても、自動的にオプトアウトされません。

発信者

発信者とは、電話番号または送信者 ID を指します。

発信元の電話番号

電話番号を参照してください。

発信者の送信者 ID

「送信者 ID」を参照してください。送信元 ID とも呼ばれます。これは、送信者を識別する英数字の文字列です。

電話番号

発信者番号とも呼ばれ、送信者を識別する数値文字列です。これは、ロングコード、ショートコード、通話料無料番号 (TFN)、または 10 桁のロングコード (10DLC) です。詳細については、「[電話番号または送信者 ID の選択](#)」を参照してください。

電話プール

メッセージの送信に使用できるのと同じ設定を共有する電話番号と送信者 IDs のコレクション。電話プールを介してメッセージを送信する場合、メッセージの送信に適切な送信元 ID を選択します。電話プール内の発信元 ID が失敗した場合、電話プールが同じ電話プール内にあると、その電話プールは別の発信元 ID にフェイルオーバーします。

登録済みの電話番号

一部の国では、電話番号または送信者 IDs を購入する前に、会社の ID を登録する必要があります。また、その国の受信者に送信するメッセージのレビューも必要です。登録は外部の第三者によって処理されるため、登録の処理にかかる時間は電話番号の種類と国によって異なります。必要な登録がすべて完了すると、電話番号のステータスがアクティブに変わり、使用できるようになります。登録が必要な国の詳細については、「」を参照してください[サポートされている国と地域 \(SMS チャネル\)](#)。

シミュレーターの電話番号

シミュレーターの電話番号は、発信元の電話番号と検証済みの送信先の電話番号として動作します。シミュレーターの電話番号は登録する必要はありません。

送信者 ID

送信元 ID とも呼ばれます。これは、送信者を識別する英数字の文字列です。詳細については、「[電話番号または送信者 ID の選択](#)」を参照してください。

検証済み電話番号/検証済み送信先電話番号

電話番号を参照してください。アカウントがサンドボックスにある場合、SMS メッセージは検証プロセスを通過した電話番号にのみ送信できます。電話番号は、検証コードを含む SMS メッセージングを受信します。プロセスを完了するには、受信したコードをコンソールに入力する必要があります。

Amazon Pinpoint SMS のセットアップ

このトピックでは、Amazon Pinpoint SMS の使用を開始するのに役立つタスクと情報を提供します。このトピックを完了したら、[Amazon Pinpoint SMS の開始方法](#)チュートリアルに進むことができます。AWSすでにアカウントをお持ちの場合は、[Amazon Pinpoint SMS の開始方法](#)チュートリアルをスキップしてもかまいません。

トピック

- [AWS アカウントへのサインアップ](#)
- [管理ユーザーの作成](#)
- [このサービスを AWS SDK で使用する](#)

AWS アカウントへのサインアップ

AWS アカウントがない場合は、以下のステップを実行して作成します。

AWS アカウントにサインアップするには

1. <https://portal.aws.amazon.com/billing/signup> を開きます。
2. オンラインの手順に従います。

サインアップ手順の一環として、通話呼び出しを受け取り、電話のキーパッドを使用して検証コードを入力するように求められます。

AWS アカウントにサインアップすると、AWS アカウントのルートユーザーが作成されます。ルートユーザーには、アカウントのすべての AWS のサービスとリソースへのアクセス権があります。セキュリティのベストプラクティスとして、[管理ユーザーに管理アクセスを割り当て、ルートユーザーアクセスが必要なタスク](#)を実行する場合にのみ、ルートユーザーを使用してください。

サインアップ処理が完了すると、AWS からユーザーに確認メールが送信されます。<https://aws.amazon.com/> の [アカウント] をクリックして、いつでもアカウントの現在のアクティビティを表示し、アカウントを管理することができます。

管理ユーザーの作成

AWS アカウント にサインアップしたら、AWS アカウントのルートユーザーをセキュリティで保護し、AWS IAM Identity Centerを有効にして、管理ユーザーを作成します。これにより、日常的なタスクにルートユーザーを使用しないようにします。

AWS アカウントのルートユーザーをセキュリティで保護する

1. [ルートユーザー] を選択し、AWS アカウント のメールアドレスを入力して、アカウント所有者として [AWS Management Console](#) にサインインします。次のページでパスワードを入力します。

ルートユーザーを使用してサインインする方法については、「AWS サインイン User Guide」の「[Signing in as the root user](#)」を参照してください。

2. ルートユーザーの多要素認証 (MFA) を有効にします。

手順については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS アカウントのルートユーザーの仮想 MFA デバイスを有効にする \(コンソール\)](#)」を参照してください。

管理ユーザーを作成する

1. IAM Identity Center を有効にする

手順については、「AWS IAM Identity Centerユーザーガイド」の「[AWS IAM Identity Centerの有効化](#)」を参照してください。

2. IAM アイデンティティセンターで、管理ユーザーに管理アクセス権を付与します。

IAM アイデンティティセンターディレクトリをアイデンティティソースとして使用するチュートリアルについては、「AWS IAM Identity Centerユーザーガイド」の「[デフォルト IAM アイデンティティセンターディレクトリでのユーザーアクセスの設定](#)」を参照してください。

管理ユーザーとしてサインインする

- IAM アイデンティティセンターのユーザーとしてサインインするには、IAM アイデンティティセンターのユーザーの作成時に E メールアドレスに送信されたサインイン URL を使用します。

IAM アイデンティティセンターのユーザーを使用してサインインする方法については、「AWS サインイン User Guide」の「[Signing in to the AWS access portal](#)」を参照してください。

このサービスを AWS SDK で使用する

AWS ソフトウェア開発キット (SDK) は、多くの一般的なプログラミング言語で使用できます。各 SDK には、デベロッパーが好みの言語でアプリケーションを簡単に構築できるようにする API、コード例、およびドキュメントが提供されています。

SDK ドキュメント	コードの例
AWS SDK for C++	AWS SDK for C++ コードの例
AWS SDK for Go	AWS SDK for Go コードの例
AWS SDK for Java	AWS SDK for Java コードの例
AWS SDK for JavaScript	AWS SDK for JavaScript コードの例
AWS SDK for Kotlin	AWS SDK for Kotlin コードの例
AWS SDK for .NET	AWS SDK for .NET コードの例
AWS SDK for PHP	AWS SDK for PHP コードの例
AWS SDK for Python (Boto3)	AWS SDK for Python (Boto3) コードの例
AWS SDK for Ruby	AWS SDK for Ruby コードの例
AWS SDK for Rust	AWS SDK for Rust コードの例
AWS SDK for SAP ABAP	AWS SDK for SAP ABAP コードの例
AWS SDK for Swift	AWS SDK for Swift コードの例

可用性の例

必要なものが見つからなかった場合。このページの下側にある [Provide feedback (フィードバックを送信)] リンクから、コードの例をリクエストしてください。

Amazon Pinpoint SMS の開始方法

このトピックでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して電話番号、送信者 IDs、プール、設定セットを管理し、テストメッセージを送信する方法について説明します。

Note

新しい Amazon Pinpoint SMS アカウントを設定すると、本番稼働用アクセスをリクエストするまで、そのアカウントは SMS および音声メッセージチャンネルのサンドボックスに配置されます。サンドボックスでは、SMS および音声メッセージの制限付きで、Amazon Pinpoint SMS のすべての機能にアクセスできます。

- SMS サンドボックスの制限については、「」を参照してください[SMS サンドボックス](#)。
- 音声サンドボックスの制限については、「」を参照してください[音声サンドボックス](#)。

サンドボックスから本番環境に移動する準備ができたなら、移動するチャンネルごとにサービス制限引き上げリクエストの AWS Support ケースを作成します。

トピック

- [初回ユーザーチュートリアル](#)
- [SMS および音声サンドボックスについて](#)
- [メッセージパートのプレビュー](#)
- [シミュレータ電話番号](#)

初回ユーザーチュートリアル

このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS の使用を開始するのに役立つように設計されたチュートリアルの概要を説明します。

対象者

このチュートリアルは、Amazon Pinpoint SMS のセットアップ、テスト、デプロイを担当するシステム管理者とデベロッパー向けに設計されています。

使用された機能

このチュートリアルでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して次の操作を行う方法を示します。

- 電話プールを作成して設定します。
- 電話番号または送信者 ID のいずれかである発信元 ID をリクエストします。
- SMS シミュレーターを使用してテスト SMS メッセージを送信します。

所要時間

このチュートリアルを完了するには、約 10～15 分かかります。

リージョンの制限

このソリューションの使用に関連する国や地域の制限はありません。

リソース使用コスト

AWS アカウントの作成には料金はかかりません。ただし、このソリューションを実装することにより、次の表に記載されるコストの一部またはすべてが発生する可能性があります。

説明	コスト (USD)
メッセージ送信料金	Amazon Pinpoint SMS を介して送信する SMS メッセージパートごとに料金が発生します。料金の詳細については、 「Amazon SMS 料金表」 を参照してください。
毎月の電話番号リースコスト	各電話番号または送信者 ID をリースするには、定期的な月額料金を支払います。月額料金は、電話番号のタイプと送信者 ID によって異なります。料金の詳細については、 「Amazon SMS 料金表」 を参照してください。

AWS アカウントのアクセス許可

へのサインインに使用するアカウントは、次のタスクを実行できる AWS Management Console 必要があります。

- プールを作成する

- 設定セットを作成する
- イベント送信先を作成します。
- 電話番号、送信者 ID、またはシミュレートされた電話番号をリクエストする
- SMS メッセージの送信

アカウントのアクセス許可の詳細については、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS の Identity and Access Management](#)。

ステップ 1: プールを作成する

このセクションの手順では、プールを作成し、プールに電話番号または送信者 ID を追加する方法を示します。

プールを作成するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの概要のクイックスタートセクションで、プールの作成 を選択します。
3. プール設定セクションで、プール名 にプールの名前を入力します。
4. 以下のオプションのいずれかを選択します。
 - 電話番号 – このオプションを選択した場合は、関連付けに使用できる電話番号 で、次のいずれかを選択します。
 - シミュレーター番号をリクエストし、国ドロップダウンリストで送信先の国を選択し、次にリクエスト番号を選択します。

Note

シミュレートされた電話番号は登録を必要とせず、現実的なイベントを生成し、テストに使用されます。シミュレーター番号から送信されたメッセージは、他のシミュレーターの送信先番号にのみ送信でき、キャリアネットワーク経由で送信することはできません。

- 以前に購入した電話番号を選択します。
- 送信者 ID – このオプションを選択した場合は、関連付けに使用できる送信者 ID から送信者 IDs を選択します。

5. 電話プールの作成を選択します。

ステップ 2: 設定セットを作成する

このセクションの手順では、設定セットの作成、CloudWatch イベントの追加、Amazon Data Firehose、Amazon SNS の送信先、イベントタイプの選択方法について説明します。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの概要で、クイックスタートセクションの **セットの作成** を選択します。
3. 「設定セットの詳細」セクションで、「設定セット名」に名前を入力します。
4. イベント送信先設定で、次のいずれかを選択します。
 - (推奨) を設定 CloudFormation して、がすべてのイベントを記録するように CloudWatch、Amazon Data Firehose、および Amazon SNS AWS CloudFormation を作成および設定します。
 - イベント送信先名には、イベント送信先の名前を入力します。
 - スタックの起動を選択します。
 - 新しいブラウザウィンドウが開きます。スタックのクイック作成フォームを確認し、確認応答を確認します。[スタックの作成] を選択します。

Note

AWS CloudFormation スタックの作成には最大 5 分かかることがあります。

- 「設定セットの作成」ページの AWS CloudFormation スタックのステータスインジケータが「スタック作成済み」の場合、「作成」を選択します。
- 設定セットとイベント送信先を手動で設定するには、イベント送信先を設定します。
 - イベント送信先名に、イベント送信先の名前を入力します。
 - 送信先タイプで、Amazon Data Firehose CloudWatch、または Amazon SNS のいずれかを選択します。これらのイベント送信先の設定方法の詳細については、[Amazon CloudWatch イベント送信先](#)「」、[Amazon Data Firehose イベント送信先](#)「」および「」を参照してください。[Amazon SNS イベントの送信先](#)
 - イベントタイプで、適切なオプションを選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) - にリストされているすべての SMS イベント [イベントタイプ](#) をイベント送信先に送信します。

- カスタム SMS イベント – イベント送信先に送信する特定の SMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集ウィンドウで、ログに記録するイベントのみを選択します。選択の保存 を選択します。
- すべての音声イベント (推奨) – にリストされているすべての音声イベント [イベントタイプ](#) をイベント送信先に送信します。
- カスタム音声イベント – イベント送信先に送信する特定の音声イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集を選択します。音声イベント選択の編集ウィンドウで、ログに記録するイベントのみを選択します。選択の保存を選択します。
- [作成] を選択します。

5. 設定セットの作成 を選択します。

ステップ 3: SMS シミュレーターを使用してテストメッセージを送信する

このセクションの手順では、テスト SMS メッセージを送信して、環境が正しく設定されていることを確認する方法を示します。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
 2. ナビゲーションペインの概要 のクイックスタートセクションで、SMS 送信のテスト を選択します。
 3. 発信者 では、テストメッセージを送信する発信者のタイプとして、電話プール、電話番号 または送信者 ID を選択します。次に、ドロップダウンリストから発信者 ID を選択する必要があります。
- (オプション) シミュレーターの電話番号が必要な場合は、「シミュレーター番号のリクエスト」を選択します。「シミュレーター番号のリクエスト」ウィンドウでドロップダウンリストから国を選択し、「番号のリクエスト」を選択します。


Note

シミュレーターの電話番号は、他のシミュレーターの送信先電話番号にのみ送信できますが、キャリアネットワーク経由で送信することなく、実際の電話番号のように動作します。例えば、米国のシミュレーターの電話番号は、米国の宛先シミュレーターの電話番号にのみ送信できます。

4. 送信先番号セクションで、シミュレーター番号または検証済み番号を選択し、ドロップダウンリストから番号を選択します。

現在の検証済み送信先番号のリストを表示するには、検証済み番号を選択し、検証済み送信先番号の管理 を展開します。検証済みの送信先電話番号がない場合、または新しい検証済みの送信先電話番号を追加する必要がある場合は、次の手順を実行します。

- a. 新しい送信先の電話番号を確認するには、新しい番号の確認を選択します。
 - b. 「送信先電話番号を追加」ウィンドウに、テストメッセージを受信するデバイスの電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まる必要があり、スペース、ハイフン、括弧を含めることはできません。例えば、+1 (206) 555-0142は正しい形式ではありませんが、正しい形式+12065550142です。
 - c. 検証コードの送信を選択します。
 - d. 送信先デバイスは、15 分間有効な検証コードを受け取ります。デバイスが受け取ったコードを検証コードに入力します。
 - e. 番号の確認を選択します。
5. 設定セットで、イベントデータを受信するイベント送信先を選択します。
 6. メッセージ本文に、カスタム SMS メッセージを入力します。
 7. テストメッセージの送信を選択します。
 8. イベントログ： CloudWatch 更新ボタンを選択すると、テストメッセージのイベントログが表示されます。

 Tip

更新する前に、テスト SMS メッセージを送信してから少なくとも 10 秒待ちます。

次のステップ: サンドボックスから本番環境に移行する

SMS サンドボックスで SMS 環境を完全にテストしたら、本番環境への移行をリクエストできます。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの概要 のクイックスタートセクションで、リクエストの作成 を選択します。
3. [サポート] メニューで [サポートセンター] を選択します。

4. サポートケースペインで、ケースの作成を選択します。
5. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択し、以下を完了します。
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) 送信する予定のメッセージのタイプで、送信元 ID を使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) からメッセージを送信する AWS リージョンで、メッセージを送信するリージョンを選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
6. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
 - [Region] で、メッセージの送信元となるリージョンを選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。この情報を「ケースの詳細」セクションに指定した場合でも、その情報もここに含める必要があります。

- [リソースタイプ] で、[一般的な制限] を選択します。
 - クォータ で、SMS 本番稼働用アクセス を選択します。
 - 新しいクォータ値 には、1 を入力します。
7. [ケースの説明] で、[ユースケースの説明] に、このリクエストについて関連する詳細情報を入力します。
 8. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。
 9. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
 10. 完了したら、[送信] を選択します。

SMS および音声サンドボックスについて

新しい Amazon Pinpoint SMS アカウントは、SMS または音声サンドボックスに配置されます。サンドボックスは、AWS 顧客と受信者の両方を詐欺や悪用から保護します。これにより、テストと開発のための安全な環境が作成されます。

トピック

- [SMS サンドボックス](#)
- [SMS サンドボックスから本番環境への移行](#)
- [音声サンドボックス](#)
- [音声サンドボックスから本番環境への移行](#)
- [サンドボックスで送信先の電話番号を確認する](#)

SMS サンドボックス

アカウントがサンドボックスにある間は、Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは SendTextMessages API ですべての SMS 送信方法を使用できます。ただし、お客様のアカウントがサンドボックスにある間は、以下の制限があります。

- 毎月の SMS 利用限度額は 1.00 USD です。
- SMS メッセージは、認証済みの送信先電話番号にのみ送信できます。検証済みの番号は最大 10 個まで追加できます。

- SMS メッセージの送信に関する規則や制限が各送信先国へ適用されます。例えば、米国の受信者にメッセージを送信する場合は、まず米国の番号をリクエストして登録する必要があります。
- お客様が電話番号を所有していることを確認するために、その番号に検証コードを送信します。通常、SMS メッセージごとに標準料金が適用されますが、各電話番号の最初の検証コードの料金は免除されます。SMS 料金の詳細については、[「Amazon Pinpoint SMS 料金表」](#) ページを参照してください。

Note

受信したメッセージには、メッセージ料金とデータ料金が適用されます。検証リクエストごとに 1 通のメッセージを送信します。

- 宛先の電話番号を削除できます。ただし、電話番号を追加してから 24 時間経たないと、削除できません。
- SMS メッセージは、検証済みの送信先番号にのみ送信できます。検証済みの送信先電話番号を追加する方法の詳細については、「」を参照してください[検証済みの送信先を追加する](#)。

これらの制限は、本番稼働へのアクセス権をリクエストすることで解除することができます。詳細については、「[SMS サンドボックスから本番環境への移行](#)」を参照してください。

SMS サンドボックスから本番環境への移行

SMS サンドボックスで SMS 環境を完全にテストしたら、本番環境への移行をリクエストできます。そのためには、サービス制限の引き上げリクエストの AWS Support ケースを作成します。

また、サンドボックス環境から本番稼働の環境へのアクセス権をリクエストすることもできます。これを行うには、[SMS and voice] ページの [Account tier] で、[Request production access] を選択します。


Note

アカウントが複数の がある場合は AWS リージョン、リージョンごとにサポートリクエストを送信する必要があります。

SMS サンドボックスから本番環境に移行するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。

2. [サポート] メニューで [サポートセンター] を選択します。
3. [お客様のサポートケース] ペインで、[ケースを作成] を選択します。
4. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択し、以下を完了します。
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) を送信する予定のメッセージの種類で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージの種類を選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) からメッセージを送信する AWS リージョンで、メッセージを送信するリージョンを選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
5. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
 - リージョンで、メッセージを送信 AWS リージョンする を選択します。

 Note

AWS リージョン はリクエストセクションが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここで入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[一般的な制限] を選択します。
 - クォータ で、SMS 本番稼働用アクセス を選択します。
 - 新しいクォータ値 には、1 を入力します。
6. [ケースの説明] で、[ユースケースの説明] に、このリクエストについて関連する詳細情報を入力します。
 7. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。
 8. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
 9. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。追加の情報をご依頼することがあります。

音声サンドボックス

お客様を不正使用から保護するため、初めてお客様のアカウントを作成する際は、作成したアカウントをサンドボックス環境に配置します。サンドボックス環境は、チャンネルをテストして評価を確立するのに役立ちます。アカウントがサンドボックスにある間は、Amazon Pinpoint SMS 音声メッセージングにフルアクセスできますが、以下の制限があります。

- 1 日のメッセージ数は 20 通までです。
- 音声メッセージは、24 時間以内に 1 人の受信者に最大 5 通まで送信することができます。
- 1 分間に最大 5 通まで送信できます。
- 音声メッセージの最長は 30 秒です。
- 特定の国にだけ音声メッセージを送信することができます。詳細については、「[音声クォータ](#)」を参照してください。
- 検証済みの送信先電話番号を追加する方法の詳細については、「」を参照してください。[検証済みの送信先を追加する](#)。

アカウントを音声サンドボックスの外に移動する準備ができたなら、サービス制限の引き上げリクエストの AWS Support ケースを作成します。詳細については、「[SMS および音声サンドボックスについて](#)」を参照してください。

Note

本番稼働用アクセスをリクエストする前に、Amazon Pinpoint SMS アカウントから少なくとも 1 つの音声メッセージを送信する必要があります。[SendVoiceMessage](#) API を使用して音声メッセージを送信できます。

音声サンドボックスから本番環境への移行

音声チャンネルを初めて使用する際は、アカウントはサンドボックスにあります。

アカウントからこれらのクォータを削除するには、サンドボックスからアカウントを削除するようにリクエストします。アカウントがサンドボックスから削除されると、そのアカウントは本番稼働用アクセスを持ちます。

Note

本番稼働用アクセスをリクエストする前に、Amazon Pinpoint SMS アカウントから少なくとも 1 つの音声メッセージを送信する必要があります。

サンドボックスでは、メッセージを送信する送信先番号を確認する必要があります。検証済みの送信先電話番号を追加する方法の詳細については、「」を参照してください[検証済みの送信先を追加する](#)。

本番稼働用アクセスをリクエストするには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. [サポート] メニューで [サポートセンター] を選択します。
3. [Open support cases] で、[Create case] を選択します。
4. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択します。
5. サービスで、Pinpoint Voice を選択します。
6. (オプション) 以下の情報を入力します。
 - 1 日あたり最大何通の音声メッセージを送信する予定ですか?
 - 送信する各メッセージの平均的な通話時間はどのくらいでしょうか?
 - 音声メッセージの送信先の電話番号はどのように取得されますか?

- メッセージの送信に使用する専用の電話番号はいくつありますか? なぜこの番号を選んだのですか?
 - 各電話番号から何回電話をかけますか? (1 から X) メッセージ (日 / 週 / 月 / その他)
 - お客様に音声メッセージを送信する際の同意はどのように得ているのですか?
 - お客様がメッセージの受信を拒否するにはどうしたらいいですか? これらのリクエストはどのように処理しますか?
7. リクエストで、リージョンで、音声メッセージの送信に使用する AWS リージョンを選択します。
 8. [Quota (クォータ)] では、[Production Access (本稼働アクセス)] が選択されていることを確認します。
 9. 新しいクォータ値には、1 を入力します。
 10. [Case description] の [Use case description] で、次の詳細を入力します。
 - 音声メッセージを送信する会社またはサービスのウェブサイトやアプリ。
 - ウェブサイトやアプリによって提供されるサービスと、音声メッセージがそのサービスにどのように貢献するか。
 11. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
 12. 完了したら、[送信] を選択します。

AWS Support チームは 24 時間以内にリクエストに最初のレスポンスを提供します。

システムが未承諾または悪意のあるコンテンツを送信するために使用されないようにするには、は各リクエストを慎重に検討 AWS Support する必要があります。可能であれば、24 時間以内にリクエストを承認します。ただし、お客様から追加情報を取得する必要がある場合は、お客様のリクエストの解決に時間がかかる場合があります。

ユースケースが AWS Support ポリシーと一致しない場合、リクエストを許可できないことがあります。

サンドボックスで送信先の電話番号を確認する

Note

アカウントがサンドボックスにある間は、検証済みの送信先電話番号をテストのために追加するだけで済みます。アカウントが本番環境にある場合は、検証済みの送信先電話番号を追加する必要はありません。

アカウントが SMS または音声サンドボックスにある場合、確認済みの送信先電話番号にのみメッセージを送信できます。アカウントに最大 10 個の検証済み送信先電話番号を追加できます。検証済みの送信先電話番号を追加するには、送信先の電話番号にテキストまたは音声メッセージを送信し、デバイスが受信したコードを入力する必要があります。

開始する前に、アカウントでアクティブで、テキストメッセージまたは音声メッセージ機能がある発信元 ID が必要です。発信元 ID を使用できない場合は、送信元シミュレーターの電話番号と送信先シミュレーターの電話番号を使用して、メッセージの送受信をテストできます。シミュレートされた電話番号の詳細については、「」を参照してください[シミュレータ電話番号](#)。送信元 ID は、その国またはリージョン内でのみメッセージを送信できます。例えば、米国の発信元 ID は、米国の送信先電話番号にのみ検証メッセージを送信できます。

1. まず、[create-verified-destination-number](#) CLI コマンドを使用して、アカウントに電話番号を追加する必要があります。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-verified-destination-number --destination-phone-number PhoneNumber
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、メッセージを送信する E.164 形式の電話番号 *PhoneNumber* に置き換えます。例えば、+1 (206) 555-0142 は正しい形式ではありませんが、[+12065550142](#) は正しい形式です。

完了すると、コマンドは次のステップで `VerifiedDestinationNumberId` 必要な検証済みの電話番号を返します。

2. [send-destination-number-verification-code](#) CLI コマンドを使用して、検証メッセージをデバイスに送信します。最初の検証コードのみが無料です。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 send-destination-number-verification-code --verified-destination-number-id PhoneNumberID --verification-channel Channel
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumberID* を、前のステップでVerifiedDestinationNumberId受け取った に置き換えます。
- *Channel* を、メッセージの送信に使用するチャンネルに置き換えます。使用するチャンネルをサポートする発信元 ID が必要です。これは TEXTまたは で、大文字VOICEと小文字が区別されます。

デバイスは、ランダムに生成されたコードを含むメッセージを受信する必要があります。このコードは次のステップで必要になります。

3. [verify-destination-number](#) CLI コマンドを使用して検証メッセージを送信します。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 verify-destination-number --verified-destination-number-id PhoneNumberID --verification-code Code
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumberID* を、前のステップでVerifiedDestinationNumberId受け取った に置き換えます。
- *Code* を、宛先デバイスが受信した検証コードに置き換えます。

正常に完了すると、検証済みの送信先電話番号のステータスは になりますActive。サンドボックスで検証済みの送信先電話番号にメッセージを送信できるようになりました。

メッセージパートのプレビュー

1 回の SMS メッセージには、最大 140 バイトの情報を含めることができます。メッセージに最大文字数を超える文字を含めると、メッセージは複数のパートに分割されます。受取人の携帯通信事業

者やデバイスによっては、複数のメッセージが、1つのメッセージとして表示されたり、個別のメッセージのシーケンスとして表示されたりする場合があります。

メッセージで GSM 03.38 文字セット内の文字のみが使用され、これは GSM 7 ビットアルファベットとも呼ばれる場合、最大 160 文字を含めることができます。メッセージに GSM 03.38 文字セット以外の文字を使用する場合は、最大 70 文字を含めることができます。SMS メッセージを送信すると、Amazon Pinpoint SMS は使用する最も効率的なエンコーディングを自動的に決定します。

送信されるメッセージパートごとに課金されます。電話番号には、1秒あたりに送信できるメッセージパートの数に制限があります。メッセージが2つのメッセージパートに分割されている場合は、メッセージパートごとに課金されます。SMS メッセージを送信する前にメッセージパートのプレビューを使用して、メッセージパートの数を確認します。サポートされている文字セットの詳細については、「」を参照してください[SMS 文字制限](#)。メッセージのサイズとスループットの詳細については、「」を参照してください[メッセージパーツ/秒 \(MPS\) の制限](#)。

メッセージパートのプレビューの使用

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「ショートカット」で、「メッセージパートのプレビュー」を選択します。
3. SMS メッセージ セクションに、SMS メッセージを入力します。メッセージを入力すると、パートプレビューにエンコード、文字数、SMS メッセージパートが表示されます。

シミュレータ電話番号

Amazon Pinpoint SMS には SMS シミュレーターが含まれており、これを使用してテキストメッセージを送信したり、現実的なイベントレコードを受信したりできます。SMS シミュレーターは、実際の SMS イベント記録を見るのに便利です。また、Amazon Pinpoint SMS を使用して SMS メッセージを送信するアプリケーションをテストする場合にも役立ちます。これらの宛先の電話番号に送信されるメッセージは、Amazon Pinpoint SMS 内に留まるように設計されているため、キャリアネットワーク経由で送信されることはありません。

トピック

- [オリジネーションシミュレーターの電話番号](#)
- [送信先シミュレーターの電話番号](#)

オリジネーションシミュレーターの電話番号

テストメッセージを送信するためのオリジネーション ID として使用するシミュレーター電話番号をリクエストできます。シミュレーターの電話番号には、選択した国の国コードが表示されます。Amazon Pinpoint SMS は現在、米国内のオリジネーションシミュレーター電話番号をサポートしています。シミュレーターの電話番号をオリジネーション ID として使用する場合、同じ国の送信先のシミュレーター電話番号にのみメッセージを送信できます。別の国に送信しようとする、メッセージは失敗します。たとえば、米国のシミュレーター電話番号を使用して英国の成功シミュレーター電話番号にメッセージを送信しようとする、エラーが返されます。

送信先シミュレーターの電話番号

目的地シミュレーターの電話番号は、いくつかの国と地域でご利用いただけます。国や地域ごとに、メッセージ成功イベントを生成する電話番号と、メッセージ失敗イベントを生成する電話番号があります。次の表には、シミュレーターを利用できるすべての国と地域の SMS シミュレーターの電話番号が記載されています。

国	イベントタイプ	電話番号
オーストラリア	成功	+61455944038
オーストラリア	失敗	+61455944039
オーストリア	成功	+43676800442031
オーストリア	失敗	+43676800442032
ベルギー	成功	+32460213922
ベルギー	失敗	+32460213923
チリ	成功	+56229140630
チリ	失敗	+56229140631
チェコ共和国	成功	+420790542286
チェコ共和国	失敗	+420790542287
デンマーク	成功	+4525919410

国	イベントタイプ	電話番号
デンマーク	失敗	+4525919215
エストニア	成功	+37282720792
エストニア	失敗	+37282720793
フィンランド	成功	+3584573979110
フィンランド	失敗	+3584573979111
フランス	成功	+33755512501
フランス	失敗	+33755512502
香港	成功	+85257048426
香港	失敗	+85257048854
ハンガリー	成功	+36707178770
ハンガリー	失敗	+36707178772
イタリア	成功	+394390009172
イタリア	失敗	+394390009174
ジャージー	成功	+447937404990
ジャージー	失敗	+447937404992
ルクセンブルグ	成功	+352691385880
ルクセンブルグ	失敗	+352691385882
オランダ	成功	+3197008100148
オランダ	失敗	+3197008100150
ノルウェー	成功	+4759449384

国	イベントタイプ	電話番号
ノルウェー	失敗	+4759449387
ポーランド	成功	+48732141440
ポーランド	失敗	+48732141442
ポルトガル	成功	+351927946948
ポルトガル	失敗	+351927946950
ルーマニア	成功	+40783900330
ルーマニア	失敗	+40783900332
スペイン	成功	+34683783440
スペイン	失敗	+34683783442
スウェーデン	成功	+46790645100
スウェーデン	失敗	+46790645102
スイス	成功	+41798075872
スイス	失敗	+41798075874
台湾	成功	+886903444630
台湾	失敗	+886903444632
英国	成功	+447860019066
英国	失敗	+447860019067
アメリカ	成功	+14254147755
アメリカ	失敗	+14254147167

ベストプラクティス

携帯電話ユーザーは、未承諾 SMS メッセージに対する許容度が極めて低い傾向があります。未承諾の SMS キャンペーンの応答率は、ほとんどの場合低いため、投資収益率が低下する可能性があります。

さらに、携帯電話キャリアは大量 SMS の送信者を継続的に監査しています。未承諾メッセージを送信していると判断した番号からのメッセージは、調整されたりブロックされたりします。

未承諾コンテンツの送信は、[AWS の適正利用規約](#)にも違反します。Amazon Pinpoint SMS チームは SMS 送信パターンを定期的に監査し、未承諾メッセージを送信していると思われる場合は、メッセージの送信能力を調整またはブロックすることがあります。

最後に、多くの国、リージョン、管轄区域では、未承諾 SMS メッセージの送信に多額の罰金を科しています。例えば、米国では、消費者は未承諾メッセージごとに 500~1,500 USD の金額を受け取り、送信者から支払われたと規定されています。

Important

このセクションでは、顧客エンゲージメントを高め、罰金を回避するために役立つ可能性があるいくつかのベストプラクティスについて説明します。ただし、このセクションには法的なアドバイスは含まれていないことに注意してください。法的なアドバイスを受けるには、弁護士に相談してください。

トピック

- [SMS ベストプラクティス](#)
- [音声のベストプラクティス](#)

SMS ベストプラクティス

携帯電話ユーザーは、未承諾 SMS メッセージに対する許容度が極めて低い傾向があります。未承諾 SMS キャンペーンの反応率はほぼ常に低くなるため、投資効果は低くなります。

さらに、携帯電話通信事業者は、大量の SMS 送信者を継続的に監査し、未承諾メッセージを送信すると判断した場合、発信者からのメッセージを調整またはブロックします。

未承諾コンテンツの送信は、[AWS の適正利用規約](#)にも違反します。Amazon Pinpoint SMS チームは SMS キャンペーンを定期的に監査し、未承諾メッセージを送信していると思われる場合、メッセージの送信能力を調整またはブロックすることがあります。

最後に、多くの国、リージョン、管轄区域では、未承諾 SMS メッセージの送信に多額の罰金を科しています。例えば、米国の Telephone Consumer Protection Act (TCPA) には、消費者が未承諾メッセージを 1 通受け取るたびに 500 ~ 1,500 USD の損害賠償を受け取ることができる (送信者が支払う) と規定されています。

このセクションでは、顧客エンゲージメントを高め、罰金を回避するために役立つ可能性があるいくつかのベストプラクティスについて説明します。ただし、このセクションには法的なアドバイスは含まれていないことに注意してください。法的なアドバイスを受けるには、弁護士に相談してください。

トピック

- [法律、規制、および通信事業者の要件の遵守](#)
- [禁止メッセージの内容](#)
- [許可を取得する](#)
- [古いリストにメッセージを送信しない](#)
- [顧客リストを監査する](#)
- [レコードを保持する](#)
- [メッセージは明確、正直、簡潔にしてください](#)
- [適切に応答する](#)
- [エンゲージメントに基づく送信を調整する](#)
- [適切な時間に送信する](#)
- [複数チャンネルでの重複を回避する](#)
- [専用ショートコードを使用する](#)
- [送信先の電話番号を確認する](#)
- [冗長性を考慮した設計](#)
- [非アクティブ化された電話番号の処理](#)

法律、規制、および通信事業者の要件の遵守

あなたの顧客が所在する地域の法および規制に違反すると、高額な罰金と罰が課されます。このためにも、事業を展開する各国や各地域の SMS メッセージングに関する法律を理解することは非常に重要です。

Important

多くの国では、現地の通信事業者がネットワーク上を流れるトラフィックの種類を決定する最終権限を保有しています。つまり、通信事業者は、現地の法律の最低要件より厳しい制限を SMS コンテンツに課す可能性があります。

次のリストには、世界中の主要な市場の一部における SMS 通信に適用される主要な法律へのリンクが含まれています。このガイドでは、すべての口ケールの法律をカバーしているわけではないため、調査することが重要です。

- 米国：1991 年の電話利用者保護法 (TCPA) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、[規則および規制](#)を連邦通信委員会のウェブサイトで参照してください。
- 英国：2003 年のプライバシーおよび電子通信に関する規制(EC 指令) (PECR) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、英国情報コミッショナーオフィスのウェブサイト「[What are PECR?](#)」を参照してください。
- EU: 2002 年のプライバシーおよび電子通信に関する規則指令 (ePrivacy 指令と呼ばれることもある) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、[法律全文](#)を Europa.eu ウェブサイトで参照してください。
- カナダ: インターネットおよび無線スパム対策法 (カナダのアンチスパム法あるいは CASL) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、[法律全文](#)をカナダ議会のウェブサイトで参照してください。
- 日本: 特定電子メールの送信の適正化等に関する法律は、特定の種類の SMS メッセージに適用される場合があります。

送信者として、会社または組織がこれらの国のいずれかに拠点を置いていない場合でも、これらの法律が適用される場合があります。このリストの一部の法規制は迷惑 E メールあるいは電話を対象に元々制定されたものもありますが、SMS メッセージにも同様に適用するとの見解や拡張解釈が行われています。その他の国々や地域では、SMS メッセージの送信に関する独自の法規制を設けています。顧客が所在する各国や各地域の弁護士に相談して、法的なアドバイスを受けてください。

禁止メッセージの内容

以下は、すべてのメッセージタイプでグローバルに禁止されている一般的なコンテンツカテゴリです。一部の国では、フォローアップテーブルのリストにあるコンテンツを許可している場合がありますが、未承諾のコンテンツをアクティブに許可している国はありません。一部の国または携帯電話通信事業者では、ライブメッセージングを有効にする前に、番号または送信者 ID を登録する必要があります。番号を発信者として使用または登録する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 規制当局は番号登録のバーが高いため、番号を登録するための有効なオプトインワークフローを提供する必要があります。詳細については、[「SMS のベストプラクティス: アクセス許可の取得」](#)を参照してください。
- サードパーティーの URL 短縮機能で作成された短縮 URL は使用しないでください。これらのメッセージはスパムとしてフィルター処理される可能性が高くなります。短縮 URL を使用する場合は、10LDC の電話番号またはショートコードを使用してください。これらの番号タイプのいずれかを使用するには、メッセージテンプレートを登録する必要があります。これにより、メッセージに短縮 URL を含めることができます。
- 通話料無料番号の場合、キーワードのオプトアウトとオプトインの応答は、STOP と UNSTOP を使用して通信事業者レベルで設定されます。これらは使用できる唯一のキーワードであり、変更することはできません。ユーザーが STOP と UNSTOP で返信した場合の応答メッセージは、通信事業者によって管理され、変更することはできません。
- 複数の番号を使用して、同じメッセージまたは類似のメッセージコンテンツを送信しないでください。これは雪のスパムと見なされます。これは、スパム業者が数値レートやボリュームの制限を避けるために使用するプラクティスです。
- これらの業界に関連するメッセージはすべて制限されていると見なされ、重いフィルタリングまたは完全にブロックされる可能性があります。これには、制限されたカテゴリに関連するサービスのワンタイムパスワードと多要素認証が含まれます。

非準拠のユースケースで登録が拒否され、この指定が正しくないと思われる場合は、サポートを通じて AWS リクエストを送信できます。

次の表は、制限付きコンテンツの種類を示しています。

カテゴリ	例
ギャンブル	<ul style="list-style-type: none">カジノ宝くじ

カテゴリ	例
高リスク金融サービス	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーション/ウェブサイト • 給料日ローン • 短期高利ローン • 自動車ローン • 住宅ローン • 学生ローン • 債権回収 • 在庫アラート • Cryptocurrency
債権放棄	<ul style="list-style-type: none"> • 債務統合 • 債務削減 • 信用回復プログラム
Get-rich-quick スキーム	<ul style="list-style-type: none"> • Work-from-home プログラム • リスク投資の機会 • ピラミッドまたはマルチレベルのマーケティングスキーム
違法物	<ul style="list-style-type: none"> • 大麻/CBD
フィッシング/スミッシング	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザーに個人情報やウェブサイトのログイン情報を開示させようと試みること。
S.H.A.F.T。	<ul style="list-style-type: none"> • 性別 • 憎悪 • アルコール • 銃器 • タバコ/ベイプ
サードパーティリードの生成	<ul style="list-style-type: none"> • 消費者情報を購入、販売、共有する企業

許可を取得する

送信する予定のメッセージについて特定のタイプの受信を明示的に要求していない受信者には、決してメッセージを送信しないでください。同じ会社内の組織間であっても、オプトインリストを共有しないでください。

受信者がオンラインフォームを使用してメッセージの受信にサインアップできる場合、本人が気づかずに自動スクリプトがサブスクライブすることを防止するシステムを追加してください。また、1回のセッションでユーザーが電話番号を送信できる回数を制限する必要があります。

SMS オプトインリクエストを受け取ったら、メッセージの受信を希望することを確認するメッセージを受信者に送信します。受信者がサブスクリプションを確認するまで、追加のメッセージを受信者に送信しないでください。サブスクリプション確認メッセージの例は次のとおりです。

```
Text YES to join ExampleCorp alerts. 2 msgs/month. Msg & data rates may apply. Reply HELP for help, STOP to cancel.
```

日付、時刻、各オプトインリクエストおよび確認のソースが含まれる記録を保持してください。これは、通信事業者または規制機関から依頼された場合に役立つことがあり、顧客リストの定期的な監査の実施にも役立つことがあります。

オプトインワークフロー

米国の通話料無料やショートコード登録など、場合によっては、携帯電話通信事業者がオプトインワークフロー全体のモックアップまたはスクリーンショットの提供を要求することがあります。モックアップまたはスクリーンショットは、受信者が完了するオプトインワークフローによく似ている必要があります。

モックアップまたはスクリーンショットには、最高レベルのコンプライアンスを維持するために、以下の必要な開示事項をすべて含める必要があります。

オプトインに必要な開示

- プログラムを通じて送信するメッセージングユースケースの説明。
- 「メッセージ料金とデータ料金が適用される場合があります」というフレーズ。
- 受信者がメッセージを受け取る頻度の提示。例えば、定期的なメッセージングプログラムでは、「週に1通のメッセージ」と表示される場合があります。ワンタイムパスワードまたは多要素認証のユースケースでは、「メッセージの頻度は異なる」または「ログイン試行ごとに1通のメッセージ」と表示される場合があります。

- 利用規約とプライバシーポリシー文書へのリンク。

非準拠オプトインの一般的な拒否理由

- 提供された会社名がモックアップまたはスクリーンショットに記載されているものと一致しない場合。明確でない関係については、オプトインワークフローの説明で説明する必要があります。
- メッセージが受信者に送信されるように見えても、送信前に明示的に同意が得られない場合。対象の受信者からの明示的な同意は、すべてのメッセージングの要件です。
- サービスにサインアップするためにテキストメッセージの受信が必要と思われる場合。これは、ワークフローが E メールや音声通話など、オプトインメッセージを別の形式で受信する代替手段を提供していない場合は、準拠しません。
- オプトイン言語がすべて利用規約に記載されている場合。開示内容は、リンクされたポリシードキュメント内に格納されているのではなく、オプトイン時に常に受信者に提示する必要があります。
- 顧客が 1 種類のテキストメッセージを受信することに同意し、他のタイプのテキストメッセージを送信する場合。例えば、ワンタイムパスワードを受信することに同意しましたが、ポーリングやアンケートのメッセージも送信されます。
- 前述の必要な開示内容が受信者に提示されない場合。

次の例は、多要素認証のユースケースに関する携帯端末通信業者の要件に準拠しています。

examplecorp

Ready to create your example.com account? We're glad to hear it! We just need a few pieces of information. Fields marked with * are required.

First name*

Last name*

Email address*

Next >

1. User provides basic account information.

examplecorp

You can enable Multi-Factor Authentication (MFA) to protect your account. If you do, we'll send you a unique password each time you sign in. Do you want to enable this feature?

Enable MFA

Disable MFA (less secure)

Next >

2. User decides whether to enable MFA.

examplecorp

How do you want to receive MFA messages? Choose one option.

Email

Phone call

Text message

Message and data rates may apply. If you choose to receive MFA passwords as text messages, we'll send you one text message per login attempt. To stop receiving messages, text "STOP" to 98765. For more information, text "HELP."

[Terms & Conditions](#) | [Privacy Policy](#)

Mobile number

When you press the **Next** button, we'll send you an MFA password to verify your phone number.

Next >

3. If MFA enabled, user chooses how to receive MFA token.

This section only appears when 'Text message' is selected

LTE 5:28 PM 75%

< Messages 67876 Details

Your ExampleCorp Multi-factor Authentication code is 918273. Text HELP for more info or STOP to opt out.

Text Message Send

4. If user chooses to receive MFA token by text, send a token.

examplecorp

We sent a text message to you at (425) 555-0142. Enter the six digit code in that message to confirm your phone number.

[Resend code](#)

1	2 ABC	3 DEF
4 GHI	5 JKL	6 MNO
7 PQRS	8 TUV	9 WXYZ
+ * #	0	<X>

5. User enters MFA token to verify phone number.

多要素認証のユースケースのモックアップ

完成したテキストと画像が含まれ、オプトインフロー全体が注釈付きで表示されます。オプトインフローでは、顧客はテキストメッセージの受信に同意するために、個別の意図的なアクションを実行し、必要なすべての開示を含める必要があります。

その他のオプトインワークフロータイプ

また、携帯端末通信事業者は、前のセクションで説明した内容に準拠している場合、アプリケーションやウェブサイトの外部でオプトインワークフローを受け入れます。例えば、自動オプトインや書き込みオプトインなどです。コンプライアンスに準拠したオプトインワークフローと、口頭または書面によるスクリプトは、特定のメッセージタイプを受信することについて、受信者から明示的な同意を得ます。例えば、サポートエージェントがサービスデータベースに記録する前に同意を収集するために使用する冗長スクリプトや、プロモーション部門にリストされている電話番号などです。これらのオプトインワークフロータイプのモックアップを提供するには、オプトインスクリプト、マーケティング資料、または数字が収集されているデータベースのスクリーンショットを提供できます。オプトインが明確ではない場合やユースケースが一定量を超える場合、携帯端末通信業者はこれらのユースケースに関して追加の質問をすることがあります。

SMS 固有の利用規約ページ

また、携帯電話通信事業者は、特定の SMS 利用規約セットをお客様に提供する必要があります。以下の利用規約は、通信事業者の要件に準拠しています。これらの用語をコピーして、ユースケースに合わせて変更できます。

Important

これらの用語をコピーする場合は、{curly braces} に示されているすべての項目をユースケースに適した値に置き換えてください。また、これらの用語を公開する前に、リーガル部門でこれらの条件を確認しておく必要があるため、適宜計画を立ててください。

- サービスにオプトインすると、送信する予定のメッセージの {説明} が送信されます。
- SMS サービスは、{ショートコードまたは電話番号} に「STOP」とテキストすることでいつでもキャンセルできます。SMS メッセージを「STOP」で送信すると、サブスクリプションが解除されたことを確認する SMS メッセージで返信されます。この後、SMS からの追加のメッセージは受信されません。再度参加する場合は、初回と同じようにサインアップすると、SMS メッセージの送信が再度開始されます。
- 「HELP」を {ショートコードまたは電話番号} にテキストすることで、いつでも詳細情報を取得できます。SMS メッセージを「HELP」として送信すると、サービスの使用方法とサブスクリプション解除方法の手順が返信されます。
- 主要な通信事業者である AT&T、Verizon Wireless、Sprint、T-Mobile、MetroPCS、Boost Mobile、Nextel、Virtual Mobile にメッセージを配信できます。マイナーキャリア：ワシントン

ン通信システム (ACS)、Appalachian Wireless (EKN)、Bluegrass セルラー、セルラー 東部中部イリノイ (ECIT) の 1 つ、北東ペンセンブルバニアのセルラー 1 つ、シンクロナティラーワイヤレス、コリツ、Coral Wireless (Mobi PCS)、COX、クロス、Element Mobile (Flat Wireless)、エピック・タッチ (エカルト・フォン)、GCI、Golden State、TAKeye (チャットモビリティ)、TAKeye (NW Missouri)、イリノイ州スロセルラー、インランドセルラー、iWireless (Iowa Wireless)、Keystone Wireless (Immix Wireless/PC Man)、モザイク (統合または CTC テレコム)、Nex-tech Wireless、NTelos、Panhandle 通信、Pioneer、マトー (テキサス RSA 3TAK)、Revol、RINA、Symmetry (TMP Corporation)、サムネイルセルラー、Union Wireless、ワイヤレス、Viaero Wireless、および西部中部 (WCC または 5 Star Wireless)。通信事業者は、遅延または未配信のメッセージについて責任を負いません。

- メッセージ料金とデータ料金は、当社からお客様、またはお客様が当社に送信するすべてのメッセージに適用される場合があります。{期間} ごとに {メッセージ頻度} メッセージを受信します。テキストプランまたはデータプランの詳細については、ワイヤレスプロバイダーにお問い合わせください。このショートコードで提供されるサービスについてご質問がある場合は、{support email address} まで E メールにてお問い合わせください。
- プライバシーについてご質問がある場合は、{link to プライバシーポリシー} の「プライバシーポリシー」を参照してください。

Important

これらの条件のコピーを顧客に提供しない場合、通信事業者はショートコードアプリケーションを承認しません。これらの条件を確認したら、公開されている場所にホストする計画を立てます。これらの用語にリンクする URL は、すべてのショートコードアプリケーションの必須部分です。ショートコードリクエストの送信時にこの URL がライブでない場合は、URL が何であるかを判断し、リクエストに含めるファイルに利用規約のコピーを含めません。

古いリストにメッセージを送信しない

人は電話番号を頻繁に変更します。2 年前に連絡先として同意を得た電話番号は、今では他の誰かが使用しているかもしれません。新しいメッセージングプログラムに古い電話番号のリストを使用しないでください。そうすると、番号が稼働していないこと、または一部のユーザーがそもそも同意したことを覚えていないためにオプトアウトしたという理由で、一部のメッセージが失敗する可能性があります。

顧客リストを監査する

定期的な SMS キャンペーンを送信している場合、顧客リストを定期的に監査してください。顧客リストの監査は、メッセージを受信する顧客のみが、メッセージの受信に関心を持つ顧客であることを確認するのに役立ちます。

リストを監査するときは、オプトインしている各顧客に、サブスクライブしていることを再確認するメッセージを送信し、サブスクライブ解除に関する情報を提供します。再確認メッセージの例は次のとおりです。

```
You're subscribed to ExampleCorp alerts. Msg & data rates may apply. Reply HELP for help, STOP to unsubscribe.
```

レコードを保持する

SMS メッセージを送信するよう各顧客よりリクエストされた日時と、各顧客に送信したメッセージを示すレコードを保持します。世界の多くの国や地域では、SMS の送信者がこれらのレコードを簡単に取り出せるように維持する必要があります。また、この情報は、携帯端末通信事業者より随時リクエストされる場合があります。提供する情報は、国または地域によって異なります。レコード維持の要件の詳細は、顧客が所在する国または地域ごとの商用 SMS メッセージングの規制を確認します。

場合によっては、キャリアや規制機関より、顧客がメッセージの受け取りを選択した事実の提供を求められることがあります。このような状況では、は通信事業者または機関が必要とする情報のリストを AWS Support 連絡します。必要な情報を提供しない場合は、以降の SMS メッセージを送信する機能が一時停止される場合があります。

メッセージは明確、正直、簡潔にしてください

SMS はユニークなメディアです。160 character-per-message 文字の制限は、メッセージが簡潔である必要があることを意味します。電子メールなど、他の通信チャネルで使用する手法が SMS チャネルでは適用できない場合があります。SMS メッセージで使用すると不正または詐欺的に思われる場合があります。メッセージの内容がベストプラクティスと一致しない場合、受信者はメッセージを無視することがあります。最悪のシナリオでは、携帯電話通信事業者がメッセージをスパムとして識別し、電話番号からの今後のメッセージをブロックすることがあります。

次のセクションでは、効果的な SMS メッセージ本文を作成するためのヒントとヒントを紹介します。

自分が送信者であることを明記してください

受信者は、メッセージが自分からのものであることをすぐに識別できるはずですが、このベストプラクティスに従って、送信者は各メッセージの最初に識別名（「プログラム名」）を含めます。

この操作はしないでください。

```
Your account has been accessed from a new device. Reply Y to confirm.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Financial Alerts: You have logged in to your account from a new device. Reply Y to confirm, or STOP to opt-out.
```

メッセージを person-to-person メッセージのように表示しようとしないでください。

マーケティング担当者の中には、メッセージを個人から送信されたように見せて、SMS メッセージに個人的なタッチを加えたいと思う人もいます。ただし、この手法を使用すると、メッセージがフィッシング詐欺のように受け取られる場合があります。

この操作はしないでください。

```
Hi, this is Jane. Did you know that you can save up to 50% at Example.com? Click here for more info: https://www.example.com.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Offers: Save 25-50% on sale items at Example.com. Click here to browse the sale: https://www.example.com. Text STOP to opt-out.
```

お金の話には注意する

詐欺師は、お金を貯めたり、受け取りたいという人の欲求につけ込むことがよくあります。「話がうますぎる」と思わせるようなオファーを記載してはいけません。人を欺くためにお金の誘惑を使用してはいけません。通貨記号を使ってお金を示してはいけません。

この操作はしないでください。

```
Save big $$$ on your next car repair by going to https://www.example.com.
```

代わりにこれを試してください:

ExampleCorp Offers: Your ExampleCorp insurance policy gets you discounts at 2300+ repair shops nationwide. More info at <https://www.example.com>. Text STOP to opt-out.

必要な文字のみを使用する

ブランドは、多くの場合において、メッセージに ™ や ® などの商標記号を含めることで商標を保護する傾向があります。ただし、これらの記号は 160 文字の SMS メッセージに含めることができる標準の文字セットには含まれません。これらの文字は GSM アルファベットと呼ばれます。これらの文字のいずれかを含むメッセージを送信すると、メッセージは異なる文字エンコーディングシステムを使用して自動的に送信され、各メッセージパートで 70 文字のみをサポートします。その結果、メッセージが複数に分割される可能性があります。送信するメッセージパートごとに料金が請求されるため、メッセージ全体の送信にかかる費用が予想よりも高くなる可能性があります。さらに、受信者は 1 つのメッセージではなく、複数の連続したメッセージを受信する場合があります。SMS の文字エンコーディングの詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。

この操作はしないでください。

ExampleCorp Alerts: Save 20% when you buy a new ExampleCorp Widget® at example.com and use the promo code WIDGET.

代わりにこれを試してください:

ExampleCorp Alerts: Save 20% when you buy a new ExampleCorp Widget(R) at example.com and use the promo code WIDGET.

Note

上記の 2 つの例はほとんど同じですが、最初の例には GSM アルファベットではない登録商標記号 (®) が含まれています。その結果、最初の例は 2 つのメッセージパートとして送信され、2 番目の例は 1 つのメッセージパートとして送信されます。

有効で安全なリンクを使用する

メッセージにリンクが含まれている場合は、そのリンクが機能することを再確認してください。内部ネットワーク外のデバイスでリンクをテストして、リンクが適切に解決されることを確認します。SMS メッセージは 160 文字に制限されているため、URL が非常に長いと複数のメッセージに分割される可能性があります。短縮 URL を指定するには、リダイレクトドメインを使用する必要があります。ただし、tinyurl.com や bitly.com などの無料のリンク短縮サービスを使用しないでください。通信事業者は、そのドメイン上のリンクを含むメッセージをフィルタリングする傾向があります。リンクが会社または組織の排他的使用専用のドメインを指している限り、有料のリンク短縮サービスを使用できます。

この操作はしないでください。

Go to <https://tinyurl.com/4585y8mr> today for a special offer!

代わりにこれを試してください:

ExampleCorp Offers: Today only, get an exclusive deal on an ExampleCorp Widget. See <https://a.co/cFKmaRG> for more info. Text STOP to opt-out.

使用する略語数を制限する

SMS チャネルには 160 文字の制限があるため、一部の送信者は、メッセージに略語を多用する必要がありますと考えます。しかし、略語を使いすぎると、多くの読者は企業からのものではないと受け止められ、一部のユーザーがメッセージをスパムとして報告する可能性があります。略語を多用せずに、首尾一貫したメッセージを書くことは至って可能です。

この操作はしないでください。

Get a gr8 deal on ExampleCorp widgets when u buy a 4-pack 2day.

代わりにこれを試してください:

ExampleCorp Alerts: Today only—an exclusive deal on ExampleCorp Widgets at example.com. Text STOP to opt-out.

適切に応答する

受信者がメッセージに返信したときは、有用な情報で応答するようにしてください。例えば、顧客がメッセージの1つにキーワード「HELP」で反応した場合、サブスクライブしているプログラム、毎月送信されるメッセージの数、詳細情報が必要な場合の連絡方法に関する情報を送信します。HELP レスポンスメッセージの例は次のとおりです。

HELP: ExampleCorp alerts: email help@example.com or call 425-555-0199. 2 msgs/month. Msg & data rates may apply. Reply STOP to cancel.

顧客がキーワード「STOP」で返信した場合、今後はメッセージが送信されないことを知らせます。STOP レスポンスメッセージの例は次のとおりです。

You're unsubscribed from ExampleCorp alerts. No more messages will be sent. Reply HELP, email help@example.com, or call 425-555-0199 for more info.

エンゲージメントに基づく送信を調整する

顧客の優先順位は時間の経過とともに変わる可能性があります。顧客がメッセージを必要としなくなった場合、メッセージを完全にオプトアウトしたり、メッセージを未承諾として報告したり可能性すらあります。このため、顧客とのエンゲージメントに基づいて送信手続きを調整することは重要です。

メッセージにめったに反応しない顧客の場合、メッセージの頻度を調整する必要があります。例えば、反応の多い顧客にメッセージを毎週送信している場合、反応の少ない顧客用に別の毎月のダイジェストを作成できます。

最後に、まったく反応のない顧客を顧客リストから削除します。このステップにより、顧客がメッセージを不満に感じるものがなくなります。また、コストを削減し、送信者としての評判を維持することもできます。

適切な時間に送信する

通常の日中の営業時間中にメッセージを送信します。夜間または深夜にメッセージを送信すると、混乱を避けるために顧客がリストからサブスクリプションを解除する可能性が高くなります。顧客がすぐに応答できない場合は、SMS メッセージを送信しないようにすることをお勧めします。

キャンペーンやジャーニーを多数の視聴者に送信する場合は、発信元の電話番号のスループットレートを再確認してください。受信者数をスループットレートで割ると、すべての受信者にメッセージを送信するのにかかる時間が分かります。

複数チャンネルでの重複を回避する

キャンペーンで、複数の通信チャンネル (E メール、SMS、プッシュメッセージ) を使用している場合、各チャンネルで同じメッセージを送信しないでください。同じメッセージを複数のチャンネルで同時に送信すると、顧客は送信動作を有用ではなく迷惑だと受け取る可能性が高くなります。

専用ショートコードを使用する

ショートコードを使用している場合、ブランドおよびメッセージタイプごとに別個のショートコードを維持します。例えば、会社に 2 つのブランドがある場合、それぞれ別のショートコードを使用します。同様に、トランザクションメッセージとプロモーションメッセージの両方を送信する場合は、メッセージの種類ごとに個別のショートコードを使用するか、トランザクション用にショートコードを 1 回登録し、プロモーション用に別の登録を作成します。ショートコードのリクエストの詳細については、「」を参照してください [電話番号をリクエストする](#)。

送信先の電話番号を確認する

Amazon Pinpoint SMS を介して SMS メッセージを送信すると、送信するメッセージパートごとに課金されます。メッセージパートごとに支払う料金は、受信者の国や地域によって異なります。SMS 料金の詳細については、「[Amazon Pinpoint SMS 料金表](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS が SMS メッセージを送信するリクエストを受け入れると ([SendMessage](#) API の呼び出しの結果、またはキャンペーンやジャーニーが開始された結果)、そのメッセージの送信に対して課金されます。このステートメントは、たとえ意図した受信者が実際にメッセージを受け取らなかったとしても有効です。例えば、受信者の電話番号が使用中でなくなった場合や、有効でない携帯電話番号にメッセージを送信した場合、メッセージの送信に対して課金されます。

Amazon Pinpoint SMS は、SMS メッセージを送信するための有効なリクエストを受け入れ、配信を試みます。このため、メッセージを送信する電話番号が有効な携帯電話番号であることを検証する必要があります。Amazon Pinpoint SMS 電話番号検証サービスを使用して、電話番号が有効かどうか、および番号のタイプ (携帯電話、固定電話、VoIP など) を判断できます。詳細については、「[Amazon Pinpoint デベロッパーガイド](#)」の「[Amazon Pinpoint SMS での電話番号の検証](#)」を参照してください。Amazon Pinpoint

冗長性を考慮した設計

ミッションクリティカルなメッセージングプログラムの場合は、複数ので Amazon Pinpoint SMS を設定することをお勧めします AWS リージョン。Amazon Pinpoint SMS は、いくつかの で利用で

きます AWS リージョン。Amazon Pinpoint SMS が利用可能なリージョンの完全なリストについては、「」を参照してください [AWS 全般のリファレンス](#)。

ショートコード、ロングコード、通話料無料、10DLC 番号など、SMS メッセージに使用する電話番号は AWS リージョンで複製することはできません。そのため、複数のリージョンで Amazon Pinpoint SMS を使用するには、Amazon Pinpoint SMS を使用するリージョンごとに個別の電話番号をリクエストする必要があります。例えば、米国の受信者にショートコードを使用してテキストメッセージを送信する場合は、使用する AWS リージョン 予定の各 で個別のショートコードをリクエストする必要があります。

一部の国では、冗長性を高めるために複数のタイプの電話番号を使用することもできます。例えば、米国では、ショートコード、10DLC 番号、通話料無料の番号をリクエストすることができます。これらの電話番号タイプはそれぞれ、受信者へのルートが異なります。同じ電話番号タイプ AWS リージョン でも、複数の電話番号タイプにまたがっている電話番号タイプでも AWS リージョン、冗長性のレイヤーを追加できるため、耐障害性が向上します。

非アクティブ化された電話番号の処理

非アクティブ化された電話番号とは、モバイルサブスクライバーがサービスを終了したか、電話番号を別のモバイルネットワークプロバイダーに転送したことを意味します。最終的に、無効化された電話番号はリサイクルされ、新しいサブスクライバーに再割り当てされます。そのため、SMS メッセージプログラムにオプトインしていない別のサブスクライバーの電話番号に、誤って SMS メッセージが送信される可能性があります。

モバイルネットワークプロバイダーは、ネットワーク内の非アクティブ化された電話番号の最新リストを含む非アクティブ化レポートを頻繁に発行します。これらのレポートは、SMS 送信リストを最新の状態とコンプライアンスに保つために公開されます。

Note

非アクティブ化レポートに記載されている携帯電話番号の多くは、サブスクライバーが別のモバイルネットワークプロバイダーに移した番号です。モバイルネットワークプロバイダーを変更するには、新しいモバイルネットワークプロバイダーからのオプトインが必要です。非アクティブ化された番号でエンドユーザーが引き続きメッセージを受け取ると考えていると、その番号を削除することにはリスクがあります。電話番号が非アクティブ化されている場合、E メールや音声通話など、さまざまなチャネルを通じてエンドユーザーとやり取りできます。

非アクティブ化された電話番号の処理が重要なのはなぜですか？

米国では、連邦通信委員会 (FCC) は、プロジェクトにオプトインしていないサブスクライバーの電話番号にメッセージを送信することをスパムと見なしています。このような行為について、エンドユーザーやモバイルネットワークプロバイダーから苦情が寄せられ、監査につながる可能性があります。また、SMS メッセージの送信がモバイルネットワークプロバイダーによって完全にブロックされるリスクもあります。最悪のシナリオでは、TAK に料金が課されたり、クラスアクションの影響を受ける可能性があります。

さらに、Amazon Pinpoint SMS を介して SMS メッセージを送信すると、送信するメッセージごとに課金されます。エンドユーザーリストを最新の状態に保つことで、不必要なメッセージについての請求を防ぐことができます。

Amazon Pinpoint SMS には、すべてのエンドユーザーリストを定期的に最新の状態に保つことができるように、非アクティブ化レポートのコピーが用意されています。これらのレポートはモバイルネットワークプロバイダーから送信され、毎日処理されます。各レポートには、モバイルネットワークプロバイダーネットワークで非アクティブ化された電話番号のリストが含まれています。これらをダウンロードして、既存のエンドユーザーリストと比較する必要があります。非アクティブ化されたすべての電話番号をエンドユーザーリストから削除します。

非アクティブ化レポートのリクエスト

非アクティブ化レポートのコピーを入手するには、まず、ファイルをダウンロードするためにリクエスト支払いバケットオプションを使用して、Amazon S3 GET OBJECT API リクエストにより、非アクティブ化レポートをリクエストする必要があります。リクエスト支払いバケットの詳細については、[「Amazon S3 ユーザーガイド」の「リクエスト支払いバケットでのオブジェクトのダウンロード」](#)を参照してください。

リクエスト支払いオプションを必要とする S3 バケットとオブジェクトに対して行われたリクエストに対して料金が発生します。S3 リクエストのコストはリクエストタイプに基づいており、リクエスト数に応じて請求されます。S3 リクエストコストの詳細については、[「Amazon S3 の料金」](#)を参照してください。

Note

非アクティブ化レポートは、米国の電話番号のみを取得します。

Amazon Pinpoint SMS には、2 種類の非アクティブ化レポートが用意されています。使いやすくなるため、最新の非アクティブ化レポートが必要な場合は、最新のオブジェクト形式を使用してリクエ

ストを送信できます。特定の日付の非アクティブ化レポートが必要な場合は、日付固有のオブジェクト形式を使用してリクエストを送信できます。

Note

Amazon Pinpoint SMS は、過去 90 日間の日付固有のオブジェクトのみを保存します。

次のテンプレート例を使用して、 から非アクティブ化レポートをリクエストできます AWS CLI。の設定の詳細については AWS CLI、「ユーザーガイド」の「[AWS CLI の設定AWS Command Line Interface](#)」を参照してください。

Bucket name format: `{region}-pinpoint-sms-voice/`

Latest object format: `/sms-deact-reports/{iso2}/latest-deact-report.csv`

Date specific object format: `/sms-deact-reports/{iso2}/{YYYY}-{MM}-{DD}-deact-report.csv`

前の例では、次の変更を加えます。

- `{region}` を、などのレポートをホスト AWS リージョン する に置き換えます us-east-1。バケット名でサポートされている のリストについては、AWS リージョン 「」の「[Amazon Pinpoint API](#)」を参照してくださいAWS 全般のリファレンス。
- `{iso2}` を国 の 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コードに置き換えます。
- `{YYYY}` を 4 桁の年に置き換えます。
- `{MM}` を 2 桁の月に置き換えます。
- `{DD}` を 2 桁の日に置き換えます。

次の例は、AWS CLI コマンドを使用して最新の非アクティブ化レポートをリクエストする方法を示しています。

```
aws s3api get-object --bucket us-east-1-pinpoint-sms-voice --key sms-deact-reports/us/latest-deact-report.csv OUTFILE.csv --request-payer requester
```

次の例は、AWS CLI コマンドを使用して日付固有の非アクティブ化レポートをリクエストする方法を示しています。

```
aws s3api get-object --bucket us-east-1-pinpoint-sms-voice --key sms-deact-reports/US/2023-09-28-deact-report.csv OUTFILE.csv --request-payer requester
```

Amazon S3 GET OBJECT API リクエストが送信されると、コマンドで指定された OUTFILE.csv に非アクティブ化レポートがダウンロードされます。

Amazon S3 API を使用して、非アクティブ化レポートのリストを取得できます。非アクティブ化レポートは、埋め込み sms-deact-reports/us/ フォルダ内でのみ一覧表示できます。

次の例は、使用可能な非アクティブ化レポートのリストを取得する方法を示しています。

```
aws s3api list-objects-v2 --bucket us-east-1-pinpoint-sms-voice --prefix "sms-deact-reports/us/" --request-payer requester
```

音声のベストプラクティス

このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS を使用した音声メッセージの送信に関連するいくつかのベストプラクティスについて説明します。これらのプラクティスは、受信者の満足度を高め、予期しない請求を防ぐのに役立ちます。

このセクションのトピック:

- [法律と規制の遵守](#)
- [適切な時間に送信する](#)
- [複数チャンネルでの重複を回避する](#)
- [音声不正被害の防止](#)

法律と規制の遵守

あなたの顧客が所在する地域の法および規制に違反すると、高額な罰金と罰が課されます。このためにも、事業を展開する各国の自動音声通話に関する法律を理解することは非常に重要です。送信者としての立場から、上記の国々に所在していない場合でもこれらの法規制の適用対象となる場合があります。お客様は、適用されるすべての法律を遵守する責任があります。一部の国の行政区分では、親国よりも厳しい規則が定められていることに注意してください。例えば、米国のいくつかの州では、音声通話に関する規則が米国連邦法よりも厳しくなっています。この情報は、法的なアドバイスを意図したものではありません。顧客が所在する各国や各地域の弁護士に相談して、法的なアドバイスを受けてください。

適切な時間に送信する

メッセージは、各受信者のタイムゾーンの通常の日中の営業時間にのみ送信します。メッセージを夕食や深夜の時間帯に送信している場合、顧客がその後改めて邪魔をされないようにリストから登録解除する可能性が高くなります。さらに、多くの国や地域では、ユーザーが自動メッセージを受信できる日時が制限されています。規制は国によって異なりますが、午前 9 時以前または午後 8 時以降にメッセージを送信しないことをお勧めします。また、多くの国では日曜日や祝日にメッセージを送信することも禁止されています。この情報は、法的なアドバイスを意図したものではありません。顧客が所在する各国や各地域の弁護士に相談して、法的なアドバイスを受けてください。

複数チャンネルでの重複を回避する

複数の通信チャンネル (音声、E メール、SMS、プッシュメッセージなど) を使用している場合、正当な理由がない限り、複数のチャンネルで同じメッセージを送信しないでください。同じメッセージを複数のチャンネルで同時に送信すると、顧客はこの動作を有用ではなく迷惑だと受け取る可能性が高くなります。

音声不正被害の防止

音声通話にはコストがかかる可能性があるため、不正なアクセスから AWS アカウントを保護し、送信するメッセージの送信先をモニタリングすることが重要です。

IAM ロール、ポリシー、ユーザーを慎重に管理する

一般的に、ユーザーの IAM ポリシーでは、最小特権、つまりタスクの実行に必要なアクセス許可のみを付与し、それ以外は付与しないようにする必要があります。これらのアクセス許可を制限して、アクセスを少数のユーザーに限定することができます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM のセキュリティのベストプラクティス](#)」を参照してください。

さらに、ユーザーのパスワードとアクセスキーは定期的に変更する必要があります。パスワードとアクセスキーを変更するプロセスは、認証情報のローテーションと呼ばれます。詳細については、[IAM のセキュリティのベストプラクティス](#)を参照してください。

送信先の国を把握する

音声メッセージの送信に支払う 1 分あたりの料金は、受信者の国によって異なります。受信者の電話番号の国コードが、受信者がどの国にいるかを知るための最良の方法とは限りません。例えば、多くの送信者は、米国とカナダが同じ国コード (+1) を使用していることを認識しています。しかし、他の 23 の国と地域 (主に太平洋とカリブ海) でもこの国コードが使用されていることを認識していないかもしれません。これらの国の中には、音声メッセージを送信すると、他の国よ

りも大幅にコストがかかる場合があります。例えば、米国とカナダの受信者へのメッセージ送信は 1 分あたり 0.013 USD ですが、ジャマイカへの送信には 1 分あたり 0.564 USD かかります¹。これら 3 か国すべての電話番号は +1 で始まり、その後に 10 桁が続くため、慣れていない人には見分けるのが難しい場合があります。

[Amazon Pinpoint 電話番号検証サービス](#)を使用すると、メッセージを送信する先の各電話番号の国を確認できます。

送信先を特定の国に限定する

特定の国の受信者にのみメッセージを送信する場合は、それらの国にのみメッセージを送信するようにメッセージ送信アプリケーションを設定します。

送信するメッセージの数を特定数に限定する

同じ受信者に 1 日に送信できる音声メッセージの数を特定数に限定できるようにアプリケーションを設定します。

¹2021 年 12 月現在、見積もり料金は正確です。1 分あたりの料金は変更される場合があります。現在の料金については、[「Amazon Pinpoint SMS 料金表」](#)を参照してください。

Configurations

Amazon Pinpoint SMS の設定を使用して、電話番号または送信者 IDs をプロビジョニングし、SMS メッセージ、テキストメッセージ、または音声メッセージを顧客のモバイルデバイスに送信できます。Amazon Pinpoint SMS は、[200 を超える国と地域の](#)受信者にメッセージを送信できます。国や地域によっては、双方向 SMS 機能を使用して顧客からメッセージを受信することもできます。新しい Amazon Pinpoint SMS アカウントを作成すると、アカウントは SMS サンドボックスに配置されます。これにより、最初は、毎月の支出とメッセージの送信先が制限されます。詳細については、[Amazon Pinpoint SMS sandbox](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS を使用してテキストメッセージを受信するには、まず専用の番号を取得し、次にその番号に対して双方向 SMS を有効にする必要があります。最後に、Amazon Pinpoint SMS が受信メッセージを受信したときに顧客に送信するメッセージを指定できます。

Note

Amazon Pinpoint SMS で SMS チャンネル設定を構成すると、Amazon SNS などの SMS メッセージを送信する他の AWS サービスに変更が適用されます。

トピック

- [SMS の制限と規制](#)
- [電話番号または送信者 ID の選択](#)
- [電話プール](#)
- [電話番号](#)
- [送信者 ID](#)
- [登録](#)
- [設定セット](#)
- [オプトアウトリスト](#)
- [SMS または音声メッセージの送信例](#)
- [SMS の請求と使用状況レポートについて](#)
- [SMS および音声メッセージングのサポートをリクエストする](#)

SMS の制限と規制

SMS プロトコルには、複数の制限や規制が適用されています。例えば、各 SMS メッセージの長さを制限する技術的な制限があります。また、SMS を使用して送信できるコンテンツの種類に関する規制があります。このトピックでは、これらの制限と規制について説明します。

Amazon Pinpoint SMS で SMS メッセージングを設定する場合、これらの制限と制限を考慮する必要があります。ベストプラクティスとして、[SMS ベストプラクティス](#)で説明されている手法も実装する必要があります。

トピック

- [SMS 文字制限](#)
- [メッセージパーツ/秒 \(MPS\) の制限](#)
- [メッセージタイプとメッセージルートの違い](#)
- [オプトアウト](#)

SMS 文字制限

1 回の SMS メッセージには、最大 140 バイトの情報を含めることができます。1 回の SMS メッセージに使用できる文字数は、メッセージに含む文字の種類によって異なります。

メッセージに GSM 03.38 文字セット (GSM 7 ビットアルファベットとも呼ばれる) の文字のみが使用されている場合は、最大 160 文字まで含めることができます。メッセージに GSM 03.38 文字セット以外の文字が含まれている場合は、70 文字まで使用できます。SMS メッセージを送信すると、Amazon Pinpoint SMS は使用する最も効率的なエンコーディングを自動的に決定します。

メッセージに最大文字数を超える文字を含めると、メッセージは複数のパートに分割されます。メッセージが複数のパートに分割されると、各パートには、その前のメッセージパートに関する追加情報が含まれます。受取人のデバイスは、このように分割されたメッセージパートを受信すると、この追加情報を使用して、すべてのメッセージパートを正しい順で表示します。受取人の携帯通信事業者やデバイスによっては、複数のメッセージが、1 つのメッセージとして表示されたり、個別のメッセージのシーケンスとして表示されたりする場合があります。その結果、各メッセージ部分の文字数は GSM 03.38 文字のみを含むメッセージでは 153 文字に、その他の文字を含むメッセージでは 67 文字に削減されます。SMS の長さ計算ツールを使用すると、メッセージを送信する前にメッセージに含まれるメッセージパートの数を推定できます。これらのツールのいくつかはオンラインで入手できます。どのメッセージでもサポートされる最大サイズは 1530 GSM 文字または 630 文字以外 GSM 文字です。メッセージサイズがサポートされているサイズよりも大きい場合、メッセージは失

敗し、Amazon Pinpoint SMS は無効なメッセージ例外を返します。スループットとメッセージサイズの詳細については、「[メッセージパーツ/秒 \(MPS\) の制限](#)」を参照してください。

⚠ Important

複数のメッセージパートを含むメッセージを送信すると、メッセージ内のメッセージパート数に応じて課金されます。スループットとメッセージサイズの詳細については、「[メッセージパーツ/秒 \(MPS\) の制限](#)」を参照してください。

GSM 03.38 文字セット

GSM 03.38 文字セットに含まれるすべての文字を次のテーブルに示します。次の表に示す文字のみを含むメッセージを送信する場合、メッセージには最大 160 文字まで含めることができます。

GSM 03.38 標準文字												
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
à	Å	å	Ä	ä	Ç	É	é	è	ì	Ñ	ñ	ò
Ø	ø	Ö	ö	ù	Ü	ü	Æ	æ	ß	0	1	2
3	4	5	6	7	8	9	&	*	@	:	,	¤
\$	=	!	>	#	-	ı	ı	(<	%	.	+
£	?	")	§	;	'	/	_	¥	Δ	Φ	Γ
Λ	Ω	Π	Ψ	Σ	Θ	Ξ						

GSM 03.38 文字セットには、前述のテーブルに示す記号に加えて、複数の記号が含まれています。ただし、これらの文字には、表示されないエスケープ文字も含まれているため、それぞれ 2 文字としてカウントされます。

- ^
- {
- }
- \
- [
-]
- ~
- |
- €

最後に、GSM 03.38 文字セットには以下の印刷されない文字も含まれています。

- 空白文字。
- 改行制御。テキストのある行の行末であるとともに、次の行の先頭であることを示します。
- キャリッジリターン制御。テキストの行の先頭に移動します (通常は次の改行文字)。
- エスケープ制御。前述のリストの文字に自動的に追加されます。

メッセージの例

このセクションでは、SMS メッセージの例をいくつか示します。このセクションには、それぞれの例について、メッセージの合計文字数とメッセージ部分の数が表示されます。

例 1: GSM 03.38 アルファベットの文字のみを含む長いメッセージ

次のメッセージには GSM 03.38 アルファベットの文字のみが含まれています。

```
Hello Carlos. Your Example Corp. bill of $100 is now available. Autopay is scheduled for next Thursday, April 9. To view the details of your bill, go to https://example.com/bill1.
```

上のメッセージには 180 文字が含まれているため、複数のメッセージパートに分割する必要があります。メッセージを複数のメッセージパートに分割した場合、各パートには 153 文字の GSM 03.38 を含めることができます。そのため、このメッセージは 2 つのメッセージ部分として送信されます。

例 2: マルチバイト文字を含むメッセージ

次のメッセージには、GSM 03.38 アルファベットではない、複数の中国語の文字が含まれています。

```
#####.####1994#7#####
```

上のメッセージには 71 文字が含まれています。ただし、メッセージ内のほとんどすべての文字は GSM 03.38 アルファベットではないため、2 つのメッセージパートとして送信されます。メッセージパートごとに最大 67 文字を含めることができます。

例 3: GSM 以外の文字を 1 つ含むメッセージ

次のメッセージには、GSM 03.38 アルファベットに属さない文字が 1 つ含まれています。この例で、その文字は閉じる単一引用符 (') であり、通常のアポストロフィ (') とは別の文字です。Microsoft Word などのワードプロセッシングアプリケーションでは、アポストロフィが自動的に終一重引用符に置き換えられることがよくあります。Microsoft Word で SMS メッセージの下書きを作成して Amazon Pinpoint SMS に貼り付ける場合は、これらの特殊文字を削除してアポストロフィに置き換えてください。

```
John: Your appointment with Dr. Salazar's office is scheduled for next Thursday at 4:30pm. Reply YES to confirm, NO to reschedule.
```

上のメッセージには 130 文字が含まれています。ただし、GSM 03.38 アルファベットに属さない閉じる単一引用符文字が含まれているため、メッセージは 2 つのメッセージパートとして送信されます。

このメッセージの末尾の一重引用符を GSM 03.38 アルファベットの一部であるアポストロフィに置き換えると、メッセージは単一のメッセージ部分として送信されます。

メッセージパート/秒 (MPS) の制限

SMS のメッセージは、message parts と呼ばれる 140 バイトのセクションで配信されます。非常に長いメッセージや、マルチバイト文字を多く含むメッセージは、いくつかのメッセージパートに分割されます。これらのメッセージは通常、受信者のデバイス上で再結合され、複数の短いメッセージではなく、1 つの長いメッセージとして表示されます。SMS の文字制限の詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。

このため、SMS スループット制限は、スロットリングとも呼ばれ、メッセージパート/秒 (MPS)、つまり 1 秒あたりに送信できるメッセージパートの最大数で測定されます。MPS の制限は、メッセー

ジの送信先の国と、メッセージの送信に使用する送信元番号と呼ばれる電話番号のタイプによって異なります。例えば、米国のショートコードを使用して、米国内の受信者にメッセージを送信する場合、100 MPS を送信することができます。ただし、米国の通話料無料番号を使用して米国の受信者に送信する場合、3 MPS のみを送信するようにスロットリングされます。

以下のセクションでは、様々な種類の発信番号と様々な国のMPSについて説明します。

ショートコード

以下の表は、専用ショートコードの一般的な MPS の制限を示したものです。

地域別	MPS
米国 (US)	100 MPS
カナダ (CA)	100 MPS
他のすべての国と地域	国または地域によって異なります。

ロングコード

以下の表は、専用ロングコードの一般的な MPS の制限を示したものです。

地域別	MPS
米国 (US) (10DLC)	デフォルトは 1 MPS。制限の引き上げは変動します。タイプまたはブランドレベルに基づいて、キャリアに依存する を参照してください 10DLC の登録プロセス 。制限の引き上げを送信するには、「」を参照してください Amazon Pinpoint SMS のクォータ 。
カナダ (CA)	1 MPS
他のすべての国と地域	10 MPS

通話料無料の番号

通話料無料は現在、米国内でのみ利用可能です。米国の通話料無料番号は 3 MPS をサポートしており、通話料無料番号を登録する必要があります。通話料無料番号の登録の詳細については、「[米国フリーダイヤル番号登録フォーム](#)」を参照してください。

Important

スループット要件が 3 MPS を超える場合、10DLC 番号またはショートコードを使用する必要があります。複数の通話料無料番号を購入し、それらの間でスループットを分散しようとすると、通信事業者はこれを「Snowshoeing」として識別し、ネットワークからのすべてのメッセージをフィルタリングする可能性があります。「snowshoeing」の詳細については、「」を参照してください。[禁止メッセージの内容](#)

送信者 ID

次の表は、送信者 ID の一般的な MPS 制限値を示しています。

送信者 ID タイプ	MPS
Amazon Pinpoint SMS API または Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用したユーザー定義	10 MPS

共有ルート

次の表は、共有ルートの一般的な MPS 制限を示しています。

送信者 ID タイプ	MPS
共有ルート / お客様専用番号	20 MPS

メッセージタイプとメッセージルートの違い

Amazon Pinpoint SMS を介して送信されるメッセージは、プロモーション用でもトランザクション用でもかまいません。プロモーションメッセージタイプは、通常、マーケティングまたは販売関連のメッセージで構成されます。国や地域によっては、プロモーションメッセージの送信が禁止されているクワイエットタイムという時間帯があります。トランザクションメッセージタイプは、パスワードのリセットやワンタイムパスワードなど、時間に敏感なメッセージ用です。

Amazon Pinpoint SMS API [SendTextMessages](#) のオペレーションを使用して、ルートタイプをオプションパラメータとして渡します。送信者 ID を発信者として使用する場合や、番号のプールを共有している場合もあります。宛先国のアカウントに取引番号とプロモーション番号の両方が関連付けられている場合、Amazon Pinpoint SMS はデフォルトで取引番号を選択します。配送領収書および配信ダッシュボードには、選択した番号に基づいて、プロモーションまたはトランザクションのどちらかのルートが表示されます。

オプトアウト

Amazon Pinpoint SMS コンソールの SMS 設定ページでオプトアウト設定を管理します。デフォルトでは、オプトアウトは AWS によって自動的に管理されます。お客様は、セルフマネージドオプトアウトを有効にすることで、自動オプトアウト処理を無効にすることができます。アカウントには、オプトアウトを管理する番号と AWS、自分でオプトアウトを管理する番号の両方を含めることができます。セルフマネージドオプトアウトの有効化について詳しくは、「[セルフマネージドオプトアウト](#)」を参照してください。

サポートされているオプトアウトキーワード

現地の法律および規制により義務付けられている場合 (米国およびカナダなど)、SMS の受取人は、デバイスを利用して以下のいずれかのメッセージに返信することによって、オプトアウトできます。

Note

電話番号や電話プールにカスタムキーワードを追加してオプトアウトできます。

- 停止
- CANCEL
- END

- OPT-OUT
- OPTOUT
- QUIT
- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信に使用したのと同じ電話番号に返信する必要があります。オプトアウトすると、受取人は AWS アカウントから SMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。ユーザーは、UNSTOP または START をキーワードとして新しいメッセージをフリーダイヤルに送信することで再購読できます。

ユーザーに再購読を許可するように設定するには、フリーダイヤル番号に「UNSTOP」、「START」、またはその両方のキーワードを追加し、キーワードアクションをに設定します。Opt-inキーワードの追加の詳細については、[を参照してください。](#) [キーワードを管理する](#)

電話番号または送信者 ID の選択

専用電話番号は国によって異なります。ある国の専用電話番号をリクエストしても、それを別の国の ID として使用することはできません。

Amazon Pinpoint SMS を使用して SMS メッセージを送信する場合、送信者 ID、ロングコード、10桁のロングコード (10DLC)、ショートコード、または通話料無料番号を使用して、受信者を特定できます。これらのタイプの ID にはそれぞれ独自の利点と欠点があり、以降のセクションで説明します。送信元 ID は、各に固有のリソースであるため AWS リージョン、間で共有することはできません AWS リージョン。発信元 ID にクロス AWS アカウント および AWS リージョン アクセスを付与できます。

例えば、ユースケースで米国とカナダにメッセージを送信する必要がある場合は、両方の国に発信元 ID をプロビジョニングする必要があります。その国にローカル AWS リージョン などで発信元 ID をプロビジョニングする必要はありません。両方の発信元 ID を米国西部 (オレゴン) にプロビジョニングできます。別の例として、ユースケースで米国とインドにメッセージを送信する必要がある場合 AWS リージョン は、レイテンシーを減らすために、メッセージの送信先に地理的に近いで発信元 ID をプロビジョニングできます。詳細については、[「Amazon Pinpoint Resilient Architecture Guide」](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、ユースケースに応じて、次のいずれかの送信元 ID を使用することをお勧めします。レコメンデーションは、SMS や音声の機能、双方向の番号、毎月のメッセージの見積りなど、入力基準に基づいています。

トピック

- [送信者 ID](#)
- [ロングコード](#)
- [10 桁のロングコード \(10DLC\)](#)
- [ショートコード](#)
- [通話料無料番号 \(TFN\)](#)
- [発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項](#)
- [一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)
- [双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)

送信者 ID

送信者 ID は、SMS メッセージの送信者を識別する英数字名です。送信者 ID を使用して SMS メッセージを送信し、送信者 ID 認証がサポートされているエリアに受信者がいる場合は、電話番号ではなく、送信者 ID が受信者のデバイスに表示されます。送信者 ID は、電話番号やショートコードよりも、送信者に関する詳細な情報を SMS の受取人に示すことができます。

送信者 ID は、世界の一部の国や地域でサポートされています。一部の地域では、企業として個別のお客様に SMS メッセージを送信する場合は、事前に規制当局または業界団体に登録されている送信者 ID を使用する必要があります。送信者 ID をサポートしている、または必要な国や地域の詳細な一覧は、「[SMS 国の機能と制限](#)」を参照してください。

利点

送信者 ID は、メッセージの送信者に関する詳細を受取人に示します。ショートコードやロングコードよりも、送信者 ID を使用した方が簡単にブランドのアイデンティティを確立することができます。送信者 ID の使用には追加料金はかかりません。

欠点

送信者 ID 認証のサポートや要件は、国やリージョンによって異なります。主要な市場 (例: カナダ、中国、米国) の中には、送信者 ID がサポートされていない場合があります。一部のエリアでは、送信者 ID を使用する前に、規制機関の事前承認を取得する必要があります。送信者 IDs 双方向 SMS メッセージングをサポートしていません。

ロングコード

ロングコードは、受取人が居住する国または地域の番号形式を使用する電話番号です。また、ロングコードは、ロング番号または仮想携帯電話番号とも呼ばれます。例えば、米国やカナダでは、ロングコードは、1 桁の国コード、3 桁の市外局番、7 桁の電話番号の 11 桁で構成されます。

利点

専用ロングコードは Amazon Pinpoint SMS アカウントでのみ使用するように予約されており、他のユーザーと共有されることはありません。専用のロングコードを使用する場合は、各メッセージを送信する際に使用するロングコードを指定することができます。複数のメッセージを同じ顧客に送信する場合は、各メッセージが同じ電話番号から送信されるように表示することができます。そのため、専用のロングコードは、ブランドまたはアイデンティティを確立する上で便利です。専用ロングコードは双方向 SMS メッセージをサポートし、お客様からの受信メッセージを受信できます。

欠点

専用のロングコードから、1 日あたり数百通のメッセージを送信すると、携帯端末通信事業者により、お使いの番号が未承諾メッセージを送信する番号として認識される場合があります。ロングコードにフラグが設定されると、メッセージが受取人に配信されない場合があります。

ロングコードのスループットも制限されています。ロングコードが最も一般的に使用されている米国やカナダでは、1 秒間に最大 1 通のメッセージを送信できます。その他の国の最大送信レートは異なります。詳細については、AWS サポートにお問い合わせください。大量の SMS メッセージを送信する予定がある場合、または 1 秒あたり 2 通以上のメッセージを超えるレートで送信する場合は、専用のショートコードを購入する必要があります。

米国では、A2P SMS メッセージにローカルのロングコードを使用することはできません。詳細については、[10 桁のロングコード \(10DLC\)](#)を参照してください。

10桁のロングコード (10DLC)

米国で現地のロングコードを使用して SMS メッセージを送信する場合は、10DLC (米国内専用 10桁のロングコード) を申請する必要があります。

多くの管轄区域では、ロングコードを使用した Application-to-Person (A2P) SMS メッセージの送信に関連する制限があります。A2P SMS は、アプリケーションに携帯電話番号を入力してモバイルデバイスに送信するメッセージです。A2P メッセージは、マーケティングメッセージ、ワンタイムパスワード、予定のリマインダーなどの一方向の会話です。A2P メッセージを送信する予定の場合は、専用ショートコード (米国またはカナダにいる場合) を購入するか、10DLCをリクエストするか (お客様が米国内の場合のみ)、送信者 ID (送信者 ID がサポートされている国または地域に受信者がいる場合) を使用する必要があります。

10DLC 番号は、米国内のメッセージ送信にのみ使用されます。10DLC 番号を利用するには、企業ブランドと番号を関連付けるキャンペーンを登録する必要があります。承認されると、10DLC 電話番号をリクエストできます。申請後、承認されるまでの期間は 7~10 日間です。この番号は他のキャンペーンとの併用はできません。

ショートコード

ショートコードは、通常の電話番号よりも短い数字列です。例えば、米国とカナダでは、標準の電話番号 (ロングコード) は 11 桁、ショートコードは 5 桁または 6 桁の数字で構成されます。米国またはカナダの受信者に大量の SMS メッセージを送信する場合は、ショートコードを購入することができます。このショートコードはお客様専用です。

Note

共有ショートコードは米国の通信事業者ではサポートされなくなり、Amazon Pinpoint SMS からは利用できなくなりました。

利点

覚えやすいショートコードを使用すれば、信頼の構築に役立ちます。ワンタイムパスワードなどの機密情報を送信する必要がある場合は、ショートコードを使用してメッセージを送信することをお勧めします。これにより、顧客は、お客様からのメッセージであることを迅速に判断することができます。

新規顧客獲得キャンペーンを実施している場合は、ショートコードにキーワードを送信するように、見込み顧客を招待することができます (例: 「サッカーのニュースや情報の取得は「FOOTBALL」と

いうメッセージを「10987」へ送信します)。ショートコードはロングコードよりも覚えやすいため、顧客がデバイスにショートコードを入力する方が簡単です。顧客がマーケティングプログラムに登録する際に発生する問題を軽減することで、キャンペーンの効果を高めることができます。

携帯端末通信事業者は、アクティブにする前に新しいショートコードを承認する必要があるため、ショートコードから送信されたメッセージに未承諾のフラグが付けられる可能性は低くなります。

ショートコードを使用して SMS メッセージを送信すると、他の種類の送信元アイデンティティを使用する場合よりも、24 時間ごとにさらに多くのメッセージを送信できます。つまり、送信クォータが高くなります。また、1 秒あたりのメッセージのボリュームを大幅に増やすこともできます。つまり、送信レートが高くなります。

欠点

ショートコードを取得するには追加コストがかかるため、実装に時間がかかることがあります。例えば、米国では、ショートコードごとに 1 回限りのセットアップ費用 650 USD と、ショートコードごとに 1 か月当たり 995 USD の追加の繰り返し課金が発生します。すべての通信事業者ネットワークで、ショートコードを有効にするには、8~12 週間かかります。

通話料無料番号 (TFN)

通話料無料は通常、登録確認やワンタイムパスワードの送信など、取引上のメッセージに使用され、米国内でのみ使用されます。音声メッセージと SMS の両方に使用することができます。平均的なスループットは 3 メッセージパート/秒 (MPS) ですが、このスループットは文字エンコーディングに影響されます。文字エンコーディングがメッセージパートに与える影響については、[SMS の制限と規制](#) を参照してください。

米国の携帯端末通信事業者では、ライブメッセージを有効にする前に通話料無料番号を登録する必要があります。「[登録](#)」を参照してください。通話料無料番号を使用または登録する場合は、「のベストプラクティス」セクションのガイドラインに従うことをお勧めします。[禁止メッセージの内容](#)

発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項

どのタイプの発信元 ID を使用するかを決める際には、考慮すべきガイドラインがいくつかあります。

- 送信者 ID は、一方向のユースケースには最適なオプションです。ただし、すべての国で利用できるわけではありません。
- ショートコードは双方向のユースケースに最適なオプションです。ショートコードを使用するかロングコードを使用するかを選択する必要がある場合は、ショートコードを選択してください。

- 一部の国 (インドやサウジアラビアなど) では、ロングコードは受信メッセージの受信には使用できませんが、送信メッセージの送信には使用できません。これらの受信専用ロングコードを使用すると、送信者 ID を使用して送信したメッセージを受信者がオプトアウトできるようになります。
- 一部の国では、共有発信元 ID のプールを管理しています。特定の国の受信者にメッセージを送信しても、送信者にその国に専用の発信元 ID がない場合は、これらの共有 ID のいずれかを使用してメッセージを配信するよう努めます。共有 ID は、米国や中国など一部の国では利用できません。
- モバイル業界は急速に変化しています。多くの国では、商用 SMS メッセージに対する規制が強化される傾向にあります。通信事業者は、ほとんどまたはまったく警告なしに、共有発信元 ID からのメッセージの送信を禁止することを決定する場合があります。その場合は、できる限り事前の警告をして、これらの変更についてお客様に伝えるよう努めます。ただし、通常、通信事業者はこれらの変更について事前に通知することはほとんどありません。これらの理由から、専用発信元 ID は共有発信元 ID よりも常に優先されます。

一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択

一方向メッセージングのユースケースは、送信する SMS メッセージを受信者に送信するのみのユースケースです。このセクションでは、一方向メッセージングのユースケースに適した発信元 ID のタイプを選択する方法について説明します。ユースケースで双方向メッセージング (つまり、送信メッセージの送信と受信の両方の機能) が必要な場合は、代わりに [双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#) の質問に答えてください。

一方向メッセージングのユースケースでは、発信元 ID として、ショートコード、ロングコード、通話料無料番号、または英数字の送信者 ID を使用できます。送信元 ID のタイプは、特定のニーズと、受信者がいる国によって異なります。

次の質問に答えて、ニーズに合った適切な発信元 ID タイプを決定してください。複数の国に受信者がいる場合は、受信者がいる国ごとにこれらの質問に答えてください。

- 米国内の受信者にメッセージを送信する予定ですか？
 - [はい] と答えた場合は、[\[質問 2\]](#) に進みます。
 - [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 3\]](#) に進みます。
- ユースケースに最も適したスループットレートは？ スループットレートは、毎秒送信できるメッセージパーツの数です。

- 1秒あたり 1~3 のメッセージパーツ: 通話料無料番号を使用します。10DLC 番号またはショートコードを使用することもできます。これらの番号タイプには拡大の余地が十分ありますが、通話料無料番号よりもコストがかかり、取得に時間がかかります。

通話料無料番号のリクエストの詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1秒あたり 10~75 のメッセージパート: 10DLC 番号を使用します。ショートコードを使用することもできます。ショートコードを使用すると拡張の余地は増えますが、コストも高くなります。

10DLC の設定の詳細については、「[10DLC の登録プロセス](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1秒あたり 100 メッセージパート以上: ショートコードを使用します。AWS Support Center Consoleでリクエストを作成するときは、ショートコードでサポートするスループットレートを指定します。米国のショートコードは、デフォルトで 100 メッセージパート/秒をサポートしていますが、追加の月額料金でさらにスループットレートを上げることができます。

ショートコードのリクエストについては、「[Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングのショートコードのリクエスト](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

3. すべてのメッセージが同じ発信元 ID から送信されることは重要ですか？

- [はい] と答えた場合は、[\[質問 4\]](#)に進みます。
- [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 6\]](#)に進みます。

4. 送信者 ID は、メッセージを送信する予定の国でサポートされていますか？ 送信者 ID をサポートする国のリストについては、「[サポートされている国と地域 \(SMS チャネル\)](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、[\[質問 5\]](#)に進みます。
- [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 7\]](#)に進みます。

5. メッセージを送信する予定の国では、送信者 ID の事前登録が義務付けられていますか? Sender ID 登録が必要な国のリストについては、「[サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、送信先の国の送信者 ID プロセスを完了します。登録プロセスが完了すると、送信者 ID を使用してメッセージを送信できます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[質問 1](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ] と答えた場合は、メッセージを送信するときに送信者 ID を指定できます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[質問 1](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

6. インドの受信者にメッセージを送信する予定ですか?

- [はい] と答えた場合は、すぐに送信を開始できます。ただし、送信したメッセージには国際長距離事業者 (ILDO) の料金が課金されます。この料金は、登録済みの送信者 ID を使用して送信されるメッセージの数倍の費用がかかります。コストが重要な場合は、会社とユースケースをインドで登録することを検討します。この登録プロセスを完了すると、より安価な現地料金でメッセージを送信できます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[質問 1](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ] と答えた場合は、発信元 ID を取得しなくても送信を開始できます。メッセージは、他の Amazon Pinpoint ユーザーと共有される発信元 ID を使用して送信されます。送信先の国のモバイルネットワークの機能によって、受信者が送信者からのメッセージを受信したときにどのような ID が表示されるかが決まります。未登録の送信者 ID をサポートする国では、メッセージは汎用の送信者 ID (「NOTICE」など) を使用して送信されます。送信者 ID をサポートしていない国では、メッセージはランダムなロングコードまたはショートコードから送信されます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[質問 1](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

7. メッセージを送信する予定の国では、専用のショートコードを利用できますか? 専用のショートコードをサポートしている国のリストについては、「[サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、ショートコードを使用してください。
- [いいえ] と答えた場合は、[質問 8](#) に進みます。

8. メッセージを送信する予定の国では、専用のロングコードを利用できますか？専用のロングコードをサポートしている国のリストについては、「[サポートされている国と地域 \(SMS チャネル\)](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、専用のロングコードを使用できます。ただし、その国で他のタイプの専用 ID (送信者 ID やショートコードなど) が使用できる場合は、代わりに、そうした他のタイプの ID を使用してください。他のタイプの発信元 ID も利用できる場合、通信事業者がロングコードを使用して送信されるメッセージをブロックする可能性が高くなります。

専用 SMS ロングコードのリクエストについては、「[Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングの専用ロングコードのリクエスト](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ] と答えた場合は、発信元 ID を取得しなくても送信を開始できます。メッセージは、他の Amazon Pinpoint ユーザーと共有される発信元 ID を使用して送信されます。送信先の国のモバイルネットワークの機能によって、受信者が送信者からのメッセージを受信したときにどのような ID が表示されるかが決まります。未登録の送信者 ID をサポートする国では、メッセージは汎用の送信者 ID (「NOTICE」など) を使用して送信されます。送信者 ID をサポートしていない国では、メッセージはランダムなロングコードまたはショートコードから送信されます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択

双方向メッセージングのユースケースは、顧客への送信 SMS メッセージの送信と顧客からの受信 SMS メッセージの受信の両方を含むユースケースです。このセクションでは、双方向メッセージングのユースケースに適した発信元 ID のタイプの選択について説明します。ユースケースで一方のメッセージング (つまり、送信メッセージのみの送信機能) が必要な場合は、代わりに [一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#) の質問に答えます。

受信 SMS メッセージを受信する予定がある場合は、専用の電話番号が必要です。専用電話番号には、顧客の所在国によって異なるタイプがあります。

次の質問に答えて、ニーズに合った適切な発信元 ID タイプを決定してください。複数の国に受信者がいる場合は、受信者がいる国ごとにこれらの質問に答えてください。

1. メッセージの送信先として予定している国では双方向メッセージングがサポートされていますか？ 双方向メッセージングをサポートしている国のリストについては、「[サポートされている国と地域 \(SMS チャネル\)](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、[\[質問 2\]](#)に進みます。
- [いいえ] と答えた場合は、双方向メッセージのユースケースはサポートされていませんが、一方メッセージは送信できます。一方メッセージを送信するための発信元 ID を見つけるには、「[一方メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)」を参照してください。

2. 米国内の受信者にメッセージを送信する予定ですか？

- [はい] と答えた場合は、[\[質問 3\]](#)に進みます。
- [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 4\]](#)に進みます。

3. 次のうち、要件に最も適したスループットレートはどれですか？ スループットレートは、毎秒送信できるメッセージパーツの数です。

- 1 秒あたり 1~3 のメッセージパーツ: 通話料無料番号を使用します。10DLC 番号またはショートコードを使用することもできます。これらの番号タイプには拡大の余地が十分ありますが、コストも高くなり、入手に時間がかかります。

通話料無料番号のリクエストの詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1 秒あたり 10~75 のメッセージパート: 10DLC 番号を使用します。ショートコードはユースケースにも適しており、拡張の余地は増しますが、コストも高くなります。

10DLC の設定の詳細については、「[10DLC の登録プロセス](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1 秒あたり 100 メッセージパート以上: ショートコードを使用します。AWS Support Center Console でリクエストを作成するときは、ショートコードでサポートするスループットレートを指定します。米国のショートコードは、デフォルトで 100 メッセージパート/秒をサポートしていますが、追加の月額料金でさらにスループットレートを上げることができます。

ショートコードのリクエストについては、「[Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングのショートコードのリクエスト](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

4. メッセージを送信する予定の国では、専用のショートコードを利用できますか？ショートコードを使用できる国のリストについては、「[サポートされている国と地域 \(SMS チャネル\)](#)」を参照してください。

- 「はい」と答えた場合は、専用のショートコードを使用します。ショートコードのリクエストについては、「[Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングのショートコードのリクエスト](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ]と答えた場合は、専用のロングコードを使用します。専用 SMS ロングコードのリクエストについては、「[Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングの専用ロングコードのリクエスト](#)」を参照してください。

Note

宛先国で専用のショートコードと専用のロングコードのどちらも利用できる場合は、専用のショートコードを使用してください。ショートコードも利用できる場合、携帯端末通信事業者はロングコードから送信されるメッセージをブロックまたは制限する可能性が高くなります。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

電話プール

プールは、メッセージの送信に使用できる同じ設定を共有する電話番号または送信者 ID の集まりです。電話プールを介してメッセージを送信すると、電話プールはメッセージの送信に使用する適切な発信元 ID を選択します。電話プール内の発信元 ID に障害が発生した場合、電話プールは同じ電話プール内の別の発信元 ID にフェールオーバーします。

プールを作成するときに、指定した発信元 ID を設定できます。この ID には、キーワード、メッセージタイプ、オプトアウトリスト、双方向設定、およびセルフマネージド型オプトアウト設定が含まれます。たとえば、プールを使用すると、オプトアウトした宛先の電話番号のリストを、特定の国

の電話番号に関連付けることができます。それにより、メッセージの受け取りを既にオプトアウトしているユーザーにメッセージが送信されることを防止できます。

プールに追加するすべての電話番号の設定は、プールを作成したときに指定した最初の電話番号の設定と一致する必要があります。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプールを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

トピック

- [電話プールの管理](#)
- [電話番号または送信者 ID を電話番号プールに追加する](#)
- [双方向 SMS メッセージング](#)
- [キーワード](#)
- [オプトアウトリスト](#)
- [共有ルート](#)
- [削除保護](#)
- [タグ](#)

電話プールの管理

新しい電話プールを作成すると、最初に追加された電話番号または送信者 ID からすべての設定が継承されます。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプールを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

プールを削除する前に、削除保護をオフにし、電話プールから発信者の 1 人を除くすべての 1 人を削除する必要があります。削除保護を無効にする方法の詳細については、「」を参照してください[削除保護](#)。プールに関連付けられた電話番号と送信者 IDs は、Amazon Pinpoint SMS アカウントに残ります。

Note

電話番号または送信者 ID を電話プールに追加し、更新する必要がある場合は、電話プールに変更を加えます。例えば、電話番号に新しいキーワードを追加する場合は、電話番号ではなく、電話番号プールにキーワードを追加します。

Create a phone pool (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してプールを作成するには、次の手順に従います。

プールを作成するには (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 「電話プール」ページで、「電話プールの作成」を選択します。
4. プール設定セクションのプール名にプールの名前を入力します。
5. 以下のオプションのいずれかを選択します。
 - 電話番号 – このオプションを選択した場合は、関連付けが可能な電話番号セクションで、プールに関連付ける電話番号を選択します。
 - シミュレーター番号 – 電話番号がなく、シミュレーターの電話番号をリクエストする場合は、関連付けが可能な電話番号セクションで電話番号を選択します。
 - シミュレーター番号のリクエストを選択します。
 - リクエストシミュレーター番号で、ドロップダウンリストから国を選択します。
 - リクエスト番号を選択します。
 - 送信者 ID – このオプションを選択した場合は、関連付けに使用できる送信者 IDs セクションで、プールに関連付ける送信者 ID を選択します。
6. (オプション) タグを展開し、新しいタグを追加を選択します。
 - a. 新しい空白のキーと値のペアを入力します。
 - b. (オプション) 新しいタグを追加を選択して、別のタグを追加します。
7. 電話プールの作成を選択します。

Create a phone pool (AWS CLI)

[create-pool](#) コマンドを使用して、新しいプールを作成できます。

RequestPhoneNumber API を使用して電話番号を購入するときに、電話番号をプールに追加することもできます。詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

を使用してプールを作成するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-pool \  
> --origination-identity originationIdentity \  
> --iso-country-code XX \  
> --message-type TRANSACTIONAL
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *originationIdentity* を、プールに追加する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

 Tip

電話番号の ID と ARN は、[describe-phone-numbers](#) オペレーションを使用して確認できます。送信者 ID の ID と ARN は、[describe-sender-ids](#) オペレーションを使用して確認できます。

- *XX* を *originationIdentity* の国の ISO-3166 alpha-2 識別子に置き換えます。
- プールを使用してマーケティングメッセージやプロモーションメッセージを送信する予定の場合は、*TRANSACTIONAL* を *PROMOTIONAL* に置き換えます。それ以外の場合は、*TRANSACTIONAL* を使用します。

List phone pools (AWS CLI)

[describe-pools](#) CLI を使用して、既存のプールに関する情報を表示できます。

このオペレーションでは、Amazon Pinpoint アカウントのすべてのプールの完全なリスト、特定のプールに関する情報、または定義した条件に基づいてフィルタリングされたプールのリストを表示できます。

を使用してすべてのプールのリストを取得するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools
```

特定のプールに関する情報を検索するには、PoolId パラメータを使用します。

を使用して特定のプールに関する情報を取得するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools \  
> --pool-id poolId
```

上記のコマンドで、*poolId* をプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

フィルタリングされたプールのリストを表示するには、Filters パラメータを使用します。フィルターには次の値を使用できます。

- status – プールの現在のステータス (ACTIVE など)。
- message-type – プールを使用して送信するメッセージのタイプ。想定される値は、TRANSACTIONAL または PROMOTIONAL です。
- two-way-enabled – プール内の番号に対して双方向 SMS メッセージングが有効になっているかどうかを示すブール値。
- self-managed-opt-outs-enabled – プール内の番号に対してセルフマネージド型 SMS オプトアウトが有効になっているかどうかを示すブール値。
- opt-out-list-name – プールに関連付けられているオプトアウトリストの名前。
- shared-routes-enabled – プールに対して共有ルートが有効になっているかどうかを示すブール値。
- deletion-protection-enabled – DeletePhoneNumber オペレーションを使用して電話番号を削除できるかどうかを示すブール値。

例えば、双方向メッセージングをサポートするトランザクションメッセージのプールを一覧表示するには、コマンドラインで次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools \  
> --filters Name=message-type,Values=TRANSACTIONAL \  
> --filters Name=two-way-enabled,Values=true
```

Delete a phone pool (Console)

プールを削除する前に、削除保護をオフにし、電話プールからすべての発信者を削除する必要があります。Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してプールを削除するには、次の手順に従います。

プールを削除するには (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページで、削除するプールを選択します。
4. [削除] をクリックします。
5. **release** を入力し、確認してプールを削除します。

Delete a phone pool (AWS CLI)

プールを削除する前に、削除保護をオフにし、電話プールからすべての発信者を削除する必要があります。[delete-pool](#) API を使用してプールを削除できます。

を使用してプールを削除するには AWS CLI

- プールを削除するには、コマンドラインで次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-pool \  
> --pool-id pool-78ec067f62f94d57bd3bab991example
```

前述のコマンドで、*pool-78ec067f62f94d57bd3bab991example* を、プールの一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。これらの値の両方を見つけるには、[describe-pools](#) オペレーションを使用します。

電話番号または送信者 ID を電話番号プールに追加する

Important

プールに追加するすべての電話番号または送信者 ID の設定は、電話プールの設定と一致する必要があります。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプー

ルを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

Add a phone number or sender ID to a pool (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して電話番号または送信者 ID をプールに追加するには、次の手順に従います。

電話番号または送信者 ID を追加する (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページで、発信元 ID を追加する電話プールを選択します。
4. 関連プールの発信者 タブで、発信者を追加を選択します。
5. 以下のオプションのいずれかを選択します。
 - 電話番号 – このオプションを選択した場合は、関連付けに使用できる電話番号セクションで、次の手順を実行します。
 - 電話番号プールに追加する電話番号を選択します。
 - 送信者 ID – このオプションを選択した場合は、関連付けに使用できる送信者 IDs セクションで、次の操作を行います。
 - 送信者 ID を選択して、電話プールを追加します。
6. 発信者をプールに追加するを選択します。

Add a phone number or sender ID to a pool (AWS CLI)

CLI [associate-origination-identity](#) を使用して、既存のプールに電話番号または送信者 IDs を追加できます。

プールに追加するすべての電話番号または送信者 ID の設定は、プールの作成時に指定した最初の電話番号または送信者 ID の設定と一致する必要があります。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプールを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

を使用して電話番号または送信者 ID をプールに追加するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 associate-origination-identity \  
> --pool-id poolId \  
> --origination-identity originationIdentity \  
> --iso-country-code US
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *poolId* を、送信元 ID を追加するプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *originationIdentity* を、プールに追加する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *+12065550142* を、プールに追加する送信元 ID に置き換えます。この値には、ショートコード、電話番号、または送信者 ID を使用できます。
- *US* を、発信者 ID の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コードに置き換えます。

List origination identities (AWS CLI)

[list-pool-origination-identities](#) CLI を使用して、特定のプールに追加されたすべての発信元 ID に関する情報を表示できます。

を使用してプール内の発信元 IDs のリストを表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 list-pool-origination-identities \  
> --pool-id pool-78ec067f62f94d57bd3bab991example
```

上記のコマンドで、*poolId* をプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

双方向 SMS メッセージング

Amazon Pinpoint SMS には、双方向 SMS のサポートが含まれています。双方向 SMS を設定すると、お客様からの着信メッセージを受信することができます。また、双方向メッセージングを Lambda や Amazon Lex などの他の AWS サービスと併用して、インタラクティブなテキストメッセージング体験を作成することもできます。

お客様の 1 人が電話番号にメッセージを送信すると、メッセージ本文は処理のために Amazon SNS トピックまたは Amazon Connect に送信されます。

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS 国の機能と制限](#)」を参照してください。

送信者 IDs 双方向 SMS メッセージングをサポートしていません。

Note

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS 国の機能と制限](#)」を参照してください。

双方向 SMS 用の Amazon Connect は、Amazon Connect 「Amazon Connect 管理者ガイド」の「[チャットメッセージング: SMS サブタイプ AWS リージョン](#)」に記載されている利用できます。

Two-way SMS messaging (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して双方向 SMS を有効にするには、次の手順に従います。

双方向 SMS を有効にする

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 「電話プール」ページで「電話プール」を選択します。
4. 双方向 SMS タブで設定の編集を選択します。
5. 「設定の編集」ページで「双方向メッセージを有効にする」をオンにします。
6. 送信先タイプには、Amazon SNS または Amazon Connect を選択します。

- Amazon SNS では、新しい Amazon SNS トピックまたは既存の Amazon SNS トピックのいずれかを選択し、双方向チャンネルロールでは、既存の IAM ロールを選択するか、Amazon SNS トピックポリシーを使用するを選択します。
- 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントにトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「Amazon SNS デベロッパーガイド」の「[Amazon SNS を設定する](#)」を参照してください。
- 既存の Amazon SNS トピック – このオプションを選択した場合は、受信メッセージの宛先ドリップダウンから既存の Amazon SNS トピックを選択する必要があります。
- 双方向チャンネルロールでは、次のいずれかを選択します。
 - 既存の IAM ロールの選択 – Amazon SNS トピックに適用する既存の IAM ポリシーを選択します。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#)。
 - Amazon SNS トピックポリシーを使用する – Amazon SNS トピックには、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを許可するための適切な Amazon SNS トピックポリシーが必要です。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー](#)。
- [双方向チャンネルの役割] の Amazon Connect では、[既存の IAM ロールを選択する] を選択します。
 - [既存の IAM ロール] ドリップダウンで、メッセージの送信先として既存の IAM ロールを選択します。IAM ポリシーの例については、[Amazon Connect の IAM ポリシー](#) 「」を参照してください。

7. [変更の保存] をクリックします。

Two-way SMS messaging (AWS CLI)

[update-pool](#) コマンドを使用して、双方向 SMS を有効にできます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-pool \  
> --pool-id poolid \  
> --two-way-channel-arn TwoWayARN \  
> --two-way-channel-role TwoChannelWayRole
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *poolid* を電話番号の PhonePoolID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *TwoWayARN* を Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えて、受信 SMS メッセージを受信します。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー](#)。Amazon Connect をインバウンド送信先セット *TwoWayARN* として設定するには、を に設定します `connect.region.amazonaws.com`。 *region* AWS リージョン を Amazon Connect インスタンスがホストされている に置き換えます。
- を使用する IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) *TwoChannelWayRole* に置き換えます。SNS アクセス許可ポリシーの例については、[Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#) 「」を参照してください。Amazon Connect ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon Connect の IAM ポリシー](#)。このパラメータは、IAM アクセス許可ポリシーを使用する場合にのみ必要です。

Amazon SNS トピックの IAM ポリシー

Amazon Pinpoint SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、Amazon Pinpoint SMS が引き受けられるように、そのロールに次のポリシーをアタッチします。ロールの信頼関係を変更する方法については、[IAM ユーザーガイドの「ロールの変更」](#)を参照してください。

以下は、IAM ロールの信頼ポリシーです。次の変更を加えます。

- *accountId* を の一意の ID に置き換えます AWS アカウント。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoice",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sts:AssumeRole",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        }
      }
    }
  ]
}
```

```

    }
  }
]
}

```

IAM ロールのアクセス許可ポリシーは次のとおりです。SMSVoiceAllowSNSPublish Sid は Amazon SNS トピックへの発行を許可するアクセス許可ポリシーであり、Sid SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics は暗号化された Amazon SNS トピックのオプションです。

次の IAM アクセス許可ポリシーで、次の変更を加えます。

- *partition* は、Amazon Pinpoint SMS を使用する AWS パーティションに置き換えます。
- *region* AWS リージョン は、Amazon Pinpoint SMS を使用する に置き換えます。
- *accountId* を の一意の ID に置き換えます AWS アカウント。
- を、メッセージを受信する Amazon SNS トピック *snsTopicArn* に置き換えます。

```

{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowSNSPublish",
      "Effect": "Allow",
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicArn",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:ResourceAccount": "accountId"
        }
      }
    },
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "kms:Decrypt",
        "kms:GenerateDataKey*"
      ],
      "Resource": "*",
      "Condition": {
        "StringEquals": {

```

```
        "kms:EncryptionContext:aws:sns:topicArn":
    "arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicArn",
        "aws:CalledViaLast": "sns.amazonaws.com"
    }
}
]
```

Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー

Amazon SNS トピックは、*TwoChannelWayRole*パラメータで指定されていない場合、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを許可する適切なトピックポリシーが必要です。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": "sns:Publish",
  "Resource": "snsTopicArn"
}
```

上の例に、以下の変更を加えます。

- を、メッセージを送受信する Amazon SNS トピック *snsTopicArn* に置き換えます。

Note

Amazon SNS FIFO トピックはサポートされていません。

Amazon Pinpoint SMS データは暗号化されますが、セキュリティを強化するために AWS KMS キーを使用して暗号化された Amazon SNS トピックを使用できます。このようなセキュリティの強化は、プライベートなデータや機密性の高いデータを扱うアプリケーションに有効です。

暗号化された Amazon SNS トピックを双方向メッセージングで使用するには、いくつかの追加設定手順を実行する必要があります。

次のステートメント例では、「混乱した代理」問題を回避し、Amazon Pinpoint SMS 所有者アカウントのみがアクセスできるように、オプションですが推奨されている *SourceAccount* および

SourceArn条件を使用しています。混乱した代理問題の詳細については、[IAM ユーザーガイドの「混乱した代理問題」](#)を参照してください。

まず、使用する鍵は対称である必要があります。暗号化された Amazon SNS トピックは、非対称 AWS KMS キーをサポートしていません。

次に、Amazon Pinpoint SMS がキーを使用できるようにキーポリシーを変更する必要があります。既存のキーポリシーに以下の権限を追加します。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": [
    "kms:GenerateDataKey*",
    "kms:Decrypt"
  ],
  "Resource": "*",
  "Condition": {
    "StringEquals": {
      "aws:SourceAccount": "accountId"
    },
    "ArnLike": {
      "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:*"
    }
  }
}
```

キーポリシーの編集の詳細については、『AWS Key Management Service デベロッパーガイド』の「[Changing a key policy](#)」を参照してください。

AWS KMS キーを使用した Amazon SNS トピックの暗号化の詳細については、Amazon Simple Notification Service [デベロッパーガイドの「AWS のサービスからのイベントソースと暗号化されたトピック間の互換性を有効にする」](#)を参照してください。

双方向 SMS メッセージペイロードの例

番号が SMS メッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS は指定した Amazon SNS トピックに JSON ペイロードを送信します。次の例にあるように、JSON ペイロードにはメッセージと関連するデータが含まれています。

```
{
  "originationNumber":"+14255550182",
  "destinationNumber":"+12125550101",
  "messageKeyword":"JOIN",
  "messageBody":"EXAMPLE",
  "inboundMessageId":"cae173d2-66b9-564c-8309-21f858e9fb84",
  "previousPublishedMessageId":"wJalrXUtnFEMI/K7MDENG/bPxRfiCYEXAMPLEKEY"
}
```

着信メッセージペイロードには、次の情報が含まれています。

プロパティ	説明
originationNumber	受信メッセージを送信した電話番号（つまり、お客様の電話番号）。
destinationNumber	お客様がメッセージを送信した電話番号（専用の電話番号）。
messageKeyword	専用電話番号に関連付けられている登録済みのキーワード。
messageBody	お客様から送信されたメッセージ。
inboundMessageId	受信メッセージの一意の識別子。
previousPublishedMessageId	お客様が応答しているメッセージの一意の識別子。

Amazon Connect の IAM ポリシー

Amazon Pinpoint SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、Amazon Pinpoint SMS が引き受けられるように、そのロールに次のポリシーをアタッチします。ロールの既存の信頼関係を変更する方法については、[IAM ユーザーガイド](#)の「[ロールの変更](#)」を参照してください。

新しい IAM ポリシーを作成するには、次の手順を実行します。

1. 「IAM ユーザーガイド」の「[JSON エディタを使用したポリシーの作成](#)」の指示に従って、新しいアクセス許可ポリシーを作成します。
 - ステップ 4 では、以下で定義されたアクセス許可ポリシーを使用します。
2. 「IAM ユーザーガイド」の「[カスタム信頼ポリシーを使用したロールの作成](#)」の手順に従って、新しい信頼ポリシーを作成します。 https://docs.aws.amazon.com/IAM/latest/UserGuide/id_roles_create_for-custom.html
 - a. ステップ 4 では、以下で定義された信頼ポリシーを使用します。
 - b. ステップ 11 では、前のステップで作成したアクセス許可ポリシーを追加します。

以下は、IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。が Amazon Connect に発行することを許可します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "connect:SendChatIntegrationEvent"
      ],
      "Resource": [
        "*"
      ]
    }
  ]
}
```

IAM ロールの信頼ポリシーを次に示します。

- *accountId* を の一意の ID に置き換えます AWS アカウント。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoice",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
```

```
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": "sts:AssumeRole",
  "Condition": {
    "StringEquals": {
      "aws:SourceAccount": "accountId"
    }
  }
}
]
```

キーワード

キーワードは、顧客が電話番号に送信してレスポンスを引き出すことができる特定の単語またはフレーズです。例えば、情報メッセージ、より多くのメッセージを受信するオプトイン、特別なオファー、その他のプロモーションメッセージやトランザクションメッセージなどです。番号がキーワードで始まるメッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS はカスタマイズ可能なメッセージで応答します。

ショートコードの場合、コンソールには、 からショートコードをリクエストしたときに最初に定義したキーワードとレスポンスが表示されます AWS Support。 は、ショートコードをプロビジョニングするときに、キーワードとレスポンスを通信事業者 AWS Support に登録します。

ロングコードの場合、コンソールにはデフォルトのキーワードとレスポンスが表示されます。

[重要]

キーワードと応答メッセージは、通信事業者と携帯電話業界グループによって設定されたガイドラインに従う必要があります。従っていない場合は、監査の後、そのようなグループがショートコードまたはロングコードに対してアクションを実行する可能性があります。このアクションには、番号を拒否リストに追加したり、メッセージをブロックしたりすることが含まれます。

キーワードの長さは 1~30 文字で、先頭や末尾にスペースを含めることはできません。キーワードでは大文字/小文字を区別します。

米国の通信事業者では、次のキーワードをサポートするショートコードが必要です。さらに、 は、次のキーワードをサポートするすべてのロングコードとショートコード AWS を想定します。

HELP

カスタマーサポートを受ける場合に使用されます。応答メッセージには、次の例にあるように、カスタマーサポートのお問い合わせ先情報を含める必要があります。

「アカウントについてのお問い合わせは、(206) 555-0199 までお電話ください。」

STOP

番号からのメッセージの受信をオプトアウトする場合に使用されます。STOP に加えて、対象者は CANCEL または OPTOUT などのサポートされているオプトアウトキーワードを使用できます。サポートされているオプトアウトキーワードについては、「[必要なオプトアウトキーワード](#)」を参照してください。番号がオプトアウトキーワードを含む SMS メッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントからオプトアウトした個人への SMS メッセージの送信を停止します。

応答メッセージは、次の例に示すように、オプトアウトしたユーザーへのメッセージ送信が中止されたことを確認する必要があります。

「オプトアウトされたため、今後はメッセージを受信しません。」

Note

受信者がメッセージの最初の単語としてこれらのキーワードのいずれかで応答した場合、Amazon Pinpoint SMS はそのキーワードの応答で応答します。例えば、受信者がメッセージの 1 つに「これが何を意味するのかを理解する」と答えた場合、Amazon Pinpoint SMS は HELP キーワードに指定したレスポンスで応答します。

トピック

- [必要なオプトアウトキーワード](#)
- [キーワードアクション](#)
- [キーワードを管理する](#)

必要なオプトアウトキーワード

現地の法律および規制により義務付けられている場合 (米国およびカナダなど)、SMS の受取人は、デバイスを利用して以下のいずれかのメッセージに返信することによって、オプトアウトできます。

Note

電話番号と電話プールにカスタムキーワードを追加してオプトアウトできます。

- 停止
- CANCEL
- END
- OPT-OUT
- OPTOUT
- QUIT
- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信に使用したのと同じ電話番号に返信する必要があります。オプトアウトすると、受信者は AWS アカウントから SMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。ユーザーは、UNSTOP または START をキーワードとして使用して、通話料無料に新しいメッセージを送信することで、再サブスクライブできます。

ユーザーが再サブスクライブできるようにを設定するには、キーワード UNSTOP、START、またはその両方を通話料無料番号に追加し、キーワードアクションを設定します Opt-in。キーワードの追加の詳細については、「」を参照してください [キーワードを管理する](#)。

キーワードアクション

キーワードには、3つのアクションのいずれかを関連付けることができます。顧客がキーワードで応答すると、アクションが実行されます。

- Opt-out – 受信者はオプトアウトリストに追加され、今後のメッセージは受信されません。
- Opt-in – 受信者が今後のメッセージの受信を希望している。
- Automatic response – メッセージが受信者に送信されます。

キーワードを管理する

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、電話番号のキーワードレスポンスをカスタマイズします。

Add a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プールにキーワードを追加します。

キーワードを追加する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページで、キーワードを追加するプールを選択します。
4. キーワード タブで、キーワード を追加 を選択します。
5. カスタムキーワードペインで、次の操作を行います。
 - キーワード – 追加する新しいキーワード。
 - 応答メッセージ – 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション – キーワードの受信時に実行するアクション。
6. [キーワードを追加] を選択します。

Edit a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プール内のキーワードを編集します。

キーワードを編集するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページで、キーワードを含むプールを選択します。
4. キーワードタブで編集するキーワードを選択し、キーワードを編集します。
5. カスタムキーワードペインで、次のいずれかを変更します。
 - キーワード - 編集するキーワード。
 - 応答メッセージ — 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション — キーワードの受信時に実行するアクション。
6. 保存キーワードを選択します。

Delete a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プール内のキーワードを削除します。

Note

必要なオプトアウトキーワードは削除できません。

キーワードを削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページで、キーワードを含むプールを選択します。
4. キーワードタブでキーワードを選択し、キーワードを削除します。

Add or edit a keyword (AWS CLI)

[put-keyword](#) コマンドを使用して、新しいキーワードを作成または編集できます。キーワードがすでに存在する場合は、上書きされます。

キーワードを作成するには、AWS CLIで次のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword \  
> --keyword-message KeywordMessage \  
> --keyword-action KeywordAction
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、キーワードを追加するプールの一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。
- *Keyword* を新しいキーワードに置き換えます。
- を、キーワードに応答するときに使用するメッセージ *KeywordMessage* に置き換えます。
- キーワードが受信されたときに実行するアクション (AUTOMATIC_RESPONSE、OPT_OUT、OPT_IN) を置き換え *KeywordAction* ます。

List keywords (AWS CLI)

[describe-keywords.html](#) コマンドを使用して、発信元 ID に関連付けられているキーワードに関する情報を表示できます。

コマンドライン AWS CLI で を使用してキーワードのリストを表示するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-keywords \  
> --origination-identity OriginationIdentity
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

を、キーワードのリストを取得する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。

Delete a keyword (AWS CLI)

[delete-keyword](#) CLI を使用してキーワードを削除できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、キーワードを削除する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。
- *Keyword* を、削除するキーワードに置き換えます。

オプトアウトリスト

オプトアウトリストは、メッセージを送信すべきではない送信先の電話番号のリストです。SMS メッセージを送信し、送信元番号に STOP というキーワードを含む返信があると、送信先 ID が自動的にオプトアウトリストに追加されます (自己管理型オプトアウトオプションを有効にしている場合を除く)。オプトアウトリストに登録されている送信先番号にメッセージを送信しようとしたときに、そのオプトアウトリストがメッセージの送信に使用されたプールに関連付けられている場合、Amazon Pinpoint SMS はメッセージの送信を試みません。

トピック

- [オプトアウトリストの管理](#)
- [セルフマネージドオプトアウト](#)

オプトアウトリストの管理

デフォルトでは、プールが作成されると、デフォルトのオプトアウトリストに割り当てられます。プールは同じオプトアウトリストを共有できます。プールのオプトアウトリストを変更すると、以前にオプトアウトした受信者が新しいリストに属さず、メッセージの受信を開始できない場合があります。オプトアウトリストから送信先電話番号を追加または削除する方法の詳細については、「」を参照してください [オプトアウトリストの電話番号の管理](#)。

Change opt-out list (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを変更するには、次の手順に従います。

オプトアウトリストの変更

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。

3. 電話プールページでプールを選択します。
4. オプトアウトリストタブで、設定の編集を選択します。
 - 新しいオプトアウトリストを作成する – 新しい空のオプトアウトリストを作成し、わかりやすい名前を入力します。
 - 既存のオプトアウトリストを選択する – ドロップダウンから以前に作成したオプトアウトリストを選択します。
5. (オプション) セルフマネージドオプトアウトを有効にするには、セルフマネージドオプトアウトを有効にするを選択します。
6. [変更の保存] をクリックします。

Change opt-out list (AWS CLI)

[update-pool](#) コマンドを使用して、プールで使用されるオプトアウトリストを変更できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-pool --pool-id poolid --opt-out-list-name OptOutListName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *poolid* をプールの poolID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- を Amazon リソースネーム (ARN) またはオプトアウトリスト名 *OptOutListName* に置き換えます。

セルフマネージドオプトアウト

デフォルトでは、顧客が HELP または STOP で始まるメッセージを専用番号のいずれかに送信すると、Amazon Pinpoint SMS は自動的にカスタマイズ可能なメッセージで応答します。STOP メッセージを受信した場合、Amazon Pinpoint SMS は、以後の SMS メッセージの受信をオプトアウトします。Amazon Pinpoint SMS 以外のサービスを使用して HELP および STOP レスポンスを管理する場合は、セルフマネージドオプトアウトを有効にできます。

この機能を有効にすると、Amazon Pinpoint SMS が顧客が送信する受信メッセージを処理する方法に 3 つの変更があります。最初に、着信した HELP と STOP メッセージに対する自動応答の送信を停止します。次に、Amazon Pinpoint SMS は、顧客が STOP メッセージを送信するときに、以後の

SMS メッセージの受信をオプトアウトするのを自動的に停止します。最後に、自動的に送信者に応答するのではなく、双方向 SMS メッセージを受信するために使用する Amazon SNS トピックに着信する HELP と STOP のメッセージをルーティングします。

この機能を有効にすると、HELP と STOP のリクエストに回答する責任が生じます。また、オプトアウトリクエストを追跡し、従う責任も生じます。

Important

多くの国、リージョン、管轄区域では、不要な SMS メッセージの送信に多額の罰金を科しています。この機能を有効にする場合、オプトアウトリクエストをキャプチャして管理するためのシステムとプロセスが用意されていることを確認してください。

Note

プールのセルフマネージドオプトアウトを有効にするには、まず双方向 SMS メッセージングを有効にする必要があります。

セルフマネージドオプトアウトを有効にする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページでプールを選択します。
4. オプトアウトリストタブで、設定の編集を選択します。
5. オプトアウト管理ページで「セルフマネージドオプトアウトを有効にする」を選択し、「変更を保存」を選択します。

共有ルート

一部の国では、Amazon Pinpoint SMS が共有オリジネーション ID のプールを管理しています。共有ルートを有効にすると、Amazon Pinpoint SMS は共有 ID のいずれかを使用してメッセージを配信するように努めます。発信元 ID は送信者 ID、ロングコード、ショートコードのいずれでもよく、国によって異なる場合があります。共有ルートが送信元 ID として送信者 ID を使用する場合、送信者 ID は一般的な送信者 ID (など) になります。NOTICE共有 ID は、米国など一部の国では使用できません。

Note

共有ルートは下流でのフィルタリングが強化される場合があり、利用可能な場合は専用ルートが優先されます。

共有ルートを有効にする (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. 電話プールページで、共有ルートを有効にするプールを選択します。
4. [共有ルート] タブで [設定の編集] ボタンを選択します。
5. [共有ルートを有効にする] を選択し、[変更を保存] を選択します。

削除保護

削除保護を有効にすると、削除保護が無効になるまでプールを削除できません。デフォルトでは、削除保護は無効になっています。

削除保護を有効にする (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. 電話プールページで、共有ルートを有効にする電話プールを選択します。
4. 「削除防止」タブで「設定の編集」ボタンを選択します。
5. [削除保護を有効にする] を選択し、[変更を保存] を選択します。

タグ

タグはキーと値の組み合わせで、AWSオプションでリソースに適用してアクセスや使用を制御できます。Name キーと値のペアの値を編集してプールの名前を変更するには。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プールにタグを追加または編集します。

タグ管理 (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. 「電話プール」ページで、タグを追加する電話プールを選択します。
4. 「タグ」タブで「タグを管理」を選択します。
 - タグを追加 — [タグの管理] で [新しいタグを追加] を選択し、新しい空白のキーと値のペアを作成します。
 - タグを削除 — [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 — [タグの管理] で [キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。
5. [変更の保存] を選択します。

Manage tags (AWS CLI)

AWS CLIを使用してタグを追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* は、タグを追加したいAmazon リソースネーム (ARN) に置き換えてください。
- *key1* と *key2* は、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加したいタグの値に置き換えます。

を使用してタグを削除しますAWS CLI。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* は、タグを削除したい Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えてください。
- *key1* と *key2* は、削除するタグのキーに置き換えてください。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

電話番号

電話番号は、受信者が SMS メッセージを送信したときにデバイスに表示される ID です。ID には、ロングコード (通常は 10 桁以上の標準電話番号)、10 桁のロングコード (10DLC)、通話料無料番号 (TFN)、ショートコード (4 桁から 7 桁までの電話番号) など、さまざまな種類があります。

電話番号は、各に固有のリソースであるため AWS リージョン、間で共有することはできません AWS リージョン。電話番号へのクロス AWS アカウント および AWS リージョン アクセスを許可できます。専用電話番号は国によって異なります。ある国の専用電話番号をリクエストすることはできず、それを別の国の ID として使用できます。

例えば、ユースケースで米国とカナダにメッセージを送信する必要がある場合は、両方の国に発信元 ID をプロビジョニングする必要があります。その国にローカル AWS リージョン などで発信元 ID をプロビジョニングする必要はありません。両方の発信元 ID を米国西部 (オレゴン) にプロビジョニングできます。別の例として、ユースケースで米国とインドにメッセージを送信する必要がある場合 AWS リージョン は、レイテンシーを減らすために、メッセージの送信先に地理的に近いで発信元 ID をプロビジョニングできます。詳細については、[「Amazon Pinpoint Resilient Architecture Guide」](#)を参照してください。

どのタイプの発信元 ID を使用するかを決める際には、考慮すべきガイドラインがいくつかあります。

- 送信者 ID は、一方向のユースケースには最適なオプションです。ただし、すべての国で利用できるわけではありません。
- ショートコードは双方向のユースケースに最適なオプションです。ショートコードを使用するかロングコードを使用するかを選択する必要がある場合は、ショートコードを選択してください。
- 一部の国 (インドやサウジアラビアなど) では、ロングコードは受信メッセージの受信には使用できますが、送信メッセージの送信には使用できません。これらの受信専用ロングコードを使用すると、送信者 ID を使用して送信したメッセージを受信者がオプトアウトできるようになります。
- 一部の国では、共有ルートのプールを維持しています。特定の国の受信者にメッセージを送信しても、送信者にその国に専用の発信元 ID がない場合は、これらの共有 ID のいずれかを使用してメッセージを配信するよう努めます。共有 ID は、米国や中国など一部の国では利用できません。

- モバイル業界は急速に変化しています。多くの国では、商用 SMS メッセージに対する規制が強化される傾向にあります。通信事業者は、ほとんどまたはまったく警告なしに、共有発信元 ID からのメッセージの送信を禁止することを決定する場合があります。その場合は、できる限り事前の警告をして、これらの変更についてお客様に伝えるよう努めます。ただし、通常、通信事業者はこれらの変更について事前に通知することはほとんどありません。これらの理由から、専用発信元 ID は共有発信元 ID よりも常に優先されます。

トピック

- [SMS 国の機能と制限](#)
- [サポートされている国と地域 \(音声チャンネル\)](#)
- [電話番号をリクエストする](#)
- [Amazon Pinpoint SMS アカウントから電話番号を解放する。](#)
- [双方向 SMS メッセージング](#)
- [キーワード](#)
- [オプトアウトリスト](#)
- [削除保護](#)
- [タグ](#)

SMS 国の機能と制限

Amazon Pinpoint SMS は現在、クバ、アイルランド、北韓国、シリア、スーダンなど少数の国に SMS メッセージを送信できません。SMS メッセージを送信できる国や地域の詳細なリストについては、「[サポートされている国と地域 \(SMS チャネル\)](#)」を参照してください。

ほとんどの国および地域では、SMS を使用して送信できるコンテンツの種類に制限が設けられています。これらの制限はさまざまですが、次のコンテンツの種類は、ほとんどの国やリージョンで制限されています。

- 性的なコンテンツ
- 不適切または不快なコンテンツ
- 暴力的なコンテンツ
- 危険ドラッグおよび薬物に関連するコンテンツ

多くの国や地域で、顧客が制限付きのコンテンツを受け取り、携帯端末通信事業者または規制機関に通報された場合、罰金やペナルティが送信者に課される場合があります。一部の国や地域では、すべての受信メッセージが政府によって遡及的にフィルタリングされ、攻撃的または不適切とみなすコンテンツは削除されます。顧客が所在する国や地域の商用 SMS メッセージの送信に関する法律や規制に精通しておいてください。

Amazon Pinpoint SMS で SMS を使用する場合、国によっては追加の機能や制限がある場合もあります。これらの機能および制限については、以下のトピックで説明します。

Note

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)」を参照してください。

トピック

- [サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)

サポートされている国と地域 (SMS チャンネル)

Amazon Pinpoint SMS を使用して、次の表に示す国、地域、および地域に SMS メッセージを送信できます。この表には、送信者 ID と双方向 SMS メッセージングをサポートしている国と地域もリストされています。

双方向 SMS メッセージングを使用してメッセージを受信するには、SMS チャンネルの専用ショートコードまたは専用ロングコードを取得する必要があります。

Note

一部の国のロングコードは、Amazon Pinpoint SMS コンソールから直接購入できます。コンソールから購入したロングコードは、音声チャンネルとともに使用することを目的としています。ただし、米国 (プエルトリコを含む) またはカナダを拠点とするロングコードを購入した場合、SMS メッセージの送信にも使用できます。

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
A						
アフガニスタン	AF	93	いいえ	いいえ	はい	いいえ
アルバニア	AL	355	いいえ	いいえ	はい	いいえ
アルジェリア	DZ	213	いいえ	いいえ	はい	いいえ
アンドラ	AD	376	いいえ	いいえ	はい	いいえ
アンゴラ	AO	244	いいえ	いいえ	はい	いいえ
アンギラ	AI	1-264	いいえ	いいえ	はい	いいえ
アンティグア バーブーダ	AG	1-268	いいえ	いいえ	はい	いいえ
アルゼンチン	AR	54	はい	いいえ	いいえ	いいえ
アルメニア	AM	374	いいえ	いいえ	はい	いいえ
アルバ	AW	297	いいえ	いいえ	はい	いいえ
オーストラリア	AU	61	いいえ	はい	要登録 ¹	はい
オーストリア	AT	43	はい	はい	はい	はい
アゼルバイジャン	AZ	994	いいえ	いいえ	はい	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
B						
バハマ諸島	BS	1-242	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
バーレーン	BH	973	いいえ	いいえ	はい	いいえ
バングラデシュ	BD	880	いいえ	いいえ	はい	いいえ
バルバドス	BB	1-246	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ベラルーシ	BY	375	いいえ	いいえ	要登録 ¹	いいえ
ベルギー	BE	32	はい	はい	いいえ	はい
ベリーズ	BZ	501	いいえ	いいえ	はい	いいえ
バミューダ	BM	1-441	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ブータン	BT	975	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ボリビア	BO	591	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ボスニアヘルツェゴビナ	BA	387	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ボツワナ	BW	267	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ブラジル	BR	55	はい	いいえ	いいえ	はい
ブルネイ	BN	673	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ブルガリア	BG	359	はい	いいえ	はい	はい
ブルキナファソ	BF	226	いいえ	いいえ	はい	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ブルンジ	BI	257	いいえ	いいえ	はい	いいえ
C						
カンボジア	KH	855	いいえ	いいえ	はい	いいえ
カメルーン	CM	237	はい	いいえ	はい	はい
カナダ	CA	1	はい	はい	いいえ	はい
カーボベルデ	CV	238	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ケイマン諸島	KY	1-345	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
中央アフリカ共和国	CF	236	いいえ	いいえ	はい	いいえ
チャド	TD	235	いいえ	いいえ	はい	いいえ
チリ	CL	56	はい	はい	いいえ	はい
中国	CN	86	はい	いいえ	なし 2	はい
コロンビア	CO	57	いいえ	はい	いいえ	はい
コモロ	KM	269	いいえ	いいえ	はい	いいえ
クック諸島	CK	682	いいえ	いいえ	はい	はい
コスタリカ	CR	506	はい	はい	いいえ	はい
クロアチア	HR	385	はい	いいえ	はい	はい
キプロス	CY	357	いいえ	いいえ	はい	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
チェコ共和国	CZ	420	いいえ	はい	はい	はい
D						
コンゴ民主共和国	CD	243	いいえ	いいえ	はい	いいえ
デンマーク	DK	45	はい	はい	はい	はい
ジブチ	DJ	253	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ドミニカ	DM	1-767	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ドミニカ共和国	DO	1 ~ 809、1 ~ 829、1 ~ 849	はい	いいえ	いいえ	はい
E						
エクアドル	EC	593	はい	いいえ	いいえ	はい
エジプト	EG	20	はい	いいえ	要登録 1	はい
エルサルバドル	SV	503	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
赤道ギニア	GQ	240	いいえ	いいえ	はい	いいえ
エリトリア	ER	291	いいえ	いいえ	はい	いいえ
エストニア	EE	372	いいえ	はい	はい	はい
エスワティニ	SZ	268	はい	いいえ	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
エチオピア	ET	251	いいえ	いいえ	はい	いいえ
F						
フェロー諸島	FO	298	いいえ	いいえ	はい	いいえ
フィジー	FJ	679	いいえ	いいえ	はい	いいえ
フィンランド	FI	358	はい	はい	はい	はい
フランス	FR	33	はい	いいえ	はい	はい
フランス領ギアナ	GF	594	いいえ	いいえ	はい	いいえ
フランス領ポリネシア	PF	689	いいえ	いいえ	はい	いいえ
G						
ガボン	GA	241	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ガンビア	GM	220	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ジョージア	GE	995	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ドイツ	DE	49	はい	はい	はい	はい
ガーナ	GH	233	いいえ	はい	はい	はい
ジブラルタル	GI	350	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ギリシャ	GR	30	いいえ	はい	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
グリーンランド	GL	299	いいえ	いいえ	はい	いいえ
グレナダ	GD	1-473	いいえ	いいえ	はい	いいえ
グアドループ	GP	590	いいえ	いいえ	はい	いいえ
グアム	GU	1-671	いいえ	はい	いいえ	はい
グアテマラ	GT	502	いいえ	はい	いいえ	はい
ガーンジー 代官管轄区	GG	44-1481	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ギニア	GN	224	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ギニアビサウ	GW	245	いいえ	いいえ	はい	該当なし
ガイアナ	GY	592	いいえ	いいえ	はい	いいえ
H						
ハイチ	HT	509	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ホンジュラス	HN	504	いいえ	はい	はい	はい
香港	HK	852	いいえ	はい	はい	はい
ハンガリー	HU	36	いいえ	はい	いいえ	はい
I						
アイスランド	IS	354	いいえ	いいえ	はい	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
インド	IN	91	はい	いいえ	要登録 ³	はい
インドネシア	ID	62	いいえ	いいえ	はい	いいえ
イラク	IQ	964	いいえ	いいえ	はい	いいえ
アイルランド	IE	353	いいえ	はい	はい	はい
マン島	IM	44-1624	いいえ	いいえ	はい	いいえ
イスラエル	IL	972	いいえ	はい	はい	はい
イタリア	IT	39	はい	はい	はい	はい
コートジボワール	CI	225	いいえ	いいえ	はい	いいえ
J						
ジャマイカ	JM	1-876	いいえ	いいえ	はい	いいえ
日本	JP	81	はい	はい	はい	はい
ジャージー	JE	44-1434	いいえ	はい	はい	はい
ヨルダン	JO	962	いいえ	いいえ	要登録 ¹	いいえ
K						
カザフスタン	KZ	7	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ケニア	KE	254	はい	はい	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
コソボ共和国	XV	383	いいえ	いいえ	はい	いいえ
クウェート	KW	965	いいえ	はい	要登録 ¹	はい
キルギスタン	KG	996	いいえ	いいえ	はい	いいえ
L						
ラオス	LA	856	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ラトビア	LV	371	いいえ	はい	はい	はい
レバノン	LB	961	いいえ	いいえ	はい	いいえ
レソト	LS	266	はい	いいえ	はい	はい
リベリア	LR	231	いいえ	はい	いいえ	いいえ
リビア	LY	218	いいえ	いいえ	はい	いいえ
リヒテンシュタイン	LI	423	いいえ	いいえ	はい	いいえ
リトアニア	LT	370	いいえ	はい	はい	はい
ルクセンブルグ	LU	352	いいえ	はい	はい	はい
M						
マカオ	MO	853	いいえ	いいえ	はい	いいえ
マケドニア	MK	389	いいえ	いいえ	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
マダガスカル	MG	261	いいえ	いいえ	はい	いいえ
マラウイ	MW	265	はい	いいえ	はい	はい
マレーシア	MY	60	はい	いいえ	いいえ	はい
モルジブ	MV	960	いいえ	いいえ	はい	いいえ
マリ	ML	223	いいえ	いいえ	はい	いいえ
マルタ	MT	356	いいえ	はい	はい	はい
マーシャル諸島共和国	MH	692	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
マルチニーク	MQ	596	いいえ	いいえ	はい	いいえ
モーリタニア	MR	222	いいえ	いいえ	はい	いいえ
モーリシャス	MU	230	いいえ	はい	はい	はい
マヨット	YT	262	いいえ	いいえ	はい	いいえ
メキシコ	MX	52	はい	いいえ	いいえ	はい
ミクロネシア連邦	FM	691	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
モルドバ	MD	373	いいえ	いいえ	はい	いいえ
モナコ	MC	377	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
モンゴル	MN	976	いいえ	いいえ	はい	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
モンテネグロ	ME	382	いいえ	いいえ	はい	いいえ
モントセラト	MS	1-664	いいえ	いいえ	はい	いいえ
モロッコ	MA	212	はい	いいえ	はい	はい
モザンビーク	MZ	258	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
ミャンマー	MM	95	いいえ	はい	はい	はい
N						
ナミビア	NA	264	はい	いいえ	はい	はい
ネパール	NP	977	いいえ	いいえ	はい	いいえ
オランダ	NL	31	はい	はい	はい	はい
オランダ領アンティル	AN	599	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ニューカレドニア	NC	687	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ニュージーランド ⁶	NZ	64	はい	いいえ	いいえ	はい
ニカラグア	NI	505	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
ニジェール	NE	227	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ナイジェリア	NG	234	はい	いいえ	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ニウエ	NU	683	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ノルウェー	NO	47	いいえ	はい	はい	はい
O						
オマーン	OM	968	いいえ	いいえ	はい	いいえ
P						
パキスタン	PK	92	はい	はい	はい	はい
パレスチナ	PS	970	いいえ	いいえ	はい	いいえ
パナマ	PA	507	はい	いいえ	はい	はい
パプア ニューギニア	PG	675	いいえ	いいえ	はい	いいえ
パラグアイ	PY	595	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
ペルー	PE	51	はい	いいえ	いいえ	はい
フィリピン	PH	63	いいえ	はい ⁴	要登録 ¹	いいえ
ポーランド	PL	48	いいえ	はい	はい	はい
ポルトガル	PT	351	いいえ	はい	はい	はい
プエルトリコ	PR	1 ~ 787、1 ~ 939	はい	はい	いいえ	はい
Q						
カタール	QA	974	はい	いいえ	要登録 ¹	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
R						
コンゴ共和国	CG	242	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
レユニオン (フランス)	RE	262	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ルーマニア	RO	40	いいえ	はい	はい	はい
ロシア	RU	7	はい	いいえ	要登録 1	はい
ルワンダ	RW	250	いいえ	いいえ	はい	いいえ
S						
セントクリストファー・ネイビス	KN	1-869	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
セントルシア	LC	1-758	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
サモア	WS	685	いいえ	はい	いいえ	いいえ
サンマリノ	SM	378	いいえ	いいえ	はい	いいえ
サントメ・プリンシペ民主共和国	ST	239	いいえ	いいえ	はい	いいえ
サウジアラビア	SA	966	いいえ	はい 4	要登録 1	いいえ
セネガル	SN	221	いいえ	いいえ	はい	いいえ


国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
セルビア	RS	381	はい	いいえ	はい	はい
セイシェル	SC	248	いいえ	いいえ	はい	いいえ
シエラレオネ	SL	232	いいえ	いいえ	はい	いいえ
シンガポール	SG	65	はい	はい	はい ⁵	はい
スロバキア	SK	421	いいえ	はい	はい	はい
スロベニア	SI	386	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ソロモン諸島	SB	677	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ソマリア	SO	252	いいえ	いいえ	はい	いいえ
南アフリカ	ZA	27	はい	はい	いいえ	はい
韓国	KR	82	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
南スーダン	SS	211	いいえ	いいえ	はい	いいえ
スペイン	ES	34	はい	はい	はい	はい
スリランカ	LK	94	はい	はい	要登録 ¹	はい
スリナム	SR	597	いいえ	いいえ	はい	いいえ
スウェーデン	SE	46	はい	はい	はい	はい
スイス	CH	41	いいえ	いいえ	はい	いいえ
T						

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
台湾	TW	886	いいえ	はい	いいえ	はい
タジキスタン	TJ	992	いいえ	いいえ	はい	いいえ
タンザニア	TZ	255	いいえ	はい	はい	はい
タイ	TH	66	いいえ	はい	要登録 ¹	はい
東ティモール	TL	670	いいえ	いいえ	はい	いいえ
トーゴ	TG	228	いいえ	いいえ	はい	いいえ
トンガ	TO	676	いいえ	いいえ	はい	いいえ
トリニダード・トバゴ	TT	1-868	いいえ	いいえ	はい	いいえ
チュニジア	TN	216	いいえ	いいえ	はい	いいえ
トルコ	TR	90	いいえ	いいえ	要登録 ¹	いいえ
トルクメニスタン	TM	993	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
タークスおよびカイコス諸島	TC	1-649	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ツバル	TC	688	いいえ	いいえ	はい	いいえ
U						
ウガンダ	UG	256	いいえ	いいえ	はい	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ウクライナ	UA	380	いいえ	はい	はい	はい
アラブ首長国連邦 (UAE)	AE	971	はい	はい ⁴	要登録 ¹	はい
英国	GB	44	はい	はい	はい	はい
アメリカ	US	1	はい	はい	いいえ	はい
ウルグアイ	UY	598	はい	いいえ	いいえ	はい
ウズベキスタン	UZ	998	いいえ	いいえ	はい	いいえ
V						
バヌアツ	VU	678	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ベネズエラ	VE	58	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
ベトナム	VN	84	はい	はい	要登録 ¹	はい
英領バージン諸島	VG	1-284	いいえ	いいえ	はい	いいえ
米領バージン諸島	VI	1-340	いいえ	はい	いいえ	はい
W						
X						
Y						
イエメン	YE	967	いいえ	いいえ	はい	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
Z						
ザンビア	ZM	260	いいえ	いいえ	はい	いいえ
ジンバブエ	ZW	263	いいえ	いいえ	はい	いいえ

メモ

- 送信者は、事前に登録されたアルファベットの送信者 ID を使用する必要があります。から送信者 ID をリクエストするには AWS Support、[Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする](#)。一部の国では、承認を得るために、送信者は特定の要件を満たすか、特定の制限に従う必要があります。このような場合は、送信者 ID リクエストを送信した後に、追加情報を AWS Support 問い合わせることができます。
 - 送信者は、送信する予定のメッセージのタイプごとに、事前に登録されたテンプレートを使用する必要があります。送信者がこの要件を満たしていない場合、送信者のメッセージはブロックされます。テンプレートを登録するには、[を使用します中国 SMS テンプレート登録プロセス](#)。一部の国では、承認を得るために、特定の要件を満たすか、特定の制限に従う必要があります。このような場合は、追加情報を求められる AWS Support ことがあります。
-  **Note**

中国にメッセージを送信するには、まず [から](#)テンプレートを登録して承認 AWS Support を受ける必要があります。
- 送信者は、事前に登録されたアルファベットの送信者 ID を使用する必要があります。追加の登録手順を経る必要があります。詳細については、「[インドの送信者 ID の登録プロセス](#)」を参照してください。
 - これらの国のロングコードは、インバウンドメッセージングにのみ対応しています。つまり、これらのロングコードは、受信者へのメッセージ送信には使用できませんが、受信者からのメッセージは受信できます。送信者 ID はメッセージの送信にのみ対応しているため、アルファベット

の送信者 ID を使用してメッセージを送信する場合、ロングコードは受信者がオプトアウトするのに便利な方法です。

- Amazon Pinpoint SMS は、シンガポール SMS 送信者 ID レジストリ (SSIR) に登録されている送信者 ID を使用してシンガポールに SMS トラフィックを送信できます。SSIR は、シンガポールの[情報通信メディア開発局 \(IMDA\)](#) によって作成されたレジストリです。シンガポールの送信者 ID を使用するための要件の詳細については、「[シンガポール登録プロセス](#)」を参照してください。ショートコードやロングコードなどの代替発信元 ID タイプを使用して、シンガポールで SMS トラフィックを送信することもできます。

送信者 ID を登録しない場合、送信者 ID を使用して送信されたメッセージは、規制当局の規則に従って ID が LIKELY-SCAM に変更されます。規制者は、未登録のトラフィックを任意でフィルタリングまたはブロックします。

- 専用ショートコードがない場合でも、Amazon Pinpoint SMS はショートコードの共有プールを使用してニュージーランドの受信者にメッセージを送信しようとします。共有番号に関する現地の通信事業者の制限により、このような共有番号での配信性能はベストエフォートベースで決定されます。したがって、Amazon Pinpoint SMS では、ニュージーランドに送信されるすべてのトラフィックに対して専用のショートコードを作成することを強くお勧めします。URL を含むメッセージは、専用のショートコードプロセスを通じて許可リストに登録する必要があります。ショートコードの購入については、「[Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングのショートコードのリクエスト](#)」を参照してください。

送信者 ID のサポート

次の表は、送信者 ID がサポートされている国で SMS メッセージを送信するときに表示される ID と、送信者 ID がサポートされていない国または地域で送信するときに表示される ID を説明しています。

受信者の場所	SMS メッセージでの指定内容	メッセージの送信元
送信者 ID の登録が必要な国や地域の場合	登録されている送信者 ID を指定します。	送信者 ID。
	送信者 ID を指定しない、または未登録の送信者 ID を指定した場合	Amazon Pinpoint SMS は、送信者 ID NOTICE を使用してメッセージを配信しようとします。送信先の国や地域の通

受信者の場所	SMS メッセージでの指定内容	メッセージの送信元
送信者 ID をサポートしているが、送信者 ID の登録が必要な国や地域の場合		信事業者の条件により、受信できない場合があります。
	送信者 ID を指定する	送信者 ID。
	送信者 ID は指定されていませんが、アカウントには送信先の国の SMS チャネル専用の電話番号が含まれています 送信者 ID は指定されておらず、アカウントには送信先の国の SMS チャネル専用の電話番号が含まれていません	専用電話番号。 <ul style="list-style-type: none"> 送信者 ID がサポートされていない国および地域のランダムなロングコード。 送信者 ID をサポートしている国や地域のNOTICE。
送信者 ID がサポートされていない国や地域の場合	送信者 ID を指定する	送信先の国によって異なります。一部の国では、ランダムなロングコードを使用してメッセージが送信されます。他の国では、メッセージは共有ショートコードを使用して送信されます。米国では、専用の電話番号を使用してのみメッセージを送信できます。専用の米国の電話番号がない場合、メッセージは届きません。
	送信者 ID を指定しない	差異 — 上記をご参照ください。

サポートされている国と地域 (音声チャンネル)

音声チャンネルを使用して、世界中の受信者に音声メッセージを送信できます。ただし、国や地域によっては、Amazon Pinpoint SMS 音声チャンネルを使用して行う通話など、自動通話を行うために

ローカルの電話番号を使用する必要があります。ローカルの電話番号は、ロングコードとも呼ばれ、AWS いくつかの国や地域の から直接取得できます。

次の表に、音声チャネルを使用する国内の電話番号を取得できる国を示します。この表に国またはリージョンが表示されていない場合でも、その国またはリージョンの受信者に音声メッセージを送信できる可能性があります。

[ローカルアドレス必須] 列の値が [はい] の場合は、AWS Support Center Consoleでケースを作成してロングコードをリクエストする必要があります。詳細については、「」を参照してください。必要なローカルアドレス列の値が いいえ の場合、Amazon Pinpoint SMS コンソールから直接ローカル電話番号をリースできます。

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
アルゼンチン	はい
オーストラリア	はい
オーストリア	いいえ
バーレーン	はい
バルバドス	いいえ
ブラジル	いいえ
ブルガリア	はい
ブルキナファソ	いいえ
カナダ	いいえ
ケイマン諸島	いいえ
チリ	いいえ
コロンビア	いいえ
カンボジア	はい
クロアチア	はい

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
キプロス	いいえ
ドミニカ共和国	いいえ
エクアドル	いいえ
エルサルバドル	いいえ
フィンランド	はい
ドイツ	はい
ギリシャ	はい
グレナダ	いいえ
グアテマラ	いいえ
ハンガリー	はい
アイスランド	はい
インドネシア	いいえ
アイルランド	はい
イスラエル	いいえ
イタリア	はい
ジャマイカ	いいえ
カザフスタン	はい
ケニア	いいえ
ラトビア	はい
リトアニア	いいえ

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
ルクセンブルグ	はい
マリ	はい
メキシコ	はい
モルドバ	はい
ニュージーランド	いいえ
ニカラグア	はい
ノルウェー	はい
ペルー	いいえ
フィリピン	いいえ
ポーランド	はい
プエルトリコ	いいえ
ルーマニア	はい
スロバキア	はい
スロベニア	はい
南アフリカ	はい
スイス	はい
台湾	はい
タジキスタン	はい
タイ	はい
トリニダード・トバゴ	いいえ

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
英国	いいえ
アメリカ	いいえ
ウルグアイ	はい
ベネズエラ	はい
ベトナム	いいえ

電話番号をリクエストする

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、ユースケースに応じて、次のいずれかの送信元 ID を使用することをお勧めします。レコメンデーションは、SMS や音声の機能、双方向の番号、毎月のメッセージの見積りなど、入力基準に基づいています。

Note

サポートセンターコンソールで、次の電話番号タイプをリクエストする必要があります。

- ショートコード – [Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングのショートコードのリクエスト](#)。
- ロングコード – [Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングの専用ロングコードのリクエスト](#)。

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは を使用して AWS CLI、新しい電話番号をリクエストできます。

Request a phone number (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して電話番号をリクエストするには、次の手順に従います。

電話番号をリクエストする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択して、[リクエスト発信者] をクリックします。
3. [国を選択] ページでは、[メッセージ送信先の国] をドロップダウンから選択する必要があります。[次へ] を選択します。
4. [メッセージングのユースケース] セクションで、次を入力します。
 - [番号機能] で、要件に応じて [SMS]、[音声]、またはその両方を選択します。

Important

電話番号を購入すると、SMS と音声の機能は変更できなくなります。


- SMS – SMS 機能が必要かを選択します。
 - 音声 (テキストから音声) – 音声機能が必要かを選択します。
 - [推定月間 SMS ボリューム – オプション] で、毎月送信する SMS メッセージ数を選択します。
 - [会社の本社 - オプション] で、次のいずれかを選択します。
 - ローカル – 会社が SMS メッセージを受信する顧客と同じ国にある場合は、これを選択します。例えば、本社が米国にあり、メッセージを受信するユーザーも米国にいる場合は、このオプションを選択します。
 - 国際 – 会社が SMS メッセージを配信する顧客と同じ国にない場合は、これを選択します。
 - [双方向のメッセージング] では、双方向メッセージが必要な場合は [はい] を選択します。
5. [次へ] を選択します。
 6. 発信者タイプの選択で、推奨される電話番号タイプまたは使用可能な電話番号タイプのいずれかを選択します。利用可能なオプションは、前のステップで入力したユースケース情報に基づいています。

10DLC を選択し、すでに登録済みのキャンペーンがある場合は、登録済みキャンペーンに関連付けるからキャンペーンを選択し、10DLC キャンペーンに 10DLC 電話番号を追加できます。

使用する番号のタイプが利用できない場合は、前の を選択して戻ってユースケースを変更できます。また、 をチェック [サポートされている国と地域 \(SMS チャネル\)](#) して、目的の発信者タイプが送信先の国でサポートされていることを確認します。

ショートコードまたはロングコードをリクエストする場合は、 でケースを開く必要があります AWS Support。詳細については、 [Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングのショートコードのリクエスト](#) および [Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングの専用ロングコードのリクエスト](#) を参照してください。

7. [次へ] を選択します。
8. [確認とリクエスト] で、リクエストを送信する前に検証して編集できます。[リクエスト] を選択します。
9. リクエストした電話番号タイプによっては、[登録が必須です] ウィンドウが表示される場合があります。電話番号または送信者 ID はこの登録に関連付けられており、登録が承認されるまでメッセージを送信できません。登録要件の詳細については、「」を参照してください [登録](#)。
 - a. [登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。
 - b. [登録を開始] をクリックして電話番号の登録を完了するか、[後で登録] を選択します。

 Important

登録が承認されるまでこの電話番号または送信者 ID を使用してメッセージを送信できません。

登録状況を問わず、電話番号の月額リース料は引き続き請求されます。登録要件の詳細については、「」を参照してください [登録](#)。

Request a phone number (AWS CLI)

[request-phone-number](#) コマンドを使用して、アカウントに新しい電話番号を追加できます。電話番号の可用性とサポートされている機能は、国によって異なります。

⚠ Important

リクエストが完了したら、電話番号または送信者 ID の登録が必要になる場合があります。登録状況を問わず、電話番号の月額リース料は引き続き請求されます。登録要件の詳細については、「」を参照してください[登録](#)。

電話番号をリクエストするには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 request-phone-number \  
> --iso-country-code XX \  
> --message-type TRANSACTIONAL \  
> --number-capabilities VOICE \  
> --number-type LONG_CODE \  
> --pool-id poolId \  
> --deletion-protection-enabled \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --registration-id C0123EX
```


上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *XX* を、電話番号の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コード (例: カナダは CA) に置き換えます。
- 電話番号を使用してプロモーションやマーケティング関連のコンテンツを送信する場合は、*TRANSACTIONAL* を *PROMOTIONAL* に置き換えます。それ以外の場合は、*TRANSACTIONAL* を使用します。
- SMS メッセージ送信用の電話番号をリクエストする場合は、*VOICE* を *SMS* に置き換えます。SMS *VOICE* を指定することで、SMS と音声メッセージの両方を送信できる電話番号をリクエストすることもできます。
- *LONG_CODE* を、リクエストする電話番号のタイプに置き換えます。許容値は、*LONG_CODE*、*TOLL_FREE*、および *TEN_DLC* です。
- *poolId* を、電話番号を追加するプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。このパラメータはオプションです。電話番号をプールに追加しない場合は、このパラメータを省略します。
- この電話番号の削除保護を有効にする場合は、*--deletion-protection-enabled* パラメータを追加します。デフォルトでは、削除保護は無効です。削除保護が有効に

なっている場合、この機能を無効にするように電話番号の設定を更新しない限り、

[ReleasePhoneNumber](#) API を使用して電話番号を削除することはできません。

- *optOutListName* を、電話番号に関連付けるオプトアウトリストの名前または ARN に置き換えます。このパラメータはオプションです。電話番号をオプトアウトリストに関連付けたくない場合は、このパラメータを省略します。
- 10DLC キャンペーンで使用する電話番号をリクエストする場合は、*C0123EX* を、使用する 10DLC キャンペーンの ID に置き換えます。

 Note

10DLC 電話番号の使用を予定している場合は、まず会社登録とキャンペーン登録が必要です。現在、これらの登録プロセスを完了する唯一の方法は、Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用することです。10DLC 登録の詳細については、「」を参照してください[10DLC の登録プロセス](#)。

番号が正常にアカウントに追加されると、次のような出力が表示されます。

```
{
  "PhoneNumberArn": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-number/
phone-615790209ea34aea8da9b729fexample",
  "PhoneNumberId": "phone-615790209ea34aea8da9b729fexample",
  "PhoneNumber": "+12045550123",
  "Status": "PENDING",
  "IsoCountryCode": "CA",
  "MessageType": "TRANSACTIONAL",
  "NumberCapabilities": [
    "SMS"
  ],
  "NumberType": "LONG_CODE",
  "MonthlyLeasingPrice": "1.00",
  "TwoWayEnabled": false,
  "SelfManagedOptOutsEnabled": false,
  "OptOutListName": "Default",
  "DeletionProtectionEnabled": false,
  "CreatedTimestamp": 1645568542.0
}
```

Note

電話番号を初めて購入したとき、Status 属性の値は PENDING になっています。電話番号が使用可能になると、Status の値は ACTIVE に変わります。

指定したパラメータに一致する電話番号が使用可能でない場合、リクエストは失敗し、エラーが返されます。

Modify phone number capabilities (AWS CLI)

電話番号をリクエストしたら、CLI [update-phone-number](#) を使用してその電話番号の設定を変更したり、追加機能を有効にしたりできます。電話番号に関連付けられているプールやオプトアウトリスト、削除防止設定など、いくつかの電話番号設定を変更できます。

電話番号を更新することで有効化できる追加機能の例として、双方向メッセージングがあります。双方向メッセージングのサポートは、メッセージの送信先の国によって異なります。サポートされている国のリストについては、「」を参照してください [サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number \  
> --phone-number-id phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example \  
> --deletion-protection-enabled true \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --self-managed-opt-outs-enabled true \  
> --two-way-enabled true \  
> --two-way-channel-arn arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:MyTopic
```

上記のコマンドで、次の操作を行います。

- *phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example* を更新する電話番号の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。オペレーションを使用して DescribePhoneNumbers、これらの値の両方を見つけることができます。
- *optOutListName* を、この電話番号に関連付けるオプトアウトリストの名前に置き換えます。
- 削除保護機能を無効にしたい場合は、DeletionProtectionEnabled パラメータの値を false に変更します。
- セルフマネージド型の SMS オプトアウト機能を使用する場合は、SelfManagedOptOutsEnabled パラメータの値を false に変更します。

- この電話番号の双方向 SMS メッセージングを無効にする場合は、TwoWayEnabledパラメータの値を `false` に変更します。
- 電話番号の双方向メッセージング機能を有効にする場合は、Amazon SNS トピックの ARN を指定する必要があります。 `arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:MyTopic` を使用する Amazon SNS トピックの ARN に置き換えます。メッセージを受信すると、指定したトピックに送信されます。

PhoneNumberId パラメータは、このコマンドの唯一の必須パラメータです。対応する設定を変更したくない場合は、他のパラメータを省略できます。

List phone numbers (AWS CLI)

を使用して [describe-phone-numbers](#)、Amazon Pinpoint アカウントの発信元の電話番号に関する詳細情報を取得できます。

を使用してアカウント内のすべての電話番号を一覧表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-phone-numbers
```

このコマンドの出力には、アカウントのすべての電話番号に関する詳細が含まれます。また、PhoneNumberId パラメータを含めることで、特定の電話番号に関する情報も表示できます。

を使用して特定の電話番号に関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-phone-numbers \  
> --phone-number-id phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example
```

前の例では、 `phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example` を、詳細情報を表示する電話番号の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

filter パラメータを使用すると、定義した条件に基づいて電話番号のリストをフィルタリングすることもできます。例えば、電話番号の国や機能 (つまり、サポートしているのが SMS メッセージか、音声メッセージか、またはその両方か) でフィルタリングできます。

を使用して電話番号のフィルタリングされたリストを表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-phone-numbers \  
> --filters Name=number-capability,Values=SMS \  
> --filters Name=iso-country-code,Values=CA
```

フィルター Name には次のいずれかの値を指定できます。

- `status` – 電話番号の現在のステータス (ACTIVE など)。
- `iso-country-code` – 電話番号の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コード。
- `message-type` – 電話番号を使用して送信するメッセージのタイプ。想定される値は、TRANSACTIONAL または PROMOTIONAL です。
- `number-capability` – 電話番号がサポートするメッセージングチャネル。指定できる値は SMS および VOICE です。
- `number-type` – 電話番号のタイプ (LONG_CODE、SHORT_CODE、TOLL_FREE など)。
- `two-way-enabled` – 双方向 SMS メッセージングが有効になっているかどうかを示すブール値。
- `self-managed-opt-outs-enabled` – セルフマネージド型 SMS オプトアウトが有効になっているかどうかを示すブール値。
- `opt-out-list-name` – 電話番号に関連付けられているオプトアウトリストの名前。
- `deletion-protection-enabled` – DeletePhoneNumber オペレーションを使用して電話番号を削除できるかどうかを示すブール値。

トピック

- [電話番号のステータス](#)
- [Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングのショートコードのリクエスト](#)
- [Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングの専用ロングコードのリクエスト](#)

電話番号のステータス

電話番号を初めて購入すると、電話番号の番号ステータスは になります PENDING。電話番号を使用する準備ができたなら、電話番号のステータスは になります ACTIVE。電話番号を登録する必要がある

場合は、電話番号の電話番号ステータスが に変更される前に、その電話番号を完了する必要がありますACTIVE。

電話番号のステータス

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号では、電話番号のステータスが番号ステータス列に表示されます。
 - PENDING – 電話番号を使用する準備ができていません。電話番号の登録が必要になる場合があります。詳細については、「[登録](#)」を参照してください。
 - ACTIVE – 電話番号は使用可能になっています。

Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングのショートコードのリクエスト

ショートコードは、大量の SMS メッセージの送信に使用できる数字です。ショートコードは、application-to-person (A2P) メッセージング、2 要素認証 (2FA)、マーケティングによく使用されます。通常、ショートコードには、拠点とする国に応じて 3~7 桁の数字が含まれます。

ショートコードは、ショートコードが拠点とする同じ国での受信者へのメッセージの送信にのみ使用できます。ユースケースで複数の国のショートコードを使用する必要がある場合、受信者が居住する国ごとに個別のショートコードをリクエストする必要があります。

ショートコード料金の詳細については、「[Amazon Pinpoint SMS 料金表](#)」を参照してください。

重要な考慮事項

ショートコードをリクエストする前に、以下の情報を検討してください。

- 保護されるべき健康情報 (PHI) を含むメッセージを送信するためにショートコードを使用する予定がある場合、サポートケースの [Case description] の項目にその目的を入力する必要があります。
- Amazon Pinpoint SMS は現在、標準のショートコードのみをサポートしています。Free-to-End-User (FTEU) のショートコードはサポートされていません。
- Amazon Pinpoint SMS で SMS メッセージングを初めて使用する場合は、予想される SMS ユースケースの需要を満たす毎月の SMS 利用額しきい値をリクエストする必要があります。デフォルトでは、毎月の利用額しきい値は 1.00 USD です。ショートコードのリクエストが含まれているのと同じサポートケースで、利用額しきい値の増額をリクエストできます。

ステップ 1: サポートケースを開く

ショートコードをリクエストする最初のステップは、サポートセンターコンソールでサービス制限引き上げのケースをオープンすることです。

ショートコードをリクエストするには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. [お客様のサポートケース] ペインで、[ケースを作成] を選択します。
3. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択し、以下を完了します。
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - [送信するメッセージのタイプ] で、ショートコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - どの AWS リージョン からメッセージを送信するかで、メッセージの送信元のリージョンを選択します。

Note

ショートコードは 1 つの AWS リージョンでのみ使用できます。複数の でショートコードを使用できるようにするには AWS リージョン、リージョンごとに個別のショートコードをリクエストする必要があります。

- [メッセージの送信先の国] で、ショートコードを購入する国を入力します。

Note

各ショートコードは 1 つの国に固有です。例えば、米国ベースのショートコードを使用して、カナダの電話番号を持つ受信者にメッセージを送信することはできません。

- 「お客様がメッセージの受信を選択する方法」で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
- [お客様にメッセージを送信するために使用するメッセージテンプレートを指定してください] で、使用するテンプレートを指定します。

Important

このフォームの一部のフィールドには「オプション」というラベルが付いています。ただし、ショートコードの設定プロセスを開始するには、上記の情報をすべて入力する必要があります。

4. Requests セクションで、以下の操作を行います。

- リージョン で、メッセージを送信 AWS リージョン する予定の を選択します。

Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[専用 SMS ショートコード] を選択します。
- [制限] で、ショートコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
- [新しい制限値] で、ターゲットの国とユースケースについて購入するショートコードの数を入力します。

Note

異なる国のショートコードをリクエストする場合、または同じ国の別のユースケースについてショートコードをリクエストする場合は、サポートセンターコンソールで個別のケースをオープンします。個別のケースを作成することで、特定の国またはユースケースのすべての通信が 1 つの AWS Support ケースに制限され、通信ミスの可能性が低くなります。

5. [Case description] の [Use case description] では、次の詳細を入力します。
6. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
7. 完了したら、[送信] を選択します。

AWS Support は、受信から 24 時間以内にリクエストを承認します。ショートコードを提供できる場合は、AWS Support ケースの添付ファイルとしてショートコード登録フォームが提供されます。登録フォームに必要な事項を完全に入力します。このフォームの情報は、モバイル通信事業者でショートコードを設定するために必須です。このフォームの入力方法の詳細については、「AWS Messaging and Targeting Blog」の「[Obtaining a short code for sending text messages to US recipients](#)」を参照してください。このブログ記事では、米国のショートコードを申請するプロセスについて説明していますが、記載されている情報は、他の国でショートコードを申請する場合にも役立ちます。

ショートコードの取得に必要な時間に関するサービスレベルアグリーメントはありません。必要な時間は、ユースケースが通信事業者の要件に準拠しているかどうかによって異なります。通信事業者は、お客様のユースケースが準拠していないと考えた場合、申請を却下し、却下理由に関する情報を提供します。その場合は、この情報が AWS Support ケースに表示されます。AWS Support ケース内のアプリケーションの問題に対処できます。そのためには、通信事業者が申請を再検討できるよう、更新した情報を通信事業者に返送します。

ショートコードの使用に関連する料金は、通信業者にショートコードリクエストを開始した直後から開始されます。ショートコードのプロビジョニングがまだ完了していない場合でも、これらの料金を支払う責任はお客様にあります。迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

ステップ 2: Amazon Pinpoint SMS コンソールで SMS 設定を更新する

ショートコードがプロビジョニングされたことが通知されたら、次のステップを完了します。

Note

ショートコードリクエストが承認され、ショートコードが AWS アカウントに追加されるまで、このステップを完了することはできません。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインで、[設定] の [電話番号] を選択します。

3. 電話番号ページで、ショートコードを選択します。
4. キーワードタブで、HELP キーワードと STOP キーワードの応答がリクエストで指定した値と一致することを確認します。

Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングの専用ロングコードのリクエスト

ロングコード (長い仮想番号、つまり LVN とも呼ばれます) は、拠点とする国に応じて異なる最大 12 文字の標準の電話番号です。ロングコードは通常、少量の person-to-person 通信を対象としています。一部の国では、テストメッセージの送信や顧客への少量のメッセージの送信にロングコードを使用できます。米国を含む他の国では、送信者はロングコードを使用して Amazon Pinpoint SMS から送信するメッセージを含む Application-to-Person (A2P) メッセージを送信することはできません。

Note

Amazon Pinpoint SMS で SMS メッセージングを初めて使用する場合は、予想される SMS ユースケースの需要を満たす毎月の SMS 利用額しきい値もリクエストする必要があります。デフォルトでは、毎月の利用額しきい値は 1.00 USD です。詳細については、「[Amazon Pinpoint SMS の毎月の SMS または音声利用クォータの引き上げをリクエストする](#)」を参照してください。

ロングコードをリクエストする

AWS Support センターでケースを開くと、ロングコードをリクエストできます。


Important

米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモアの受信者にメッセージを送信する場合は、ショートコード、10DLC 電話番号、または通話料無料番号を使用する必要があります。次のステップを完了して、米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモア用にロングコードをリクエストした場合、リクエストは拒否されます。

AWS Support センターでケースを開き、専用のロングコードを要求する場合

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。

2. [お客様のサポートケース] ペインで、[ケースを作成] を選択します。
3. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択し、以下を完了します。
 - [制限タイプ] で、[Pinpoint SMS] を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) [What type of messages do you plan to send (送信するメッセージのタイプ)] で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) からメッセージを送信する AWS リージョンで、メッセージを送信するリージョンを選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
4. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
 - [Region] で、メッセージの送信元となるリージョンを選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[専用 SMS ロングコード] を選択します。
 - [New limit value] で、購入するロングコードの数を入力します。
5. [Case description] の [Use case description] では、次の詳細を入力します。
 6. (オプション) さらにリクエストを出したい場合は、[Add another request] を選択します。
 7. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
 8. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。追加の情報をご依頼することがあります。承認されると、ロングコードにキーワードとレスポンスメッセージを追加できます。

ロングコードを提供できない場合は、その取得に関連付けられているコストに関する情報を送信します。また、ロングコードのプロビジョニングに必要な時間の見積もりも提供されます。多くの国々では、24 時間以内に専用ロングコードが提供されます。ただし、一部の国と地域では、SMS チャンネルの専用ロングコードの取得に数週間かかる場合があります。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

Amazon Pinpoint SMS アカウントから電話番号を解放する。

Amazon Pinpoint SMS を介して以前にリクエストした電話番号が不要になった場合は、Amazon Pinpoint SMS アカウントからリリースできます。電話番号をリリースすると、はその番号を次の暦月の請求書に AWS 課金します。

Important

Amazon Pinpoint SMS アカウントから電話番号を解放することは永続的であり、元に戻すことはできません。電話番号を解放すると、今後同じ番号を再取得できなくなります。電話番号を解放する前に、削除保護を無効にする必要があります。削除に対する保護についての詳細は、「[削除保護](#)」を参照してください。

10DLC 電話番号をリリースするには、ACTIVE ステータスである必要があります。最近 10DLC の電話番号をリクエストしたが、まだ PENDING ステータスのままである場合は、ステータスを 1~2 営業日で再確認して、その電話番号がであることを確認

しACTIVE、10DLC の電話番号をリリースできます。電話番号の状態を確認する方法の詳細については、「」を参照してください。 [電話番号のステータス](#)

Release a phone number from your Amazon Pinpoint SMS account (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon Pinpoint SMS アカウントから電話番号をリリースするには、次の手順に従います。

電話番号を解放する (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. リリースする電話番号を選択し、電話番号をリリースを選択します。
4. 「電話番号のリリース」ウィンドウで「電話番号のリリース」と入力 **release** し、「電話番号のリリース」を選択します。

Release a phone number from your Amazon Pinpoint SMS account (AWS CLI)

CLI [release-phone-number](#) を使用して、アカウントから電話番号をリリースできます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 release-phone-number \  
> --phone-number-id phoneNumberId
```

前述のコマンドで、*phoneNumberId* を電話番号の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *phoneNumberId* に置き換えます。

双方向 SMS メッセージング

Amazon Pinpoint SMS には、双方向 SMS のサポートが含まれています。双方向 SMS を設定すると、お客様からの着信メッセージを受信することができます。また、双方向メッセージングを Lambda や Amazon Lex などの他の AWS サービスと併用して、インタラクティブなテキストメッセージング体験を作成することもできます。

顧客の 1 人が電話番号にメッセージを送信すると、メッセージ本文は処理のために Amazon SNS トピックまたは Amazon Connect インスタンスに送信されます。

Note

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS 国の機能と制限](#)」を参照してください。

双方向 SMS 用の Amazon Connect は、Amazon Connect 「Amazon Connect 管理者ガイド」の「[チャットメッセージング: SMS サブタイプ AWS リージョン](#)」に記載されている利用できます。

Two-way SMS messaging (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して双方向 SMS を有効にするには、次の手順に従います。

双方向 SMS を有効にする

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. [電話番号] ページで、電話番号を選択します。
4. [双方向 SMS] タブで、[設定を編集] ボタンを選択します。
5. [設定を編集] ページで [双方向メッセージを有効にする] を選択します。
6. 送信先タイプには、Amazon SNS または Amazon Connect を選択します。
 - Amazon SNS では、新しい Amazon SNS トピックまたは既存の Amazon SNS トピックのいずれかを選択し、双方向チャンネルロールでは、既存の IAM ロールを選択するか、Amazon SNS トピックポリシーを使用するを選択します。
 - 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントにトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「Amazon SNS デベロッパーガイド」の「[Amazon SNS を設定する](#)」を参照してください。
 - 既存の Amazon SNS トピック – このオプションを選択した場合は、受信メッセージの宛先ドロップダウンから既存の Amazon SNS トピックを選択する必要があります。
 - 双方向チャンネルロールでは、次のいずれかを選択します。

- 既存の IAM ロールの選択 – Amazon SNS トピックに適用する既存の IAM ポリシーを選択します。例えば、Amazon SNS ポリシーについては、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#)。
 - Amazon SNS トピックポリシーを使用する – Amazon SNS トピックには、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを許可するための適切な Amazon SNS トピックポリシーが必要です。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー](#)。
 - [双方向チャンネルの役割] の Amazon Connect では、[既存の IAM ロールを選択する] を選択します。
 - [既存の IAM ロール] ドロップダウンで、メッセージの送信先として既存の IAM ロールを選択します。IAM ポリシーの例については、[Amazon Connect の IAM ポリシー](#) 「」を参照してください。
7. [変更の保存] をクリックします。
 8. (オプション) 送信先タイプとして Amazon Connect を選択した場合は、電話番号を Amazon Connect にインポートウィンドウで次のようにします。
 - a. [受信メッセージの送信先] ドロップダウンで、受信メッセージを受信する Amazon Connect インスタンスを選択します。
 - b. [電話番号をインポート] をクリックします。

Two-way SMS messaging (AWS CLI)

[update-phone-number](#) コマンドを使用して、双方向 SMS を有効にできます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number \  
> --phone-number-id PhoneNumber \  
> --two-way-enabled True \  
> --two-way-channel-arn TwoWayARN \  
> --two-way-channel-role TwoChannelWayRole
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を電話番号の の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) *PhoneNumber* に置き換えます。

- **TwoWayARN** を Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えて、受信 SMS メッセージを受信します。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー](#)。Amazon Connect をインバウンド送信先セット **TwoWayARN** として設定するには、を に設定します `connect.region.amazonaws.com`。 **region** AWS リージョン を Amazon Connect インスタンスがホストされている に置き換えます。
- を使用する IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) **TwoChannelWayRole** に置き換えます。SNS アクセス許可ポリシーの例については、[Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#) 「」を参照してください。Amazon Connect ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon Connect の IAM ポリシー](#)。このパラメータは、IAM アクセス許可ポリシーを使用する場合にのみ必要です。

Amazon SNS トピックの IAM ポリシー

Amazon Pinpoint SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、Amazon Pinpoint SMS が引き受けられるように、そのロールに次のポリシーをアタッチします。ロールの信頼関係を変更する方法については、[IAM ユーザーガイドの「ロールの変更」](#)を参照してください。

以下は、IAM ロールの信頼ポリシーです。次の IAM ポリシーで、次の変更を加えます。

- **accountId** を AWS アカウントの一意の ID に置き換えます。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoice",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sts:AssumeRole",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        }
      }
    }
  ]
}
```

```
]
}
```

以下は、IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。SMSVoiceAllowSNSPublish Sid は Amazon SNS トピックへの発行を許可するアクセス許可ポリシーであり、Sid SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics は暗号化された Amazon SNS トピックのオプションです。

次の IAM アクセス許可ポリシーで、次の変更を加えます。

- *partition* は、Amazon Pinpoint SMS を使用する AWS パーティションに置き換えます。
- *region* AWS リージョン は、Amazon Pinpoint SMS を使用する に置き換えます。
- *accountId* を の一意の ID に置き換えます AWS アカウント。
- を、メッセージを受信する Amazon SNS トピック *snsTopicArn* に置き換えます。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowSNSPublish",
      "Effect": "Allow",
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicArn",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:ResourceAccount": "accountId"
        }
      }
    },
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "kms:Decrypt",
        "kms:GenerateDataKey*"
      ],
      "Resource": "*",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "kms:EncryptionContext:aws:sns:topicArn":
            "arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicArn",

```



```
        "aws:CalledViaLast": "sns.amazonaws.com"
      }
    }
  ]
}
```

Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー

Amazon SNS トピックは、*TwoChannelWayRole*パラメータで指定されていない場合、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを許可する適切なトピックポリシーが必要です。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": "sns:Publish",
  "Resource": "snsTopicArn"
}
```

上の例に、以下の変更を加えます。

- を、メッセージを送受信する Amazon SNS トピック*snsTopicArn*に置き換えます。

Note

Amazon SNS FIFO トピックはサポートされていません。

Amazon Pinpoint SMS データは暗号化されますが、セキュリティを強化するために AWS KMS キーを使用して暗号化された Amazon SNS トピックを使用できます。このようなセキュリティの強化は、プライベートなデータや機密性の高いデータを扱うアプリケーションに有効です。

暗号化された Amazon SNS トピックを双方向メッセージングで使用するには、いくつかの追加設定手順を実行する必要があります。

次のステートメント例では、「混乱した代理」問題を回避し、Amazon Pinpoint SMS 所有者アカウントのみがアクセスできるように、オプションですが推奨されている *SourceAccount* および

SourceArn条件を使用しています。混乱した代理問題の詳細については、[IAM ユーザーガイドの「混乱した代理問題」](#)を参照してください。

まず、使用する鍵は対称である必要があります。暗号化された Amazon SNS トピックは、非対称 AWS KMS キーをサポートしていません。

次に、Amazon Pinpoint SMS がキーを使用できるようにキーポリシーを変更する必要があります。既存のキーポリシーに以下の権限を追加します。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": [
    "kms:GenerateDataKey*",
    "kms:Decrypt"
  ],
  "Resource": "*",
  "Condition": {
    "StringEquals": {
      "aws:SourceAccount": "accountId"
    },
    "ArnLike": {
      "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:*"
    }
  }
}
```

キーポリシーの編集の詳細については、『AWS Key Management Service デベロッパーガイド』の「[Changing a key policy](#)」を参照してください。

AWS KMS キーを使用した Amazon SNS トピックの暗号化の詳細については、Amazon Simple Notification Service [デベロッパーガイドの「AWS のサービスからのイベントソースと暗号化されたトピック間の互換性を有効にする」](#)を参照してください。

Amazon SNS トピックの双方向 SMS メッセージペイロードの例

番号が SMS メッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS は指定した Amazon SNS トピックに JSON ペイロードを送信します。次の例にあるように、JSON ペイロードにはメッセージと関連するデータが含まれています。

```
{
  "originationNumber":"+14255550182",
  "destinationNumber":"+12125550101",
  "messageKeyword":"JOIN",
  "messageBody":"EXAMPLE",
  "inboundMessageId":"cae173d2-66b9-564c-8309-21f858e9fb84",
  "previousPublishedMessageId":"wJalrXUtnFEMI/K7MDENG/bPxRfiCYEXAMPLEKEY"
}
```

着信メッセージペイロードには、次の情報が含まれています。

プロパティ	説明
originationNumber	受信メッセージを送信した電話番号（つまり、お客様の電話番号）。
destinationNumber	お客様がメッセージを送信した電話番号（専用の電話番号）。
messageKeyword	専用電話番号に関連付けられている登録済みのキーワード。
messageBody	お客様から送信されたメッセージ。
inboundMessageId	受信メッセージの一意の識別子。
previousPublishedMessageId	お客様が応答しているメッセージの一意の識別子。

Amazon Connect の IAM ポリシー

Amazon Pinpoint SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、Amazon Pinpoint SMS が引き受けられるように、そのロールに次のポリシーをアタッチします。ロールの既存の信頼関係を変更する方法については、[IAM ユーザーガイドの「ロールの変更」](#)を参照してください。

新しい IAM ポリシーを作成するには、次の手順を実行します。

1. 「IAM ユーザーガイド」の「[JSON エディタを使用したポリシーの作成](#)」の指示に従って、新しいアクセス許可ポリシーを作成します。
 - ステップ 4 では、以下で定義されたアクセス許可ポリシーを使用します。
2. 「IAM ユーザーガイド」の「[カスタム信頼ポリシーを使用したロールの作成](#)」の手順に従って、新しい信頼ポリシーを作成します。 https://docs.aws.amazon.com/IAM/latest/UserGuide/id_roles_create_for-custom.html
 - a. ステップ 4 では、以下で定義された信頼ポリシーを使用します。
 - b. ステップ 11 で、前のステップで作成したアクセス許可ポリシーを追加します。

以下は、Amazon Connect への発行を許可する IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "connect:SendChatIntegrationEvent"
      ],
      "Resource": [
        "*"
      ]
    }
  ]
}
```

IAM ロールの信頼ポリシーを次に示します。

- *accountId* を の一意の ID に置き換えます AWS アカウント。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoice",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      }
    }
  ]
}
```

```
    },
    "Action": "sts:AssumeRole",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "accountId"
      }
    }
  }
]
```

キーワード

キーワードとは、顧客が電話番号に送信してレスポンスを引き出すことができる特定の単語またはフレーズです。例えば、情報メッセージ、より多くのメッセージを受信するオプトイン、特別なオファー、その他のプロモーションメッセージやトランザクションメッセージなどです。番号がキーワードで始まるメッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS はカスタマイズ可能なメッセージで応答します。

ショートコードの場合、コンソールには、 からショートコードをリクエストしたときに最初に定義したキーワードとレスポンスが表示されます AWS Support。 は、ショートコードをプロビジョニングするときに、キーワードとレスポンスを通信事業者 AWS Support に登録します。

ロングコードの場合、コンソールにはデフォルトのキーワードとレスポンスが表示されます。

[重要]

キーワードと応答メッセージは、通信事業者と携帯電話業界グループによって設定されたガイドラインに従う必要があります。従っていない場合は、監査の後、そのようなグループがショートコードまたはロングコードに対してアクションを実行する可能性があります。このアクションには、番号を拒否リストに追加したり、メッセージをブロックしたりすることが含まれます。

キーワードの長さは 1~30 文字で、先頭や末尾にスペースを含めることはできません。キーワードでは大文字/小文字を区別します。

米国の通信事業者では、次のキーワードをサポートするショートコードが必要です。さらに、 は、次のキーワードをサポートするすべてのロングコードとショートコード AWS を想定します。

HELP

カスタマーサポートを受ける場合に使用されます。応答メッセージには、次の例にあるように、カスタマーサポートのお問い合わせ先情報を含める必要があります。

「アカウントについてのお問い合わせは、(206) 555-0199 までお電話ください。」

STOP

番号からのメッセージの受信をオプトアウトする場合に使用されます。STOP に加えて、対象者は CANCEL または OPTOUT などのサポートされているオプトアウトキーワードを使用できます。サポートされているオプトアウトキーワードについては、「[必須のオプトアウトキーワード](#)」を参照してください。番号がオプトアウトキーワードを含む SMS メッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントからオプトアウトした個人への SMS メッセージの送信を停止します。

応答メッセージは、次の例に示すように、オプトアウトしたユーザーへのメッセージ送信が中止されたことを確認する必要があります。

「オプトアウトされたため、今後はメッセージを受信しません。」

Note

受信者がメッセージの最初の単語としてこれらのキーワードのいずれかで応答した場合、Amazon Pinpoint SMS はそのキーワードの応答で応答します。例えば、受信者がメッセージの 1 つに「この意味を理解してください」と答えた場合、Amazon Pinpoint SMS は HELP キーワードに指定したレスポンスで応答します。

トピック

- [必須のオプトアウトキーワード](#)
- [キーワードアクション](#)
- [キーワードを管理する](#)

必須のオプトアウトキーワード

現地の法律および規制により義務付けられている場合 (米国およびカナダなど)、SMS の受取人は、デバイスを利用して以下のいずれかのメッセージに返信することによって、オプトアウトできます。

Note

電話番号と電話プールにカスタムキーワードを追加してオプトアウトできます。

- 停止
- CANCEL
- END
- OPT-OUT
- OPTOUT
- QUIT
- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信に使用したのと同じ電話番号に返信する必要があります。オプトアウトすると、受信者は AWS アカウントから SMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。ユーザーは、UNSTOP または START をキーワードとして使用して、通話料無料に新しいメッセージを送信することで、再サブスクライブできます。

ユーザーが再サブスクライブできるようにを設定するには、キーワード UNSTOP、START、またはその両方を通話料無料番号に追加し、キーワードアクションを設定します Opt-in。キーワードの追加の詳細については、「」を参照してください [キーワードを管理する](#)。

キーワードアクション

キーワードには、3つのアクションのいずれかを関連付けることができます。顧客がキーワードで応答すると、アクションが実行されます。

- Opt-out – 受信者はオプトアウトリストに追加され、今後のメッセージは受信されません。
- Opt-in – 受信者が今後のメッセージを受信したい。
- Automatic response – メッセージが受信者に送信されます。

キーワードを管理する

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、電話番号のキーワードレスポンスをカスタマイズします。

Add a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、電話番号にキーワードを追加します。

キーワードを追加する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインで、[設定] の [電話番号] を選択します。
3. [電話番号] ページで、キーワードを追加する電話番号を選択します。
4. [キーワード] タブで [キーワードを追加] ボタンを選択します。
5. [カスタムキーワード] ペインで、以下を追加します。
 - キーワード – 追加する新しいキーワード。
 - 応答メッセージ – 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション – キーワードの受信時に実行するアクション。
6. [キーワードを追加] を選択します。

Edit a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してキーワードを編集します。

キーワードを編集するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインで、[設定] の [電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、 キーワードを含む電話番号を選択します。
4. キーワードタブで編集するキーワードを選択し、キーワードの編集ボタンを選択します。
5. カスタムキーワードペインで、次のいずれかを変更します。
 - キーワード – 変更するキーワード。
 - 応答メッセージ – 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション – キーワードの受信時に実行するアクション。
6. キーワード の保存 を選択します。

Delete a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してキーワードを削除します。

Note

必要なオプトアウトキーワードは削除できません。

キーワードを削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、 キーワードを含む電話番号を選択します。
4. キーワード タブで削除するキーワード を選択し、キーワード を削除します。

Add or edit a keyword (AWS CLI)

[put-keyword](#) コマンドを使用して、新しいキーワードを作成または編集できます。キーワードがすでに存在する場合は、上書きされます。

キーワードを作成するには、AWS CLIで次のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword \  
> --keyword-message KeywordMessage \  
> --keyword-action KeywordAction
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、キーワードを追加する電話番号の一意的 ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。
- *Keyword* を新しいキーワードに置き換えます。
- を、キーワードに応答するときに使用するメッセージ *KeywordMessage* に置き換えます。
- キーワード *KeywordAction* が受信されたときに実行する アクション (AUTOMATIC_RESPONSE、OPT_OUT、OPT_IN) を置き換えます。

List keywords (AWS CLI)

[describe-keywords.html](#) コマンドを使用して、発信元 ID に関連付けられているキーワードに関する情報を表示できます。

コマンドライン AWS CLI で を使用してキーワードのリストを表示するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-keywords \  
> --origination-identity OriginationIdentity
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

を、キーワードのリストを取得する電話番号または送信者 ID の一意的 ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。

Delete a keyword (AWS CLI)

[delete-keyword](#) コマンドを使用してキーワードを削除できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、キーワードを削除する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。
- *Keyword* を、削除するキーワードに置き換えます。

オプトアウトリスト

オプトアウトリストは、メッセージを送信すべきではない送信先の電話番号のリストです。SMS メッセージを送信し、送信元番号に STOP というキーワードを含む返信があると、送信先 ID が自動的にオプトアウトリストに追加されます (自己管理型オプトアウトオプションを有効にしている場合を除く)。オプトアウトリストに登録されている送信先番号にメッセージを送信しようとしたときに、そのオプトアウトリストがメッセージの送信に使用された電話番号に関連付けられている場合、Amazon Pinpoint SMS はメッセージの送信を試みません。

オプトアウトリストの管理

デフォルトでは、電話番号が作成されると、デフォルトのオプトアウトリストに割り当てられます。オプトアウトリストから送信先電話番号を追加または削除する方法の詳細については、「」を参照してください [オプトアウトリストの電話番号の管理](#)。

Create or change opt-out list (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを変更するには、次の手順に従います。

オプトアウトリストを作成または変更する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、電話番号を選択します。
4. オプトアウトリストタブで、設定の編集ボタンを選択します。
5. オプトアウトリストで、次のいずれかを選択します。
 - 新しいオプトアウトリストを作成する – 新しい空のオプトアウトリストを作成します。リスト名にオプトアウトリストの名前を入力します。

- 既存のオプトアウトリストを選択する – ドロップダウンから以前に作成したオプトアウトリストを選択します。

6. [変更の保存] をクリックします。

Create an opt-out list (AWS CLI)

[create-opt-out-list](#) コマンドを使用してオプトアウトリストを作成できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-opt-out-list --opt-out-list-name OptOutListName
```

前述のコマンドで、 をオプトアウトリスト名 *OptOutListName* に置き換えます。

Change an opt-out list (AWS CLI)

[update-phone-number](#) コマンドを使用して、電話番号で使用されるオプトアウトリストを変更できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number --phone-number-id PhoneNumberId --opt-out-list-name OptOutListName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を電話番号の の *PhoneNumberId* または Amazon リソースネーム (ARN) *PhoneNumberId* に置き換えます。
- を Amazon リソースネーム (ARN) またはオプトアウトリスト名 *OptOutListName* に置き換えます。

セルフマネージドオプトアウト

デフォルトでは、顧客が HELP または STOP で始まるメッセージを専用番号のいずれかに送信すると、Amazon Pinpoint SMS は自動的にカスタマイズ可能なメッセージで応答します。STOP メッセージを受信した場合、Amazon Pinpoint SMS は、以後の SMS メッセージの受信をオプトアウトします。Amazon Pinpoint SMS 以外のサービスを使用して HELP レスポンスと STOP レスポンスを管理する場合は、セルフマネージドオプトアウトを有効にできます。

この機能を有効にすると、Amazon Pinpoint SMS が顧客が送信する受信メッセージを処理する方法に 3 つの変更があります。最初に、着信した HELP と STOP メッセージに対する自動応答の送信を停止します。次に、Amazon Pinpoint SMS は、顧客が STOP メッセージを送信するときに、以後の SMS メッセージの受信をオプトアウトするのを自動的に停止します。最後に、自動的に送信者に応答するのではなく、双方向 SMS メッセージを受信するために使用する Amazon SNS トピックに着信する HELP と STOP のメッセージをルーティングします。

この機能を有効にすると、HELP と STOP のリクエストに応答する責任が生じます。また、オプトアウトリクエストを追跡し、従う責任も生じます。

Important

多くの国、リージョン、管轄区域では、不要な SMS メッセージの送信に多額の罰金を科しています。この機能を有効にする場合、オプトアウトリクエストをキャプチャして管理するためのシステムとプロセスが用意されていることを確認してください。

Note

電話番号のセルフマネージドオプトアウトを有効にするには、まず双方向 SMS メッセージングを有効にする必要があります。

セルフマネージドオプトアウトを有効にする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで電話番号を選択します。
4. オプトアウトリストタブで、設定の編集ボタンを選択します。
5. オプトアウト管理ページで「セルフマネージドオプトアウトを有効にする」を選択し、「変更を保存」を選択します。

削除保護

削除保護を有効にすると、削除保護が無効になるまで電話番号を解放できなくなります。デフォルトでは、削除保護は無効になっています。

Enable deletion protection (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して削除保護を変更するには、次の手順に従います。

削除保護を有効にする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、削除保護が有効になっている電話番号を選択します。
4. 削除保護タブで、設定の編集ボタンを選択します。
5. 削除保護を有効にするを選択し、変更を保存 を選択します。

Enable deletion protection (AWS CLI)

[update-phone-number](#) コマンドを使用して、電話番号の削除保護を有効にできます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number --phonenumber-id PhoneNumberid --deletion-protection-enabled
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を電話番号の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) *PhoneNumberid* に置き換えます。

タグ

タグはキーと値のペアで、オプションで AWS リソースに適用してアクセスまたは使用量を制御できます。リソースにタグを追加すると、目的、所有者、環境、その他の基準など、さまざまな方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用して、既存のリソースを簡単に検索したり、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御したりできます。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグの管理 (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、タグを追加する電話番号を選択します。
4. タグ タブで タグの管理 を選択します。
 - タグの追加 – タグの管理 で、新しいタグを追加 を選択して、新しい空白のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – タグの管理 で、キーと値のペアの横にある 削除 を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理でキーまたは値を選択し、テキストを編集します。
5. [変更の保存] をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

を使用して AWS CLI、タグを追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソース名前 (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

を使用してタグ AWS CLI を削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソース名前 (ARN) に置き換えます。

- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

送信者 ID

送信者 ID は、SMS メッセージの送信者を識別する英数字名です。送信者 ID を使用して SMS メッセージを送信し、送信者 ID 認証がサポートされているエリアに受信者がいる場合は、電話番号ではなく、送信者 ID が受信者のデバイスに表示されます。送信者 ID は、電話番号やショートコードよりも、送信者に関する詳細な情報を SMS の受取人に示すことができます。例えば、架空の会社 Example Corp が送信者 ID を使用場合があります。EXAMPLECO

送信者 IDs は、世界中の多くの国や地域でサポートされています。一部の地域では、企業として個別のお客様に SMS メッセージを送信する場合は、事前に規制当局または業界団体に登録されている送信者 ID を使用する必要があります。送信者 ID をサポートしている、または必要な国や地域の詳細な一覧は、「[SMS 国の機能と制限](#)」を参照してください。

利点

送信者 ID は、メッセージの送信者に関する詳細を受取人に示します。ショートコードやロングコードよりも、送信者 ID を使用した方が簡単にブランドのアイデンティティを確立することができます。送信者 ID の使用には追加料金はかかりません。

欠点

送信者 ID 認証のサポートや要件は、国やリージョンによって異なります。主要な市場 (例: カナダ、中国、米国) の中には、送信者 ID がサポートされていない場合があります。一部のエリアでは、送信者 ID を使用する前に、規制機関の事前承認を取得する必要があります。

トピック

- [送信者 ID の国機能と制限](#)
- [登録済みおよび動的送信者 IDs](#)
- [送信者 ID に関する考慮事項](#)
- [送信者 IDs の管理](#)
- [タグ](#)

送信者 ID の国機能と制限

送信者 IDs 「」の「送信者 IDs」列を参照してください[サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)。

登録済みおよび動的送信者 IDs

登録済み送信者 ID – 登録済み送信者 ID は、規制当局または業界グループに登録されています。送信者 ID をサポートしている、または必要な国や地域の詳細な一覧は、「[サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)」を参照してください。

動的送信者 ID – 動的送信者 ID は、規制当局や業界グループに登録する必要はありません。登録要件はすぐに変更される可能性があるため、動的送信者 IDs のオプション登録を完了することをお勧めします。をサポートする、またはオプションで送信者 ID 登録を持つ国とリージョンの完全なリストについては、「」を参照してください[サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)。

送信者 ID に関する考慮事項

送信者 ID を作成するときは、次の点を考慮する必要があります。

- 会社のブランディングや SMS サービス、またはユースケースに合った Sender ID を選択してください。
- 数値のみの送信者 ID はサポートされていません。
- Amazon Pinpoint SMS 送信者 ID がサポートする文字 (一部の国では、これらを上書きする場合があります)。
 - ダッシュ (-) 以外の特殊文字は使用不可
 - スペースは使用できません
 - 有効な文字: a~z、A~Z、0~9
 - 3 文字以上
 - 最大 11 文字
- 送信先の国に登録が必要な場合は、送信 AWS リージョン 元の予定の各 の登録を送信する必要があります。

送信者 IDs の管理

送信者 ID をリクエストして利用可能であることを確認する前に、「」を参照してください[サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)。

Note

一部の国では、送信者 ID を登録するか、サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする必要があります。

- インドの送信者 ID 登録 – インドで使用する送信者 ID を登録します。の登録を完了する方法の詳細については、「」を参照してください [インドの送信者 ID の登録プロセス](#)。
- シンガポールの送信者 ID 登録 – シンガポールで送信者 ID を登録します。の登録を完了する方法の詳細については、「」を参照してください [シンガポール登録フォーム](#)。
- 事前に登録されたアルファベットの送信者 ID を使用するには、送信者から送信者 ID をリクエスト AWS Support する必要があります。から送信者 ID をリクエストするには AWS Support、[Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする](#)。一部の国では、承認を得るために、送信者は特定の要件を満たすか、特定の制限に従う必要があります。このような場合、送信者 ID リクエストを送信した後、AWS Support から追加情報を求められることがあります。送信者 ID をリクエストするためにサポートチケットが必要な国のリストについては、「」の「送信者 IDs」列を参照してください [サポートされている国と地域 \(SMS チャネル\)](#)。

Request a sender ID (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して送信者 ID をリクエストするには、次の手順に従います。

送信者 ID をリクエストする

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「送信者 ID」を選択し、「発信者をリクエストする」を選択します。
3. 国の選択 ページで、メッセージが送信される国をドロップダウンから選択する必要があります。

次へを選択して、ユースケースの定義と、推奨される電話番号または送信者 ID タイプの定義を続行します。

4. [メッセージングのユースケース] セクションで、次を入力します。
 - [番号機能] で、要件に応じて [SMS]、[音声]、またはその両方を選択します。

- SMS – SMS 機能が必要かを選択します。
 - 音声 (テキストから音声) – 音声機能が必要かを選択します。
5. [推定月間 SMS ボリ्यूーム – オプション] で、毎月送信する SMS メッセージ数を選択します。
 6. [会社の本社 - オプション] で、次のいずれかを選択します。
 - ローカル – 会社が SMS メッセージを配信する顧客と同じ国にある場合は、これを選択します。例えば、本社が米国にあり、メッセージを受信するユーザーも米国にいる場合は、このオプションを選択します。
 - 国際 – 会社が SMS メッセージを配信する顧客と同じ国にない場合は、これを選択します。
 7. [次へ] を選択します。
 8. 「発信者タイプ」で「送信者 ID」を選択します。

送信者 ID が使用できない場合は、前の を選択して戻ってユースケースを変更します。また、[サポートされている国と地域 \(SMS チャネル\)](#) から送信者 IDs が送信先の国でサポートされていることを確認します。

送信者 ID フィールドに送信者 ID を入力します。送信者 ID は、文字 (A~Z)、数字 (0~9)、ハイフン (-) を含む 1~11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID は文字で始まる必要があります。

9. [次へ] を選択します。
10. [確認とリクエスト] で、リクエストを送信する前に検証して編集できます。[リクエスト] を選択します。
11. リクエストした番号のタイプによっては、登録必須ウィンドウが表示される場合があります。登録要件の詳細については、「」を参照してください[登録](#)。
 - a. 登録フォーム名に名前を入力します。
 - b. 登録を完了を選択して、送信者 ID の登録を完了するか、後で登録します。

**Important**

登録状況に関係なく、毎月の定期リース料金が引き続き請求されます。

Release a sender ID (Console)

送信者 ID が不要になった場合は、アカウントから削除できます。送信者 ID を削除すると、翌月の請求書での請求は停止します。

送信者 ID を解放する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「送信者 ID」を選択します。
3. リリースする送信者 ID を選択し、の削除を選択します。
4. 「送信者 ID のリリース」ダイアログで「」と入力 **release** し、「送信者 ID のリリース」を選択します。

Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする

送信者 IDs が必要な国から受信者にメッセージを送信する場合は、AWS サポートセンターで新しいケースを作成して送信者 ID をリクエストできます。


Important

- インドで送信者 ID の登録が必要な場合は、サポートセンターでケースを開く前に、[インドの送信者 ID の登録プロセス](#) で手続きを行ってください。
- シンガポールで送信者 ID の登録が必要な場合は、「[シンガポール登録プロセス](#)」の手続きを完了してください。

送信者 ID をリクエストするには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. [お客様のサポートケース] ペインで、[ケースを作成] を選択します。
3. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択し、以下を完了します。
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。

- (オプション) [What type of messages do you plan to send (送信するメッセージのタイプ)] で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) からメッセージを送信する AWS リージョンで、メッセージを送信するリージョンを選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
4. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
- [Region] で、メッセージの送信元となるリージョンを選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[Sender ID Registration] を選択します。
 - クォータ で、送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [新しいクォータ値] で、リクエストする送信者 ID の数を入力します。通常、この値は「1」です。
5. [ケースの説明] の [ユースケースの説明] で、次の情報を入力します。
- 登録する送信者 ID。

- SMS メッセージに使用する予定のテンプレート。
 - 各受信者に 1 か月あたりに送信する予定のメッセージの数。
 - 顧客がお客様からのメッセージの受信をオプトインする方法に関する情報。
 - 会社または組織の名前。
 - 会社または組織に関連付けられている住所。
 - 会社または組織の拠点を置く国。
 - 会社または組織の電話番号。
 - 会社または組織のウェブサイトの URL。
6. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。
 7. 問い合わせオプションで、優先する問い合わせ言語で、AWS サポートチームと通信するとき使用する言語を選択します。
 8. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。追加の情報をご依頼することがあります。

送信者 ID を提供できる場合は、送信者 ID のプロビジョニングに必要な時間の見積もりを送信します。ほとんどの国で、2 ~ 4 週間以内に送信者 ID を提供することができます。ただし、一部の国では、送信者 ID の取得に数週間かかる場合があります。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

タグ

タグはキーと値のペアで、オプションで AWS リソースに適用してアクセスまたは使用量を制御できます。リソースにタグを追加すると、目的、所有者、環境、その他の基準など、さまざまな方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用して、既存のリソースを簡単に検索したり、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御したりできます。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグの管理 (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「送信者 IDs」を選択します。
3. 送信者 IDs ページで、タグを追加する送信者 ID を選択します。
4. タグ タブで タグの管理 を選択します。
5.
 - タグの追加 – タグの管理 で、新しいタグを追加 を選択して、新しい空白のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – タグの管理で、キーと値のペアの横にある 削除を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理でキーまたは値を選択し、テキストを編集します。
6. [変更の保存] をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

を使用して AWS CLI、タグを追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

を使用してタグ AWS CLI を削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

登録

一部の国では、電話番号や送信者 ID を購入したり、その国の受信者に送信したメッセージを確認したりするために、会社の ID を登録する必要があります。登録が必要な国の詳細については、[を参照してください](#)。 [サポートされている国と地域 \(SMS チャンネル\)](#)

Note

コンソールのエクスペリエンスが更新され、登録用の登録名フィールドが表示されるようになりました。このフィールドは「—」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービスの値を手動で埋め戻すことがないためです。登録名はオプションのフレンドリネームフィールドで、登録詳細ページのタグを使用して更新できます。Name タグを追加する方法の詳細については、[を参照してください](#) [登録名を変更](#)。

Tip

future 登録が必要になる可能性があるため、任意であっても、すべての登録を完了することをお勧めします。

以下の登録フォームは、Amazon Pinpoint SMS コンソールから入力して送信できます。

- 米国のフリーダイヤル番号 — (米国およびプエルトリコ、米領バージン諸島、グアム、米領サモアのみ) 888、877、866、855、844、833 で始まるフリーダイヤル (TFN)。通話料無料の番号のスループットは 3 メッセージパーツ / 秒に制限されています。通話料無料では、SMS および音声メッセージの両方に対応しています。米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米領サモア以外の受信者へのメッセージ送信には使用できません。登録方法の詳細については、[を参照してください](#)。 [米国フリーダイヤル番号登録フォーム](#)
- US 10DLC ブランド登録 — 10DLC の電話番号やキャンペーンを利用できるように会社またはブランドを登録してください。登録を完了する方法の詳細については、[を参照してください](#)。 [10DLC ブランド登録フォーム](#)

- 米国 10DLC ブランド審査 — 10DLC 電話番号や 10DLC キャンペーンをリクエストする前に、会社またはブランドを登録する必要があります。会社登録は一度だけです。会社登録は、キャンペーンレジストリという業界団体で管理されています。登録の完了について詳しくは、[を参照してください](#)。[10DLC ブランド・ベッティング](#)
- US 10DLC キャンペーン登録 — 10DLC キャンペーンを使用するには登録が必要です。登録方法の詳細については、「」を参照してください。[10DLC キャンペーン登録フォーム](#)
- シンガポールの送信者 ID 登録 — シンガポールで送信者 ID を登録します。登録を完了する方法の詳細については、[を参照してください](#)。[シンガポール登録フォーム](#)

以下の登録では、Support センターコンソールでサポートケースを開く必要があります。

- インド送信者 ID 登録 — インドで使用する送信者 ID を登録します。登録を完了する方法の詳細については、[を参照してください](#)。[インドの送信者 ID の登録プロセス](#)
- 中国 SMS テンプレートの登録 — 中国で使用する SMS テンプレートを登録します。登録を完了する方法の詳細については、[を参照してください](#)。[中国 SMS テンプレート登録プロセス](#)。

トピック

- [新しい登録を作成します。](#)
- [登録名を変更](#)
- [登録のステータスを確認する](#)
- [登録を編集する](#)
- [インドの送信者 ID の登録プロセス](#)
- [シンガポール登録プロセス](#)
- [中国 SMS テンプレート登録プロセス](#)
- [フリーダイヤル番号登録プロセス](#)
- [10DLC の登録プロセス](#)

新しい登録を作成します。

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、Amazon Pinpoint SMS アカウントの登録を管理できます。電話番号または送信者 ID のリクエストの一環として登録がすでに作成されている場合は、新しい登録を作成する必要はありません。登録に関連するリソースは、「関連リソース」タブで確認できます。詳細については、[を参照してください](#)。[登録リソースを表示する](#)

⚠ Important

登録によっては、複数の手順を正確な順序で完了する必要がある場合があります。

- US 10DLC 番号を登録するには、まず US 10DLC ブランド登録を登録して完了し、次に 1 秒あたりのメッセージ数 (MPS) を増やすためのオプションの US 10DLC ブランド審査を申請し、次に US 10DLC キャンペーン登録を登録する必要があります。企業ごとに必要な 10DLC ブランド登録は 1 回だけですが、1 つのブランドに複数の US 10DLC キャンペーンを添付することもできます。このプロセスの詳細については、[を参照してください](#)。[10DLC の登録プロセス](#)
- シンガポールの送信者 ID 登録を登録するには、まずシンガポール固有エンティティ番号 (UEN) を取得し、シンガポールの送信者 ID 登録を作成して送信し、登録が承認されたら送信者 ID をシンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) に登録する必要があります。このプロセスの詳細については、[を参照してください](#)。[シンガポール登録プロセス](#)
- インドの送信者 ID 登録を登録するには、まず TRAI に会社とユースケースを登録し、ケースを作成して送信し、メッセージを送信するには、受信したエンティティ ID とテンプレート ID の値を指定する必要があります。AWS Supportこのプロセスの詳細については、[を参照してください](#)。[インドの送信者 ID の登録プロセス](#)

新しい登録を作成します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

i Note

オリジネーション ID のリクエスト時にすでに登録を作成している場合は、その登録フォームを使用してください。

3. 「登録フォーム名」には、わかりやすい名前を入力します。
4. [登録タイプ] では、ドロップダウンリストから登録フォームを選択します。各登録タイプには、登録フォームの送付先の規制機関によってフォームが異なります。
 - 米国のフリーダイヤル番号登録 — 「利用可能なフリーダイヤル番号」で、登録するフリーダイヤル番号を選択します。

登録するフリーダイヤル番号がない場合は、「番号をリクエスト」を選択して申請し、の手順に従ってください。 [電話番号をリクエストする](#)

- 米国 10DLC ブランド登録 — お使いの 10DLC ブランドの登録を選択してください。ブランドを登録する必要があるのは 1 回だけです。
 - 米国 10DLC ブランド審査 — 審査対象の 10DLC ブランドリストから 10DLC ブランドを選択します。
 - US-10DLC キャンペーン登録 — 「対象ブランド」から 10DLC ブランドを選択します。
 - シンガポールの送信者 ID 登録 — 送信者 ID をシンガポールで登録することを選択します。
5. (オプション) [タグ] を次のように展開します。
- タグを追加 — [タグの管理] で [新しいタグを追加] を選択し、新しい空白のキーと値のペアを作成します。
 - タグを削除 — [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 — [タグの管理] で [キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。
6. [作成] を選択します。
7. 登録が作成されました。必要な情報をすべて入力して送信する必要があります。
- 米国のフリーダイヤル番号登録 — [米国フリーダイヤル番号登録フォーム](#)
 - 米国 10DLC ブランド審査 — 10DLC ブランドはすでに審査を受けており、追加のフォームに記入する必要はありません。を参照してください。 [10DLC ブランド・ベッティング](#)
 - 米国 10DLC ブランド登録 — [10DLC ブランド登録フォーム](#)。
 - US-10DLC キャンペーン登録 — [10DLC キャンペーン登録フォーム](#)
 - シンガポールの送信者 ID 登録 — [シンガポール登録フォーム](#)

米国フリーダイヤル番号登録フォーム

Note


コンソールのエクスペリエンスが更新され、登録用の登録名フィールドが表示されるようになりました。このフィールドは「—」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービスの値を手動で埋め戻すことがないためです。登録名はオプションのフレンドリネームフィールドで、登録詳細ページのタグを使用

して更新できます。Name タグを追加する方法の詳細については、[を参照してください](#) [登録名を変更](#)。

フリーダイヤル番号登録を作成したら、フォームに記入して承認を受ける必要があります。

フリーダイヤル番号の登録を完了してください。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、フリーダイヤル番号の登録を選択して完了します。

 Note

フリーダイヤル番号をリクエストする際にすでに登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. 「会社情報」セクションに、以下を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社の Web サイト] には、会社の Web サイトの URL を入力します。
 - [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
 - [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
 - [City] (市) に、本社の市を入力します。
 - 州/都道府県には、本社の都道府県を入力します。
 - 郵便番号/郵便番号には、本社の郵便番号を入力します。
 - [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。
 - [次へ] をクリックします。
4. 「連絡先情報」セクションに、次の情報を入力します。
 - [First Name] (名) に、連絡先となる担当者の名を入力します。
 - [Last Name] (姓) に、連絡先となる担当者の姓を入力します。
 - [Support Email] (サポート E メール) に、連絡先となる担当者の E メールアドレスを入力します。
 - [Support Phone Number] (サポート電話番号) に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まる必要があり、スペース、ハイフン、括弧は使用でき

ません。たとえば、+1 (206) 555-0142の形式は正しくありませんが、正しい形式です。+12065550142

[次へ] をクリックします。

5. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [毎月 SMS ボリウム] では、1 か月あたりに送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [ユースケースカテゴリ] では、以下のユースケースタイプのいずれかを選択します。
 - [Two-factor authentication] (2 要素認証) — これを使用して 2 要素認証コードを送信します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [Notifications] (通知) — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Promotions and Marketing] (プロモーションおよびマーケティング) — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [Use Case Details] (ユースケースの詳細) は必ず入力してください。
- 「ユースケースの詳細」を入力すると、選択したユースケースカテゴリのコンテキストがわかりやすくなります。
- [オプトインワークフローの説明] で、ユーザーが SMS メッセージの受信に同意する方法についての説明を入力します。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。
- オプトインワークフローの画像には、ユーザーがメッセージ受信に同意したことを示す画像をアップロードします。サポートされるファイルタイプは PNG で、ファイルの最大サイズは 400 KB です。準拠したオプトインワークフローの追加情報と例については、「[許可を取得する](#)」を参照してください。

⚠ Important

オプトインのモックアップまたはスクリーンショットの例:

- [ウェブサイトのオプトイン] – クライアントが番号を追加してメッセージの受信に同意するウェブフォームのモックアップまたはスクリーンショット。
- [ウェブサイトへの投稿 (サポート)] – 番号を公表する場所とであり、お客様が入力すべき番号を見つける場所。
- [キーワードまたは QR コードのオプトイン] – お客様がこれらのメッセージに対してオプトインするためのキーワードまたは QR コードを見つける場所。
- [2FA/OTP]: オプトインのモックアップまたはスクリーンショット (該当する場合)。口頭の場合は、口頭でのオプトインスクリプトのモックアップまたはスクリーンショットを指定します。
- [情報]: 口頭での同意ワークフローのモックアップまたはスクリーンショットを提供し、メッセージングの内容を指定します。

6. [次へ] をクリックします。

7. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

8. [次へ] をクリックします。

9. 「確認して送信」ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

10. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

10DLC ブランド登録フォーム

i Note

更新されたコンソールエクスペリエンスでは、登録名フィールドが表示されます。このフィールドは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービス値を手動でバックフィルしないため、「-」に設定されます。登録名はオプションのわかりやす

い名前フィールドで、登録の詳細ページのタグを使用して更新できます。Name タグを追加する方法の詳細については、「」を参照してください[登録名を変更](#)。

10DLC の電話番号を申請する前に、企業やブランドの登録が必要です。ブランド登録は、キャンペーンレジストリと呼ばれる業界団体によって管理されます。会社 AWS リージョン を使用する AWS アカウントごとに会社を登録する必要があります。

10DLC ブランド登録を作成したら、フォームに記入し、承認のために送信する必要があります。

10DLC ブランド登録が成功し、より高いスループット機能に登録したい場合は、10DLC ブランド登録を審査する必要があります。10 DLC ブランド審査の詳細については、「」を参照してください[10DLC ブランド・ベッティング](#)。

Note

予想される登録時間の詳細については、「」を参照してください[10DLC の登録プロセス](#)。

10DLC ブランド登録を完了する


1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録で、10DLC ブランド登録を選択して完了します。
3. 会社登録情報 セクションに、次のように入力します。
 - 法人名には、会社が登記されている名称を入力します。入力する名前は、提供する Tax ID に関連付けられた会社名と完全に一致する必要があります。

Important

会社名は必ず正確に入力してください。情報に誤りがあったり、不完全な場合、登録が遅れたり、拒否されることがあります。

- [納税者番号または事業者登録番号] には、会社の事業者番号を入力します。ID は、会社が登録されている国によって異なります。
- IRS 雇用者識別番号 (EIN) を持つ米国または米国以外の事業体を登録する場合は、9 桁の EIN を入力してください。法的な会社名、EIN、および住所はすべて、IRS に登録されている会社情報と一致する必要があります。


- カナダ法人を登録する場合は、連邦法人番号または州法人番号を入力してください。CRA から提供されたビジネス番号 (BN) は入力しないでください。法的な会社名、法人番号、および住所は、すべてカナダ法人に登録されている会社情報と一致している必要があります。
- 別の国に拠点を置く企業を登録する場合は、その国の主要な納税者番号を入力してください。多くの国では、VAT 番号の数字部分です。
- [Country of registration] は、会社が登録されている国を選択します。
- [What type of legal form is this organization] については、お客様の会社に最も適した選択肢をお選びください。

 Note

米国政府と Not-for-profit のオプションは、米国を拠点とする組織の登録にのみ使用できます。組織が米国以外の国に拠点を置いている場合、組織の実際的な法的形態にかかわらず、非公開営利目的 組織として登録する必要があります。

- 株式記号 - オプションで会社の株式記号を入力します。

株式交換の場合 - オプションで、会社がリストされている株式交換を選択します

 Note

前のステップで利益のために公開を選択した場合、会社の株式記号と株式交換フィールドは必須です。

- 住所 / ストリートには、会社の実際の住所を入力します。
 - 市町村には、所在地のある市町村名を入力します。
 - 都道府県には、所在地のある都道府県名を入力します。
 - 郵便番号には、所在地の郵便番号を入力します。
 - [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。
4. 「追加の会社と連絡先情報」セクションに、次のように入力します。
- ビジネスの別名 (DBA) またはブランド名については、お客様の他のビジネス名称を入力してください。
 - [Vertical] には、登録する会社に最も適したカテゴリを選択してください。
 - 会社のウェブサイトには、会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。アドレスの先頭に「http://」または「https://」を含めます。

- [Support Email] (サポート E メール) に、連絡先となる担当者の E メールアドレスを入力します。
- [Support Phone Number] (サポート電話番号) に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まる必要があります。スペース、ハイフン、括弧を含めることはできません。例えば、+1 (206) 555-0142は正しい形式ではありませんが、正しい形式+12065550142です。

[次へ] を選択します。

5. 「確認と送信」ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新を行うには、セクションの横にある編集を選択します。
6. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

Note

登録が承認されたら、オプションの米国 10DLC ブランド審査またはに登録する必要があります [10DLC キャンペーン登録フォーム](#)。10DLC への登録の詳細については、「」を参照してください [10DLC の登録プロセス](#)。

10DLC ブランド・ベッティング

会社の登録が成功し、スループットの高い 10DLC キャンペーンを登録したい場合は、企業登録を精査する必要があります。

登録時の審査では、サードパーティーが登録された企業情報を分析し、審査スコアを返します。高い審査スコアは、10DLC 企業やそれに関連するキャンペーンのスループットレートの向上につながります。ただし、審査はスループットを上げることを保証するものではありません。

審査スコアは遡及して適用されません。つまり、すでに 10DLC キャンペーンを作成し、後で会社登録の審査を行った場合、審査スコアは既存のキャンペーンには自動的に適用されません。このため、10DLC のキャンペーンを行う際には、事前に企業やブランドを吟味する必要があります。

Note

企業やブランドの審査には、40 ドル (返金不可) の手数料がかかります。

Note

予想される登録時間の詳細については、[を参照してください](#)。[10DLC の登録プロセス](#)

会社登録を査定するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。
3. [登録フォーム名] には、わかりやすい名前を入力します。
4. [登録タイプ] に [US 10DLC ブランド審査] を選択します。
5. 10DLC ブランドについては、審査対象の 10DLC ブランドを選択してください。
6. [作成] を選択します。

10DLC キャンペーン登録フォーム

Note

更新されたコンソールエクスペリエンスでは、登録名フィールドが表示されます。このフィールドは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービス値を手動でバックフィルしないため、「-」に設定されます。登録名はオプションのわかりやすい名前フィールドで、登録の詳細ページのタグを使用して更新できます。Name タグを追加する方法の詳細については、「」を参照してください[登録名を変更](#)。

Amazon Pinpoint SMS のベンダーは、米国の通信事業者から寄せられた SMS スパムの懸念に対処するため、10DLC (10 TAK Long Code) キャンペーンで手動レビュープロセスを実行します。レビューは、数字が 10DLC キャンペーンに関連付けられている場合にトリガーされます。レビューの処理には少なくとも 4~6 週間かかります。

10DLC キャンペーンを登録する際には、ユースケースの説明と、使用する予定のメッセージテンプレートを提供します。10DLC のキャンペーンを作成および登録する前に、まず法人登記が必要です。会社の登録については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。

Note

予想される登録時間の詳細については、「」を参照してください[10DLC の登録プロセス](#)。

10DLC キャンペーン登録の問題の詳細については、「」を参照してください [10DLC キャンペーン登録拒否の理由](#)。

このセクションでは、10DLC キャンペーンに関する追加の詳細を提供します。


10DLC キャンペーンの登録

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録で、10DLC キャンペーン登録を選択して完了します。
3. キャンペーン情報ページで、次の操作を行います。
 - a. キャンペーン名と説明には、10DLC キャンペーンの名前とキャンペーンの目的の説明を入力します。
 - b. [Vertical] で、会社に最もよく当てはまるオプションを選択します。
 - c. [オプトインワークフローの説明] で、ユーザーが SMS メッセージの受信に同意する方法についての説明を入力します。説明は 40 文字以上にする必要があります。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。オプトイン方法が複数ある場合は、列挙する必要があります。

[オプトインワークフロー]には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報
- 利用規約 (一般公開されている必要があります) へのリンクを含む
- プライバシーポリシー (一般公開されている必要があります) へのリンクを含む
- オプトイン/アクションの呼び出しがサービスへのログインを必要とするのか、まだ公開されていないのか、口頭でのオプトインなのか、それともチラシや紙のフォームなどの印刷物で行うのかの説明
- アクションの呼び出し/オプトインの場所に、次の情報が含まれている必要があります。
 - 包括的な利用規約は、の下に完全に表示される場合もあれば call-to-action、に近いリンクからアクセスできる場合もあります call-to-action。
 - プログラム (ブランド) 名
 - メッセージの頻度の開示

- 製品の説明
 - カスタマーケアの連絡先情報
 - オプトアウト情報
 - 「メッセージ料金とデータ料金が適用される場合があります」の開示
- d. オプトインキーワード (該当する場合) – オプションで、顧客がオプトインすることに同意するために送信するキーワードを入力します。
 - e. オプトイン確認メッセージ (該当する場合) – オプトインキーワードを 10DLC 電話番号に送信する場合は、オプションで顧客が受け取るメッセージを入力します。
 - f. ヘルプメッセージには、お客様が 10DLC の電話番号にキーワード「HELP」を送信した際に受け取るメッセージを入力してください。メッセージは 20 文字以上にする必要があります。
 - g. ストップメッセージには、お客様が 10DLC の電話番号にキーワード「STOP」を送信した際に受け取るメッセージを入力してください。メッセージは 20 文字以上にする必要があります。

 Tip

「HELP」というキーワードを添えてメッセージに返信することで、お客様が受信したメッセージの詳細を知ることができます。「STOP」に返信することで、お客様はメッセージの受信を拒否することもできます。この両方のキーワードに対するレスポンスを、米国の携帯電話通信事業者に提供する必要があります。

以下は、米国の携帯電話通信事業者の要件に準拠している HELP レスポンスの例です。


ExampleCorp Account Alerts: For help call 1-888-555-0142 or go to example.com. Msg&data rates may apply. Text STOP to cancel.
準拠している STOP レスポンスの例を以下に示します。

You are unsubscribed from ExampleCorp Account Alerts. No more messages will be sent. Reply HELP for help or call 1-888-555-0142.

これらのキーワードに対するレスポンスは 160 文字以下である必要があります。

4. [次へ] をクリックします。
5. キャンペーン機能セクションで、次の操作を行います。
 - SMS を選択して、10DLC キャンペーンのテキストメッセージを有効にします。

- SMS と音声を選択して、10DLC キャンペーンテキストメッセージと音声メッセージを有効にします。

 Note

音声メッセージを有効にすると、登録を確認する時間が長くなります。

6. メッセージタイプセクションで、トランザクションまたはプロモーションメッセージタイプを選択します。
 - トランザクション – アラートやワンタイムパスワードなど、時間的制約のあるコンテンツに対するユースケースの場合は、このオプションを選択します。
 - プロモーション – ユースケースがマーケティング関連のコンテンツの場合は、このオプションを選択します。
7. [次へ] をクリックします。
8. [Campaign use case] セクションで、以下を実行します。
 - a. [Use case] で、あらかじめ設定されたユースケースのリストから、キャンペーンに最も近いユースケースを選択します。
 - [2FA] – 任意の認証、検証、またはワンタイムパスコード。
 - [アカウント通知] – アカウントに関連する、またはアカウントについての、アカウント所有者向け標準通知。
 - [カスタマーケア] – アカウント管理やカスタマーサポートを含む、すべての顧客とのやり取り。
 - [配信の通知] – 製品またはサービスの配信状況に関する情報。
 - [不正アラートメッセージング] – アカウントに対する不正行為の可能性に関するメッセージ。
 - [高等教育] – 大学に代わって作成されたキャンペーン。また、「消費者に無料提供」のメッセージングモデルに当てはまらない学区や教育機関も含まれます。
 - [マーケティング] – マーケティングコンテンツやプロモーションコンテンツを含む、あらゆるコミュニケーション。
 - [混合] – 特定の消費者サービス業界専用の混合メッセージング。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。

- [ポーリングと投票] – 非政治的な分野のアンケートや投票のリクエスト。
 - [セキュリティアラート] – ソフトウェアとハードウェアのいずれかであるかを問わず、システムのセキュリティが何らかの形で侵害されており、エンドユーザーが実行する必要があるアクションがあることを示す通知。
 - [低ボリューム] – スループットの低い、ユースケースの任意の組み合わせ。例としては、テストアカウント、デモアカウントなどがあります。
 - Charity – 必要な人への支援の提供と資金の調達を目的とした、非信頼登録済みの [501 \(c\) \(3\) 文字](#)からの通信。
- b. サブユースケース – オプションで、最大 5 つのサブユースケースを選択します。
 - c. 加入者のオプトイン - 受信者は、このキャンペーンに関するメッセージの受信をオプトインできます。
 - d. 加入者のオプトアウト - 受信者は、このキャンペーンに関するメッセージの受信をオプトアウトできます。
 - e. 加入者のヘルプ - ユーザーは HELP キーワードを送信した後、メッセージの送信者に連絡できます。
 - f. ダイレクトレンディングまたはローンアレンジメント - キャンペーンには、直接融資やその他の融資の手配に関する情報が含まれます。
 - g. 埋め込みリンク - 10DLC キャンペーンには、リンクが含まれます。TinyUrl や Bit.ly などの一般的な URL 短縮子からのリンクは使用できません。ただし、カスタムドメインを提供する URL 短縮サービスを利用することは可能です。
 - h. 電話番号の埋め込み - キャンペーンには、カスタマーサポート番号ではない電話番号が埋め込まれます。
 - i. 年齢制限のあるコンテンツ - 10DLC キャンペーンには、通信事業者および Cellular Telecommunications and Internet Association (CTIA) のガイドラインで定義されている年齢制限付きコンテンツが含まれます。
 - j. SMS メッセージを少なくとも 1 つ入力します。これは、お客様に送信する予定のサンプルメッセージです。各サンプルメッセージは 20 文字以上にする必要があります。この 10DLC キャンペーンで、複数のメッセージテンプレートを使用する予定がある場合は、それらも含めてください。

⚠ Important

サンプルメッセージにプレースホルダーのテキストを使用しないでください。提供するメッセージの例は、実際に送信する予定のメッセージをできるだけ正確に反映させる必要があります。

9. [次へ] をクリックします。
10. 「メッセージサンプル」セクションで、次の操作を行います。
 - SMS メッセージを少なくとも 1 つ入力します。これは、お客様に送信する予定のサンプルメッセージです。各サンプルメッセージは 20 文字以上にする必要があります。この 10DLC キャンペーンで、複数のメッセージテンプレートを使用する予定がある場合は、それらも含めてください。

⚠ Important

サンプルメッセージにプレースホルダーのテキストを使用しないでください。提供するメッセージの例は、実際に送信する予定のメッセージをできるだけ正確に反映させる必要があります。

11. [次へ] をクリックします。
12. 「確認と送信」ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新を行うには、セクションの横にある編集を選択します。
13. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

i Note

10DLC キャンペーンの登録が承認されたら、10DLC 電話番号をリクエストし、10DLC キャンペーンに関連付ける必要があります。10DLC への登録の詳細については、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS メッセージングの専用ロングコードのリクエスト](#)。

シンガポール登録フォーム

Note

コンソールのエクスペリエンスが更新され、登録用の登録名フィールドが表示されるようになりました。このフィールドは「—」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービスの値を手動で埋め戻すことがないためです。登録名はオプションのフレンドリネームフィールドで、登録詳細ページのタグを使用して更新できます。Name タグを追加する方法の詳細については、[を参照してください](#) [登録名を変更](#)。

Amazon Pinpoint SMS のお客様は、シンガポール SMS 送信者 ID レジストリ (SSIR) を通じて登録された送信者 ID を使用して、シンガポールで SMS トラフィックを送信できます。SSIR は、シンガポールの情報通信メディア開発庁 (IMDA) が所有するシンガポールネットワークインフォメーションセンター (SGNIC) を通じて 2022 年 3 月に開始され、シンガポール内の携帯電話に SMS を送信する際に、組織は送信者 ID を登録できるようになりました。登録済みのシンガポールの送信者 ID を使用するには、固有エンティティ番号 (UEN) を取得し、Amazon Pinpoint SMS にリクエストを送信して、送信者 ID の使用を許可するアカウントを登録し、最後に SSIR を通じて登録プロセスを完了する必要があります。

Note

送信者 ID をリクエストして登録する前に、シンガポール固有エンティティ番号 (UEN) を取得する必要があります。詳細については、「[シンガポール個別企業登録番号 \(UEN\) の登録](#)」を参照してください。

シンガポールの送信者 ID 登録を完了してください。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、シンガポールの送信者 ID 登録を選択して完了します。
3. 「会社情報」セクションに、次の情報を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - Tax ID には、シンガポール固有の法人番号を入力します。
 - [会社の Web サイト] には、会社の Web サイトの URL を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- 州/都道府県には、本社の都道府県を入力します。
- 郵便番号/郵便番号には、本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。
- [次へ] をクリックします。

4. 「連絡先情報」セクションに、次の情報を入力します。

- [First Name] (名) に、連絡先となる担当者の名を入力します。
- [Last Name] (姓) に、連絡先となる担当者の姓を入力します。
- [Support Email] (サポート E メール) に、連絡先となる担当者の E メールアドレスを入力します。
- [Support Phone Number] (サポート電話番号) に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] をクリックします。

5. 「送信者 ID 情報」セクションに、次のように入力します。

- [Sender ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID のフォーマット規則について詳しくは、[を参照してください](#)。[送信者 ID に関する考慮事項](#)
- 「別のブランド/法人を代表して登録していますか？」 「はい」の場合は「True」を選択してください。メッセージを送信するエンドユーザーでない場合、ユーザーは他のブランド/エンティティの「代表者」と見なされます。
- [Letter of authorization image] (認可書の画像) (オプション) については、[Registering on behalf of another brand/entity?] (別のブランド/組織の代理として登録しますか?) のボックスをオフにした場合、完全な認可書 (LOA) の画像をアップロードします。サポートされるファイルタイプは PNG で、ファイルの最大サイズは 400 KB です。LOA のテンプレートを[ダウンロード](#)しておくくと便利です。
- Sender ID 接続の場合 — オプションで、要求された送信者 ID と会社名との接続に関する詳細を追加できます。

[次へ] をクリックします。

6. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。
 - [毎月 SMS ボリ्यूーム] では、1 か月あたりに送信する SMS メッセージの数を選択します。
 - [ユースケースカテゴリ] では、以下のユースケースタイプのいずれかを選択します。
 - [Two-factor authentication] (2 要素認証) — これを使用して 2 要素認証コードを送信します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [Notifications] (通知) — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Promotions and Marketing] (プロモーションおよびマーケティング) — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションのユースケースの詳細を必ず記入してください。
 - ユースケースの詳細を記入して、選択したユースケースカテゴリについてさらに詳しく説明してください。
7. [次へ] をクリックします。
8. 「メッセージサンプル」で、次の操作を行います。
 - [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
 - [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。
9. [次へ] をクリックします。
10. 「確認して送信」ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

Note

登録が承認されたら、送信 ID をシンガポール・ネットワーク・インフォメーション・センター (SGNIC) に登録する必要があります。登録方法の詳細については、[を参照してください](#)。[シンガポールネットワーク情報センター \(SGNIC\) での送信者 ID の登録](#)

登録名を変更

登録を管理しやすくするため、わかりやすい名前を付ける必要があります。登録の名前は、再送信しなくてもいつでも追加または編集できます。Key Name がに設定され、Value が使用する名前に設定されたタグを追加する必要があります。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. 「登録」ページで、タグを追加する登録を選択します。
4. 「タグ」タブで「タグを管理」を選択します。[タグの管理] で [新しいタグを追加] を選択します。
5. [Key] Name には登録のわかりやすい名前を、[Value] にはわかりやすい名前を入力します。
6. [変更の保存] をクリックします。

登録のステータスを確認する

登録は以下のいずれかのステータスになります。

- クローズ — リソースを削除しました。その番号の登録も削除する必要があります。
- 完了 — 登録が承認され、リソースの使用を開始できます。
- [Created] (作成済み) — 登録は作成されましたが、送信されていません。
- 削除済み — 登録は削除されました。
- レビュー — 登録が承認され、レビュー中です。
- [Requires Updates] (更新が必要) — 登録を修正して再送信する必要があります。詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。更新が必要なフィールドには、警告アイコンと問題の簡単な説明が表示されます。
- 送信済み — 登録は送信され、審査待ちです。

登録のステータスを確認する

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. 登録テーブルでは、各登録の登録ステータスを表示できます。

登録を編集する

登録を送信した後で、登録に問題がある場合は、[登録ステータス] が [更新が必要] と表示されます。この状態では、登録フォームは編集可能です。更新が必要なフィールドには、警告アイコンと問題の簡単な説明が表示されます。

次の登録フォームは、Amazon Pinpoint SMS コンソールから編集できます。

- 米国の通話料無料番号 – 登録の完了の詳細については、「」を参照してください [米国フリーダイヤル番号登録フォーム](#)。
- 米国 10DLC ブランド登録 – 登録の完了の詳細については、「」を参照してください [10DLC ブランド登録フォーム](#)。
- 米国 10DLC ブランド審査 — 登録の完了の詳細については、「」を参照してください。 [10DLC ブランド・ベッティング](#)
- 米国 10DLC キャンペーン登録 – 登録の完了の詳細については、「」を参照してください [10DLC キャンペーン登録フォーム](#)。
- シンガポールの送信者 ID 登録 – 登録の完了の詳細については、「」を参照してください [シンガポール登録フォーム](#)。

登録を編集するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「登録」を選択します。
3. 登録 テーブルで、編集する登録 ID を選択します。
4. [Update Registration] (登録の更新) を選択してフォームを編集し、警告アイコンのあるフィールドを修正します。

Note

登録が拒否され、更新が必要な場合、バナーには登録が拒否された理由と更新が必要なフィールドが一覧表示されます。登録拒否の詳細については、[フリーダイヤル番号の登録拒否理由](#)「」および「」を参照してください[10DLC キャンペーン登録拒否の理由](#)。

- 完了したら、[Submit registration] (登録の送信) を選択します。

Important

すべてのフィールドを再チェックして、正しいことを確認します。

登録を破棄する

現在の登録バージョンを破棄し、必要な更新を行うことができます。送信した登録にエラーが見つかった場合は、登録が拒否されてからエラーが修正されるのを待たずに、この機能を使用してエラーを修正して再送信できます。登録は、ステータスが の場合にのみ破棄できますSubmitted。これにより、現在の登録バージョンが完全に削除されます。

登録を破棄するには

- Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
- ナビゲーションペインの「設定」で、「登録」を選択します。
- 登録 テーブルで、必要な登録 ID を選択します。
- 「バージョンを破棄」を選択し、ウィンドウで「」と入力します**discard**。
- バージョン を破棄 を選択します。

登録を削除する

不要になった場合は、登録を削除できます。これにより、登録が完全に削除されます。

登録を削除するには

- Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
- ナビゲーションペインの「設定」で、「登録」を選択します。
- 登録 テーブルで、必要な登録 ID を選択します。

- 「登録の削除」を選択し、ウィンドウで「」と入力します **delete**。
- 登録の削除を選択します。

登録リソースを表示する

登録には、登録タイプに応じて1つまたは複数のリソースを関連付けることができます。登録に関連付けられたリソースは、登録の関連リソースタブで表示できます。

登録リソースを関連付ける

- Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
- ナビゲーションペインの登録で、テーブルから登録を選択します。
- 関連リソース タブを選択します。リソースを選択すると、リソースに関する詳細情報が表示されます。

インドの送信者 ID の登録プロセス

デフォルトでは、インドの受信者にメッセージを送信すると、Amazon Pinpoint SMS は国際長距離通信事業者 (ILDO) ルートを使用してそれらのメッセージを送信します。受信者が ILDO 接続で送信されたメッセージを表示すると、ランダムな数字の ID から送信されたように見えます (専用のショートコードを購入した場合を除く)。

また、インドで登記されている企業は、専用の送信者 ID を使用してメッセージを送信することができます。SMS メッセージに送信者 ID を使用する場合は、ILDO ルートではなくローカルルートでメッセージを送信する必要があります。

Note

ILDO ルートを使ったメッセージ送信の料金は、ローカルルートを使ったメッセージ送信の料金より、はるかに高額になります。ILDO ルートとローカルルートの両方を使用してメッセージを送信する料金は、[Amazon Pinpoint SMS 料金](#) ページに表示されます。

ローカルルートを使用してメッセージを送信するには、まず I 分散型台帳 (DLT) ポータルを介してユースケースとメッセージテンプレートをインド電気通信規制庁 (TRAI) に登録する必要があります。DLT ポータルからユースケースを登録すると、エンティティ ID とテンプレート ID が届きます。この ID は、Amazon Pinpoint SMS からメッセージを送信するときに指定する必要があります。

これらの登録要件は、インドの消費者が受信する未承諾メッセージの数を減らし、潜在的に有害なメッセージから消費者を保護するために設定されています。

登録処理を完了するには、以下の情報を指定する必要があります。

- 組織の Permanent Account Number (PAN)。
- 組織の Tax Deduction Account Number (TAN)。
- 組織の Goods and Services Tax Identification Number (GSTIN)。
- 組織の Corporate Identity Number (CIN)。
- 組織を VilPower に登録する権限を与える承認書。Vilpower ウェブサイトには、ニーズに合わせてダウンロードして変更できるテンプレートがあります。

インドに SMS メッセージを送信するには、以下の手順で行います

- [ステップ 1: TRAI に会社およびユースケースを登録する](#)
- [ステップ 2: AWS Support でケースを作成する](#)
- [ステップ 3: メッセージ送信時のエンティティ ID、テンプレート ID の値を指定する](#)
- [テンプレートの一致に関する問題について](#)

ステップ 1: TRAI に会社およびユースケースを登録する

最初に、TRAI に会社およびユースケースを登録する必要があります。このセクションでは、Vodafone Idea の Vilpower ポータルサイトを利用した送信者 ID の登録方法について説明します。ただし、他にもいくつかの登録ポータルサイトがあります。すべての DLT 登録ポータルサイトで、同じ登録情報を提供する必要があります。これらのポータルサイトから受け取るエンティティ ID およびテンプレート ID の値は、互換性があります。つまり、Vilpower ポータル以外のポータルを使用してユースケースを登録しても、エンティティ ID とテンプレート ID を使用して Amazon Pinpoint SMS でメッセージを送信できます。

Note

Vilpower では、会社登録に手数料がかかります。現在の料金は、[Vilpower のウェブサイト](#)に掲載されています。

組織を TRAI に登録するには

1. ウェブブラウザで、Vilpower のウェブサイトアクセスしてください (<https://www.vilpower.in>)。
2. [Signup] を選択して、別のアカウントを作成します。登録処理中に、次の操作を行います。
 - 登録するエンティティの種類を指定するように求められたら、[As Enterprise] を選択します。
 - [Telemarketer Name] は、[Infobip Private Limited - ALL] を選択します。プロンプトが表示されたら、**Infobip** を入力し、次に、ドロップダウンリストから [Infobip Private Limited - ALL] を選択します。
 - [Enter Telemarketer ID] に、**110200001152** を入力します。
 - ヘッダー ID の入力を求められたら、登録する送信者 ID を入力します。
 - コンテンツテンプレートの入力を求められたら、受信者に送信する予定のメッセージコンテンツを入力します。送信するすべてのメッセージのテンプレートを含めます。

Note

Amazon Web Services は Vilpower ウェブサイトを管理していません。Vilpower のウェブサイト上の手順は変更されることがあります。

ステップ 2: AWS Support でケースを作成する

TRAI に会社登録およびユースケース登録を行った後、AWS Support でケースを作成する必要があります。AWS Support チームは、ケースで提供された情報を使用して、エンティティ ID とテンプレート ID をに関連付けます AWS アカウント。

Note

インドでは、送信者 ID の長さは正確に 6 文字である必要があります。

AWS Support ケースを開くには

- 「[Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする](#)」で各ステップを実行します。リクエストで以下の必須情報を入力します。

- Amazon Pinpoint SMS AWS リージョン で使用する。
- 会社名。入力されるお名前は、登録時に入力されたお名前と完全に一致する必要があります。
- 登録完了後に取得した PEID (Principal Entity ID) です。
- 毎月の送信予定メッセージ数の目安です。
- ユースケースの説明。
- 受信者がお客様のメッセージの受信をオプトインするために完了しなければならない手順に関する情報です。
- オプトイン、オプトアウトを収集および管理していることを確認する。

ステップ3: メッセージ送信時のエンティティ ID、テンプレート ID の値を指定する

ローカルルートを使用してメッセージを正常に配信するには、送信者 ID の登録作業を完了した後に受け取ったエンティティ ID とテンプレート ID の値を指定する必要があります。また、正しいエンティティタイプを選択し、メッセージが登録したテンプレート例と一致していることを確認する必要があります。

実行する手順は、SMS メッセージの送信方法によって異なります。[SendTextMessages](#) API を使用してメッセージを送信する場合、これらの属性を API の呼び出しに含めることができます。キャンペーンまたはジャーニーを利用してメッセージを送信する場合、キャンペーンまたはジャーニーの設定時に正しい値を指定できます。このセクションでは、両方のシナリオについて説明します。

API を使用してインドの SendTextMessages ローカルルートでメッセージを送信するには

1. SendMessages API で、次のパラメーターの値を指定します。
 - [EntityId] - 送信者 ID の登録完了後に取得したエンティティ ID または PE (Principal Entity) ID です。
 - [TemplateId] - 送信者 ID の登録が完了した後に受け取ったテンプレート ID。

Important

指定したテンプレート ID がメッセージテンプレートと完全に一致している必要があります。登録時に指定したテンプレートと一致しない場合、携帯端末通信事業者が受信を拒否することがあります。

2. MessageType パラメータには、メッセージに適したルートタイプを指定します。次のいずれかの値を指定できます。
 - [Promotional] - プロモーションメッセージにこのメッセージタイプを指定します。プロモーションの送信者 ID は数字のみです。
 - [Transactional] - トランザクションメッセージに対してこのメッセージタイプを指定します。トランザクションの送信者 ID は文字のみで、大文字と小文字が区別されます。

Note

プロモーション (数値) 送信者 IDs とトランザクション (アルファベット) 送信者 IDs を同じに登録できます AWS アカウント。
その他のコンテンツガイドラインについては、Vilpower のウェブサイト (<https://www.vilpower.in>) を参照してください。

3. メッセージにコンテンツを追加する際には、DLT に登録されたテンプレートのコンテンツと完全に一致するように、コンテンツを十分に検討する必要があります。通信事業者は、メッセージコンテンツに追加の返ってくる文字、スペース、句読点、または文の大文字と小文字が一致しない場合、SMS メッセージをブロックします。テンプレートマッチングに関連する問題の詳細については、「[テンプレートの一致に関する問題について](#)」を参照してください。

テンプレートの一致に関する問題について

インドの通信事業者は、登録時に提出したテンプレートと一致しない場合、メッセージを拒否します。メッセージの配信に問題が発生した場合、以下の一般的な問題がないかを確認する必要があります。

- [Message content doesn't match registered template] - 送信するすべてのメッセージは、登録したテンプレートに対応している必要があります。指定したテンプレート ID に関連付けられたテンプレートと完全に一致しないメッセージを送信すると、携帯端末通信事業者はメッセージを拒否します。
- [The value of a variable is too long] - 変数の値に 30 文字以上含まれる場合、携帯端末通信事業者はメッセージを拒否します。
- [Case mismatch] - 通信事業者は、お客様が登録したテンプレートとお客様のメッセージを比較します。この比較処理では、大文字と小文字が区別されます。
- [Slightly different characters] - 登録したテンプレートの文字と似ていても、実際には異なる文字が使われている場合、メッセージが拒否されることがあります。例えば、Microsoft Word からテキスト

トをコピーする場合、テキストにはストレートクォート文字 (") ではなく、カーリークォート文字 (“ ”) が含まれていることがあります。メッセージが登録済みのテンプレートと正確に一致していることを確認する必要があります。

シンガポール登録プロセス

Amazon Pinpoint SMS のお客様は、シンガポール SMS 送信者 ID レジストリ (SSIR) を通じて登録された送信者 ID を使用して、シンガポールで SMS トラフィックを送信できます。SSIR は、シンガポールの情報通信メディア開発庁 (IMDA) が所有するシンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) を通じて 2022 年 3 月に開始されました。これにより、組織はシンガポールの携帯電話に SMS を送信する際に送信者 ID を登録できます。登録済みのシンガポールの送信者 ID を使用するには、固有エンティティ番号 (UEN) を取得し、Amazon Pinpoint SMS にリクエストを送信して、送信者 ID の使用を許可するアカウントを登録し、最後に SSIR を通じて登録プロセスを完了する必要があります。

送信者 ID を登録しない場合、送信者 ID を使用して送信されるメッセージの ID は、規制当局の規則により LIKELY-SCAM に変更されます。規制当局は独自の裁量で未登録のトラフィックをフィルタリングまたはブロックします。

Important

シンガポールで引き続きメッセージを送信できるようにするには、次の順序で登録を完了する必要があります。

1. [シンガポール個別企業登録番号 \(UEN\) の登録](#)
2. [新しい登録を作成します。](#) 登録タイプをシンガポールの送信者 ID 登録に設定した場合。
3. [シンガポールネットワーク情報センター \(SGNIC\) での送信者 ID の登録](#)

シンガポール個別企業登録番号 (UEN) の登録

SSIR への登録を開始するには、まずシンガポール個別企業登録番号 (UEN) を取得する必要があります。UEN は、会計企業規制庁 (ACRA) に事業を登録したときに受け取る一意の企業登録番号です。詳細については、「[Who Must Register with ACRA?](#)」(ACRA に登録する必要があるのは誰ですか?) を参照してください。処理にかかる時間は、ACRA がリクエストをどの程度容易に検証できるかによって異なります。

シンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) での送信者 ID の登録

送信者 ID をシンガポール・ネットワーク・インフォメーション・センター (SGNIC) に登録するには、次の順序で 2 つの手順を完了する必要があります。

送信者 ID をシンガポール・ネットワーク・インフォメーション・センター (SGNIC) に登録します。

1. まず Amazon Pinpoint SMS を使用して、アカウントにシンガポール (SG) 送信者 ID を登録する必要があります。この手順が完了したら、次のステップに進むことができます。
2. [SGNIC SMS 送信者 ID レジストリの手順に従って、SGNIC と連携して送信者 ID を登録します。](#)
 - プロセスを完了したら、参加しているアグリゲータとして次のすべてをリストアップしてください。
 - AMCS SG Private Limited (Amazon Media Communications Services)
 - Nexmo PTE LTD
 - Sinch Singapore PTE LTD
 - Telesign Singapore PTE LTD
 - Twilio Singapore PTD LTD

Warning

これらの手順を順不同に行うと、送信者 ID がサービスによってブロックされたり、送信者 ID がモバイルデバイスに保持されなくなったりする可能性があります。

Note

送信者 ID を使用するには、各個人から送信者 ID AWS アカウント 登録を送信する必要があります。ことに注意してください。

シンガポールの送信者 ID 登録に関するよくある質問

Amazon Pinpoint SMS でのシンガポールの送信者 ID 番号登録プロセスに関するよくある質問。

現在、シンガポールの送信者 ID を持っていますか？

シンガポールの送信者 ID を所有しているかどうかを確認するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で [Sender ID] を選択します。
3. Sender ID ページでは、2 SG 文字の国コードで検索して、シンガポールの送信者 ID があるかどうかを確認できます。

登録にはどのくらい時間がかかりますか？

審査には通常 1~3 週間かかりますが、政府機関に情報を確認するまでに最長で 5 週間以上かかることもあります。

ユニーク・エンティティ・ナンバー (UEN) とは何ですか？また、どうすれば取得できますか？

UEN は、会計企業規制庁 (ACRA) が発行するシンガポールのビジネス ID です。シンガポールの地元の会社や企業は、ACRA を通じて申請することで UEN を取得できます。登録と標準の法人設立手続きを通過すると、発行されます。[Bizfile](#) 経由で ACRA により UEN を申請できます。

自分は、シンガポールの送信者 ID を登録する必要がありますか？

はい。シンガポールの送信者 ID を登録していない場合、送信者 ID を使用して送信されるメッセージの ID は LIKELY-SCAM に変更される可能性があります。

シンガポールの送信者 ID を Amazon Pinpoint SMS に登録する方法を教えてください。

の指示に従って送信者 [新しい登録を作成します](#)。ID を登録してください。

自分のシンガポールの送信者 ID の登録ステータスはどうなっていて、そのステータスは何を意味しますか？

「[登録のステータスを確認する](#)」の指示に従って登録とステータスを確認します。

どのような情報を提供すればよいですか？

会社の住所、担当者の連絡先、ユースケースを指定する必要があります。必要な情報は、「[新しい登録を作成します](#)。」で確認できます。

シンガポールの送信者 ID の登録が却下された場合はどうなりますか？

登録が拒否されると、ステータスは「更新が必要」に変わり、の指示に従って更新できます。[登録を編集する](#)

どのようなアクセス許可が必要ですか？

Amazon Pinpoint SMS コンソールにアクセスするために使用する IAM ユーザー/ロールは、権限で有効になっている必要があります。“*sms-voice:**”

中国 SMS テンプレート登録プロセス

SMS テンプレートを登録するには、Support センターコンソールでサポートケースを開く必要があります。


Note

アカウントの SMS テンプレートを登録して中国に送信できるようにする必要があるのは、中国だけです。

SMS テンプレートを登録します。

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> にある Support センターコンソールを開きます。
2. 「サポートケース」セクションで、「ケースを作成」を選択します。
3. 「ケースの作成」ページで、「サービス制限の引き上げをお考えですか?」を選択します。リンク。
4. 「ケースを作成」セクションで、次の操作を行います。
 - [制限タイプ] で、[Pinpoint SMS] を選択します。
 - [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages] で、利用者が SMS メッセージの受信をオプトインするウェブサイトまたはアプリケーションを指定します。
 - 「送信する予定のメッセージのタイプ」で、Sender ID を使用して送信する予定のメッセージの種類を選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。

- [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
- メッセージを送信する予定の [国] で、メッセージの送信元となる地域を選択します。

 Note

中国での送信を許可するには、アカウントのテンプレート登録が必要です。

5. Requests セクションで、以下の操作を行います。
 - 「リージョン」ではAWS リージョン、API リクエストを行う予定のリージョンを選択します。
 - [リソースタイプ] には [テンプレート登録] を選択します。
 - [制限] では、次のいずれかを選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
6. [ケースの説明] の [ユースケースの説明] で、ユースケースとオプトインワークフローについて説明します。
7. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
8. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。国別の登録フォームをお送りします。記入していただき、下流処理のためにご返送ください。

⚠ Important

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

フリーダイヤル番号登録プロセス

⚠ Important

登録は、送信してから処理されるまでに最大 15 営業日かかる場合があります。

Amazon Pinpoint SMS を使用して、米国または米国領のプエルトリコ、米領バージン諸島、グアム、米領サモアの受信者にメッセージを送信する場合、フリーダイヤル番号 (TFN) を使用してメッセージを配信できます。TFN をリクエストしたら、TFN を使用して会社を登録できます。各 TFN には特定のユースケースが必要です。例えば、ワンタイムパスワードに使用する TFN を登録した場合、この TFN はワンタイムパスワードの送信にのみ使用できます。指定したユースケース以外に TFN を使用すると、却下される可能性があります。

通話料無料番号を登録する

1. まず、フリーダイヤル番号をリクエストする必要があります。「登録が必要」ウィンドウでフリーダイヤル番号をリクエストしたら、登録用のわかりやすい名前を入力します。
2. [登録を開始] を選択して登録プロセスを開始するか、[後で登録] を選択して戻ってフォームに記入してください。

通話料無料番号の禁止されたユースケース

AWS では、一部のユースケースについて、メッセージ送信や TFN 登録の機能が制限されることに注意してください。ユースケースの中には、完全にブロックされるユースケース (例: 規制薬物やフィッシングに関連するユースケース) もあれば、高度なフィルタリングが適用されるユースケース (例: 高リスクの金融メッセージ) もあります。[禁止メッセージの内容](#) に定義された制限付きコンテンツのユースケースに関連する TFN は登録できない場合があります。

フリーダイヤル番号の登録拒否理由

フリーダイヤル番号の登録が拒否された場合は、次の表を参照して、拒否された理由と、フリーダイヤル番号の登録を修正する方法を確認してください。登録が拒否された理由を特定したら、その問題を解決するように既存の登録を変更し、再送信できます。詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

拒否の理由

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳細説明
<p>準拠しているオプトインがありません</p>	<p>オプトインプロセスまたはスクリーンショットが見つかりません。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットには、受信者が SMS メッセージの受信に明示的に同意する方法が明記されています。一般的な拒否理由としては、SMS オプトイン同意に関する明示的な表現がない、提供された会社名とオプトインのスクリーンショットの不一致、サービスへのサインアップにテキストメッセージの受信を要求できない、SMS オプトイン同意を利用規約に含められない、などがあります。詳細については、「許可を取得する」を参照してください。</p>
<p>ビジネス接続が無効です</p>	<p>連絡先情報と会社/応募情報には明確な関係がありません。SMS メッセージを第三者に代わって送信することはできません。確認のため、連絡先と会社/応募情報との関係を説明した内容を再送信してください。</p>
<p>会社情報が無効です</p>	<p>入力された会社情報は確認できません。認証を受けるには、会社のウェブサイトが有効で、会社名と住所と一致していることを確認してください。</p>
<p>複数の番号が無効です</p>	<p>1つのフリーダイヤル番号は、1つのビジネスにのみ関連付けることができます。各会社の電話番号を使って新しい登録リクエストを再送信</p>

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳細説明
全体的に無効です	するか、問い合わせられた複数の企業間のつながりを説明してください。 入力された情報は無効とみなされました。会社のウェブサイト、ユースケース、オプトイン、メッセージサンプルがすべて有効な入力であり、登録の他の入力と一致していることを確認してください。
URL が無効です	入力された会社の URL にはアクセスできません。認証を受けるには、提供された会社の Web サイトが有効でアクティブであることを確認してください。
非準拠オプトイン	ご提供いただいたオプトインプロセスまたはスクリーンショットが不十分であるか、準拠していません。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットでは、受信者が SMS メッセージの受信に明示的に同意する方法が明記されています。一般的な拒否理由としては、SMS オプトイン同意に関する明示的な表現がない、提供された会社名とオプトインのスクリーンショットの不一致、サービスへのサインアップにテキストメッセージの受信を要求できない、SMS オプトイン同意を利用規約に含められない、などがあります。詳細については、「 許可を取得する 」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳細説明
非準拠のオプトイン同意	<p>提供されたオプトインプロセスまたはスクリーンショットには、明示的な同意は示されていません。明示的な同意とは、特定のメッセージをリクエストするオプションを持つユーザーの意図的な行動です。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットでは、受信者が SMS メッセージの受信に明示的に同意する方法が明記されています。一般的な拒否理由としては、SMS オプトイン同意に関する明示的な表現がない、提供された会社名とオプトインのスクリーンショットの不一致、サービスへのサインアップにテキストメッセージの受信を要求できない、SMS オプトイン同意を利用規約に含められない、などがあります。詳細については、「許可を取得する」を参照してください。</p>
非準拠のオプトイン (サードパーティ)	<p>ご提供いただいたオプトインプロセスまたはスクリーンショットは、オプトイン情報が第三者と共有されているため、不十分であるか、準拠していません。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットには、受信者がどのようにして SMS メッセージの受信に同意できるかが明記されており、第三者と共有されることはありません。オプトイン情報の共有に関する文言を削除するか、オプトイン情報を第三者と共有しないことを明記した文言を含めた後、再送信してください。詳細については、「許可を取得する」を参照してください。</p>

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳細説明
非準拠のユースケース	提供されているユースケースやメッセージサンプルは、米国テレコム規制では制限付きコンテンツとみなされます。制限付きコンテンツと見なされる項目の全リストについては、以下のドキュメントを参照してください。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録を再送信してください。詳細については、「 許可を取得する 」を参照してください。

通話料無料番号に関するよくある質問

通話料無料番号の登録プロセスに関するよくある質問。

現在、通話料無料番号を所有しているかどうかは、どのようにして確認できますか？

通話料無料番号を所有しているかどうかを確認するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で Amazon Pinpoint SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[SMS and voice] (SMS と音声) の [Phone numbers] (電話番号) を選択します。
3. 通話料無料番号は、[タイプ] に [無料通話] として表示されます。

通話料無料番号は登録する必要がありますか？

はい。現在フリーダイヤル番号を所有している場合、その番号を使用するには登録する必要があります。

通話料無料番号を購入するにはどうすればいいですか？

「[電話番号をリクエストする](#)」の指示に従って、通話料無料番号を購入してください。

通話料無料番号を登録するにはどうすればいいですか？

すでに TFN を購入して登録フォームを作成している場合は、の指示に従ってフォームに記入してください。[米国フリーダイヤル番号登録フォーム](#)登録を作成する必要がある場合は、の指示に従ってフリーダイヤル番号を登録してください。[新しい登録を作成します。](#)

通話料無料番号の登録ステータスはどうなっていますか？ そのステータスはどういう意味ですか？

「[登録のステータスを確認する](#)」の指示に従って登録とステータスを確認します。

どのような情報を提供すればよいですか？

会社の住所、担当者の連絡先、ユースケースを指定する必要があります。必要な情報は、「[米国フリーダイヤル番号登録フォーム](#)」で確認できます。

登録が却下された場合はどうなりますか？

登録が拒否されると、そのステータスが [更新が必要] に変更されます。「[登録を編集する](#)」の指示に従って更新することができます。

どのようなアクセス許可が必要ですか？

Amazon Pinpoint SMS コンソールにアクセスするために使用する IAM アクセス権限は、そのアクセス権限で有効にする必要があります。*“sms-voice:*”*

10DLC の登録プロセス

Important

次の表は、お客様の事業が米国にあるか、または国際にあるかに基づいて、10DLC の各登録ステップで予想される時間を示しています。

10DLC 登録ステップ	米国を拠点とする企業	国際拠点の企業
ブランド/会社を登録する	1~2 営業日	最大 3 週間
審査申請	1~2 営業日	最大 3 週間
キャンペーンの登録	最大 4 週間	最大 4 週間
DLC 番号をリクエストする	最大 10 日間	最大 10 日間

Amazon Pinpoint SMS を使用して米国または米国領領バージン諸島、Guam、米国領サモアの受信者にメッセージを送信する場合、10DLC の電話番号を使用してそれらのメッセージを配信できます。10DLC は、「10-digit long code」の略称です。10DLC の電話番号は、1 人の発信者が 1 つ

のユースケースで使用するために登録されます。この登録プロセスにより、通信事業者はメッセージの送信に使用される各電話番号の承認されたユースケースを把握することができます。その結果、10DLC 電話番号では、高いスループットと配信率を実現することができます。

10DLC の電話番号から送信したメッセージは、受信者の端末に 10 桁の電話番号として表示されます。10DLC の電話番号を使用して、トランザクションおよびプロモーションの両方のメッセージを送信することができます。既にショートコードや通話料無料を使ってメッセージを送信している場合は、10DLC を設定する必要はありません。

10DLC を設定するには、まず企業やブランドを登録します。次に、ユースケースを説明する 10DLC キャンペーンを作成します。この情報は、10DLC の登録情報を収集する業界団体のキャンペーンレジストリと共有されます。

Note

キャンペーンレジストリによるお客様の情報の利用方法については、登録情報を収集する業界団体の[キャンペーンレジストリのウェブサイト](#)内の FAQ をご覧ください。

会社と 10DLC キャンペーンが承認された後、電話番号を購入し、10DLC キャンペーンに関連付けることができます。電話番号と 10DLC キャンペーンの間に関連付けには、約 14 日かかります。複数の電話番号を 1 つのキャンペーンに関連付けることはできませんが、複数の 10DLC キャンペーンで同じ電話番号を使用することはできません。作成する 10DLC キャンペーンごとに、少なくとも 1 つの固有の電話番号を用意する必要があります。10DLC 電話番号のスループットは、ご提供いただいた企業およびキャンペーン登録情報に基づいています。10DLC キャンペーンで複数の電話番号を関連づけたとしても、スループットが向上することはありません。

Amazon Pinpoint SMS アカウントに既存の未登録のロングコードがある場合は、10DLC 番号への変換をリクエストできます。既存のロングコードを変換するには、登録プロセスを完了してから、AWS サポートセンターでケースを作成します。状況によっては、未登録のロングコードを 10DLC 電話番号に変換することができない場合があります。この場合、Amazon Pinpoint SMS コンソールから新しい番号をリクエストし、10DLC キャンペーンに関連付ける必要があります。既存のロングコードに 10DLC を使用する場合は、[ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける](#) を参照してください。

10DLC の容量

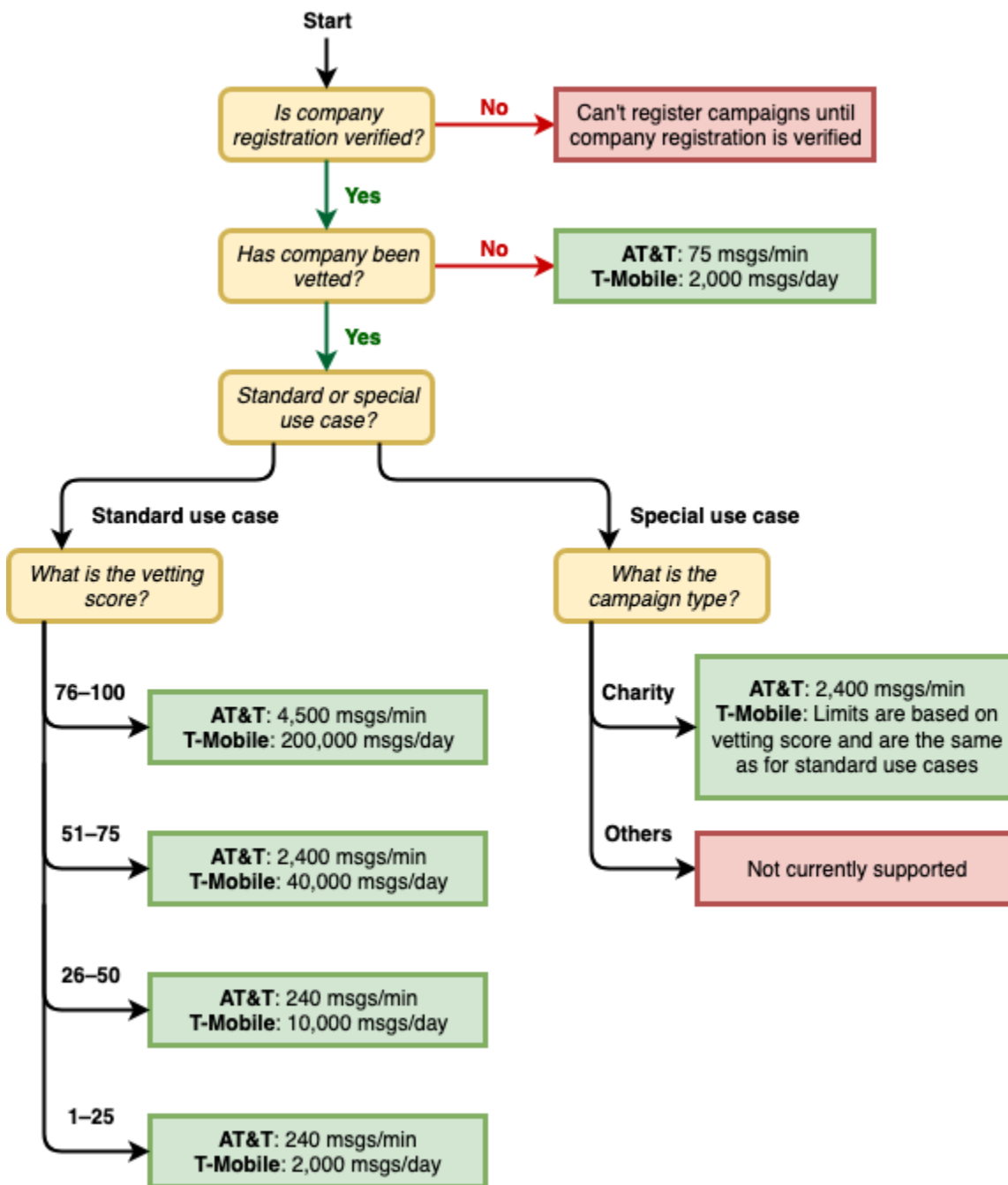
10DLC 電話番号の容量は、受信者の通信事業者によって異なります。AT&T では、キャンペーンごとに毎分送信できるメッセージパーツの数に上限があります。T-Mobile では、各社ごとに 1 日に送

信可能なメッセージ数の上限が定められており、1 分間に送信可能なメッセージパーツの数は制限されていない。Verizonはスループット制限を公表していませんが、10DLC にはスパム、迷惑メッセージ、罵詈雑言などを除去するためのフィルタリングシステムを使用しており、実際のメッセージのスループットはそれほど重視されていません。

未審査の企業に関連する新規 10DLC キャンペーンでは、AT&T を利用する受信者には 1 分間に 75 通、T-Mobile を利用する受信者には 1 日 2,000 通のメッセージを送信することができます。会社の上限は、10DLC のすべてのキャンペーンで共有されます。例えば、1 社 2 キャンペーンを登録した場合、T-Mobile のお客様への 1 日 2,000 通のメッセージの割り当ては、それらのキャンペーンで共有されます。同様に、同じ会社を複数の AWS アカウントに登録すると、日次割り当てはそれらのアカウント間で共有されます。

スループットニーズがこの制限を超える場合は、会社登録の審査を依頼することができます。会社登録を審査する際、サードパーティーである審査機関が企業情報を分析します。審査機関は、10DLC キャンペーンの機能を決定する審査スコアを提供します。審査サービスには一回限りがあります。詳細については、「[10DLC ブランド・ベッティング](#)」を参照してください。

実際のスループットレートは、貴社の審査の有無、キャンペーンの種類、審査スコアなど、さまざまな要因によって変化します。以下のフローチャートは、さまざまな状況下でのスループットレートを示しています。



10DLCのスループットレートは、米国の通信事業者がキャンペーンレジストリと協力して決定しています。Amazon Pinpoint SMSも他のSMS送信サービスも、これらのレートを超過して10DLCのスループットを向上させることはできません。米国のすべての通信事業者において高いスループットレート、高い到達率が必要な場合は、ショートコードの利用をお勧めします。

10DLC の登録プロセス

Amazon Pinpoint SMS コンソールで 10DLC を直接設定できます。10DLC を設定するには、以下のステップをすべて完了する必要があります。

1. ブランド/会社を登録する

10DLC を設定する最初のステップは、企業やブランドの登録です。会社の登録については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。お客様の会社の登録には 1 回限りの登録料がかかります。手数料は登録ページに表示されます。

2. (オプション、ただし推奨) 審査申請

会社登録が成功すれば、少量で複合用途な 10DLC キャンペーンを開始することができます。これらのキャンペーンは、AT&T を利用している受信者には 1 分間に 75 通、T-Mobile を利用している受信者には登録企業が 1 日 2,000 通を送信することができます。ユースケースでこの値を超えるスループットレートが必要な場合は、会社登録の審査を申請することができます。会社登録を審査することで、企業やキャンペーンのスループットレートを高めることができますが、その効果を保証するものではありません。審査の詳細については、「[10DLC ブランド・ベッティング](#)」を参照してください。

3. キャンペーンの登録

キャンペーンレジストリが指定した会社情報を検証できる場合は、10DLC キャンペーンを作成できます。10DLC キャンペーンには、ユースケースに関する情報が含まれています。10DLC キャンペーンは、1 社につき 1 回までとなります。Amazon Pinpoint SMS は、承認のためにこのキャンペーン情報をキャンペーンレジストリに送信します。ほとんどの場合、10DLC のキャンペーンは即座に承認されます。場合によっては、キャンペーンレジストリは追加の情報を要求することがあります。10DLC キャンペーンが承認された場合、または改訂する必要がある場合、に対する応答を受け取るまでに最大 4 週間かかることがあります。

10DLC のキャンペーンを登録するたびに、月額使用料がかかります。月額使用料は、お客様のユースケースによって異なります。キャンペーンの定期的な手数料は、登録ページに表示されません。

4. DLC 番号をリクエストする

10DLC キャンペーンが承認されたら、電話番号をリクエストし、その番号を承認済みキャンペーンに関連付けることができます。各電話番号は、1 つの 10DLC キャンペーンにのみ関連付けることができます。10DLC 電話番号のリクエストの詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」

および「」を参照してください[ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける](#)。電話番号のリースには月額定期料金がかかります。手数料は購入ページに表示されています。

Note

ステータスに関係なく、10DLC 番号の月額リース料金が請求されます。例えば、10DLC 番号が [保留中] の状態でも、月額料金が発生します。料金の詳細については、[「Amazon Pinpoint SMS 料金表」](#)を参照してください。

ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける

10DLC キャンペーンが承認されたら、新しいロングコードをプロビジョニングするか、既存のロングコードをそのロングコードを承認済みの 10DLC キャンペーンに関連付けることができます。10DLC キャンペーンに関連付けるロングコードは、そのキャンペーンでのみ使用でき、他の 10DLC キャンペーンでは使用できません。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「登録」で、ロングコードに関連付ける 10DLC キャンペーン (US_TAK_DLC_CAMPTAKN_RE VMRATION) を選択します。
3. 関連リソースタブを選択し、リソースを追加します。
4. サポートされている関連付けで、ドロップダウンリストから TAK_DLC を選択します。
5. 使用可能なリソースで、追加する 10DLC 電話番号を選択します。
6. [リソースの関連づけ] を選択します。

10DLC キャンペーンには、複数のロングコードに関連付けることができます。

10DLC 登録と月額料金

会社登録や10DLC キャンペーンなど、10DLC の使用に関連する登録料と月額料金があります。これらは、他の月額料金または AWS 料金とは別のものです。10DLC 料金の詳細については、[「Amazon Pinpoint SMS 料金表」](#) ページを参照してください。

10DLC キャンペーン登録拒否の理由

10DLC キャンペーンが拒否された場合は、以下の表を参考に、拒否された理由と、10DLC キャンペーン登録を修正する方法を確認してください。キャンペーンが拒否された理由を特定したら、その


問題に対処するように既存のキャンペーンを変更し、再送信できます。詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

拒否の理由

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳しい説明
<p>キャンペーン属性がウェブサイト、サンプルメッセージの内容、またはその両方と一致していません。</p>	<p>キャンペーン属性が会社のウェブサイト、サンプルメッセージの内容、またはその両方と整合または一致していません。キャンペーン属性が会社のウェブサイト、サンプルメッセージの内容、またはその両方と整合するように登録内容を更新してください。キャンペーン属性には、会社の業種、サブスクライバーのオプトイン/オプトアウト、ヘルプレスポンス、年齢制限のあるコンテンツなどが含まれます。</p> <div data-bbox="829 884 1507 1297" style="border: 1px solid #f08080; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ Important</p> <p>会社登録を再送信しても、キャンペーンは自動的に再送信されません。会社情報を変更した場合は、会社情報を再送信する必要があります。キャンペーンを変更した場合は、キャンペーン登録を再送信する必要があります。</p> </div>
<p>ユースケースとメッセージサンプルに一貫性がありません。</p>	<p>ユースケースとキャンペーンで提供されるメッセージサンプルとの間に不整合があります。ユースケースとメッセージサンプルが整合するように登録を更新してください。</p>
<p>会社情報とメッセージサンプルに一貫性がないか、またはメッセージサンプルが不足しています。</p>	<p>会社のウェブサイトとキャンペーンで提供されたメッセージサンプルとの間に不整合があるか、またはキャンペーンにメッセージサンプルが含まれていませんでした。ウェブサイトとメッセージサンプルが整合するように会社情報とキャンペーン登録情報を更新してください。</p>

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明

Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳しい説明

 Important

会社登録を再送信しても、キャンペーンは自動的に再送信されません。会社情報を変更した場合は、会社情報を再送信する必要があります。キャンペーンを変更した場合は、キャンペーン登録を再送信する必要があります。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: 大麻。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限対象と見なされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してみてください。禁止されているコンテンツ: 大麻。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: 銃/弾薬。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限対象と見なされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してみてください。禁止されているコンテンツ: 銃/弾薬。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: 性交。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限対象と見なされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してみてください。禁止されているコンテンツ: 性交。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: ギャンブル。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: ヘイト。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: 年齢制限に違反するアルコール。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: タバコ/パイプ。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳しい説明

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限対象と見なされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してみてください。禁止されているコンテンツ: ギャンブル。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限対象と見なされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してみてください。禁止されているコンテンツ: ヘイト。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限対象と見なされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してみてください。禁止されているコンテンツ: 年齢制限に違反するアルコール。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限対象と見なされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してみてください。禁止されているコンテンツ: 年齢制限に違反するタバコ/パイプ。


Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳しい説明
<p>ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方がモバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているユースケース: リードジェネレーション/アフィリエイトマーケティング、その他。</p>	<p>ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限対象と見なされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してみてください。禁止されているユースケース: リードジェネレーション/アフィリエイトマーケティング、その他。</p>
<p>ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方がモバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているユースケース: リードジェネレーション/アフィリエイトマーケティング、高リスク金融。</p>	<p>ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限対象と見なされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してみてください。禁止されているユースケース: リードジェネレーション/アフィリエイトマーケティング、高リスク金融。</p>
<p>ISV/リセラー。会社情報とサービス情報/メッセージサンプルが一致しません。</p>	<p>会社情報とキャンペーン情報が一致せず、独立系ソフトウェアベンダー (ISV) またはリセラーとして識別されます。サービスとエンドユーザーに一致する会社情報を登録してください。会社情報と整合するサービス情報を含む新しいキャンペーンを作成してください。</p>
<p>キャンペーンは直接貸付手配のように見えますが、適切なコンテンツ属性が選択されていません。</p>	<p>送信された会社およびキャンペーンの詳細は直接貸付手配のように見えます。キャンペーンを編集し、[直接貸付手配] 属性に [はい] を指定して、再送信してください。</p>

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明

公式のドメインを持つ大企業のように見えますが、非公式の E メールドメインです。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳しい説明

登録時に送信された会社情報を前提とすると、入力された E メールドメインは公式のものではないように見えます。会社のドメインと一致する正式な E メールアドレスで登録を更新し、再送信してください。

 Important

会社登録を再送信しても、キャンペーンは自動的に再送信されません。会社情報を変更した場合は、会社情報を再送信する必要があります。キャンペーンを変更した場合は、キャンペーン登録を再送信する必要があります。

オプトインプロセスが非準拠であるか、オプトインが明示的ではありません。

指定したオプトインワークフローは、エンドユーザーが特定の SMS メッセージを受け取るには不十分であるか、非準拠であるか、または明示的でないかのいずれかです。準拠したオプトインプロセスでは、受信者が SMS メッセージの受信に明示的に同意する方法が明確に指定されます。一般的な拒否理由: SMS オプトインの同意に関する明示的な表現がない、入力された会社名とメッセージサンプルが一致しない、テキストメッセージの受信はサービスへのサインアップに必須ではない、SMS オプトインの同意を利用規約に含めることができない。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明

ウェブサイトが提供されていない、または機能していません。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の詳しい説明

会社情報にウェブサイトが含まれていなかったか、またはウェブサイトにアクセス不可でした。アクセス可能なウェブサイトを指定して企業情報を更新し、会社とキャンペーンの両方をレビュー用に再送信してください。

⚠ Important

会社登録を再送信しても、キャンペーンは自動的に再送信されません。会社情報を変更した場合は、会社情報を再送信する必要があります。キャンペーンに変更を加えた場合は、キャンペーン登録を再送信する必要があります。

10DLC のブランドまたはキャンペーン登録に関する問題

10DLC キャンペーンを登録すると、サードパーティーのダウンストリームレビューワーが登録に関する問題を検出し、関連するエラーメッセージが表示されて登録が拒否されることがあります。登録エラーメッセージと解決策の詳細については、「」を参照してください[10DLC キャンペーン登録拒否の理由](#)。また、[Amazon Pinpoint で SMS を送信するための 10DLC 登録のベストプラクティス](#)と、[SMS ユースケースを正常に登録する方法の詳細については、ブログ記事「Amazon Pinpoint で準拠する SMS オプトインプロセスを構築する方法」](#)も参照してください。

SMS ユースケースの承認に問題がある場合は、に連絡して AWS Support、ユースケースが拒否された理由を理解するための追加のサポートを依頼できます。これにはダウンストリームのエンゲージメントが必要であり、拒否の理由を理解するのに時間がかかることに注意してください。

i Note

米国に拠点を置いておらず、10DLC ブランド登録に失敗した場合は、次のことを行う必要があります。

1. これは 10DLC ブランドを手動で確認するため [10DLC ブランド・ベッティング](#)、に適用します。
2. 審査に失敗した場合は、以下の指示に従ってサポートチケットを送信してください。

拒否された 10DLC ブランドまたはキャンペーンに関する情報のリクエストを送信するには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. [お客様のサポートケース] ペインで、[ケースを作成] を選択します。
3. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択します。
4. [Limit Type] で、[Pinpoint SMS] を選択します。
5. [Requests] セクションで、以下の操作を行います。
 - リージョン AWS リージョン で、キャンペーンを登録しようとした を選択します。
 - [Resource Type] で、10DLC 登録を選択します。
 - [Limit] で、[Company or 10DLC Campaign Registration Rejection] を選択します。
6. ユースケースの説明で、拒否された 10DLC キャンペーンの ID を入力します。
7. 問い合わせオプション で、優先する問い合わせ言語 で、AWS Support チームと通信するとき使用する言語を選択します。
8. 連絡方法 で、AWS Support チームとのコミュニケーション方法を選択します。
9. [送信] を選択します。


AWS Support チームは、10DLC キャンペーン登録が拒否された理由に関する情報を AWS Support ケースに提供します。

10DLC クロスアカウントアクセス

10DLC の各電話番号は、各 AWS リージョンで 1 つのアカウントと関連付けられています。同じ 10DLC の電話番号を使って、複数のアカウントやリージョンでメッセージを送信したい場合、2 つの方法があります。

1. 各 AWS アカウントで同じ会社、同じキャンペーンを登録することができます。これらの登録は、別途管理され、課金されます。同じ会社を複数の AWS アカウントに登録すると、T-Mobile のお客様に 1 日に送信できるメッセージ数は、それぞれのアカウントで共有されます。

2. 10DLC の登録プロセスを 1 つの で完了し AWS アカウント、AWS Identity and Access Management (IAM) を使用して 10DLC 番号を介して送信するアクセス許可を他のアカウントに付与できます。

 Note

このオプションは、10DLC の電話番号への真のクロスアカウントおよびアクセスを可能にします。ただし、セカンダリアカウントから送信されたメッセージは、プライマリアカウントから送信されたものとして扱われることに注意してください。クォータおよび請求は、セカンダリアカウントではなく、プライマリアカウントに対してカウントされます。

IAM ポリシーによるクロスアカウントアクセスのセットアップ

IAM ロールを使用して、他のアカウントをメインアカウントに関連付けることができます。そして、プライマリアカウントの 10DLC 番号へのアクセス権をセカンダリアカウントに付与することで、プライマリアカウントからのアクセス権をセカンダリアカウントに委譲することができます。

プライマリアカウントの 10DLC 番号にアクセスを許可する場合

1. まだの方は、プライマリアカウントで 10DLC の登録作業を完了させてください。このプロセスには、3つのステップがあります。
 - 会社を登録します。詳細については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。
 - 10DLC キャンペーン (ユースケース) を登録します。詳細については、「[10DLC キャンペーン登録フォーム](#)」を参照してください。
 - 電話番号を 10DLC キャンペーンに関連付けます。詳細については、「[ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける](#)」を参照してください。
2. 10DLC 電話番号の SendTextMessage API オペレーションを別のアカウントで呼び出せるようにする IAM ロールをプライマリアカウントに作成します。IAM ロールの作成の詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM ロールを作成する](#) を参照してください。
3. 10DLC 番号を使用する必要がある他のアカウントで IAM ロールを使用して、プライマリアカウントからアクセス許可を付与し、テストします。例えば、アクセス許可を本番稼働用アカウントから開発用アカウントへアクセス許可を付与します。アクセス許可の委任とテストの詳細につい

ては、[「IAM ユーザーガイド」の「IAM ロール AWS アカウント を使用した 間のアクセスの委任」](#)を参照してください。

4. 新しいロールを使用して、セカンダリアカウントから 10DLC 番号を使用してメッセージを送信します。ロールを使用する方法の詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM ロールの使用](#)を参照してください。

設定セット

設定セットは、メッセージを送信するときに適用される一連のルールです。例えば、設定セットではメッセージに関連するイベントの送信先を指定できます。SMS イベント (配信イベントや失敗イベントなど) が発生すると、メッセージの送信時に指定した設定セットに関連付けられた送信先にルーティングされます。メッセージを送信するときに設定セットを使用しなければならないわけではありませんが、使用することをお勧めします。イベント送信先を含む設定セットを指定しない場合、API はイベントレコードを発行しません。これらのイベントレコードは、送信したメッセージの数、各メッセージについて支払った金額、およびメッセージが受取人によって受信されたかどうかを判断するのに役立ちます。

トピック

- [設定セットの管理](#)
- [イベント送信先の管理](#)

設定セットの管理

このセクションでは、AWS CLI および AWS コンソールを使用して設定セットを管理する方法について説明します。このセクションの手順では、AWS CLIが既に設定されていることを前提としています。詳細については、AWS Command Line Interface ユーザーガイドの[AWS CLIの開始](#)を参照してください。

Note

設定セットを作成したら、イベントを記録するイベント送信先を少なくとも 1 つ追加する必要があります。詳細については、「[イベント送信先の管理](#)」を参照してください。

Creating a configuration set (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して設定セットを作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で「設定セット」を選択し、「設定セットの作成」を選択します。
3. 「設定セット名」には、設定セットのわかりやすい名前を入力します。
4. 設定セットの作成を選択します。

Creating a configuration set (AWS CLI)

[create-configuration-set](#) コマンドを使用して、新しい設定セットを作成できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-configuration-set \  
> --configuration-set-name configurationSet
```

前述のコマンドで、*configurationSet* を、作成する設定セットの名前で置き換えます。

Deleting a configuration set (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して設定セットを削除するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 削除する設定セットを選択し、削除を選択します。

Deleting a configuration set (AWS CLI)

[delete-configuration-set](#) コマンドを使用して、設定セットを削除できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-configuration-set \  
> --configuration-set-name configurationSet
```

前述のコマンドで、*configurationSet* を、削除する設定セットの名前で置き換えます。

Edit configuration set settings (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して設定セットを編集するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
4. 設定 タブを選択し、設定の編集 を選択します。
5. リスト設定では、次の操作を行います。
 - メッセージタイプは、次のいずれかを選択します。
 - [Promotional] - マーケティングのメッセージや、ビジネスやサービスを宣伝するメッセージを送信する場合は、このオプションを選択します。
 - [Transactional] - パスワードのリセットやトランザクションのアラートなど、時間的制約のあるメッセージを送信する場合に選択します。
 - デフォルトの送信者 ID - 設定セットのデフォルトの送信者 ID を選択します。
6. [変更の保存] をクリックします。

List configuration sets (AWS CLI)

[describe-configuration-sets](#) コマンドを使用して、Amazon Pinpoint SMS アカウントの設定セットに関する情報を表示できます。

を使用してアカウントの設定セットを一覧表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-configuration-sets
```

Describe a configuration set (AWS CLI)

[describe-configuration-sets](#) コマンドを使用して、Amazon Pinpoint SMS アカウントの設定セットに関する情報を表示できます。

を使用して特定の設定セットに関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-configuration-sets \
```

```
> --configuration-set-names configurationSet
```

前述のコマンドで、*configurationSet* を、詳細を表示する設定セットの名前で置き換えます。また、複数の設定セットを指定するには、設定セットの名前をスペースで区切ります。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグを追加する (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、タグを追加する設定セットを選択します。
4. タグ タブで タグの管理 を選択します。
5.
 - タグの追加 – タグの管理 で、新しいタグを追加 を選択して、新しい空白のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – タグの管理 で、キーと値のペアの横にある 削除 を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理でキーまたは値を選択し、テキストを編集します。
6. [変更の保存] をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

を使用して AWS CLI、タグを追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

を使用してタグ AWS CLI を削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

イベント送信先の管理

イベント送信先は、SMS イベントと音声イベントの送信先の場所 (CloudWatch グループ、Amazon Data Firehose ストリーム、Amazon SNS トピックなど) です。イベント送信先を使用するには、まず送信先を作成し、それを [関連付けます](#) [設定セット](#)。1つの設定セットに最大5つのイベント送信先を関連付けることができます。メッセージを送信するとき、API コールに設定セットへの参照が含まれます。

前提条件

イベント送信先を関連付ける設定セットを既に作成しておく必要があります。「」を参照してください [設定セット](#)。

トピック

- [イベントタイプ](#)
- [イベントデータの例](#)
- [Amazon CloudWatch イベント送信先](#)
- [Amazon Data Firehose イベント送信先](#)
- [Amazon SNS イベントの送信先](#)

イベントタイプ

イベント送信先を使用する最も簡単な方法は、すべての SMS イベントと音声イベントを1つの宛先に送信することです。ただし、特定のタイプのイベントがそれぞれ異なる宛先に送信されるようにイベント送信先を設定できます。例えば、すべての配信関連のイベントを Firehose に送信して保存

し、すべての障害イベントを Amazon SNS トピックに送信して、発生したときに通知を受け取ることができます。SMS イベントと音声イベントを別々の場所に送信することもできます。

次のタイプのイベントを送信するようにイベント送信先を設定できます。

SMS および音声イベント

- ALL – すべての SMS イベントと音声イベントを、指定された宛先に送信します。

SMS イベント

- TEXT_ALL – すべての SMS イベントを、指定された宛先に送信します。
- TEXT_DELIVERED (配信済み) – すべての SMS 配信イベントを指定された宛先に送信します。
- TEXT_SUCCESSFUL (成功) – すべての SMS 成功イベントを指定された宛先に送信します。成功イベントは、メッセージが受信者の通信事業者によって受け入れられたときに発生します。
- TEXT_QUEUED (キューに登録済み) – すべての SMS キューイベントを指定された宛先に送信します。キューイベントは、メッセージが配信待ちになっているが、まだ配信されていないときに発生します。
- TEXT_PENDING (保留中) – すべての SMS 保留中イベントを指定された宛先に送信します。保留イベントは、メッセージが配信処理中であるが、まだ配信が完了していない (または配信に失敗した) ときに発生します。
- TEXT_BLOCKED (Blocked) – すべての SMS ブロックイベントを指定された宛先に送信します。ブロックイベントは、受信者のデバイスまたは通信キャリアが受信者へのメッセージをブロックしているときに発生します。
- TEXT_TTL_EXPIRED (TTL 有効期限切れ) – すべての SMS TTL 期限切れイベントを指定された宛先に送信します。TTL 伝送期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージ送信時に指定した TTL 値を超えたときに発生します。
- TEXT_CARRIER_UNREACHABLE (Carrier unreachable) – SMS メッセージのすべてのキャリア到達不能イベントを指定された宛先に送信します。キャリア到達不能イベントは、メッセージ受信者のキャリアネットワークで一時的なエラーが発生したときに発生します。
- TEXT_INVALID (SMS 無効) – すべての SMS 無効イベントを指定された宛先に送信します。無効イベントは、送信先電話番号が有効でない場合に発生します。
- TEXT_INVALID_MESSAGE (無効なメッセージ) – SMS メッセージのすべての無効なメッセージイベントを指定された宛先に送信します。無効メッセージイベントは、SMS メッセージの本文が無効なため配信できないときに発生します。

- **TEXT_CARRIER_BLOCKED (Carrier Blocked)** – SMS メッセージのすべての通信事業者ブロックイベントを指定された宛先に送信します。キャリアブロックイベントは、受信者の通信事業者がメッセージの配信をブロックしたときに発生します。これは通常、悪意あるメッセージ (例: メッセージにフィッシング詐欺関連の情報が含まれている場合)、または攻撃的メッセージ (例: メッセージが未承諾または禁止されているコンテンツであると疑われる場合) であると通信事業者が判断したときに発生します。
- **TEXT_UNRTAKABLE (到達不可)** – SMS メッセージのすべての到達不可能なイベントを指定された宛先に送信します。到達不能イベントは、受信者のデバイスが使用できないときに発生します。これは、デバイスがモバイルネットワークに接続されていないか、電源がオフになっているときに発生することがあります。
- **TEXT_SPAM (スパム)** – SMS メッセージのすべてのスパムイベントを指定された宛先に送信します。スパムイベントは、受信者の通信事業者がメッセージに未承諾の商用コンテンツが含まれていると判断し、メッセージの配信をブロックした場合に発生します。
- **TEXT_UNKNOWN (不明)** – 不明な SMS イベントをすべて指定された宛先に送信します。不明イベントは、他のどのイベントタイプにも当てはまらない理由でメッセージが配信されなかった場合に発生します。不明エラーには、一時的なものと永続的なものがあります。

音声イベント

- **VOICE_ALL** – すべての音声イベントを、指定された宛先に送信します。
- **VOICE_COMPLETED (完了)** – 音声メッセージのすべての完了したイベントを指定された宛先に送信します。完了イベントは、音声メッセージが受信者に対して再生されたときに発生します。この状態は、メッセージが必ずしも受信者に配信されたことを意味するわけではありません。例えば、メッセージがボイスメールシステムに配信されたことを示す場合があります。
- **VOICE_ANSWERED (応答済み)** – 音声メッセージの応答されたすべてのイベントを指定された宛先に送信します。応答イベントは、受信者が電話に応答したときに発生します。
- **VOICE_INITIATED (開始)** – 音声メッセージが開始されるたびに、指定された宛先にイベントを送信します。
- **VOICE_TTL_EXPIRED (TTL 有効期限切れ)** – すべての音声 TTL 期限切れイベントを指定された宛先に送信します。TTL 伝送期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージ送信時に指定した TTL 値を超えたときに発生します。
- **VOICE_DCRY (Busy)** – 音声メッセージのすべてのビジーイベントを指定された宛先に送信します。ビジーイベントは、受信者の電話回線がビジー状態のときに発生します。

- VOICE_NO_ANSWER (応答なし) – 音声メッセージの応答なしイベントをすべて、指定された宛先に送信します。応答なしイベントは、電話をかけたが受信者 (またはボイスメールシステム) が応答しなかったときに発生します。
- VOICE_RINGING (リング) – 音声メッセージのすべての着信イベントを指定された宛先に送信します。呼び出しイベントは、電話をかけた後、受信者が応答する前に発生します。
- VOICE_FAILED (失敗) – すべての音声メッセージの失敗イベントを指定された宛先に送信します。失敗イベントは、メッセージが配信されなかったときに発生します。

イベントデータの例

Amazon Pinpoint SMS は、SMS メッセージ配信に関するイベントデータをストリーミングできます。通信事業者が生成した SMS イベントは、受信されるまでに最大 72 時間かかることがあるため、送信メッセージの配信に遅延があるかどうかの判断には使用しないでください。72 時間が経過しても、Amazon Pinpoint SMS が通信事業者からの最終イベントを受信していない場合、messageStatusそのメッセージに何が起こったのかわからないため、サービスは自動的に UNKNOWN を返します。

SMS サンプルログ

SMS イベントの JSON オブジェクトには以下の例に示されているデータが含まれています。

```
{
  "eventType": "TEXT_SUCCESSFUL",
  "eventVersion": "1.0",
  "eventTimestamp": 1686975103470,
  "isFinal": true,
  "originationPhoneNumber": "+12065550152",
  "destinationPhoneNumber": "+14255550156",
  "isoCountryCode": "US",
  "messageId": "862a8790-60c0-4430-9b2b-658bdexample",
  "messageRequestTimestamp": 1686975103170,
  "messageEncoding": "GSM",
  "messageType": "PROMOTIONAL",
  "messageStatus": "SUCCESSFUL",
  "messageStatusDescription": "Message has been accepted by phone carrier",
  "context": {
    "account": "bar"
  },
  "totalMessageParts": 1,
```

```

    "totalMessagePrice": 0.09582,
    "totalCarrierFee": 0.0
  }

```

属性	説明
eventType	イベントのタイプ。値は以下のとおりです。 イベントタイプ
eventVersion	イベントの JSON スキーマのバージョン。
eventTimestamp	イベントが報告された時刻。Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
isFinal	Trueこれがメッセージの最終ステータスかどうか。中間のメッセージステータスがあり、最終的なメッセージステータスが受信されるまでに最大 72 時間かかることがあります。
originationPhoneNumber	メッセージの送信元の電話番号。
destinationPhoneNumber	メッセージを送信しようとした電話番号。
isoCountryCode	受信者の電話番号に関連付けられている国 (ISO 3166-1 alpha-2 形式で表示)。
messageId	Amazon Pinpoint SMS がメッセージを受け付けるときに生成する固有の ID。
messageRequestTimestamp	SMS メッセージリクエストを受信した時刻。UNIX 時間 (ミリ秒単位) で表示されます。
messageEncoding	メッセージのエンコーディング。指定できる値は GSM と Unicode です。メッセージエンコーディングの詳細については、 を参照してください 。 SMS 文字制限
messageType	メッセージのタイプ。指定できる値は、Promotional および Transactional です。

属性	説明
messageStatus	<p>メッセージのステータス。可能な値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• 成功 — メッセージは電話会社によって受け入れられました。• 配信済み — メッセージは受信者のデバイスによって受け入れられました。• PENDING – メッセージはまだ受信者のデバイスに配信されていません。• INVALID – 送信先の電話番号が無効です。• UNREACHABLE – 受信者のデバイスが現在到達できないか、利用できません。例えば、デバイスの電源がオフになっているか、ネットワークから切断されている可能性があります。後でメッセージの送信を再試行できます。• UNKNOWN – メッセージの配信を妨げるエラーが発生しました。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。• BLOCKED — 受信者のデバイスが、送信者の電話番号から送信された SMS メッセージをブロックしています。• CARRIER_UNREACHABLE – 受信者のモバイルネットワークの問題により、メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。• SPAM – 受信者のモバイルキャリアがメッセージのコンテンツをスパムとして識別し、メッセージの配信をブロックしました。• INVALID_MESSAGE – SMS メッセージの本文が無効であるため、配信できません。

属性	説明
	<ul style="list-style-type: none">• CARRIER_BLOCKED – 受信者のキャリアがこのメッセージの配信をブロックしています。これは、多くの場合、キャリアがメッセージの内容を未承諾または悪意のあるものとして識別した場合に発生します。• TTL_EXPIRED – 特定の期間内に SMS メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。• 承諾済み — SMS メッセージは受理されました。• 失敗 — SMS メッセージを受信者のデバイスに配信できませんでした。• 送信済み — メッセージは送信されましたが、受信者のデバイスには配信されませんでした。• UNROUTABLE — アカウント設定が不適切なため、ルーティングできません。• QUEUED — メッセージは配信待ちになっています
messageStatusDescription	メッセージステータスの説明。
context	カスタム属性は指定でき、メッセージを送信すると記録されます。

属性	説明
totalMessageParts	<p>メッセージを送信するために Amazon Pinpoint SMS が作成したメッセージパーツの数。</p> <p>通常、SMS メッセージには GSM-7 文字 160 文字または非 GSM 文字 67 文字のみを含めることができますが、これらの制限は国によって異なる場合があります。これらの制限を超えるメッセージを送信すると、Amazon Pinpoint SMS はメッセージを自動的に小さな部分に分割します。送信したメッセージパートの数に基づいて請求されます。メッセージ部分の詳細については、を参照してください。メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限</p>
totalMessagePrice	<p>メッセージの送信に課金された金額。この価格は、米ドルセントの 1000 分の 1 で示されます。例えば、この属性の値が 645 の場合、メッセージの送信に 0.645 が課金されます (645 / 1000 = 0.645¢ = \$0.00645)。</p>
totalCarrierFee	<p>メッセージにかかるキャリア手数料の合計費用です。</p>

音声 (例: イベントログ)

Voice イベントの JSON オブジェクトには、次の例に示すデータが含まれています。

```
{
  "eventType": "VOICE_COMPLETED",
  "eventVersion": "1.0",
  "eventTimestamp": 1697835373500,
  "isFinal": true,
  "originationPhoneNumber": "+12065550153",
  "destinationPhoneNumber": "+14255550159",
  "isoCountryCode": "US",
  "messageId": "567f6c11-6e8b-4352-9749-a42a0example",
```

```

"messageRequestTimestamp": 1697835372720,
"messageStatus": "COMPLETED",
"callDurationInSeconds": 60,
"totalDurationInMinutes": 1,
"totalMessagePrice": 0.013,
"context": {
  "account": "bar"
}
}

```

属性	説明
eventType	イベントのタイプ。値は以下のとおりです。 イベントタイプ
eventVersion	イベントの JSON スキーマのバージョン。
eventTimestamp	イベントが報告された時刻。Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
isFinal	Trueこれがメッセージの最終ステータスかどうか。中間のメッセージステータスがありません。
originationPhoneNumber	メッセージの送信元の電話番号。
destinationPhoneNumber	メッセージを送信しようとした電話番号。
isoCountryCode	受信者の電話番号に関連付けられている国 (ISO 3166-1 alpha-2 形式で表示)。
messageId	Amazon Pinpoint SMS がメッセージを受け付けるときに生成する固有の ID。
messageRequestTimestamp	SMS メッセージリクエストを受信した時刻。UNIX 時間 (ミリ秒単位) で表示されます。
messageStatus	メッセージのステータス。可能な値は以下のとおりです。

属性	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • INITIATED — 音声メッセージはダイヤルを開始する準備ができています。 • 呼び出し中 — 呼び出しイベントは、通話が行われた後、受信者が応答する前に発生します。 • COMPLETED — ボイスメッセージの完了したイベントをすべて指定した宛先に送信します。完了したイベントは、受信者に音声メッセージが再生されるときに発生します。この状態は、メッセージが必ずしも人間の受信者に配信されたことを意味するわけではありません。たとえば、メッセージがボイスメールシステムに配信されたことを示す場合があります。 • 応答済み — 応答済みイベントは、受信者が電話に応答したときに発生します。 • 完了 — 通話は応答され、終了しました。 • BUSY — 通話中イベントは、受信者の電話回線が通話中である場合に発生します。 • NO_ANSWER — 電話をかけた後は無応答イベントが発生しますが、受信者 (またはボイスメールシステム) は応答しません。 • FAILED — 障害イベントは、メッセージが配信されなかった場合に発生します。 • TTL_EXPIRED — TTL Expired イベントは、メッセージの配信に必要な時間が、TTLメッセージの送信時に指定した値を超えた場合に発生します。 • SPAM — 通話が迷惑メールとしてマークされ、ブロックされました。
callDurationInSeconds	通話時間 (秒単位)。

属性	説明
totalDurationInMinutes	通話時間 (分単位)。
totalMessagePrice	音声メッセージの送信に請求された金額。この価格は、米ドルセントの 1000 分の 1 で示されます。
context	カスタム属性は指定でき、メッセージを送信すると記録されます。

Amazon CloudWatch イベント送信先

Amazon CloudWatch Logs は、ログファイルのモニタリング、保存、アクセスに使用できる AWS のサービスです。CloudWatch イベント送信先を作成すると、Amazon Pinpoint SMS はイベント送信先で指定したタイプのイベントを CloudWatch グループに送信します。の詳細については CloudWatch、[「Amazon CloudWatch Logs ユーザーガイド」](#)を参照してください。

前提条件

1. CloudWatch イベント送信先を作成する前に、まずグループを作成 CloudWatchする必要があります。ロググループの作成の詳細については、「Amazon Logs [ユーザーガイド](#)」の「[ロググループとログストリームの使用](#)」を参照してください。 CloudWatch

Important

イベント送信先を作成するには、CloudWatch グループの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

2. Amazon Pinpoint SMS がロググループに書き込むことを許可する IAM ロールを作成する必要があります。次のセクションには、このロールの要件に関する情報が記載されています。

Important

イベント送信先を作成するには、IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

- また、イベント送信先を関連付ける設定セットも設定されています。「」を参照してください [設定セットの管理](#)。

Amazon の IAM ポリシー CloudWatch

次の例を使用して、グループにイベント CloudWatchを送信するためのポリシーを作成します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "logs:CreateLogStream",
        "logs:DescribeLogStreams",
        "logs:PutLogEvents"
      ],
      "Resource": [
        "arn:aws:logs:us-east-1:111122223333:log-group:log-group-name:*"
      ]
    }
  ]
}
```

IAM ポリシーの詳細については、『IAM ユーザーガイド』の「[IAM でのポリシーとアクセス管理](#)」を参照してください。

次のステートメント例では、オプション、推奨、SourceAccountおよび SourceArn条件を使用して、Amazon Pinpoint SMS 所有者アカウントのみが設定セットにアクセスできるようにします。この例では、*accountId*を AWS アカウント ID、*region*を AWS リージョン 名前、*ConfigSetName*を構成セットの名前に置き換えます。

ポリシーを作成したら、新しい IAM ロールを作成して、そのポリシーをアタッチします。ロールを作成したら、次の信頼ポリシーも追加します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": {
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
    }
  }
}
```

```
    },
    "Action": "sts:AssumeRole",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "accountId"
      },
      "ArnLike": {
        "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-
set/ConfigSetName"
      }
    }
  }
}
```

IAM ロールの作成の詳細については、IAM ユーザーガイドの「[IAM ロールの作成](#)」を参照してください。

Amazon CloudWatch イベント送信先の管理

IAM ロールと CloudWatch グループを作成したら、イベント送信先を作成できます。

Create event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してイベント送信先を作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 「設定セットの詳細」ページで「送信先イベントを追加」を選択します。
5. イベントの詳細 セクションに、イベント送信先名のわかりやすい名前を入力します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon を選択します CloudWatch。
7. IAM ロール `arn` には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール `arn` の詳細については、「」を参照してください [Amazon の IAM ポリシー CloudWatch](#)。
8. ロググループ `arn` には、イベントを配信する Amazon CloudWatch ロググループの ARN を入力します。
9. イベント発行 をオンにします。
10. イベントタイプで次を選択します。

- すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベントを Amazon に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します CloudWatch。
- カスタム SMS イベント — に送信する特定の SMS イベントを選択します CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集 では、Amazon に送信するイベントのみをチェックします CloudWatch。選択の保存 を選択します。
- すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します CloudWatch。
- カスタム音声イベント — このオプションを選択すると、 に送信する特定の音声イベントを選択できます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「音声イベント選択の編集」を選択します。音声イベント選択の編集 では、Amazon に送信するイベントのみをチェックします CloudWatch。選択の保存を選択します。

11. [イベントの作成] を選択します。

Create event destination (AWS CLI)

[create-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を作成できます。

コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types ALL \  
> --cloud-watch-logs-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/CWLSMSRole,LogGroupArn=arn:aws:logs:us-east-1:111122223333:log-group:MyCWLLogGroup
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、イベント送信先を説明する名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。
- *ALL* を、[イベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- IamRoleArn の値を、[Amazon の IAM ポリシー CloudWatch](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、イベントの送信先の CloudWatch グループの ARN LogGroupArn に置き換えます。

Update event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してイベント送信先を更新するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
4. イベント設定タブで Amazon CloudWatch イベント送信先を選択し、 を編集します。
5. IAM ロール arn には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール arn の詳細については、「 」を参照してください [Amazon の IAM ポリシー CloudWatch](#)。
6. ロググループ arn には、イベントを配信する Amazon CloudWatch ロググループの ARN を入力します。
7. イベントタイプで次を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベントを Amazon に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します CloudWatch。
 - カスタム SMS イベント – このオプションを選択すると、 に送信する特定の SMS イベントを選択できます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集 では、Amazon に送信するイベントのみをチェックします CloudWatch。選択の保存 を選択します。
 - すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します CloudWatch。
 - カスタム音声イベント – このオプションを選択すると、 に送信する特定の音声イベントを選択できます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「音声イベント選択の編集」を選択します。「音声イベント選択の編集」では、Amazon に送信するイベントのみをチェックします CloudWatch。選択の保存 を選択します。
8. イベントの編集を選択します。

Updated event destination AWS CLI)

[update-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を更新できます。

CloudWatch イベント送信先を更新する手順は、イベント送信先を作成するプロセスと似ています。コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event types eventTypes \  
> --cloud-watch-logs-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/CWLSMSRole,LogGroupArn=arn:aws:logs:us-  
east-1:111122223333:log-group:MyCWLLogGroup
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、変更するイベント送信先の名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。イベント送信先に、異なる設定セットに関連付けることができます。
- *eventTypes* を、[イベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- IamRoleArn の値を、[イベントタイプ](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、イベントの送信先の CloudWatch グループの ARN LogGroupArn に置き換えます。

Delete an CloudWatch event destination (Console)

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

コンソールで CloudWatch イベント送信先を削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を削除する設定セットを選択します。
4. 「すべての送信先」セクションで、イベント送信先を選択し、「削除」を選択します。

Delete an CloudWatch event destination (AWS CLI)

[delete-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を削除できます。

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

で CloudWatch イベント送信先を削除するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を削除するイベント送信先の名前または Amazon リソースネーム (ARN) *eventDestinationName* に置き換えます。
- を、イベント送信先が関連付けられている設定セットの名前または ARN *configurationSetName* に置き換えます。

Amazon Data Firehose イベント送信先

Amazon Data Firehose は、リアルタイムストリーミングデータを複数のタイプの宛先に配信するためのフルマネージドサービスです。Amazon Data Firehose は Kinesis ストリーミングデータプラットフォームの一部です。Amazon Data Firehose の詳細については、[「Amazon Data Firehose デベロッパーガイド」](#)を参照してください。

このセクションのいくつかの例では、が既にインストールされ、設定されていることを前提としています AWS Command Line Interface。の設定の詳細については AWS CLI、[「AWS Command Line Interface ユーザーガイド」](#)を参照してください。

前提条件

1. Amazon Data Firehose イベント送信先を作成する前に、まず Amazon Data Firehose 配信ストリームを作成する必要があります。ロググループの作成の詳細については、[「Amazon Data Firehose デベロッパーガイド」](#)の[「Amazon Data Firehose 配信ストリームの作成」](#)を参照してください。

⚠ Important

イベント送信先を作成するには、Amazon Data Firehose 配信ストリームの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

2. Amazon Pinpoint SMS が配信ストリームに書き込むことを許可する IAM ロールを作成する必要があります。「」を参照してください[Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)。

⚠ Important

イベント送信先を作成するには、IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

3. また、イベント送信先を関連付ける設定セットも設定されています。「」を参照してください[設定セットの管理](#)。

このセクションのトピック:

- [Amazon Data Firehose イベント送信先の作成](#)
- [Amazon Data Firehose イベント送信先の管理](#)

Amazon Data Firehose イベント送信先の作成

Amazon Data Firehose イベント送信先を作成する前に、まず Amazon Data Firehose ストリームを作成する必要があります。ロググループの作成の詳細については、「[Amazon Data Firehose デベロッパーガイド](#)」の「[Amazon Data Firehose 配信ストリームの作成](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API がストリームにデータを送信できるようにする IAM ロールを作成する必要があります。次のセクションには、このロールの要件に関する情報が記載されています。

イベント送信先を関連付ける設定セットも準備しておきます。「[設定セット](#)」を参照してください。

Amazon Data Firehose の IAM ポリシー

次の例を使用して、Amazon Data Firehose ストリームにイベントを送信するためのポリシーを作成します。

```
{
```



```
"Version": "2012-10-17",
"Statement": [
  {
    "Effect": "Allow",
    "Action": "firehose:PutRecord",
    "Resource": "arn:aws:firehose:us-
east-1:111122223333:deliverystream/DeliveryStreamName"
  }
]
```

IAM ポリシーの詳細については、『IAM ユーザーガイド』の「[IAM でのポリシーとアクセス管理](#)」を参照してください。

次のステートメント例では、オプションですが推奨されている SourceAccount および SourceArn 条件を使用して、Amazon Pinpoint SMS 所有者アカウントのみが設定セットにアクセスできるようにします。この例では、*accountId* を AWS アカウント ID、*region* を AWS リージョン名前、*ConfigSetName* を構成セットの名前に置き換えます。

ポリシーを作成したら、新しい IAM ロールを作成して、そのポリシーをアタッチします。ロールを作成したら、次の信頼ポリシーも追加します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": {
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
    },
    "Action": "sts:AssumeRole",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "accountId"
      },
      "ArnLike": {
        "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-
set/ConfigSetName"
      }
    }
  }
}
```

IAM ロールの作成の詳細については、IAM ユーザーガイドの「[IAM ロールの作成](#)」を参照してください。

Amazon Data Firehose イベント送信先の管理

Create Amazon Data Firehose event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon Data Firehose イベント送信先を作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 「設定セットの詳細」ページで「送信先イベントを追加」を選択します。
5. イベントの詳細 セクションに、イベント送信先名のわかりやすい名前を入力します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon Data Firehose を選択します。
7. IAM ロール arn には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール arn の詳細については、「」を参照してください [Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)。
8. 配信ストリーム arn には、イベントを配信する Amazon Data Firehose ロググループの ARN を入力します。
9. イベント発行 をオンにします。
10. イベントタイプで次を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベントを Amazon Data Firehose に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム SMS イベント — このオプションを選択すると、に送信する特定の SMS イベントを選択できます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集 では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択の保存 を選択します。
 - すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon Data Firehose に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム音声イベント — このオプションを選択すると、Amazon Data Firehose に送信する特定の音声イベントを選択できます。イベントのリストを編集するには、「音声イベント選択の編集」を選択します。音声イベント選択の編集 では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択の保存 を選択します。

11. [イベントの作成] を選択します。

Create Amazon Data Firehose event destination (AWS CLI)

IAM ロールと Amazon Data Firehose 配信ストリームを作成したら、イベント送信先を作成できます。

[create-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を作成できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --kinesis-firehose-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/  
  AKFSMSRole,DeliveryStreamArn=arn:aws:firehose:us-  
  east-1:111122223333:deliverystream/MyDeliveryStream
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、イベント送信先を説明する名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。
- *eventTypes* を、[イベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- IamRoleArn の値を、[Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、イベントの送信先の Amazon Data Firehose ストリームの ARN DeliveryStreamArn に置き換えます。

Update Amazon Data Firehose event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon Data Firehose イベント送信先を更新するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。

3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
5. 設定セットの詳細ページで Amazon Data Firehose イベント送信先を選択し、 を編集します。
6. IAM ロール arn には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール arn の詳細については、「」を参照してください [Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)。
7. 配信ストリーム arn には、イベントを配信する Amazon Data Firehose ロググループの ARN を入力します。
8. イベントタイプで次を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベントを Amazon Data Firehose に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム SMS イベント — このオプションを選択すると、 に送信する特定の SMS イベントを選択できます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集 では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択の保存を選択します。
 - すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon Data Firehose に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム音声イベント — このオプションを選択すると、Amazon Data Firehose に送信する特定の音声イベントを選択できます。イベントのリストを編集するには、「音声イベント選択の編集」を選択します。音声イベント選択の編集 では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択の保存を選択します。
9. イベントの編集を選択します。

Update Amazon Data Firehose event destination (AWS CLI)

[update-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を更新できます。

Amazon Data Firehose イベント送信先を更新する手順は、イベント送信先を作成するプロセスと似ています。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --kinesis-firehose-destination  
IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/
```

```
AKFSMSRole,DeliveryStreamArn=arn:aws:firehose:us-east-1:111122223333:deliverystream/MyDeliveryStream
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、変更するイベント送信先の名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。イベント送信先に、異なる設定セットに関連付けることができます。
- *eventTypes* を、[イベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- *IamRoleArn* の値を、[Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、イベントの送信先の Amazon Data Firehose ストリームの ARN *DeliveryStreamArn* に置き換えます。

Delete an Amazon Data Firehose event destination (Console)

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

コンソールで Amazon Data Firehose イベント送信先を削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を削除する設定セットを選択します。
4. 「すべての送信先」セクションで、イベント送信先を選択し、「削除」を選択します。

Delete an Amazon Data Firehose event destination (AWS CLI)

[delete-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を削除できます。

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

で Amazon Data Firehose イベント送信先を削除するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を削除するイベント送信先の名前または Amazon リソースネーム (ARN) *eventDestinationName* に置き換えます。
- を、イベント送信先が関連付けられている設定セットの名前または ARN *configurationSetName* に置き換えます。

Amazon SNS イベントの送信先

Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) は、アプリケーション、エンドユーザー、およびデバイスで通知を瞬時に送受信できるようにするウェブサービスです。Amazon SNS の詳細については、『[Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド](#)』を参照してください。

このセクションのいくつかの例では、[AWS CLI](#) が既にインストールされ、設定されていることを前提としています。AWS Command Line Interface の設定の詳細については AWS CLI、『[AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#)』を参照してください。

このセクションのトピック:

- [Amazon SNS イベント送信先の作成](#)
- [Amazon SNS イベント送信先の管理](#)

Amazon SNS イベント送信先の作成

Amazon SNS イベント送信先を作成するには、まず Amazon SNS トピックを作成する必要があります。Amazon SNS トピックの作成の詳細については、『[Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド](#)』の『[トピックの作成](#)』を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API がストリームにデータを送信できるようにする IAM ロールを作成する必要があります。次のセクションには、このロールの要件に関する情報が記載されています。

イベント送信先を関連付ける設定セットも準備しておきます。『[設定セット](#)』を参照してください。

Amazon SNS 用の IAM ポリシー

次の例を使用して、Amazon SNS トピックにイベントを送信するためのポリシーを作成します。

次のステートメント例では、`、オプション、推奨、SourceAccount`および `SourceArn`条件を使用して、Amazon Pinpoint SMS 所有者アカウントのみが設定セットにアクセスできるようにします。この例では、`accountId`を AWS アカウント ID、`region`を AWS リージョン 名前、`ConfigSetName`を構成セットの名前に置き換えます。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": "SNS:Publish",
      "Resource": "arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:MyTopic",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        },
        "ArnLike": {
          "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-
set/ConfigSetName"
        }
      }
    }
  ]
}
```

IAM ポリシーの詳細については、『IAM ユーザーガイド』の「[IAM でのポリシーとアクセス管理](#)」を参照してください。

Amazon SNS イベント送信先の管理

Create an Amazon SNS event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon Amazon SNS イベント送信先を作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。

3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 「設定セットの詳細」ページで「送信先イベントを追加」を選択します。
5. イベントの詳細 セクションに名前を入力します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon SNS を選択します。
 - a. 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントにトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「Amazon SNS デベロッパーガイド」の「[Amazon SNS を設定する](#)」を参照してください。
 - b. 既存の Amazon SNS トピック – トピック arn ドロップダウンに既存の Amazon SNS トピックがある場合は、このオプションを選択します。
7. イベントタイプで次を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) – にリストされているすべての SMS イベントを Amazon SNS に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム SMS イベント – このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の SMS イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集 では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択の保存 を選択します。
 - すべての音声イベント (推奨) – にリストされているすべての音声イベントを Amazon SNS に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム音声イベント – このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の音声イベントを選択できます。イベントのリストを編集するには、「音声イベント選択の編集」を選択します。音声イベント選択の編集 では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択の保存 を選択します。
8. [イベントの作成] を選択します。

Create an Amazon SNS event destination (AWS CLI)

[create-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を作成できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --sns-destination TopicArn=arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:snsTopic
```


上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- をイベント送信先のわかりやすい名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。
- *eventTypes* を、[イベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- TopicArn の値を、イベントの送信先にする Amazon SNS トピックの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

Update an Amazon SNS event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon Pinpoint SMS イベント送信先を更新するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
5. 設定セットの詳細ページで Amazon SNS イベント送信先を選択し、 を編集します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon SNS を選択します。
 - a. 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントにトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「Amazon SNS デベロッパーガイド」の「[Amazon SNS を設定する](#)」を参照してください。
 - b. 既存の Amazon SNS トピック – トピック arn ドロップダウンに既存の Amazon SNS トピックがある場合は、このオプションを選択します。
7. イベントタイプで次を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) – にリストされているすべての SMS イベントを Amazon SNS に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム SMS イベント – このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の SMS イベントを選択できます。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択の保存 を選択します。

- すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon SNS に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
- カスタム音声イベント — このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の音声イベントを選択できます。イベントのリストを編集するには、「音声イベント選択の編集」を選択します。音声イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択の保存 を選択します。

8. イベントの編集を選択します。

Update an Amazon SNS event destination (AWS CLI)

[update-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を更新できます。

Amazon SNS イベント送信先を更新する手順は、イベント送信先を作成するプロセスと同様です。

で Amazon SNS イベント送信先を更新するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event types eventTypes \  
> --sns-destination TopicArn=arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:snsTopic
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、変更するイベント送信先の名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。イベント送信先に、異なる設定セットに関連付けることができます。
- *eventTypes* を、[イベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- TopicArn の値を、イベントの送信先にする Amazon SNS トピックの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

Delete an Amazon SNS event destination (Console)

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

コンソールで Amazon SNS イベント送信先を削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を削除する設定セットを選択します。
4. 「すべての送信先」セクションで、イベント送信先を選択し、「削除」を選択します。

Delete an Amazon SNS event destination (AWS CLI)

[delete-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を削除できます。

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

で Amazon SNS イベント送信先を削除するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を削除するイベント送信先の名前または Amazon リソースネーム (ARN) *eventDestinationName* に置き換えます。
- を、イベント送信先が関連付けられている設定セットの名前または ARN *configurationSetName* に置き換えます。

オプトアウトリスト

オプトアウトリストは、メッセージを送信すべきではない送信先の電話番号のリストです。SMS メッセージを送信すると、送信元電話番号に STOP というキーワードで返信すると、送信先 ID がオプトアウトリストに自動的に追加されます (セルフマネージドオプトアウトオプションを有効にした場合を除く)。オプトアウトリストに登録されている送信先番号にメッセージを送信しようとしたときに、そのオプトアウトリストがメッセージの送信に使用された電話番号に関連付けられている場合、Amazon Pinpoint SMS はメッセージの送信を試みません。

トピック

- [オプトアウトリストのキーワード](#)
- [オプトアウトリストの管理](#)
- [オプトアウトリストの電話番号の管理](#)
- [タグ](#)

オプトアウトリストのキーワード

現地の法律および規制により義務付けられている場合 (米国およびカナダなど)、SMS の受取人は、デバイスを利用して以下のいずれかのメッセージに返信することによって、オプトアウトできます。

- 停止
- CANCEL
- END
- OPT-OUT
- OPTOUT
- QUIT
- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信に使用したのと同じロングコードまたはショートコードに返信する必要があります。オプトアウトすると、受信者は AWS アカウントから SMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。

オプトアウトリストの管理

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、オプトアウトリストを管理します。

Create opt-out list (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページでオプトアウトリストを選択し、編集を選択します。
4. リストの詳細 ページで、リスト名 を入力します。
5. リストの作成を選択します。

Create opt-out list (AWS CLI)

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-opt-out-list \  
> --opt-out-list-name optOutListName
```

前の例では、*optOutListName* をオプトアウトリストを識別しやすい名前に置き換えます。

Describe opt-out lists (AWS CLI)

[describe-opt-out-lists](#) コマンドを使用して、Amazon Pinpoint SMS アカウントのオプトアウトリストに関する情報を表示できます。

を使用してすべてのオプトアウトリストに関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-opt-out-lists
```

また、特定のオプトアウトリストに関する情報を表示するには、OptOutListNames パラメータを使用できます。

を使用して特定のオプトアウトリストに関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-opt-out-lists \  
> --opt-out-list-names optOutListName
```

上記のコマンドで、*optOutListName* を、詳細情報を検索するオプトアウトリストの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。また、複数のオプトアウトリストを指定するには、各リスト名をスペースで区切ります。

は、アカウント内のすべてのオプトアウトリストに関する次の情報 AWS CLI を返します。

Delete opt-out list (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを削除するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページでオプトアウトリストを選択し、削除を選択します。

Delete opt-out list (AWS CLI)

[delete-opt-out-list](#) コマンドを使用してオプトアウトリストを削除できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-opt-out-list \  
> --opt-out-list-name optOutListName
```

前の例では、*optOutListName* をオプトアウトリストを識別しやすい名前に置き換えます。

View linked originators (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、オプトアウトリストにリンクされているすべての発信元 ID を表示できます。次のステップに従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「オプトアウトリスト」を選択します。
3. オプトアウトリストページでオプトアウトリストを選択します。
4. 「リンクされた発信元番号」を選択すると、すべての発信元 ID が表示されます。

オプトアウトリストの電話番号の管理

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、オプトアウトリストから送信先電話番号を追加または削除したり、オプトアウトリストに関連付けられた発信元 ID を表示したりできます。

Add a destination number (Console)

オプトアウトリストに電話番号を追加すると、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされている発信元 ID から送信されたメッセージを受信しなくなります。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページでオプトアウトリストを選択します。
4. オプトアウト番号 タブで 番号を追加 を選択します。
5. 「オプトアウト番号の追加」ページの「送信先番号」に、オプトアウトリストに追加する電話番号を入力します。電話番号は、+12065550150 のように E.164 形式である必要があります。
6. 番号を追加 を選択します。

Search for an opted-out destination number (Console)

オプトアウトリストを検索して、オプトアウトリストに送信先番号が含まれているかどうかを確認できます。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページでオプトアウトリストを選択します。
4. オプトアウト番号タブの検索フィールドに電話番号を入力します。電話番号は、 のように E.164 形式である必要があります **+12065550149**。
5. [検索] を選択します。

View originators (Console)

複数の発信元 ID が同じオプトアウトリストを使用できます。オプトアウトリストに関連付けられた発信元 ID のリストは、リンクされた発信元番号タブで表示できます。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページでオプトアウトリストを選択します。
4. 「リンクされた発信元番号」タブでは、オプトアウトリストに関連付けられているすべての発信元 ID を表示できます。

Add a destination number (AWS CLI)

オプトアウトリストに電話番号を追加すると、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされている発信元 ID から送信されたメッセージを受信しなくなります。

[put-opted-out-number](#) コマンドを使用して、オプトアウトリストに電話番号を追加できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-opted-out-number \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --opted-out-number +12065550123
```


上の例に、以下の変更を加えます。

- `optOutListName` を、送信先 ID を追加するオプトアウトリストの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- `+12065550123` を、オプトアウトリストに追加する電話番号に置き換えます。電話番号は E.164 形式である必要があります。

Remove a destination number (Console)

オプトアウトリストに電話番号を削除すると、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされている発信元 ID から送信されたメッセージを受信します。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページでオプトアウトリストを選択します。
4. オプトアウト番号 タブで削除する電話番号を入力し、 を検索します。
5. 電話番号が見つかった場合は、番号の削除 を使用してオプトアウトリストから削除できます。
6. オプトアウトした番号の削除ウィンドウで、「」と入力し `release`、 「番号を削除」と入力します。

Remove a destination number (AWS CLI)

オプトアウトリストに電話番号を削除すると、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされている発信元 ID から送信されたメッセージを受信します。

[delete-opted-out-number](#) コマンドを使用して、オプトアウトリストの電話番号を削除できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-opted-out-number \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --opted-out-number +12065550123
```

上の例に、以下の変更を加えます。

- `optOutListName` を、送信先 ID を追加するオプトアウトリストの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- `+12065550123` を、オプトアウトリストに追加する電話番号に置き換えます。電話番号は E.164 形式である必要があります。

タグ

タグはキーと値のペアで、オプションで AWS リソースに適用してアクセスまたは使用量を制御できます。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プールにタグを追加または編集します。

タグの管理 (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリストを選択します。
3. オプトアウトリストページで、タグを追加するオプトアウトリストを選択します。
4. タグ タブで タグの管理 を選択します。
 - タグの追加 – タグの管理 で、新しいタグを追加 を選択して、新しい空白のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – タグの管理で、キーと値のペアの横にある 削除を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理でキーまたは値を選択し、テキストを編集します。
5. [変更の保存] をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

を使用して AWS CLI、タグを追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

を使用してタグ AWS CLI を削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
--resource-arn resource-arn \  
--tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

SMS または音声メッセージの送信例

Amazon Pinpoint SMS API を使用して、アプリケーションから直接メッセージを送信できます。トランザクションメッセージは、特定の受信者に送信するメッセージです。

このセクションには、[SMS メッセージ](#)と[音声メッセージ](#)の送信の両方のコード例が記載されています。

このセクションのトピック:

- [SMS メッセージの送信](#)
- [音声メッセージの送信](#)

SMS メッセージの送信

AWS SDK for Python (Boto3)で SMS メッセージを送信するには、次のコード例を使用できます。

```
import boto3  
from botocore.exceptions import ClientError  
  
def send_sms_message(sms_voice_v2_client, configuration_set, context_keys,
```

```
        country_parameters, destination_number, dry_run, keyword,
        max_price, message_body, message_type, origination_number,
        ttl):
    try:
        response = sms_voice_v2_client.send_text_message(
            ConfigurationSetName=configuration_set,
            Context=context_keys,
            DestinationCountryParameters=country_parameters,
            DestinationPhoneNumber=destination_number,
            DryRun=dry_run,
            Keyword=keyword,
            MaxPrice=max_price,
            MessageBody=message_body,
            MessageType=message_type,
            OriginationIdentity=origination_number,
            TimeToLive=ttl
        )

    except ClientError as e:
        print(e.response)
    else:
        return response['MessageId']

def main():
    configuration_set = "MyConfigurationSet"
    context_keys = {"key1": "value1"}
    country_parameters = {
        "IN_TEMPLATE_ID": "TEMPLATE01234",
        "IN_ENTITY_ID": "ENTITY98765"
    }
    destination_number = "+14255550168"
    dry_run = False
    keyword = "MyKeyword"
    max_price = "2.00"
    message_body = ("This is a test message sent from Amazon Pinpoint SMS "
        "using the AWS SDK for Python (Boto3). ")
    message_type = "TRANSACTIONAL"
    origination_number = "+12065550183"
    ttl = 120

    print(
        f"Sending text message to {destination_number}.")
```

```
message_id = send_sms_message(
    boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2'), configuration_set, context_keys,
    country_parameters, destination_number, dry_run, keyword, max_price,
    message_body, message_type, origination_number, ttl)

print(f"Message sent!\nMessage ID: {message_id}")

if __name__ == '__main__':
    main()
```

前述のコード例では、main() 関数で次の変更を加えています。

- configuration_set の値を、このメッセージの送信に使用する設定セットの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に変更します。
- context_keys の値を、このメッセージの送信時に使用するキーと値に変更します。これらのキーは、このメッセージに関連付けられたイベントレコードに表示されます。
- インドの顧客にメッセージを送信するために登録済みの送信者 ID を使用する場合は、送信者 ID の登録時に受け取った登録エンティティ ID およびテンプレート ID と一致するように country_parameters の値を変更します。

Important

インドの顧客にメッセージを送信するために登録済み送信者 ID を使用しない場合は、このパラメータを完全に省略します。省略する場合は、send_sms_message 関数の対応する行も削除する必要があります。

- destination_number の値を、メッセージの送信先の電話番号に変更します。
- メッセージを送信せずに、この操作を実行する場合は、dry_run の値を True に変更します。
- max_price の値を、このメッセージの各メッセージパートを送信するために使う最大金額 (USD) に変更します。1つのメッセージパートに最大 140 バイトの情報を含めることができます。詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。
- message_body の値を、送信するメッセージを含むように変更します。メッセージの最大長は、メッセージに含まれる文字によって異なります。SMS の文字エンコーディングの詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。
- message_type の値を、適切なメッセージカテゴリを表すように変更します。有効な値は、TRANSACTIONAL (重要である、または時間的制約のあるメッセージの場合) と PROMOTIONAL (重要でない、または時間的制約のないメッセージの場合) です。

- `origination_number` の値を、メッセージの送信に使用する電話番号に変更します。電話番号は E.164 形式である必要があります。
- の値を、Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信を試みる秒単位 `ttl` の時間に変更します。TTL 値は最大 259200 秒 (72 時間) に設定できます。

音声メッセージの送信

AWS SDK for Python (Boto3)で音声メッセージを送信するには、次のコード例を使用できます。

```
import boto3
from botocore.exceptions import ClientError

def send_voice_message(sms_voice_v2_client, configuration_set, context_keys,
                      destination_number, dry_run, max_price, message_body,
                      message_type, origination_number, ttl, voice_id):
    try:
        response = sms_voice_v2_client.send_voice_message(
            ConfigurationSetName=configuration_set,
            Context=context_keys,
            DestinationPhoneNumber=destination_number,
            DryRun=dry_run,
            MaxPricePerMinute=max_price,
            MessageBody=message_body,
            MessageBodyTextType=message_type,
            OriginationIdentity=origination_number,
            TimeToLive=ttl,
            VoiceId=voice_id
        )

    except ClientError as e:
        print(e.response)
    else:
        return response['MessageId']

def main():
    configuration_set = "MyConfigurationSet"
    context_keys = {"key1": "value1"}
    destination_number = "+12065550123"
    dry_run = False
    max_price = "2.00"
```

```
message_body = (
    "<speak>"
    "This is a test message sent from <emphasis>Amazon Pinpoint SMS</emphasis>"
    "using the <break strength='weak'> AWS SDK for Python (Boto3). "
    "<amazon:effect phonation='soft'>Thank you for listening."
    "</amazon:effect>"
    "</speak>")
message_type = "SSML"
origination_number = "+18445550142"
ttl = 120
voice_id = "MATTHEW"

print(
    f"Sending voice message with Amazon Pinpoint SMS from {origination_number} to
    {destination_number}.")

message_id = send_voice_message(
    boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2'), configuration_set, context_keys,
    destination_number, dry_run, max_price, message_body, message_type,
    origination_number, ttl, voice_id)

print(f"Message sent!\nMessage ID: {message_id}")

if __name__ == '__main__':
    main()
```

前述のコード例では、main() 関数で次の変更を加えています。

- configuration_set の値を、このメッセージの送信に使用する設定セットの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に変更します。
- context_keys の値を、このメッセージの送信時に使用するキーと値に変更します。これらのキーは、このメッセージに関連付けられたイベントレコードに表示されます。
- destination_number の値を、メッセージの送信先の電話番号に変更します。
- max_price の値を、このメッセージの送信に使う 1 分あたりの最大金額に変更します。
- message_body の値を、送信するメッセージを含むように変更します。メッセージの長さは最大 6,000 文字です。
- SSML 形式のスクリプトではなくプレーンテキスト形式のスクリプトを使用する場合は、message_type の値を TEXT に変更します。

- `origination_number` の値を、メッセージの送信に使用する電話番号に変更します。電話番号は E.164 形式である必要があります。
- メッセージを送信せずに、この操作を実行する場合は、`dry_run` の値を `True` に変更します。
- の値を、Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信を試みる秒単位 `t1` の時間に変更します。TTL 値は最大 259200 秒 (72 時間) に設定できます。
- MATTHEW を、メッセージの送信に使用する Amazon Polly 音声の名前に置き換えます。サポートされている音声の完全なリストについては、「SMS および音声、バージョン 2 API リファレンス [SendVoiceMessage](#)」の「」を参照してください。音声を指定しない場合、メッセージは「MATTHEW」音声を使用して送信されます。

SMS の請求と使用状況レポートについて

AWS Amazon Pinpoint SMS チャネルは、次の形式の 5 つのフィールドを含む使用タイプを生成します: *Region code-MessagingType-ISO-RouteType-OriginatationID-MessageCount/Fee*。たとえば、アジアパシフィック (東京) リージョンから日本の電話番号に送信される SMS メッセージは、APN1—OutboundSMS—JP—Standard—SenderID — として表示されます。MessageCount

次の表は、使用法の種類のフィールドに設定できる値と説明を示しています。SMS 料金の詳細については、「[Amazon Pinpoint SMS 料金表](#)」を参照してください。

フィールド	オプション	説明
<i>Region code</i>	<ul style="list-style-type: none"> • APN1 — アジアパシフィック (東京) リージョン • APN2 — アジアパシフィック (ソウル) リージョン • APS1 — アジアパシフィック (シンガポール) リージョン • APS2 — アジアパシフィック (シドニー) リージョン • APS3 — アジアパシフィック (ムンバイ) リージョン • CAN1 — カナダ (中部) リージョン 	SMS AWS リージョン メッセージの送信元を示すプレフィックス。

フィールド	オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • EUC1 — ヨーロッパ (フランクフルト) リージョン • EU — ヨーロッパ (アイルランド) リージョン • EUW2 — ヨーロッパ (ロンドン) リージョン • UGW1 — (米国西部) AWS GovCloud • USE1 (またはプレフィックスなし) — 米国東部 (バージニア北部) リージョン • USE2 — 米国東部 (オハイオ) リージョン • USW2 — 米国西部 (オレゴン) リージョン 	
<i>MessagingType</i>	アウトバウンド SMS	このフィールドには、送信されるメッセージタイプが一覧表示されます。アウトバウンド SMS の場合、アウトバウンド SMS が読み込まれません。
<i>ISO</i>	Amazon Pinpoint SMS でサポートされている ISO サポートされている国と地域 (SMS チャンネル) 国コードのリストについては、 を参照してください 。	メッセージの送信先の 2 桁の ISO 国コード。

フィールド	オプション	説明
<i>RouteType</i>	Standard	メッセージが送信されたルートタイプ。現在、すべてのメッセージは標準ルートタイプを介して送信されています。
<i>OriginationID</i>	TollFree、10DLC、ショートコード、ロングコード、送信者 ID、共有ルート	このフィールドには、メッセージの送信に使用されたオリジネーション ID を指定します。サポートされているオリジネーション ID 電話番号または送信者 ID の選択 の詳細については、 を参照してください 。

フィールド	オプション	説明
<i>MessageCount/Fee</i>	MessageCount, MessageFees, CarrierFeeCount, CarrierFees	<p>このフィールドには、送信されたメッセージの数またはそれらのメッセージの送信に関連するコストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MessageCount— Amazon Pinpoint SMS を使用して送信されたメッセージの数 • CarrierFeeCount— Amazon Pinpoint SMS を使用して送信されたメッセージのうち、キャリア手数料がかかったメッセージの数 • MessageFees— Amazon Pinpoint SMS を使用して送信されたメッセージを送信する場合のコスト • CarrierFees— Amazon Pinpoint SMS を使用してメッセージを送信するためのキャリア料金のコスト

アウトバウンド SMS 用の Amazon Pinpoint SMS を介して送信されるメッセージは、ISO 国と発信元 ID の組み合わせごとに 2 ~ 4 つの使用タイプを生成します。以下の例を参照して、使用タイプが請求書にどのように表示されるかをよりよく理解してください。

例 1: 英国へのメッセージの送信

USE1 のショートコードを使用して英国に 10 件のメッセージ (ISO コード GB) を送信したとします。この場合、請求書には次の 2 つの使用タイプが想定されます。

1. USE1-OutboundSMS-GB-Standard-Shortcode-MessageCount
2. USE1-OutboundSMS-GB-Standard-Shortcode-MessageFee

例 2: 米国へのメッセージの送信

CAN1 の 10DLC 番号を使用して、米国 (ISO コード US) に 10 件のメッセージを送信したとします。この場合、請求書には次の 4 つの使用タイプが想定されます。

1. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-MessageCount
2. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-MessageFee
3. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-CarrierFeeCount
4. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-CarrierFees

SMS および音声メッセージングのサポートをリクエストする

Amazon Pinpoint SMS の特定の SMS オプションは、[AWS Support センター](#)でケースを作成することによってのみ設定できます。以下のいずれかをリクエストするためにケースを開きます。

- 毎月の SMS 利用額しきい値の増加

デフォルトでは、毎月の利用額しきい値は 1.00 USD です。支出のしきい値によって、Amazon Pinpoint SMS で送信できるメッセージ量が決まります。SMS ユースケースで予想される毎月のメッセージボリュームを満たす利用額しきい値をリクエストします。

- サンドボックスから本番環境への移行

新しい Amazon Pinpoint SMS アカウントは、SMS または音声サンドボックスに配置されます。サンドボックスは、AWS 顧客と受信者の両方を詐欺や悪用から保護します。また、サンドボックスは、テスト、開発、QA アカウントに安全な環境を提供します。アカウントをサンドボックスから本番環境に移動するには、[SMS サンドボックス](#)「」および「」を参照してください [音声サンドボックス](#)。

AWS サポートセンターでケースを作成するときは、送信するリクエストのタイプに必要なすべての情報を含めます。そうでない場合は、先に進む前に、この情報を取得するよう AWS Support お客様に連絡してください。詳細なケースを送信することで、リクエストが迅速に処理されます。特定の種類の SMS リクエストに必要な詳細については、このセクションのトピックを参照してください。

トピック

- [Amazon Pinpoint SMS の毎月の SMS または音声利用クォータの引き上げをリクエストする](#)

Amazon Pinpoint SMS の毎月の SMS または音声利用クォータの引き上げをリクエストする

使用クォータは、毎月 Amazon Pinpoint SMS を介して SMS メッセージを送信するために費やすことができる金額を決定します。Amazon Pinpoint SMS は、SMS メッセージを送信すると当月の使用クォータを超えるコストが発生すると判断した場合、数分以内に SMS メッセージの発行を停止します。

Important

Amazon Pinpoint SMS は分散システムであるため、使用クォータを超過してから数分以内に SMS メッセージの送信を停止します。この間に SMS メッセージを送信し続けると、クォータを超えるコストが発生する可能性があります。

すべての新しいアカウントに対して 1 か月あたり 1.00 USD で使用クォータを設定します。このクォータは、Amazon Pinpoint SMS のメッセージ送信機能をテストできるようにすることを目的としています。このクォータは、本番環境のワークロードに Amazon Pinpoint SMS を実際に使用する準備が整う前に、大規模なキャンペーンを送信するリスクを減らすのにも役立ちます。最後に、このクォータは、悪意のあるユーザーが Amazon Pinpoint SMS を悪用するのを防ぐために必要です。

AWS サポートセンターでクォータ引き上げケースを開くことで、アカウントの SMS 利用クォータの引き上げをリクエストできます。なお、支出限度額はリージョンによって異なるため、リージョンによって異なります。そのため、増額が必要なリージョンを指定する必要があります。

Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開く

AWS サポートセンターでクォータ引き上げケースを開くことで、月額使用クォータの引き上げをリクエストできます。

Note

リクエストフォームの一部のフィールドは「オプション」としてマークされています。ただし、AWS Support では、リクエストを処理するために次のステップで説明されているすべての情報が必要です。必要な情報をすべて入力しないと、リクエストの処理に遅延が発生する場合があります。

使用クォータの増加をリクエストするには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. [お客様のサポートケース] ペインで、[ケースを作成] を選択します。
3. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択し、以下を完了します。
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) [What type of messages do you plan to send (送信するメッセージのタイプ)] で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) からメッセージを送信する AWS リージョンで、メッセージを送信するリージョンを選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
4. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
 - [Region] で、メッセージの送信元となるリージョンを選択します。

Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここで入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[一般的な制限] を選択します。
 - [制限] で、[Account Spend Threshold Increase] を選択します。
5. [New limit value] に、毎月の SMS メッセージに使用する上限額を USD で入力します。
6. [Case description] の [Use case description] で、次の詳細を入力します。
- SMS メッセージを送信する会社またはサービスのウェブサイトやアプリ。
 - ウェブサイトやアプリによって提供されるサービスと、SMS メッセージがそのサービスにどのように貢献するか。
 - ユーザーがウェブサイト、アプリ、他の場所で任意の SMS メッセージ受信にサインアップする方法。
- リクエストした使用クォータ ([New quota value] で指定した値) が 10,000 USD を超えた場合、メッセージを送信する国ごとに以下の追加の詳細を指定します。
- 送信者 ID とショートコードのどちらを使用しているか。送信者 ID を使用している場合は、次の情報を指定します。
 - 送信者 ID。
 - 送信者 ID がその国の携帯電話キャリアに登録されているかどうか。
 - メッセージングの最大想定 transactions-per-second (TPS)。
 - 平均メッセージサイズ。
 - 国に送信するメッセージのテンプレート。
 - (オプション) 文字エンコードのニース (ある場合)。
7. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。複数のリクエストを含める場合は、それぞれ必要な情報を指定します。必要な情報については、「[SMS および音声メッセージングのサポートをリクエストする](#)」の他のセクションを参照してください。
8. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。

9. 完了したら、[送信] を選択します。

AWS サポートチームは、お客様のリクエストに対して 24 時間以内に最初の応答を行います。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。可能であれば、24 時間以内にリクエストを承認します。ただし、お客様から追加情報を取得する必要がある場合は、お客様のリクエストの解決に時間がかかる場合があります。

お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

Amazon Pinpoint SMS のセキュリティ

のクラウドセキュリティが最優先事項 AWS です。AWS のお客様は、セキュリティを最も重視する組織の要件を満たすように構築されたデータセンターとネットワークアーキテクチャから利点を得られます。

セキュリティは、AWS とユーザー間で共有される責任です。[責任共有モデル](#) では、これをクラウドのセキュリティおよびクラウド内のセキュリティとして説明しています。

- クラウドのセキュリティ – AWS は、で AWS サービスを実行するインフラストラクチャを保護する責任を担います AWS クラウド。また、は、ユーザーが安全に使用できるサービス AWS も提供します。コンプライアンス[AWS プログラム コンプライアンス](#)プログラムの一環として、サードパーティーの監査者が定期的にセキュリティの有効性をテストおよび検証。Amazon Pinpoint SMS に適用されるコンプライアンスプログラムの詳細については、「[コンプライアンスプログラム AWS による対象範囲内の のサービスコンプライアンスプログラム](#)」を参照してください。
- クラウド内のセキュリティ – お客様の責任は、使用する AWS サービスによって決まります。また、お客様は、データの機密性、会社の要件、適用される法律や規制など、その他の要因についても責任を負います。

このドキュメントは、Amazon Pinpoint SMS を使用する際に責任共有モデルを適用する方法を理解するのに役立ちます。以下のトピックでは、セキュリティおよびコンプライアンスの目的を達成するために Amazon Pinpoint SMS を設定する方法について説明します。また、Amazon Pinpoint SMS リソースのモニタリングや保護に役立つ他の AWS のサービスの使用方法についても説明します。

トピック

- [Amazon Pinpoint SMS でのデータ保護](#)
- [Amazon Pinpoint SMS の Identity and Access Management](#)
- [Amazon Pinpoint SMS のコンプライアンス検証](#)
- [Amazon Pinpoint SMS の耐障害性](#)
- [Amazon Pinpoint SMS のインフラストラクチャセキュリティ](#)
- [Amazon Pinpoint SMS での設定と脆弱性の分析](#)
- [サービス間の混乱した代理の防止](#)
- [セキュリティに関するベストプラクティス](#)

Amazon Pinpoint SMS でのデータ保護

AWS [責任共有モデル](#)、Amazon Pinpoint SMS でのデータ保護に適用されます。このモデルで説明したように、AWS は、すべての を実行するグローバルインフラストラクチャを保護する責任を担います AWS クラウド。このインフラストラクチャでホストされているコンテンツに対する管理を維持する責任はユーザーにあります。また、使用する AWS のサービスのセキュリティ設定と管理タスクもユーザーの責任となります。データプライバシーの詳細については、「[データプライバシーのよくある質問](#)」を参照してください。欧州でのデータ保護の詳細については、「[AWS セキュリティブログ](#)」に投稿された「[AWS 責任共有モデルおよび GDPR](#)」のブログ記事を参照してください。

データ保護の目的で、認証情報を保護し AWS アカウント、AWS IAM Identity Center または AWS Identity and Access Management (IAM) を使用して個々のユーザーを設定することをお勧めします。こうすると、それぞれのジョブを遂行するために必要なアクセス許可のみを各ユーザーに付与できます。また、以下の方法でデータを保護することをお勧めします。

- 各アカウントで多要素認証 (MFA) を使用します。
- SSL/TLS を使用して AWS リソースと通信します。TLS 1.2、できれば TLS 1.3 が必要です。
- で API とユーザーアクティビティのログ記録を設定します AWS CloudTrail。
- AWS 暗号化ソリューションを、内のすべてのデフォルトのセキュリティコントロールとともに使用します AWS のサービス。
- Amazon Macie などの高度なマネージドセキュリティサービスを使用します。これらは、Amazon S3 に保存されている機密データの検出と保護を支援します。
- コマンドラインインターフェイスまたは API AWS を介して にアクセスするときに FIPS 140-2 検証済みの暗号化モジュールが必要な場合は、FIPS エンドポイントを使用します。利用可能な FIPS エンドポイントの詳細については、「[連邦情報処理規格 \(FIPS\) 140-2](#)」を参照してください。

お客様の E メールアドレスなどの機密情報やセンシティブ情報は、タグや名前フィールドなどの自由形式のフィールドに配置しないことを強くお勧めします。これは、コンソール、API、または SDK で Amazon Pinpoint SMS AWS CLI または他の AWS のサービスを使用する場合も同様です。AWS SDKs 名前に使用する自由記述のテキストフィールドやタグに入力したデータは、課金や診断ログに使用される場合があります。外部サーバーへの URL を提供する場合は、そのサーバーへのリクエストを検証するための認証情報を URL に含めないように強くお勧めします。

データ暗号化

Amazon Pinpoint SMS データは、転送中および保管中に暗号化されます。Amazon Pinpoint SMS にデータを送信すると、データは受信時に暗号化され、保存されます。Amazon Pinpoint SMS からデータを取得すると、現在のセキュリティプロトコルを使用してデータが送信されます。

保管中の暗号化

Amazon Pinpoint SMS は、保存されているすべてのデータを暗号化します。これには、設定データ、登録データ、および Amazon Pinpoint SMS に追加するデータが含まれます。データを暗号化するために、Amazon Pinpoint SMS は、サービスが所有および維持する内部 AWS Key Management Service (AWS KMS) キーを使用します。これらのキーは定期的に更新されます。の詳細については AWS KMS、[「AWS Key Management Service デベロッパーガイド」](#)を参照してください。

転送中の暗号化

Amazon Pinpoint SMS は HTTPS および Transport Layer Security (TLS) 1.2 を使用して、クライアントおよびアプリケーションと通信します。他の AWS サービスと通信するために、Amazon Pinpoint SMS は HTTPS および TLS 1.2 を使用します。さらに、コンソール、AWS SDK、またはを使用して Amazon Pinpoint SMS リソースを作成および管理する場合 AWS Command Line Interface、すべての通信は HTTPS および TLS 1.2 を使用して保護されます。

キー管理

Amazon Pinpoint SMS データを暗号化するために、Amazon Pinpoint SMS はユーザーに代わってサービスが所有および維持する内部 AWS KMS キーを使用します。これらのキーは定期的に更新されます。Amazon Pinpoint SMS に保存するデータを暗号化するために、独自のキー AWS KMS やその他のキーをプロビジョニングして使用することはできません。

ネットワーク間トラフィックのプライバシー

インターネットトラフィックのプライバシーとは、Amazon Pinpoint SMS とオンプレミスのクライアントおよびアプリケーション間、および同じ AWS リージョン内の Amazon Pinpoint SMS と他の AWS リソース間の接続とトラフィックを保護することです。以下の機能とプラクティスは、Amazon Pinpoint SMS のインターネットワークトラフィックプライバシーを確保するのに役立ちます。

Amazon Pinpoint SMS とオンプレミスのクライアントおよびアプリケーション間のトラフィック

Amazon Pinpoint SMS とオンプレミスネットワーク上のクライアントおよびアプリケーションとのプライベート接続を確立するには、[を使用できます AWS Direct Connect](#)。これにより、標準の光ファイバーイーサネットケーブルを使用して、ネットワークを AWS Direct Connect 口ーションにリンクできます。ケーブルの一端はユーザーのルーターに接続します。もう一方の端は AWS Direct Connect ルーターに接続されています。詳細については、『[AWS Direct Connectユーザーガイド](#)』の「[What is AWS Direct Connect ? \(とは?\)](#)」を参照してください。

公開された APIs を介して Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを保護するため、API コールの Amazon Pinpoint SMS 要件に準拠することをお勧めします。Amazon Pinpoint SMS では、クライアントは Transport Layer Security (TLS) 1.2 以降を使用する必要があります。また、クライアントは、Ephemeral Diffie-Hellman (DHE) や Elliptic Curve Diffie-Hellman Ephemeral (ECDHE) などの Perfect Forward Secrecy (PFS) を使用した暗号スイートもサポートしている必要があります。モードは、Java 7 以降など、最近のほとんどのシステムでサポートされています。

さらに、リクエストは、AWS アカウントの AWS Identity and Access Management (IAM) プリンシパルに関連付けられているアクセスキー ID とシークレットアクセスキーを使用して署名する必要があります。または、[AWS Security Token Service](#) (AWS STS) を使用して一時的なセキュリティ認証情報を生成し、リクエストに署名することもできます。

Amazon Pinpoint SMS と他の AWS リソース間のトラフィック

Amazon Pinpoint SMS と、同じ AWS リージョン内の他の AWS リソース間の通信を保護するために、Amazon Pinpoint SMS はデフォルトで HTTPS および TLS 1.2 を使用します。

Amazon Pinpoint SMS 用のインターフェイス VPC エンドポイントの作成

インターフェイス VPC エンドポイントを作成することで、Amazon Pinpoint SMS の仮想プライベートクラウド (VPC) とエンドポイントの間にプライベート接続を確立できます。

インターフェイスエンドポイントは、インターネットゲートウェイ[AWS PrivateLink](#)、NAT デバイス、VPN 接続、またはなしで Amazon Pinpoint SMS APIs にプライベートにアクセスできるテクノロジーである [を使用しています AWS Direct Connect](#)。VPC のインスタンスは、パブリック IP アドレスがなくても、[と統合されている Amazon Pinpoint SMS APIs と通信できます AWS PrivateLink](#)。

詳細については、「[AWS PrivateLink ガイド](#)」を参照してください。

インターフェイス VPC エンドポイントの作成

Amazon VPC コンソールまたは AWS Command Line Interface (AWS CLI) を使用して、インターフェイスエンドポイントを作成できます。詳細については、[「ガイド」の「インターフェイスエンドポイントの作成」](#)を参照してください。AWS PrivateLink

Amazon Pinpoint SMS では、次のサービス名がサポートされています。

- `com.amazonaws.region.sms-voice`

インターフェイスエンドポイントのプライベート DNS を有効にすると、のデフォルトの DNS 名を使用して Amazon Pinpoint SMS に API リクエストを行うことができます。例えば AWS リージョン、です `com.amazonaws.us-east-1.sms-voice`。詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[DNS ホスト名](#)」を参照してください。

VPC エンドポイントポリシーの作成

VPC エンドポイントには、アクセスを制御するエンドポイントポリシーをアタッチできます。このポリシーでは、以下の情報を指定します。

- アクションを実行できるプリンシパル。
- 実行可能なアクション。
- このアクションを実行できるリソース。

詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[Control access to services using endpoint policies \(エンドポイントポリシーを使用してサービスへのアクセスをコントロールする\)](#)」を参照してください。

例: VPC エンドポイントポリシー

次の VPC エンドポイントポリシーは、すべてのリソースのすべてのプリンシパルに対して、リストされている Amazon Pinpoint SMS アクションへのアクセスを許可します。

```
{
  "Statement": [
    {
      "Principal": "*",
      "Action": [
```

```
    "sms-voice:*"  
  ],  
  "Effect": "Allow",  
  "Resource": "*"   
}   
]   
}
```

Amazon Pinpoint SMS の Identity and Access Management

AWS Identity and Access Management (IAM) は、管理者が AWS リソースへのアクセスを安全に制御 AWS のサービス するのに役立つです。IAM 管理者は、誰を認証 (サインイン) し、誰に Amazon Pinpoint SMS リソースの使用を承認する (アクセス許可を付与する) かを制御します。IAM は、追加料金なしで AWS のサービス 使用できる です。

トピック

- [対象者](#)
- [アイデンティティを使用した認証](#)
- [ポリシーを使用したアクセスの管理](#)
- [Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法](#)
- [Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)
- [Amazon Pinpoint SMS アイデンティティとアクセスのトラブルシューティング](#)
- [IAM ポリシーの Amazon Pinpoint SMS アクション](#)

対象者

AWS Identity and Access Management (IAM) の使用 방법은、Amazon Pinpoint SMS で行う作業によって異なります。

サービスユーザー – ジョブを実行するために Amazon Pinpoint SMS サービスを使用する場合は、管理者から必要なアクセス許可と認証情報が与えられます。さらに多くの Amazon Pinpoint SMS 機能を使用して作業を行う場合は、追加のアクセス許可が必要になることがあります。アクセスの管理方法を理解しておく、管理者に適切な許可をリクエストするうえで役立ちます。Amazon Pinpoint SMS の機能にアクセスできない場合は、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS アイデンティティとアクセスのトラブルシューティング](#)。

サービス管理者 – 社内の Amazon Pinpoint SMS リソースを担当している場合は、通常、Amazon Pinpoint SMS へのフルアクセスがあります。サービスのユーザーがどの Amazon Pinpoint SMS 機能やリソースにアクセスするかを決めるのは管理者の仕事です。その後、IAM 管理者にリクエストを送信して、サービスユーザーの権限を変更する必要があります。このページの情報を点検して、IAM の基本概念を理解してください。お客様の会社で Amazon Pinpoint SMS で IAM を利用する方法の詳細については、「」を参照してください[Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法](#)。

IAM 管理者 – IAM 管理者は、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを管理するポリシーの作成方法の詳細について確認する場合があります。IAM で使用できる Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください[Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

アイデンティティを使用した認証

認証とは、ID 認証情報 AWS を使用してにサインインする方法です。として、IAM ユーザーとして AWS アカウントのルートユーザー、または IAM ロールを引き受けることによって認証 (にサインイン AWS) される必要があります。

ID ソース () から提供された認証情報を使用して、フェデレーテッド ID AWS としてにサインインできます。AWS IAM Identity Center (IAM Identity Center) ユーザー、会社のシングルサインオン認証、Google または Facebook の認証情報は、フェデレーテッド ID の例です。フェデレーションアイデンティティとしてサインインする場合、IAM ロールを使用して、前もって管理者により ID フェデレーションが設定されています。フェデレーションを使用してにアクセスすると、間接的に AWS にロールを引き受けます。

ユーザーのタイプに応じて、AWS Management Console または AWS アクセスポータルにサインインできます。へのサインインの詳細については AWS、「AWS サインイン ユーザーガイド」の「[にサインインする方法 AWS アカウント](#)」を参照してください。

AWS プログラムでにアクセスする場合、は Software Development Kit (SDK) とコマンドラインインターフェイス (CLI) AWS を提供し、認証情報を使用してリクエストに暗号で署名します。AWS ツールを使用しない場合は、リクエストを自分で署名する必要があります。推奨される方法を使用してリクエストを自分で署名する方法の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の[AWS 「API リクエストの署名」](#)を参照してください。

使用する認証方法を問わず、セキュリティ情報の提供を追加でリクエストされる場合もあります。例えば、では、多要素認証 (MFA) を使用してアカウントのセキュリティを高めることを AWS が推奨しています。詳細については、「AWS IAM Identity Center ユーザーガイド」の「[多要素認証 \(MFA\)](#)」および「IAM ユーザーガイド」の「[AWSでの多要素認証 \(MFA\) の使用](#)」を参照してください。

AWS アカウント ルートユーザー

を作成するときは AWS アカウント、アカウント内のすべての AWS のサービス およびリソースへの完全なアクセス権を持つ 1 つのサインインアイデンティティから始めます。このアイデンティティは AWS アカウント ルートユーザーと呼ばれ、アカウントの作成に使用した E メールアドレスとパスワードでサインインすることでアクセスできます。日常的なタスクには、ルートユーザーを使用しないことを強くお勧めします。ルートユーザーの認証情報を保護し、それらを使用してルートユーザーのみが実行できるタスクを実行してください。ルートユーザーとしてサインインする必要があるタスクの完全なリストについては、「IAM ユーザーガイド」の「[ルートユーザー認証情報が必要なタスク](#)」を参照してください。

フェデレーション ID

ベストプラクティスとして、管理者アクセスを必要とするユーザーを含む人間のユーザーに、一時的な AWS のサービス 認証情報を使用して にアクセスする ID プロバイダーとのフェデレーションの使用を要求します。

フェデレーテッド ID とは、エンタープライズユーザーディレクトリ、ウェブ ID プロバイダー、AWS Directory Service、Identity Center ディレクトリのユーザー、または ID ソースから提供された認証情報 AWS のサービス を使用して にアクセスするすべてのユーザーです。フェデレーテッド ID が にアクセスすると AWS アカウント、ロールを引き受け、ロールは一時的な認証情報を提供します。

アクセスを一元管理する場合は、AWS IAM Identity Centerを使用することをお勧めします。IAM Identity Center でユーザーとグループを作成することも、すべての とアプリケーションで使用する独自の ID ソースのユーザー AWS アカウント とグループのセットに接続して同期することもできます。IAM アイデンティティセンターの詳細については、[AWS IAM Identity Center ユーザーガイド] の「[IAM アイデンティティセンターとは](#)」を参照してください。

IAM ユーザーとグループ

[IAM ユーザー](#)は、単一のユーザーまたはアプリケーションに対して特定のアクセス許可 AWS アカウント を持つ 内のアイデンティティです。可能であれば、パスワードやアクセスキーなどの長期的な認証情報を保有する IAM ユーザーを作成する代わりに、一時的な認証情報を使用することをお勧めします。ただし、IAM ユーザーでの長期的な認証情報が必要な特定のユースケースがある場合は、アクセスキーをローテーションすることをお勧めします。詳細については、IAM ユーザーガイドの「[長期的な認証情報を必要とするユースケースのためにアクセスキーを定期的にローテーションする](#)」を参照してください。

[IAM グループ](#)は、IAM ユーザーの集団を指定するアイデンティティです。グループとしてサインインすることはできません。グループを使用して、複数のユーザーに対して一度に権限を指定できます。多数のユーザーグループがある場合、グループを使用することで権限の管理が容易になります。例えば、IAMAdmins という名前のグループを設定して、そのグループに IAM リソースを管理する権限を与えることができます。

ユーザーは、ロールとは異なります。ユーザーは 1 人の人または 1 つのアプリケーションに一意に関連付けられますが、ロールはそれを必要とする任意の人が引き受けるようになっています。ユーザーには永続的な長期の認証情報がありますが、ロールでは一時的な認証情報が提供されます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ユーザー \(ロールではなく\) の作成が適している場合](#)」を参照してください。

IAM ロール

[IAM ロール](#)は、特定のアクセス許可 AWS アカウント を持つ 内のアイデンティティです。これは IAM ユーザーに似ていますが、特定のユーザーには関連付けられていません。ロールを切り替える AWS Management Console ことで、IAM [ロール](#)を一時的に引き受けることができます。ロールを引き受けるには、または AWS API オペレーションを AWS CLI 呼び出すか、カスタム URL を使用します。ロールを使用する方法の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ロールの使用](#)」を参照してください。

一時的な認証情報を持った IAM ロールは、以下の状況で役立ちます。

- フェデレーションユーザーアクセス - フェデレーションアイデンティティに権限を割り当てるには、ロールを作成してそのロールの権限を定義します。フェデレーションアイデンティティが認証されると、そのアイデンティティはロールに関連付けられ、ロールで定義されている権限が付与されます。フェデレーションの詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[サードパーティーアイデンティティプロバイダー向けロールの作成](#)」を参照してください。IAM アイデンティティセンターを使用する場合、権限セットを設定します。アイデンティティが認証後にアクセスできるものを制御するため、IAM Identity Center は、権限セットを IAM のロールに関連付けます。権限セットの詳細については、「AWS IAM Identity Center ユーザーガイド」の「[権限セット](#)」を参照してください。
- 一時的な IAM ユーザー権限 - IAM ユーザーまたはロールは、特定のタスクに対して複数の異なる権限を一時的に IAM ロールで引き受けることができます。
- クロスアカウントアクセス - IAM ロールを使用して、自分のアカウントのリソースにアクセスすることを、別のアカウントの人物 (信頼済みプリンシパル) に許可できます。クロスアカウントアクセス権を付与する主な方法は、ロールを使用することです。ただし、一部の AWS のサービス、(ロールをプロキシとして使用する代わりに) リソースにポリシーを直接アタッチできま

- す。クロスアカウントアクセスにおけるロールとリソースベースのポリシーの違いについては、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ロールとリソースベースのポリシーとの相違点](#)」を参照してください。
- クロスサービスアクセス — 一部の では、他の の機能 AWS のサービス を使用します AWS のサービス。例えば、あるサービスで呼び出しを行うと、通常そのサービスによって Amazon EC2 でアプリケーションが実行されたり、Amazon S3 にオブジェクトが保存されたりします。サービスでは、呼び出し元プリンシパルの権限、サービスロール、またはサービスにリンクされたロールを使用してこれを行う場合があります。
 - 転送アクセスセッション (FAS) – IAM ユーザーまたはロールを使用して でアクションを実行する場合 AWS、プリンシパルと見なされます。一部のサービスを使用する際に、アクションを実行することで、別のサービスの別のアクションがトリガーされることがあります。FAS は、を呼び出すプリンシパルのアクセス許可 AWS のサービス を使用し AWS のサービス、ダウンストリームサービスにリクエストを行うリクエストと組み合わせて使用します。FAS リクエストは、他の AWS のサービス またはリソースとのやり取りを完了する必要があるリクエストをサービスが受信した場合にのみ行われます。この場合、両方のアクションを実行するためのアクセス許可が必要です。FAS リクエストを行う際のポリシーの詳細については、「[転送アクセスセッション](#)」を参照してください。
 - サービスロール - サービスがユーザーに代わってアクションを実行するために引き受ける [IAM ロール](#)です。IAM 管理者は、IAM 内からサービスロールを作成、変更、削除できます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS のサービスにアクセス許可を委任するロールの作成](#)」を参照してください。
 - サービスにリンクされたロール – サービスにリンクされたロールは、 にリンクされたサービスロールの一種です AWS のサービス。サービスは、ユーザーに代わってアクションを実行するロールを引き受けることができます。サービスにリンクされたロールは に表示され AWS アカウント、サービスによって所有されます。IAM 管理者は、サービスリンクロールの権限を表示できますが、編集することはできません。
 - Amazon EC2 で実行されているアプリケーション – IAM ロールを使用して、EC2 インスタンスで実行され、AWS CLI または AWS API リクエストを作成しているアプリケーションの一時的な認証情報を管理できます。これは、EC2 インスタンス内でのアクセスキーの保存に推奨されます。AWS ロールを EC2 インスタンスに割り当て、そのすべてのアプリケーションで使用できるようにするには、インスタンスにアタッチされたインスタンスプロファイルを作成します。インスタンスプロファイルにはロールが含まれ、EC2 インスタンスで実行されるプログラムは一時的な認証情報を取得できます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[Amazon EC2 インスタンスで実行されるアプリケーションに IAM ロールを使用して権限を付与する](#)」を参照してください。

IAM ロールと IAM ユーザーのどちらを使用するかについては、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ロールの作成が適している場合 \(ユーザーではなく\)](#)」を参照してください。

ポリシーを使用したアクセスの管理

でアクセスを制御する AWS には、ポリシーを作成し、AWS ID またはリソースにアタッチします。ポリシーは のオブジェクト AWS であり、アイデンティティまたはリソースに関連付けられると、これらのアクセス許可を定義します。は、プリンシパル (ユーザー、ルートユーザー、またはロールセッション) がリクエストを行うと、これらのポリシー AWS を評価します。ポリシーでの権限により、リクエストが許可されるか拒否されるかが決まります。ほとんどのポリシーは JSON ドキュメント AWS として に保存されます。JSON ポリシードキュメントの構造と内容の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[JSON ポリシー概要](#)」を参照してください。

管理者は AWS JSON ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどのリソースに対してどのような条件下でアクションを実行できるかということです。

デフォルトでは、ユーザーやロールに権限はありません。IAM 管理者は、リソースに必要なアクションを実行するための権限をユーザーに付与する IAM ポリシーを作成できます。その後、管理者はロールに IAM ポリシーを追加し、ユーザーはロールを引き継ぐことができます。

IAM ポリシーは、オペレーションの実行方法を問わず、アクションの権限を定義します。例えば、iam:GetRole アクションを許可するポリシーがあるとします。このポリシーを持つユーザーは、AWS Management Console、AWS CLI または AWS API からロール情報を取得できます。

アイデンティティベースのポリシー

アイデンティティベースポリシーは、IAM ユーザー、ユーザーのグループ、ロールなど、アイデンティティにアタッチできる JSON 権限ポリシードキュメントです。これらのポリシーは、ユーザーとロールが実行できるアクション、リソース、および条件を制御します。アイデンティティベースのポリシーを作成する方法については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ポリシーの作成](#)」を参照してください。

アイデンティティベースのポリシーは、さらに インラインポリシー または マネージドポリシー に分類できます。インラインポリシーは、単一のユーザー、グループ、またはロールに直接埋め込まれています。管理ポリシーは、 の複数のユーザー、グループ、ロールにアタッチできるスタンドアロンポリシーです AWS アカウント。管理ポリシーには、AWS 管理ポリシーとカスタマー管理ポリシーが含まれます。管理ポリシーまたはインラインポリシーのいずれかを選択する方法については、「IAM ユーザーガイド」の「[管理ポリシーとインラインポリシーの比較](#)」を参照してください。

リソースベースのポリシー

リソースベースのポリシーは、リソースに添付する JSON ポリシードキュメントです。リソースベースのポリシーには例として、IAM ロールの信頼ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーがあげられます。リソースベースのポリシーをサポートするサービスでは、サービス管理者はポリシーを使用して特定のリソースへのアクセスを制御できます。ポリシーが添付されているリソースの場合、指定されたプリンシパルがそのリソースに対して実行できるアクションと条件は、ポリシーによって定義されます。リソースベースのポリシーでは、[プリンシパルを指定する](#)必要があります。プリンシパルには、アカウント、ユーザー、ロール、フェデレーティッドユーザー、またはを含めることができます AWS のサービス。

リソースベースのポリシーは、そのサービス内にあるインラインポリシーです。リソースベースのポリシーで IAM の AWS マネージドポリシーを使用することはできません。

アクセスコントロールリスト (ACL)

アクセスコントロールリスト (ACL) は、どのプリンシパル (アカウントメンバー、ユーザー、またはロール) がリソースにアクセスするための権限を持つかをコントロールします。ACL はリソースベースのポリシーに似ていますが、JSON ポリシードキュメント形式は使用しません。

Amazon S3 と Amazon VPC は AWS WAF、ACLs。ACL の詳細については、「Amazon Simple Storage Service デベロッパーガイド」の「[アクセスコントロールリスト \(ACL\) の概要](#)」を参照してください。

その他のポリシータイプ

AWS は、追加の一般的でないポリシータイプをサポートします。これらのポリシータイプでは、より一般的なポリシータイプで付与された最大の権限を設定できます。

- 権限の境界 - 権限の境界は、アイデンティティベースのポリシーによって IAM エンティティ (IAM ユーザーまたはロール) に付与できる権限の上限を設定する高度な機能です。エンティティに権限の境界を設定できます。結果として得られる権限は、エンティティのアイデンティティベースポリシーとその権限の境界の共通部分になります。Principal フィールドでユーザーまたはロールを指定するリソースベースのポリシーでは、権限の境界は制限されません。これらのポリシーのいずれかを明示的に拒否した場合、許可は無効になります。権限の境界の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM エンティティの権限の境界](#)」を参照してください。
- サービスコントロールポリシー (SCPs) – SCPs は、 の組織または組織単位 (OU) に最大アクセス許可を指定する JSON ポリシーです AWS Organizations。AWS Organizations は、AWS アカウント ビジネスが所有する複数の をグループ化して一元管理するためのサービスです。組織

内のすべての機能を有効にすると、サービスコントロールポリシー (SCP) を一部またはすべてのアカウントに適用できます。SCP は、各 を含むメンバーアカウントのエンティティのアクセス許可を制限します AWS アカウントのルートユーザー。組織と SCP の詳細については、「AWS Organizations ユーザーガイド」の「[SCP の仕組み](#)」を参照してください。

- セッションポリシー - セッションポリシーは、ロールまたはフェデレーションユーザーの一時的なセッションをプログラムで作成する際にパラメータとして渡す高度なポリシーです。結果としてセッションの権限される範囲は、ユーザーまたはロールのアイデンティティベースポリシーとセッションポリシーの共通部分になります。また、リソースベースのポリシーから権限が派生する場合があります。これらのポリシーのいずれかを明示的に拒否した場合、許可は無効になります。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[セッションポリシー](#)」を参照してください。

複数のポリシータイプ

1 つのリクエストに複数のタイプのポリシーが適用されると、結果として作成される権限を理解するのがさらに難しくなります。複数のポリシータイプが関連する場合に がリクエストを許可するかどうか AWS を決定する方法については、IAM ユーザーガイドの「[ポリシーの評価ロジック](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法

IAM を使用して Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを管理する前に、Amazon Pinpoint SMS で使用できる IAM 機能について学びます。

Amazon Pinpoint SMS で使用できる IAM の機能

IAM 機能	Amazon Pinpoint SMS サポート
アイデンティティベースのポリシー	あり
リソースベースのポリシー	いいえ
ポリシーアクション	あり
ポリシーリソース	はい
ポリシー条件キー	はい
ACL	なし

IAM 機能	Amazon Pinpoint SMS サポート
ABAC (ポリシー内のタグ)	部分的
一時的な認証情報	はい
転送アクセスセッション (FAS)	いいえ
サービスロール	あり
サービスリンクロール	いいえ

Amazon Pinpoint SMS およびその他の AWS のサービスがほとんどの IAM 機能と連携する方法の概要を把握するには、「IAM ユーザーガイド」の[AWS 「IAM と連携する のサービス」](#)を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシー

アイデンティティベースポリシーをサポートする	あり
------------------------	----

アイデンティティベースポリシーは、IAM ユーザー、ユーザーグループ、ロールなど、アイデンティティにアタッチできる JSON 権限ポリシードキュメントです。これらのポリシーは、ユーザーとロールが実行できるアクション、リソース、および条件を制御します。アイデンティティベースのポリシーを作成する方法については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ポリシーの作成](#)」を参照してください。

IAM アイデンティティベースのポリシーでは、許可または拒否するアクションとリソース、およびアクションを許可または拒否する条件を指定できます。プリンシパルは、それが添付されているユーザーまたはロールに適用されるため、アイデンティティベースのポリシーでは指定できません。JSON ポリシーで使用できるすべての要素について学ぶには、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM JSON ポリシーの要素のリファレンス](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください。[Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

Amazon Pinpoint SMS 内のリソースベースのポリシー

リソースベースのポリシーのサポート なし

リソースベースのポリシーは、リソースに添付する JSON ポリシードキュメントです。リソースベースのポリシーには例として、IAM ロールの信頼ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーがあげられます。リソースベースのポリシーをサポートするサービスでは、サービス管理者はポリシーを使用して特定のリソースへのアクセスを制御できます。ポリシーが添付されているリソースの場合、指定されたプリンシパルがそのリソースに対して実行できるアクションと条件は、ポリシーによって定義されます。リソースベースのポリシーでは、[プリンシパルを指定する](#)必要があります。プリンシパルには、アカウント、ユーザー、ロール、フェデレーティッドユーザー、または `arn:aws:iam::` を含めることができます AWS のサービス。

クロスアカウントアクセスを有効にするには、アカウント全体、または別のアカウントの IAM エンティティをリソースベースのポリシーのプリンシパルとして指定します。リソースベースのポリシーにクロスアカウントのプリンシパルを追加しても、信頼関係は半分しか確立されない点に注意してください。プリンシパルとリソースが異なる `arn:aws:iam::` がある場合 AWS アカウント、信頼されたアカウントの IAM 管理者は、リソースへのアクセス許可をプリンシパルエンティティ (ユーザーまたはロール) に付与する必要があります。IAM 管理者は、アイデンティティベースのポリシーをエンティティにアタッチすることで権限を付与します。ただし、リソースベースのポリシーで、同じアカウントのプリンシパルへのアクセス権が付与されている場合は、アイデンティティベースのポリシーを追加する必要はありません。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ロールとリソースベースのポリシーとの相違点](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のポリシーアクション

ポリシーアクションに対するサポート はい

管理者は AWS JSON ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどんなリソースにどんな条件でアクションを実行できるかということです。

JSON ポリシーの Action 要素には、ポリシー内のアクセスを許可または拒否するために使用できるアクションが記述されます。ポリシーアクションの名前は通常、関連する AWS API オペレーションと同じです。一致する API オペレーションのない権限のみのアクションなど、いくつかの例外があります。また、ポリシーに複数アクションが必要なオペレーションもあります。これらの追加アクションは、依存アクションと呼ばれます。

このアクションは、関連付けられたオペレーションを実行するためのアクセス許可を付与するポリシーで使用されます。

Amazon Pinpoint SMS アクションのリストを確認するには、「サービス認証リファレンス」の「[Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のポリシーアクションは、アクションの前に次のプレフィックスを使用します。

```
sms-voice
```

単一のステートメントで複数のアクションを指定するには、アクションをカンマで区切ります。

```
"Action": [  
  "sms-voice:action1",  
  "sms-voice:action2"  
]
```

ワイルドカード (*) を使用して複数アクションを指定できます。例えば、Describe という単語で始まるすべてのアクションを指定するには、次のアクションを含めます。

```
"Action": "sms-voice:Describe*"
```

Amazon Pinpoint SMS アクションのリストを確認するには、IAM ユーザーガイドの「[Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#)」を参照してください。

ただしベストプラクティスとして、最小特権 の原則に準拠したポリシーを作成してください。つまり、特定のアクションを実行するために必要なアクセス許可のみが含まれたポリシーを作成します。

IAM ポリシーで使用できる Amazon Pinpoint SMS アクションのリストについては、「」を参照してください。[IAM ポリシーの Amazon Pinpoint SMS アクション](#)。

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください。[Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

Amazon Pinpoint SMS のポリシーリソース

ポリシーリソースに対するサポート	はい
------------------	----

管理者は AWS JSON ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどのリソースに対してどのような条件下でアクションを実行できるかということです。

Resource JSON ポリシーの要素は、オブジェクトあるいはアクションが適用されるオブジェクトを指定します。ステートメントには、Resource または NotResource 要素を含める必要があります。ベストプラクティスとしては、[Amazon リソースネーム \(ARN\)](#) を使用してリソースを指定します。これは、リソースレベルの権限と呼ばれる特定のリソースタイプをサポートするアクションに対して実行できます。

オペレーションのリスト化など、リソースレベルのアクセス許可をサポートしないアクションの場合は、ステートメントがすべてのリソースに適用されることを示すために、ワイルドカード (*) を使用します。

```
"Resource": "*"
```

Amazon Pinpoint SMS リソースのタイプとその ARNs」の「[Amazon Pinpoint SMS で定義されるリソース](#)」を参照してください。どのアクションで各リソースの ARN を指定できるかについては、「[Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください。[Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

リソースを作成するための特定のアクションなど、一部の Amazon Pinpoint SMS アクションは、特定のリソースで実行できません。このような場合は、ワイルドカード (*) を使用する必要があります。

```
"Resource": "*"
```

IAM ポリシーでは、以下のタイプの SMS および音声リソース ARNs を指定することもできます。

- 設定セット
- オプトアウトリスト
- 電話番号
- プール
- Registration (登録)
- 登録アタッチメント

- 送信者 ID
- 検証済みの送信先電話番号

例えば、電話番号 ID が phone-12345678901234567890123456789012 の電話番号についてポリシーステートメントを作成するには、次の ARN を使用します。

```
"Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:123456789012:phone-number/  
phone-12345678901234567890123456789012"
```

特定のアカウントに属するすべての電話番号を指定するには、電話番号 ID の代わりにワイルドカード (*) を使用します。

```
"Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:123456789012:phone-number/*"
```

Amazon Pinpoint SMS および音声アクションの中には、使用限度のようなアカウントレベルの設定管理に関するアクションなど、特定のリソースに対して実行されないものもあります。このような場合は、ワイルドカード (*) を使用する必要があります。

```
"Resource": "*" 
```

Amazon Pinpoint SMS のポリシー条件キー

サービス固有のポリシー条件キーのサポート	はい
----------------------	----

管理者は AWS JSON ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどんなリソースにどんな条件でアクションを実行できるかということです。

Condition 要素 (または Condition ブロック) を使用すると、ステートメントが有効な条件を指定できます。Condition 要素はオプションです。equal や less than などの[条件演算子](#)を使用して条件式を作成することによって、ポリシーの条件とリクエスト内の値を一致させることができます。

1 つのステートメントに複数の Condition 要素を指定する場合、または 1 つの Condition 要素に複数のキーを指定する場合、AWS は AND 論理演算子を使用してそれらを評価します。1 つの条件キーに複数の値を指定すると、は論理OR演算を使用して条件 AWS を評価します。ステートメントの権限が付与される前にすべての条件が満たされる必要があります。

条件を指定する際にプレースホルダー変数も使用できます。例えば IAM ユーザーに、IAM ユーザー名がタグ付けされている場合のみリソースにアクセスできる権限を付与することができます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ポリシーの要素: 変数およびタグ](#)」を参照してください。

AWS は、グローバル条件キーとサービス固有の条件キーをサポートします。すべての AWS グローバル条件キーを確認するには、IAM ユーザーガイドの[AWS 「グローバル条件コンテキストキー」](#)を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS の条件キーのリストを確認するには、「サービス認証リファレンス」の「[Amazon Pinpoint SMS の条件キー](#)」を参照してください。条件キーを使用できるアクションとリソースについては、「[Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください。[Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

Amazon Pinpoint SMS は独自の条件キーを定義し、いくつかのグローバル条件キーもサポートしています。すべての AWS グローバル条件キーのリストを確認するには、「IAM ユーザーガイド」の[AWS 「グローバル条件コンテキストキー」](#)を参照してください。Amazon Pinpoint SMS の条件キーのリストを確認するには、IAM ユーザーガイドの「[Amazon Pinpoint SMS の条件キー](#)」を参照してください。条件キーを使用できるアクションとリソースについては、IAM ユーザーガイドの「[Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS ACLs

ACL のサポート	なし
-----------	----

アクセスコントロールリスト (ACL) は、どのプリンシパル (アカウントメンバー、ユーザー、またはロール) がリソースにアクセスするための権限を持つかを制御します。ACL はリソースベースのポリシーに似ていますが、JSON ポリシードキュメント形式は使用しません。

Amazon Pinpoint SMS での ABAC

ABAC (ポリシー内のタグ) のサポート	部分的
-----------------------	-----

属性ベースのアクセスコントロール (ABAC) は、属性に基づいて権限を定義する認可戦略です。では AWS、これらの属性はタグと呼ばれます。タグは、IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) およ

び多くの AWS リソースにアタッチできます。エンティティとリソースのタグ付けは、ABAC の最初の手順です。次に、プリンシパルのタグがアクセスを試行するリソースのタグと一致したときにオペレーションを許可するよう、ABAC ポリシーを設計します。

ABAC は、急成長する環境やポリシー管理が煩雑になる状況で役立ちます。

タグに基づいてアクセスを制御するには、`aws:ResourceTag/key-name`、`aws:RequestTag/key-name`、または `aws:TagKeys` の条件キーを使用して、ポリシーの [条件要素](#) でタグ情報を提供します。

サービスがすべてのリソースタイプに対して 3 つの条件キーすべてをサポートする場合、そのサービスの値は Yes です。サービスが一部のリソースタイプに対してのみ 3 つの条件キーすべてをサポートする場合、値は Partial です。

ABAC の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の [\[ABAC とは?\]](#) を参照してください。ABAC をセットアップする手順を説明するチュートリアルについては、「IAM ユーザーガイド」の [「属性ベースのアクセス制御 \(ABAC\) を使用する」](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS での一時的な認証情報の使用

一時的な認証情報のサポート はい

一部の AWS のサービスは、一時的な認証情報を使用してサインインすると機能しません。一時的な認証情報を AWS のサービスで使用できるなどの詳細については、IAM ユーザーガイドの [「IAM AWS のサービスと連携する」](#) を参照してください。

ユーザー名とパスワード以外の AWS Management Console 方法でサインインする場合は、一時的な認証情報を使用しています。例えば、会社の Single Sign-On (SSO) リンク AWS を使用してアクセスすると、そのプロセスは自動的に一時的な認証情報を作成します。また、ユーザーとしてコンソールにサインインしてからロールを切り替える場合も、一時的な認証情報が自動的に作成されます。ロールの切り替えに関する詳細については、「IAM ユーザーガイド」の [「ロールへの切り替え \(コンソール\)」](#) を参照してください。

一時的な認証情報は、AWS CLI または AWS API を使用して手動で作成できます。その後、これらの一時的な認証情報を使用して、長期的なアクセスキーを使用する代わりに、動的に一時的な認証情報を生成する AWS. AWS recommends にアクセスできます。詳細については、「[IAM の一時的セキュリティ認証情報](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS の転送アクセスセッション

転送アクセスセッション (FAS) をサポート いいえ

IAM ユーザーまたはロールを使用してアクションを実行する場合 AWS、ユーザーはプリンシパルと見なされます。一部のサービスを使用する際に、アクションを実行することで、別のサービスの別のアクションがトリガーされることがあります。FAS は、 を呼び出すプリンシパルのアクセス許可を使用し AWS のサービス、ダウンストリームサービスにリクエストを行う AWS のサービス リクエストと組み合わせて使用します。FAS リクエストは、他の AWS のサービス またはリソースとのやり取りを完了する必要があるリクエストをサービスが受信した場合にのみ行われます。この場合、両方のアクションを実行するためのアクセス許可が必要です。FAS リクエストを行う際のポリシーの詳細については、「[転送アクセスセッション](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のサービスロール

サービスロールに対するサポート あり

サービスロールとは、サービスがユーザーに代わってアクションを実行するために引き受ける [IAM ロール](#)です。IAM 管理者は、IAM 内からサービスロールを作成、変更、削除できます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS のサービスにアクセス許可を委任するロールの作成](#)」を参照してください。

Warning

サービスロールのアクセス許可を変更すると、Amazon Pinpoint SMS の機能が破損する可能性があります。Amazon Pinpoint SMS が指示する場合以外は、サービスロールを編集しないでください。

Amazon Pinpoint SMS のサービスにリンクされたロール

サービスにリンクされたロールのサポート いいえ

サービスにリンクされたロールは、 にリンクされたサービスロールの一種です AWS のサービス。サービスは、ユーザーに代わってアクションを実行するロールを引き受けることができます。サービ

スにリンクされたロールは に表示され AWS アカウント、サービスによって所有されます。IAM 管理者は、サービスリンクロールの権限を表示できますが、編集することはできません。

サービスにリンクされたロールの作成または管理の詳細については、「[IAM と提携するAWS サービス](#)」を参照してください。表の中から、「サービスにリンクされたロール」列に「Yes」と記載されたサービスを見つけます。サービスにリンクされたロールに関するドキュメントをサービスで表示するには、[はい] リンクを選択します。

Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例

デフォルトでは、ユーザーおよびロールには Amazon Pinpoint SMS リソースを作成または変更するアクセス許可はありません。また、AWS Command Line Interface (AWS CLI) AWS Management Console、または AWS API を使用してタスクを実行することはできません。IAM 管理者は、リソースで必要なアクションを実行するための権限をユーザーに付与する IAM ポリシーを作成できます。その後、管理者がロールに IAM ポリシーを追加すると、ユーザーはロールを引き受けることができます。

これらサンプルの JSON ポリシードキュメントを使用して、IAM アイデンティティベースのポリシーを作成する方法については、IAM ユーザーガイドの「[IAM ポリシーの作成](#)」を参照してください。

各リソースタイプの ARN の形式など、Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクションとリソースタイプの詳細については、「サービス認証リファレンス」の「[Amazon Pinpoint SMS のアクション、リソース、および条件キー](#)」を参照してください。ARNs

トピック

- [ポリシーのベストプラクティス](#)
- [Amazon Pinpoint SMS コンソールの使用](#)
- [自分の許可の表示をユーザーに許可する](#)
- [例: Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクションへのアクセスを提供する](#)
- [Kinesis にイベントをストリーミングするための IAM ロール](#)

ポリシーのベストプラクティス

ID ベースのポリシーは、ユーザーのアカウント内で誰かが Amazon Pinpoint SMS リソースを作成、アクセス、または削除できるかどうかを決定します。これらのアクションを実行すると、AWS アカウントに料金が発生する可能性があります。アイデンティティベースのポリシーを作成したり編集したりする際には、以下のガイドラインと推奨事項に従ってください。

- AWS 管理ポリシーを開始し、最小特権のアクセス許可に移行する – ユーザーとワークロードにアクセス許可を付与するには、多くの一般的なユースケースにアクセス許可を付与する AWS 管理ポリシーを使用します。これらは使用できません AWS アカウント。ユースケースに固有の AWS カスタマー管理ポリシーを定義して、アクセス許可をさらに減らすことをお勧めします。詳細については、IAM ユーザーガイドの「[AWS マネージドポリシー](#)」または「[AWS ジョブ機能の管理ポリシー](#)」を参照してください。
- 最小特権を適用する – IAM ポリシーで権限を設定するときは、タスクの実行に必要な権限のみを付与します。これを行うには、特定の条件下で特定のリソースに対して実行できるアクションを定義します。これは、最小特権とも呼ばれています。IAM を使用して権限を適用する方法の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM でのポリシーと権限](#)」を参照してください。
- IAM ポリシーで条件を使用してアクセスをさらに制限する - ポリシーに条件を追加して、アクションやリソースへのアクセスを制限できます。例えば、ポリシー条件を記述して、すべてのリクエストを SSL を使用して送信するように指定できます。条件を使用して、などの特定の を通じてサービスアクションを使用する場合 AWS のサービス、サービスアクションへのアクセスを許可することもできます AWS CloudFormation。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM JSON policy elements: Condition](#)」(IAM JSON ポリシー要素 : 条件) を参照してください。
- IAM Access Analyzer を使用して IAM ポリシーを検証し、安全で機能的な権限を確保する - IAM Access Analyzer は、新規および既存のポリシーを検証して、ポリシーが IAM ポリシー言語 (JSON) および IAM のベストプラクティスに準拠するようにします。IAM アクセスアナライザーは 100 を超えるポリシーチェックと実用的な推奨事項を提供し、安全で機能的なポリシーの作成をサポートします。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM Access Analyzer ポリシーの検証](#)」を参照してください。
- 多要素認証 (MFA) を要求する – IAM ユーザーまたはルートユーザーを必要とするシナリオがある場合は AWS アカウント、セキュリティを強化するために MFA を有効にします。API オペレーションが呼び出されるときに MFA を必須にするには、ポリシーに MFA 条件を追加します。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[MFA 保護 API アクセスの設定](#)」を参照してください。

IAM でのベストプラクティスの詳細については、『IAM ユーザーガイド』の「[IAM でのセキュリティのベストプラクティス](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS コンソールの使用

Amazon Pinpoint SMS コンソールにアクセスするには、一連の最小限のアクセス許可が必要です。これらのアクセス許可により、 の Amazon Pinpoint SMS リソースの詳細をリストおよび表示できます AWS アカウント。最小限必要な許可よりも制限が厳しいアイデンティティベースのポリシーを作

成すると、そのポリシーを持つエンティティ (ユーザーまたはロール) に対してコンソールが意図したとおりに機能しません。

AWS CLI または AWS API のみ呼び出すユーザーには、最小限のコンソールアクセス許可を付与する必要はありません。代わりに、実行しようとしている API オペレーションに一致するアクションのみへのアクセスが許可されます。

ユーザーとロールが引き続き Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用できるようにするには、エンティティに Amazon Pinpoint SMS *ConsoleAccess* または *ReadOnly* AWS 管理ポリシーもアタッチします。詳細については、『IAM ユーザーガイド』の「[ユーザーへの権限の追加](#)」を参照してください。

自分の許可の表示をユーザーに許可する

この例では、ユーザーアイデンティティに添付されたインラインおよびマネージドポリシーの表示を IAM ユーザーに許可するポリシーを作成する方法を示します。このポリシーには、コンソールで、または AWS CLI または AWS API を使用してプログラムでこのアクションを実行するアクセス許可が含まれています。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "ViewOwnUserInfo",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "iam:GetUserPolicy",
        "iam:ListGroupsWithUser",
        "iam:ListAttachedUserPolicies",
        "iam:ListUserPolicies",
        "iam:GetUser"
      ],
      "Resource": ["arn:aws:iam::*:user/${aws:username}"]
    },
    {
      "Sid": "NavigateInConsole",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "iam:GetGroupPolicy",
        "iam:GetPolicyVersion",
        "iam:GetPolicy",
        "iam:ListAttachedGroupPolicies",

```



```
        "iam:ListGroupPolicies",
        "iam:ListPolicyVersions",
        "iam:ListPolicies",
        "iam:ListUsers"
    ],
    "Resource": "*"
}
]
```

例: Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクションへのアクセスを提供する

このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API から利用できる機能へのアクセスを許可するポリシーの例を示します。これは、Amazon Pinpoint SMS で SMS および音声チャネルを使用および管理するための高度なオプションを提供する補足 API です。この API の詳細については、[「Amazon Pinpoint SMS and Voice v2 API」](#) を参照してください。

読み取り専用アクセス

次のポリシー例では、AWS アカウント内のすべての Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクションとリソースへの読み取り専用アクセスを許可します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceReadOnly",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "sms-voice:List*",
        "sms-voice:DescribeAccountAttributes",
        "sms-voice:DescribeAccountLimits",
        "sms-voice:DescribeConfigurationSets",
        "sms-voice:DescribeKeywords",
        "sms-voice:DescribeOptedOutNumbers",
        "sms-voice:DescribeOptOutLists",
        "sms-voice:DescribePhoneNumbers",
        "sms-voice:DescribePools",
        "sms-voice:DescribeRegistrationAttachments",
        "sms-voice:DescribeRegistrationFieldDefinitions",
        "sms-voice:DescribeRegistrations",
        "sms-voice:DescribeRegistrationSectionDefinitions",

```

```

        "sms-voice:DescribeRegistrationTypeDefinitions",
        "sms-voice:DescribeRegistrationVersions",
        "sms-voice:DescribeSenderIds",
        "sms-voice:DescribeSpendLimits",
        "sms-voice:DescribeVerifiedDestinationNumbers"
    ],
    "Resource": "*"
}
]
}

```

管理者アクセス権

次のポリシー例では、AWS アカウント内のすべての Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクションとリソースへのフルアクセスを許可します。

```

{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceFullAccess",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "sms-voice:*"
      ],
      "Resource": "*",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        },
        "ArnLike": {
          "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:*"
        }
      }
    }
  ]
}

```

Kinesis にイベントをストリーミングするための IAM ロール

Amazon Pinpoint SMS は、アプリケーションから AWS アカウントの Amazon Kinesis データストリームまたは Amazon Data Firehose 配信ストリームに、アプリケーション使用状況データまたはイ

イベントデータを自動的に送信できます。Amazon Pinpoint SMS がイベントデータのストリーミングを開始する前に、必要なアクセス許可を Amazon Pinpoint SMS に委任する必要があります。

コンソールを使用してイベントストリーミングを設定する場合、Amazon Pinpoint SMS は必要なアクセス許可を持つ AWS Identity and Access Management (IAM) ロールを自動的に作成します。

手動でロールを作成する場合は、次のポリシーをロールにアタッチします。

- Amazon Pinpoint SMS がイベントデータをストリームに送信できるようにするアクセス許可ポリシー。
- Amazon Pinpoint SMS がロールを引き受けることを許可する信頼ポリシー。

ロールを作成したら、ストリームにイベントを自動的に送信するように Amazon Pinpoint SMS を設定できます。詳細については、このガイドの「[Amazon Data Firehose イベント送信先](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティとアクセスのトラブルシューティング

以下の情報は、Amazon Pinpoint SMS および IAM の使用に伴って発生する可能性がある一般的な問題の診断や修復に役立ちます。

トピック

- [Amazon Pinpoint SMS でアクションを実行する権限がない](#)
- [iam を実行する権限がありません。PassRole](#)
- [自分の 以外のユーザーに Amazon Pinpoint SMS リソース AWS アカウント へのアクセスを許可したい](#)

Amazon Pinpoint SMS でアクションを実行する権限がない

「I am not authorized to perform an action in Amazon Bedrock」というエラーが表示された場合、そのアクションを実行できるようにポリシーを更新する必要があります。

次の例は、mateojackson という IAM ユーザーがコンソールを使用して架空の *my-example-widget* リソースに関する詳細を表示しようとしたとき、架空の sms-voice:*GetWidget* アクセス許可がない場合に発生するエラーを示しています。

```
User: arn:aws:iam::123456789012:user/mateojackson is not authorized to perform: sms-voice:GetWidget on resource: my-example-widget
```

この場合、sms-voice:GetWidget アクションを使用して *my-example-widget* リソースへのアクセスを許可するように、mateojackson ユーザーのポリシーを更新する必要があります。

サポートが必要な場合は、AWS 管理者にお問い合わせください。サインイン資格情報を提供した担当者が管理者です。

iam を実行する権限がありません。PassRole

iam:PassRole アクションを実行する権限がないというエラーが表示された場合は、ポリシーを更新して Amazon Pinpoint SMS にロールを渡すことができるようにする必要があります。

一部の AWS のサービスでは、新しいサービスロールまたはサービスにリンクされたロールを作成する代わりに、既存のロールをそのサービスに渡すことができます。そのためには、サービスにロールを渡すアクセス許可が必要です。

以下の例のエラーは、という IAM marymajor ユーザーがコンソールを使用して Amazon Pinpoint SMS でアクションを実行しようする場合に発生します。ただし、このアクションをサービスが実行するには、サービスロールから付与された権限が必要です。Mary には、ロールをサービスに渡す権限がありません。

```
User: arn:aws:iam::123456789012:user/marymajor is not authorized to perform: iam:PassRole
```

この場合、Mary のポリシーを更新して Mary に iam:PassRole アクションの実行を許可する必要があります。

サポートが必要な場合は、AWS 管理者にお問い合わせください。サインイン資格情報を提供した担当者が管理者です。

自分の 以外のユーザーに Amazon Pinpoint SMS リソース AWS アカウント へのアクセスを許可したい

他のアカウントのユーザーや組織外の人が、リソースにアクセスするために使用できるロールを作成できます。ロールの引き受けを委託するユーザーを指定できます。リソースベースのポリシーまたはアクセスコントロールリスト (ACL) をサポートするサービスの場合、それらのポリシーを使用して、リソースへのアクセスを付与できます。

詳細については、以下を参照してください:

- Amazon Pinpoint SMS がこれらの機能をサポートしているかどうかを確認するには、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法](#)。
- 所有 AWS アカウント する のリソースへのアクセスを提供する方法については、「[IAM ユーザーガイド](#)」の「[所有 AWS アカウント する別の の IAM ユーザーへのアクセス権を付与する](#)」を参照してください。
- リソースへのアクセスをサードパーティーの に提供する方法については AWS アカウント、IAM ユーザーガイドの「[第三者 AWS アカウント が所有する へのアクセス権を付与する](#)」を参照してください。
- ID フェデレーションを介してアクセスを提供する方法については、「IAM ユーザーガイド」の「[外部で認証されたユーザー \(ID フェデレーション\) へのアクセス権の提供](#)」を参照してください。
- クロスアカウントアクセスでのロールとリソースベースのポリシーの使用の違いの詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ロールとリソースベースのポリシーとの相違点](#)」を参照してください。

IAM ポリシーの Amazon Pinpoint SMS アクション

AWS アカウントの Amazon Pinpoint SMS リソースへのアクセスを管理するには、Amazon Pinpoint SMS アクションを AWS Identity and Access Management (IAM) ポリシーに追加します。ポリシーでアクションを使用することで、Amazon Pinpoint SMS コンソールでユーザーが実行できる操作を制御できます。AWS SDKs、AWS Command Line Interface (AWS CLI)、または Amazon Pinpoint SMS APIs を直接使用して、ユーザーがプログラムで実行できる操作を制御することもできます。

このトピックでは、アカウントの AWS IAM ポリシーに追加できる Amazon Pinpoint SMS アクションについて説明します。ポリシーでアクションを使用して Amazon Pinpoint SMS リソースへのアクセスを管理する方法を示す例については、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

トピック

- [Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクション](#)

Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクション

このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API から利用できる機能のアクションについて説明します。Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API の場合、SMS および音声チャンネルを使用および管理するための高度なオプションを提供する API です。バージョン 2 で使用できるアクションの完全な一覧については、「[Amazon Pinpoint SMS and Voice API version 2 API Reference](#)」を参照してください。

sms-voice:AssociateOriginationIdentity

指定された発信元 ID をプールに関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountyCode`

sms-voice:CreateConfigurationSet

新しい設定セットを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:CreateEventDestination

設定セット内に新しいイベント送信先を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:CreateOptOutList

新しいオプトアウトリストを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:CreatePool

新しいプールを作成し、指定された発信元 ID をプールに関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountyCode`

sms-voice:CreateRegistration

登録を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:CreateRegistrationAssociation

登録を発信元 ID に関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:CreateRegistrationAttachment

登録用の添付ファイルを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration-attachment/registrationAttachmentId`

sms-voice:CreateRegistrationVersion

登録の新しいバージョンを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:CreateVerifiedDestinationNumber

新しい検証済み送信先電話番号を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

sms-voice>DeleteConfigurationSet

既存の設定セットを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteDefaultMessageType

設定セット内の既存のデフォルトメッセージタイプを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteDefaultSenderId

設定セット内の既存のデフォルト送信者 ID を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteEventDestination

既存のイベント送信先を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteKeyword

発信元電話番号またはプールから既存のキーワードを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:DeleteOptedOutNumber

指定されたオプトアウトリストから既存のオプトアウト済みの送信先電話番号を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DeleteOptOutList

既存のオプトアウトリストを削除します。オプトアウトリスト内のオプトアウト済み電話番号はすべて削除されます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DeletePool

既存のプールを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:DeleteRegistration

登録の新しいバージョンを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DeleteRegistrationAttachment

登録アタッチメントを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration-attachment/registrationAttachmentId`

sms-voice:DeleteRegistrationFieldValue

登録フィールドから値を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DeleteTextMessageSpendLimitOverride

テキストメッセージ送信に関するアカウントレベルの月間使用限度のオーバーライドを削除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DeleteVerifiedDestinationNumber

検証済みの送信先電話番号を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

sms-voice:DeleteVoiceMessageSpendLimitOverride

音声メッセージ送信に関するアカウントレベルの月間使用限度のオーバーライドを削除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeAccountAttributes

AWS アカウントの属性を記述します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeAccountLimits

アカウントの現在の Amazon Pinpoint SMS 音声 V2 リソースクォータを記述します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeConfigurationSets

指定された設定セットまたはアカウントのすべての設定セットを記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DescribeKeywords

発信元電話番号またはプールの指定されたキーワードまたはすべてのキーワードを記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:DescribeOptedOutNumbers

指定されたオプトアウト済み送信先番号またはオプトアウトリスト内のすべてのオプトアウト済み宛先番号を記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DescribeOptOutLists

指定されたオプトアウトリストまたはアカウントのすべてのオプトアウトリストを記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DescribePhoneNumbers

指定された発信元電話番号、またはアカウントのすべての電話番号を記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:DescribePools

指定されたプール、または AWS アカウントに関連付けられているすべてのプールを取得します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:DescribeRegistrationAttachments

すべての登録アタッチメントを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration-attachment/registrationAttachmentId`

sms-voice:DescribeRegistrationFieldDefinitions

登録のフィールド定義を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeRegistrationFieldValues

登録のフィールド値を一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DescribeRegistrations

アカウントの登録を一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DescribeRegistrationSectionDefinitions

登録のセクション定義を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeRegistrationTypeDefinitions

登録のタイプ定義を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeRegistrationVersions

登録するバージョンを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DescribeSenderId

指定した SenderIds またはアカウント SenderIds に関連付けられているすべての を記述します AWS。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:DescribeSpendLimits

音声メッセージとテキストメッセージの送信に関する現在の Amazon Pinpoint 月間使用限度を記述します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeVerifiedDestinationNumbers

アカウント内の検証済みの送信先電話番号を一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

sms-voice:DisassociateOriginationIdentity

指定された発信元 ID を既存のプールから削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:DiscardRegistrationVersion

登録の現在のバージョンを破棄します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:ListPoolOriginationIdentities

プール内の発信元電話番号を表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:ListRegistrationAssociations

登録に関連付けられているすべてのリソースを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:ListTagsForResource

リソースに関連付けられたタグを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:PutKeyword

発信元電話番号またはプールにキーワードを追加または更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:PutOptedOutNumber

送信先電話番号をオプトアウトリストに追加します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:PutRegistrationFieldValue

登録のフィールド値を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:ReleasePhoneNumber

Amazon Pinpoint SMS アカウントから発信元の電話番号を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:RequestPhoneNumber

アカウントへの発信元電話番号の追加をリクエストします。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:RequestSenderId

新しい送信者 ID をリクエストします。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendDestinationNumberVerificationCode

SMS または音声メッセージを送信して、設定解除電話番号に検証コードを含めます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendTextMessage

SMS メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendVoiceMessage

音声メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:SetDefaultMessageType

SMS メッセージのデフォルトのメッセージタイプを設定します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:SetDefaultSenderId

音声メッセージのデフォルトの送信者 ID 値を設定します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:SetTextMessageSpendLimitOverride

SMS メッセージの月間使用限度を設定します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:SetVoiceMessageSpendLimitOverride

音声メッセージの月間使用限度を設定します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:SubmitRegistrationVersion

最新バージョンの登録を送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:TagResource

リソースにタグを追加します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:UntagResource

リソースからタグを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:UpdateEventDestination

既存のイベント送信先を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:UpdatePhoneNumber

発信元電話番号の設定セットを更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:UpdatePool

既存の電話番号プールを更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:UpdateSenderId

送信者 ID を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:VerifyDestinationNumber

送信先の電話番号を確認します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

Amazon Pinpoint SMS のコンプライアンス検証

AWS のサービスが特定のコンプライアンスプログラムの対象であるかどうかを確認するには、[AWS のサービス「コンプライアンスプログラムによる対象範囲内の」](#)を参照し、関心のある

コンプライアンスプログラムを選択します。一般的な情報については、[AWS「コンプライアンスプログラム」](#)を参照してください。

サードパーティーの監査レポートは、を使用してダウンロードできます AWS Artifact。詳細については、「[でのレポートのダウンロード AWS Artifact](#)」の」を参照してください。

を使用する際のお客様のコンプライアンス責任 AWS のサービスは、お客様のデータの機密性、企業のコンプライアンス目的、適用法規によって決まります。では、コンプライアンスに役立つ以下のリソース AWS を提供しています。

- [セキュリティとコンプライアンスのクイックスタートガイド](#) — これらのデプロイガイドでは、アーキテクチャ上の考慮事項について説明し、セキュリティとコンプライアンスに重点を置いたベースライン環境をにデプロイするための手順を説明します。
- [Architecting for HIPAA Security and Compliance on Amazon Web Services](#) – このホワイトペーパーでは、企業が AWS を使用して HIPAA 対応のアプリケーションを作成する方法について説明します。

Note

すべての AWS のサービスが HIPAA に対応しているわけではありません。詳細については、「[HIPAA 対応サービスのリファレンス](#)」を参照してください。

- [AWS コンプライアンスリソース](#) – このワークブックとガイドのコレクションは、お客様の業界や場所に適用される場合があります。
- [AWS カスタマーコンプライアンスガイド](#) – コンプライアンスの観点から責任共有モデルを理解します。このガイドは、複数のフレームワーク (米国標準技術研究所 (NIST)、Payment Card Industry Security Standards Association (PCI)、国際標準化機構 (ISO) など) にわたるセキュリティコントロールにガイダンスを保護し AWS のサービス、マッピングするためのベストプラクティスをまとめたものです。
- 「[デベロッパーガイド](#)」の「[ルールによるリソースの評価](#)」 — この AWS Config サービスは、リソース設定が社内プラクティス、業界ガイドライン、規制にどの程度準拠しているかを評価します。AWS Config
- [AWS Security Hub](#) – これにより AWS のサービス、内のセキュリティ状態を包括的に確認できます AWS。Security Hub では、セキュリティコントロールを使用して AWS リソースを評価し、セキュリティ業界標準とベストプラクティスに対するコンプライアンスをチェックします。サポートされているサービスとコントロールのリストについては、「[Security Hub のコントロールリファレンス](#)」を参照してください。

- [AWS Audit Manager](#) – これにより AWS のサービス、AWS の使用状況を継続的に監査し、リスクの管理方法と規制や業界標準への準拠を簡素化できます。

Amazon Pinpoint SMS の耐障害性

AWS グローバルインフラストラクチャは、AWS リージョン とアベイラビリティゾーンを中心に構築されています。は、低レイテンシー、高スループット、および高度の冗長ネットワークで接続されている複数の物理的に独立および隔離されたアベイラビリティゾーン AWS リージョン を提供します。アベイラビリティゾーンでは、ゾーン間で中断することなく自動的にフェイルオーバーするアプリケーションとデータベースを設計および運用することができます。アベイラビリティゾーンは、従来の単一または複数のデータセンターインフラストラクチャよりも可用性が高く、フォールトトレラントで、スケーラブルです。

AWS リージョン およびアベイラビリティゾーンの詳細については、[AWS 「グローバルインフラストラクチャ」](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS では、AWS グローバルインフラストラクチャに加えて、データの耐障害性とバックアップのニーズに対応できるように複数の機能を提供しています。

Amazon Pinpoint SMS のインフラストラクチャセキュリティ

マネージドサービスである Amazon Pinpoint SMS は、ホワイトペーパー [「Amazon Web Services: セキュリティプロセスの概要」](#) に記載されている AWS グローバルネットワークセキュリティの手順で保護されています。

が AWS 公開した API コールを使用して、ネットワーク経由で Amazon Pinpoint SMS にアクセスします。クライアントで Transport Layer Security (TLS) 1.0 以降がサポートされている必要があります。TLS 1.2 をお勧めします。また、DHE (Ephemeral Diffie-Hellman) や ECDHE (Elliptic Curve Ephemeral Diffie-Hellman) などの Perfect Forward Secrecy (PFS) を使用した暗号スイートもクライアントでサポートされている必要があります。これらのモードは、Java 7 以降など、ほとんどの最新システムでサポートされています。

また、リクエストには、アクセスキー ID と、IAM プリンシパルに関連付けられているシークレットアクセスキーを使用して署名する必要があります。または、[AWS Security Token Service](#) (AWS STS) を使用して、一時的なセキュリティ認証情報を生成し、リクエストに署名することもできます。

Amazon Pinpoint SMS での設定と脆弱性の分析

マネージドサービスである Amazon Pinpoint SMS は AWS グローバルネットワークセキュリティで保護されています。AWS セキュリティサービスと [ガインフラストラクチャ AWS](#) を保護する方法については、[AWS 「クラウドセキュリティ」](#) を参照してください。インフラストラクチャセキュリティのベストプラクティスを使用して AWS 環境を設計するには、「セキュリティの柱 AWS Well-Architected Framework」の [「インフラストラクチャ保護」](#) を参照してください。

が AWS 公開した API コールを使用して、ネットワーク経由で Amazon Pinpoint SMS にアクセスします。クライアントは以下をサポートする必要があります:

- Transport Layer Security (TLS)。TLS 1.2、できれば TLS 1.3 が必要です。
- DHE (Ephemeral Diffie-Hellman) や ECDHE (Elliptic Curve Ephemeral Diffie-Hellman) などの Perfect Forward Secrecy (PFS) を使用した暗号スイート。これらのモードは、Java 7 以降など、ほとんどの最新システムでサポートされています。

また、リクエストには、アクセスキー ID と、IAM プリンシパルに関連付けられているシークレットアクセスキーを使用して署名する必要があります。または、[AWS Security Token Service \(AWS STS\)](#) を使用して、テナポラリセキュリティ認証情報を生成し、リクエストに署名することもできます。

サービス間の混乱した代理の防止

混乱した代理問題は、アクションを実行するためのアクセス許可を持たないエンティティが、より特権のあるエンティティにアクションの実行を強制できてしまう場合に生じる、セキュリティ上の問題です。では AWS、サービス間でなりすましを行うと、混乱した代理問題が発生する可能性があります。サービス間でのなりすましは、1 つのサービス (呼び出し元サービス) が、別のサービス (呼び出し対象サービス) を呼び出すときに発生する可能性があります。呼び出し元サービスは、本来ならアクセスすることが許可されるべきではない方法でその許可を使用して、別のお客様のリソースに対する処理を実行するように操作される場合があります。これを防ぐために、AWS には、アカウント内のリソースへのアクセス権が付与されたサービスプリンシパルですべてのサービスのデータを保護するために役立つツールが用意されています。

リソースポリシーで [aws:SourceArn](#) および [aws:SourceAccount](#) グローバル条件コンテキストキーを使用して、Amazon Pinpoint SMS が別のサービスに付与するリソースへのアクセス許可を制限することをお勧めします。クロスサービスアクセスにリソースを 1 つだけ関連付けたい場合

は、`aws:SourceArn` を使用します。そのアカウント内のリソースをクロスサービスの使用に関連付けることを許可する場合は、`aws:SourceAccount` を使用します。

混乱した代理問題から保護するための最も効果的な方法は、リソースの完全な ARN を指定して、`aws:SourceArn` グローバル条件コンテキストキーを使用することです。リソースの完全な ARN が不明な場合や、複数のリソースを指定する場合には、グローバルコンテキスト条件キー `aws:SourceArn` で、ARN の未知部分を示すためにワイルドカード文字 (*) を使用します。例えば、`arn:aws:servicename:*:123456789012:*` です。

`aws:SourceArn` の値に Amazon S3 バケット ARN などのアカウント ID が含まれていない場合は、両方のグローバル条件コンテキストキーを使用して、アクセス許可を制限する必要があります。

の値は、電話番号の ARN `aws:SourceArn` である必要があります。

次の例は、Amazon Pinpoint SMS で `aws:SourceArn` および `aws:SourceAccount` グローバル条件コンテキストキーを使用して、「混乱した代理」問題を回避する方法を示しています。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "ConfusedDeputyPreventionExamplePolicy",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "*",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        },
        "ArnLike": {
          "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:PhoneNumberARN:*"
        }
      }
    }
  ]
}
```

セキュリティに関するベストプラクティス

Amazon Pinpoint SMS には、独自のセキュリティポリシーを開発および実装する際に考慮すべきさまざまなセキュリティ機能が用意されています。以下のベストプラクティスは一般的なガイドラインであり、完全なセキュリティソリューションを説明するものではありません。これらのベストプラクティスはお客様の環境に必ずしも適切または十分でない可能性があるため、処方箋ではなく、あくまで有用な考慮事項とお考えください。

- Amazon Pinpoint SMS リソースを管理するユーザーごとに、自分自身を含む個別のユーザーを作成します。Amazon Pinpoint リソースの管理には、AWS ルート認証情報を使用しないでください。
- それぞれの職務の実行に最低限必要になる一連のアクセス許可を各ユーザーに付与します。
- IAM グループを使用して、複数のユーザーのアクセス許可を効果的に管理します。
- IAM 認証情報のローテーションを定期的に行います。

Amazon Pinpoint SMS のモニタリング

モニタリングは、Amazon Pinpoint SMS AWS やその他のソリューションの信頼性、可用性、パフォーマンスを維持する上で重要な部分です。AWSには、Amazon Pinpoint SMS を監視し、問題が発生した場合に報告し、必要に応じて自動アクションを実行するための以下のモニタリングツールが用意されています。

- Amazon は、CloudWatchAWSAWSお客様のリソースとお客様が実行するアプリケーションをリアルタイムで監視します。メトリクスを収集および追跡し、カスタマイズされたダッシュボードを作成し、指定されたメトリックが指定したしきい値に達したときに通知またはアクションを実行するアラームを設定できます。たとえば、Amazon EC2 インスタンスの CPU CloudWatch 使用率やその他のメトリクスを追跡し、必要に応じて新しいインスタンスを自動的に起動できます。詳細については、[Amazon CloudWatch ユーザーガイドを参照してください](#)。
- Amazon CloudWatch Logs を使用すると、Amazon EC2 インスタンスやその他のソースからのログファイルを監視 CloudTrail、保存、アクセスできます。CloudWatch ログファイル内の情報を監視し、特定のしきい値に達すると通知できます。高い耐久性を備えたストレージにログデータをアーカイブすることもできます。詳細については、[Amazon CloudWatch Logs ユーザーガイドを参照してください](#)。
- AWS CloudTrail は、AWSアカウントにより、またはそのアカウントに代わって行われた API コールや関連イベントを取得し、指定した Amazon S3 バケットにログファイルを配信します。AWS を呼び出したユーザーとアカウント、呼び出し元の IP アドレス、および呼び出しの発生日時を特定できます。詳細については、『[AWS CloudTrail ユーザーガイド](#)』を参照してください。
- AWS Healthダッシュボードでは、Amazon Pinpoint SMS 環境のステータスを確認およびモニタリングできます。Amazon Pinpoint SMS サービス全体のステータスを確認するには、AWS Service Health Dashboard を使用します。AWS 環境に特に影響を及ぼす可能性があるイベントや問題に関する履歴データをチェック、モニタリング、および表示するには、AWS Personal Health Dashboard を使用します。これらのダッシュボードの詳細については、『[AWS Health ユーザーガイド](#)』を参照してください。
- AWS Trusted AdvisorAWSお客様の環境を検査し、セキュリティギャップへの対処、システムの可用性とパフォーマンスの向上、コスト削減の機会に関する推奨事項を提示します。AWS のすべてのお客様は、Trusted Advisor チェックのコアセットにアクセスできます。ビジネスサポートプランまたはエンタープライズサポートプランに加入されているお客様は、追加の Trusted Advisor チェックにアクセスできます。

これらのチェックの多くは、AWSアカウント全体の一部として Amazon Pinpoint SMS リソースのセキュリティ状態を評価するのに役立ちます。例えば、Trusted Advisor チェックのコアセットには、次のものが含まれます。

- AWS アカウントのログ記録設定 (サポートされている AWS リージョンごと)。
- Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) バケットのアクセス許可。バケットには、セグメントを構築するために Amazon Pinpoint SMS にインポートするファイルが含まれている場合があります。
- AWS Identity and Access Managementユーザー、グループ、ロールを使用して Amazon Pinpoint SMS リソースへのアクセスを制御します。
- AWS環境と Amazon Pinpoint SMS リソースのセキュリティを危険にさらす可能性のある IAM 設定とポリシー設定。

詳細については、AWS Support ユーザーガイドの [AWS Trusted Advisor](#) を参照してください。

トピック

- [アマゾンによるアマゾンピンポイント SMS のモニタリング CloudWatch](#)
- [Amazon Pinpoint SMS による SMS と音声通話のアクティビティのモニタリング](#)
- [を使用して Amazon Pinpoint SMS API 呼び出しをロギングする AWS CloudTrail](#)

アマゾンによるアマゾンピンポイント SMS のモニタリング CloudWatch

Amazon Pinpoint SMS をモニタリングできます。Amazon Pinpoint SMS は未加工データを収集し CloudWatch、読み取り可能でほぼリアルタイムのメトリクスに処理します。これらの統計は 15 か月間保持されるため、履歴情報にアクセスし、ウェブアプリケーションまたはサービスの動作をよりの確に把握できます。また、特定のしきい値を監視するアラームを設定し、これらのしきい値に達したときに通知を送信したりアクションを実行したりできます。詳細については、[Amazon CloudWatch ユーザーガイド](#)を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS では、しきい値を監視し TextMessageMonthlySpend、しきい値を超えるか、それ以上、または等しい場合にアラームをトリガーする必要がある場合があります。VoiceMessageMonthlySpend 名前スペースは Amazon Pinpoint SMS 用のものです。AWS/SMSVoice

次の表は、Amazon Pinpoint SMS のメトリックスとディメンションを示しています。

メトリックス	説明	推奨統計
TextMessageMonthlySpend	<p>今月 SMS メッセージの送信に費やした金額 (米ドル)。</p> <p>単位:米ドル</p>	最大値
VoiceMessageMonthlySpend	<p>今月 Voice メッセージの送信に費やした金額 (米ドル)。</p> <p>単位:米ドル</p>	最大値

Amazon Pinpoint SMS による SMS と音声通話のアクティビティのモニタリング

このトピックでは、Amazon での SMS と音声の支出指標の表示に関する情報を提供します CloudWatch。また、CloudWatch 毎月のSMSや音声通話が一定額を超えたときに通知を送信するアラームの設定方法についても説明します。

Amazon Pinpoint SMS を使用する際の月額料金 (使用した金額を含む) のみを確認したい場合は、AWS Billing and Cost Managementコンソールを使用してください。Billing and Cost Management コンソールには、当月の請求額の見積もりと前月の最終請求額が表示されます。詳細については、『AWS Billingユーザーガイド』の[「月額料金を表示する」](#)を参照してください。


次のコマンドを使用して、毎月のSMSと音声通話料金を確認できます。
CloudWatch

当月に SMS と音声メッセージの送信に費やした金額をすばやく確認するには、CloudWatch コンソールの [Metrics] セクションを使用します。CloudWatch 指標データを 15 か月間保持するので、リアルタイムのデータを表示したり、過去の傾向を分析したりできます。

でのメトリックスの表示について詳しくは CloudWatch、『Amazon CloudWatch ユーザーガイド』の[「Amazon CloudWatch メトリックスの使用」](#)を参照してください。

で SMS と音声の支出メトリクスを表示するには CloudWatch

1. <https://console.aws.amazon.com/cloudwatch/> **CloudWatch** でコンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで メトリクスを選択します。
3. 「すべての指標」タブで「SMSVoice」を選択します。
4. [アカウントメトリクス] を選択します。
5. TextMessageMonthlySpend オプションとから選択します。VoiceMessageMonthlySpend 選択内容に基づいてグラフが更新され、Amazon Pinpoint SMS を使用して当月に費やした金額が表示されます。

 Note

Amazon Pinpoint SMS を使用して少なくとも 1 つのメッセージを送信するまで、TextMessageMonthlySpendVoiceMessageMonthlySpend およびメトリクスは表示されません。

を使用して SMS または音声通話アラームを作成します。 CloudWatch

毎月のSMSと音声の支出メトリックを確認できるほか、 CloudWatch SMSや音声の支出が一定額を超えたときに通知するアラームを作成できます。Amazon SNS トピックに送信することで、これらの通知を配信するように設定できます CloudWatch 。

でのアラーム作成の詳細については CloudWatch、Amazon CloudWatch ユーザーガイドの「[Amazon CloudWatch アラームの使用](#)」を参照してください。

で SMS または音声通話アラームを作成するには CloudWatch

1. まだ行っていない場合は、Amazon SNS トピックを作成し、エンドポイントをそのトピックにサブスクライブします。トピックにサブスクライブするエンドポイントは、使用量の通知を受け取る場所に設定します。例えば、E メールで使用量の通知を受け取る場合は、Amazon SNS トピックに E メールアドレスをサブスクライブします。テキストメッセージで使用量の通知を受け取る場合は、そのトピックに SMS エンドポイントをサブスクライブします。

SNS トピックの作成とサブスクライブについては、『Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド』の「[Getting started with Amazon SNS](#)」を参照してください。

2. <https://console.aws.amazon.com/cloudwatch/> **CloudWatch** でコンソールを開きます。

3.

⚠ Important

請求アラームを作成する前に、AWS リージョンを米国東部 (バージニア北部) に設定する必要があります。AWS リージョン請求メトリクスデータはここに保存され、全世界の請求額を表します。また、自分のアカウントまたは管理/支払者アカウント (一括請求を使用している場合) で、請求アラートを有効にする必要があります。詳細については、「[請求アラートの有効化](#)」を参照してください。

ナビゲーションペインの [アラーム] で [請求] を選択します。

4. [請求アラーム] の横にある [アラームの作成] を選択します。
5. メトリクスの選択 を選択します。
6. [すべての指標] タブで [SMSVoice] を選択し、[アカウント指標] を選択します。
7. TextMessageMonthlySpendまたはを選択します。VoiceMessageMonthlySpend

i Note

TextMessageMonthlySpendVoiceMessageMonthlySpendおよびメトリクスは、Amazon Pinpoint SMS を通じて少なくとも 1 つのメッセージを送信するまで表示されません。

8. [グラフ化したメトリクス] タブを選択し、以下の手順を実行します。
 - [Statistic] で、モニタリングする統計値または定義済みのパーセンタイルを選択するか、カスタムのパーセンタイル (例えば、p99 または p45) を指定します。
 - [期間] で、アラームの評価期間を選択します。アラームを評価する場合、各期間は 1 つのデータポイントに集約されます。
9. メトリクスの選択 を選択します。[Specify metric and conditions (メトリクスと条件の指定)] ページに、アラームのメトリクスと統計に関するグラフや他の情報が表示されます。
10. [条件] で以下の手順を実行します。
 - [Threshold type] で [静的] を選択します。
 - Whenever (TextMessageMonthlySpendまたは VoiceMessageMonthlySpend) is では、アラームをトリガーするために、メトリクスをしきい値より大きくするか、それ以上にするか、または等しくするかを指定します。次に、[than] にしきい値を入力します。これは、アラームをトリガーする金額 (米国ドル) です。
11. [Additional configuration] で、以下の手順を実行します。

- [Datapoints to alarm] に、アラームをトリガーするために使用量がしきい値を超える必要がある評価期間数 (データポイント) を入力します。
 - [Missing data treatment] では、[Treat missing data as ignore (maintain the alarm state)] を選択します。
12. [Next] を選択します。
 13. [通知] で、以下の手順を実行します。
 - [Whenever this alarm state is] で、[in Alarm] を選択します。
 - [Select an SNS topic] で、アラーム通知を送信する Amazon SNS トピックを選択します。
 14. [Next] を選択します。
 15. 名前を入力し、必要に応じてアラームの説明を入力して [Next] を選択します。
 16. [Preview and create] で、アラーム設定が正しいことを確認し、[アラームの作成] を選択します。

を使用して Amazon Pinpoint SMS API 呼び出しをロギングする AWS CloudTrail

Amazon Pinpoint SMS は AWS CloudTrail、Amazon Pinpoint SMS 内のユーザー、ロール、AWS またはサービスによって実行されたアクションの記録を提供するサービスと統合されています。CloudTrail Amazon Pinpoint SMS のすべての API 呼び出しをイベントとしてキャプチャします。キャプチャされた呼び出しには、Amazon Pinpoint SMS コンソールからの呼び出しと Amazon Pinpoint SMS API オペレーションへのコード呼び出しが含まれます。証跡を作成すると、Amazon Pinpoint SMS CloudTrail のイベントを含むイベントを Amazon S3 バケットに継続的に配信できるようになります。トレイルを設定しなくても、CloudTrail コンソールの [イベント履歴] に最新のイベントが表示されます。によって収集された情報を使用して CloudTrail、Amazon Pinpoint SMS に対して行われたリクエスト、リクエストが行われた IP アドレス、リクエストの実行者、実行日時、その他の詳細を判断できます。

詳細については CloudTrail、[AWS CloudTrailユーザーガイドを参照してください](#)。

Amazon Pinpoint SMS 情報 CloudTrail

CloudTrail AWS アカウントアカウントを作成すると、で有効になります。Amazon Pinpoint SMS でアクティビティが発生すると、CloudTrail AWSそのアクティビティはイベント履歴の他のサービスイベントとともにイベントに記録されます。最近のイベントは、AWS アカウントで表示、検索、ダ

ダウンロードできます。詳細については、「[CloudTrail イベント履歴によるイベントの表示](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のイベントを含めAWS アカウント、お客様のイベントの継続的な記録については、証跡を作成してください。トレイルを使用すると CloudTrail、Amazon S3 バケットにログファイルを配信できます。デフォルトでは、コンソールで証跡を作成するときに、証跡がすべての AWS リージョンに適用されます。証跡は、AWS パーティションのすべてのリージョンからのイベントをログに記録し、指定した Amazon S3 バケットにログファイルを配信します。さらに、AWS CloudTrail ログに収集されたイベントデータをさらに分析して処理するように他のサービスを設定することもできます。詳細については、次を参照してください。

- [「追跡を作成するための概要」](#)
- [CloudTrail サポート対象のサービスとインテグレーション](#)
- [の Amazon SNS 通知の設定 CloudTrail](#)
- [CloudTrail 複数のリージョンからのログファイルの受信、CloudTrail および複数のアカウントからのログファイルの受信](#)

Amazon Pinpoint SMS のすべてのアクションは [Amazon Pinpoint SMS](#)

[CloudTrail and Voice v2 API によって記録され](#)、文書化されています。たとえ

ば、CreatePool、UpdatePhoneNumberDescribePoolsおよびへの呼び出しによってログファイルにエントリが生成されます。CloudTrail

各イベントまたはログエントリには、リクエストの生成者に関する情報が含まれます。アイデンティティ情報は、以下を判別するのに役立ちます。

- リクエストが、ルート認証情報と AWS Identity and Access Management (IAM) ユーザー認証情報のどちらを使用して送信されたか。
- リクエストがロールまたはフェデレーティッドユーザーのテンポラリなセキュリティ認証情報を使用して行われたかどうか。
- リクエストが、別の AWS のサービスによって送信されたかどうか。

詳細については、「[CloudTrail userIdentity 要素](#)」を参照してください。

証跡を作成し、ログファイルを Amazon S3 バケットに必要な期間保存できます。また、Amazon S3 ライフサイクルのルールを定義して、自動的にログファイルをアーカイブまたは削除することもできます。デフォルトでは Amazon S3 のサーバー側の暗号化 (SSE) を使用して、ログファイルが暗号化されます。

CloudTrail ログファイルの配信を通知するには、新しいログファイルが配信されたときに Amazon SNS 通知を発行するように設定します。詳細については、「[Configuring Amazon SNS Notifications for CloudTrail](#)」を参照してください。

AWSAWS複数のリージョンと複数のアカウントからの Amazon Pinpoint SMS ログファイルを 1 つの Amazon S3 バケットに集約することもできます。詳細は、「[CloudTrail ログファイルを複数のリージョンから受け取る](#)」と「[複数のアカウントから CloudTrail ログファイルを受け取る](#)」を参照してください。

によってログに記録できる Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクション CloudTrail

Amazon Pinpoint SMS および Voice v2 API は、CloudTrail 以下のアクションをイベントとしてログファイルに記録することをサポートしています。

- [AssociateOriginationIdentity](#)
- [CreateConfigurationSet](#)
- [CreateEventDestination](#)
- [CreateOptOutList](#)
- [CreatePool](#)
- [CreateRegistration](#)
- [CreateRegistrationAssociation](#)
- [CreateRegistrationAttachment](#)
- [CreateRegistrationVersion](#)
- [CreateVerifiedDestinationNumber](#)
- [DeleteConfigurationSet](#)
- [DeleteDefaultMessageType](#)
- [DeleteDefaultSenderId](#)
- [DeleteEventDestination](#)
- [DeleteKeyword](#)
- [DeleteOptedOutNumber](#)
- [DeleteOptOutList](#)
- [DeletePool](#)
- [DeleteRegistration](#)

- [DeleteRegistrationAttachment](#)
- [DeleteRegistrationFieldValue](#)
- [DeleteTextMessageSpendLimitOverride](#)
- [DeleteVerifiedDestinationNumber](#)
- [DeleteVoiceMessageSpendLimitOverride](#)
- [DescribeAccountAttributes](#)
- [DescribeAccountLimits](#)
- [DescribeConfigurationSets](#)
- [DescribeKeywords](#)
- [DescribeOptedOutNumbers](#)
- [DescribeOptOutLists](#)
- [DescribePhoneNumbers](#)
- [DescribePools](#)
- [DescribeRegistrationAttachments](#)
- [DescribeRegistrationFieldDefinitions](#)
- [DescribeRegistrationFieldValues](#)
- [DescribeRegistrations](#)
- [DescribeRegistrationSectionDefinitions](#)
- [DescribeRegistrationTypeDefinitions](#)
- [DescribeRegistrationVersions](#)
- [DescribeSenderIds](#)
- [DescribeSpendLimits](#)
- [DisassociateOriginationIdentity](#)
- [DiscardRegistrationVersion](#)
- [ListPoolOriginationIdentities](#)
- [ListTagsForResource](#)
- [PutKeyword](#)
- [PutOptedOutNumber](#)
- [PutRegistrationFieldValue](#)
- [ReleasePhoneNumber](#)

- [ReleaseSenderId](#)
- [RequestPhoneNumber](#)
- [RequestSenderId](#)
- [SendDestinationNumberVerificationCode](#)
- [SetDefaultMessageType](#)
- [SetDefaultSenderId](#)
- [SetTextMessageSpendLimitOverride](#)
- [SetVoiceMessageSpendLimitOverride](#)
- [SubmitRegistrationVersion](#)
- [TagResource](#)
- [UntagResource](#)
- [UpdateEventDestination](#)
- [UpdatePhoneNumber](#)
- [UpdatePool](#)
- [UpdateSenderId](#)
- [VerifyDestinationNumber](#)

次の Amazon Pinpoint SMS および音声バージョン 2 API CloudTrailアクションはログインされていません。

- [SendTextMessage](#)
- [SendVoiceMessage](#)

Amazon Pinpoint SMS ログファイルエントリについて

トレイルは、指定した Amazon S3 バケットにイベントをログファイルとして配信できるようにする設定です。CloudTrail ログファイルには 1 つ以上のログエントリが含まれます。イベントはあらゆるソースからの単一のリクエストを表し、リクエストされたアクションに関する情報、アクションの日時、リクエストパラメータなどが含まれます。CloudTrail ログファイルはパブリック API 呼び出しの順序付けられたスタックトレースではないため、特定の順序で表示されることはありません。

次の例は、CloudTrail CreateConfigurationSetCreateEventDestinationとアクションを示すログエントリを示しています。

```
{
  "Records": [
    {
      "eventVersion": "1.05",
      "userIdentity": {
        "type": "IAMUser",
        "principalId": "AIDAIHTRCDA62EXAMPLE",
        "arn": "arn:aws:iam::111122223333:user/SampleUser",
        "accountId": "111122223333",
        "accessKeyId": "AKIAIOSFODNN7EXAMPLE",
        "userName": "SampleUser"
      },
      "eventTime": "2018-11-06T21:45:55Z",
      "eventSource": "sms-voice.amazonaws.com",
      "eventName": "CreateConfigurationSet",
      "awsRegion": "us-east-1",
      "sourceIPAddress": "192.0.0.1",
      "userAgent": "PostmanRuntime/7.3.0",
      "requestParameters": {
        "ConfigurationSetName": "MyConfigurationSet"
      },
      "responseElements": null,
      "requestID": "56dcc091-e20d-11e8-87d2-9994aexample",
      "eventID": "725843fc-8846-41f4-871a-7c52dexample",
      "readOnly": false,
      "eventType": "AwsApiCall",
      "recipientAccountId": "123456789012"
    },
    {
      "eventVersion": "1.05",
      "userIdentity": {
        "type": "IAMUser",
        "principalId": "AIDAIHTRCDA62EXAMPLE",
        "arn": "arn:aws:iam::111122223333:user/SampleUser",
        "accountId": "111122223333",
        "accessKeyId": "AKIAIOSFODNN7EXAMPLE",
        "userName": "SampleUser"
      },
      "eventTime": "2018-11-06T21:47:08Z",
      "eventSource": "sms-voice.amazonaws.com",
      "eventName": "CreateEventDestination",
      "awsRegion": "us-east-1",
```



```
"sourceIPAddress":"192.0.0.1",
"userAgent":"PostmanRuntime/7.3.0",
"requestParameters":{
  "EventDestinationName":"CloudWatchEventDestination",
  "ConfigurationSetName":"MyConfigurationSet",
  "EventDestination":{
    "Enabled":true,
    "MatchingEventTypes":[
      "INITIATED_CALL",
      "INITIATED_CALL"
    ],
    "CloudWatchLogsDestination":{
      "IamRoleArn":"arn:aws:iam::111122223333:role/iamrole-01",
      "LogGroupArn":"arn:aws:logs:us-east-1:111122223333:log-
group:clientloggroup-01"
    }
  }
},
"responseElements":null,
"requestID":"81de1e73-e20d-11e8-b158-d5536example",
"eventID":"fcafc21f-7c93-4a3f-9e72-fca2dexample",
"readOnly":false,
"eventType":"AwsApiCall",
"recipientAccountId":"111122223333"
}
]
```

インターフェイスエンドポイント () AWS PrivateLink を使用して Amazon Pinpoint SMS にアクセスする

AWS PrivateLinkを使用して、VPC と Amazon Pinpoint SMS の間にプライベート接続を作成できます。Amazon Pinpoint SMS には、インターネットゲートウェイ、NAT デバイス、VPN 接続、AWS Direct Connectまたは接続を使用せずに、VPC 内にあるかのようにアクセスできます。VPC 内のインスタンスは Amazon Pinpoint SMS にアクセスするためにパブリック IP アドレスを必要としません。

このプライベート接続を確立するには、AWS PrivateLink を利用したインターフェイスエンドポイントを作成します。インターフェイスエンドポイントに対して有効にする各サブネットにエンドポイントネットワークインターフェイスを作成します。これらはリクエストが管理するネットワークインターフェイスで、Amazon Pinpoint SMS 宛てのトラフィックのエントリポイントとして機能します。

詳細については、「AWS PrivateLink Guide (AWS PrivateLink ガイド)」の「[Access an AWS のサービス using an interface VPC endpoint](#) (インターフェイス VPC エンドポイントを使用してにアクセスする)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS に関する考慮事項

Amazon Pinpoint SMS のインターフェイスエンドポイントを設定する前に、[AWS PrivateLinkガイドの考慮事項を確認してください](#)。

Amazon Pinpoint SMS は、インターフェイスエンドポイントを介してすべての API アクションを呼び出すことをサポートしています。

VPC エンドポイントポリシーは Amazon Pinpoint SMS ではサポートされていません。デフォルトでは、Amazon Pinpoint SMS へのフルアクセスはインターフェイスエンドポイントを通じて許可されます。または、セキュリティグループをエンドポイントネットワークインターフェイスに関連付けて、インターフェイスエンドポイント経由の Amazon Pinpoint SMS へのトラフィックを制御することもできます。

Amazon Pinpoint SMS のインターフェイスエンドポイントを作成する

Amazon Pinpoint SMS のインターフェイスエンドポイントは、Amazon VPC コンソールまたは AWS Command Line Interface () AWS CLI のいずれかを使用して作成できます。詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[インターフェイスエンドポイントの作成](#)」を参照してください。

以下のサービス名を使用して Amazon Pinpoint SMS のインターフェイスエンドポイントを作成します。

```
com.amazonaws.region.pinpoint-sms-voice-v2
```

インターフェイスエンドポイントのプライベート DNS を有効にすると、デフォルトのリージョン DNS 名を使用して Amazon Pinpoint SMS に API リクエストを行うことができます。例えば、`sms-voice.us-east-1.amazonaws.com` などです。

インターフェイスエンドポイントのエンドポイントポリシーを作成する

エンドポイントポリシーは、インターフェイスエンドポイントにアタッチできる IAM リソースです。デフォルトのエンドポイントポリシーでは、インターフェイスエンドポイントを介して Amazon Pinpoint SMS へのフルアクセスが許可されます。VPC から Amazon Pinpoint SMS に許可されるアクセスを制御するには、カスタムエンドポイントポリシーをインターフェイスエンドポイントにアタッチします。

エンドポイントポリシーは、以下の情報を指定します。

- アクションを実行できるプリンシパル (AWS アカウント、IAM ユーザー、IAM ロール)。
- 実行可能なアクション。
- このアクションを実行できるリソース。

詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[Control access to services using endpoint policies \(エンドポイントポリシーを使用してサービスへのアクセスをコントロールする\)](#)」を参照してください。

例: Amazon Pinpoint SMS アクションの VPC エンドポイントポリシー

以下は、カスタムエンドポイントポリシーの例です。このポリシーをインターフェイスエンドポイントにアタッチすると、すべてのリソースのすべてのプリンシパルに対して、リストされている Amazon Pinpoint SMS アクションへのアクセスが許可されます。

```
{
  "Statement": [
    {
      "Principal": "*",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "sms-voice:SendTextMessage",
        "sms-voice:RequestPhoneNumber",
        "sms-voice>DeletePool"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

Amazon Pinpoint SMS のクォータ

AWS アカウント には、各 について、以前は制限と呼ばれていたデフォルトのクォータがあります AWS のサービス。特に明記されていない限り、クォータは地域固有です。一部のクォータについては引き上げをリクエストできますが、その他のクォータについては引き上げることはできません。

クォータの引き上げをリクエストするには、「[クォータ引き上げのリクエスト](#)」を参照してください。

には、Amazon Pinpoint SMS に関連する以下のクォータ AWS アカウント があります。

次の表に、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API の各リソースの 1 秒あたりのリクエスト数 (RPS) クォータを示します。「[クォータの増加をリクエスト](#)」の指示に従うことで、すべてのリソースはレート引き上げの対象となります。

リソース	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
DescribeAccountAttributes	1
DescribeAccountLimits	1
DescribeSpendLimits	1
SetTextMessageSpendLimitOverride	1
SetVoiceMessageSpendLimitOverride	1
DeleteTextMessageSpendLimitOverride	1
DeleteVoiceMessageSpendLimitOverride	1
DescribePhoneNumbers	1
DescribeSenderIds	1
RequestPhoneNumber	1
UpdatePhoneNumber	1

リソース	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
ReleasePhoneNumber	1
DescribePools	1
CreatePool	1
UpdatePool	1
DeletePool	1
ListPoolOriginationIdentities	1
AssociateOriginationIdentity	1
DisassociateOriginationIdentity	1
DescribeConfigurationSets	1
CreateConfigurationSet	1
DeleteConfigurationSet	1
CreateEventDestination	1
UpdateEventDestination	1
DeleteEventDestination	1
SetDefaultMessageType	1
SetDefaultSenderId	1
DeleteDefaultMessageType	1
DeleteDefaultSenderId	1
DescribeOptOutLists	1
CreateOptOutList	1

リソース	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
DeleteOptOutList	1
DescribeOptedOutNumbers	1
PutOptedOutNumber	10
DeleteOptedOutNumber	10
DescribeKeywords	1
PutKeyword	1
DeleteKeyword	1
ListTagsForResource	10
TagResource	1
UntagResource	1
CreateRegistration	1
CreateRegistrationAssociation	1
CreateRegistrationAttachment	1
CreateRegistrationVersion	1
CreateVerifiedDestinationNumber	1
DeleteRegistration	1
DeleteRegistrationAttachment	1
DeleteRegistrationFieldValue	1
DeleteVerifiedDestinationNumber	1
DescribeRegistrationAttachments	1

リソース	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
DescribeRegistrationFieldDefinitions	1
DescribeRegistrationFieldValues	1
DescribeRegistrations	1
DescribeRegistrationSectionDefinitions	1
DescribeRegistrationTypeDefinitions	1
DescribeRegistrationVersions	1
DescribeVerifiedDestinationNumbers	1
ListRegistrationAssociations	1
PutRegistrationFieldValue	1
ReleaseSenderId	1
RequestSenderId	1
SendDestinationNumberVerificationCode	1
SubmitRegistrationVersion	1
UpdateSenderId	1
VerifyDestinationNumber	1

ショートメッセージクォータ

SMS チャネルには、以下のクォータが適用されます。

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
使用量しきい値	アカウントごとに 1.00 米ドル (USD)。	はい 。ただし、リージョンによって上限が異なります。上限の引き上げが必要なリージョンを指定する必要があります。
1 秒ごとに送信できる SMS メッセージの数 (送信レート)	送信先の国および発信元の電話番号によって異なります。詳細については、『Amazon Pinpoint ユーザーガイド』の「 Message parts per second limits 」を参照してください。	<p>はい。ただし、より高いスループットに対応した電話番号の取得が必要な場合があります。使用する番号の種類が不明な場合は、AWS Support または AWS アカウントマネージャーにお問い合わせください。</p> <p>英数字の送信者 ID を使用してメッセージを送信すると、スループットレート向上する場合があります。送信者 ID のスループットの増加が可能かどうかを確認するには、サポートセンターコンソール Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストするで行います。リクエストには、既存の送信者 ID、その送信者 ID を使用している国、希望するスループットレートを含めてください。</p>
1 秒ごとに受信者に送信できる SMS メッセージの数	1 秒あたり 1 メッセージ	いいえ

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
双方向 SMS の Amazon SNS トピック数	アカウントあたり 100,000 個	はい
双方向 SMS のキーワードの数	番号あたり 30 個のキーワード	はい
SMS および音声番号の数	アカウントあたり 25	はい
専用電話番号の数	アカウントあたり 25	はい
オプトアウトリストの数 注: 必須のデフォルトオプトアウトリストは、このクォータにカウントされます。	アカウントあたり 25	はい
設定セットの数	アカウントあたり 25	はい
イベント送信先の数	設定セットあたり 5	いいえ
SMS サンドボックス内で検証済みの宛先電話番号の数	アカウントあたり 10 個	はい
電話番号プールの数	アカウントあたり 25	はい
電話番号プールに関連付けることができる発信元 ID の数	電話番号プールあたり 100	はい

10DLC クォータ

10DLC の電話番号を使用して送信される SMS メッセージには、以下のクォータが適用されます。10DLC 番号は、米国内の受信者へのメッセージ送信にのみ使用できます。

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
あたりの最大 10DLC 企業 AWS アカウント	25	はい
10DLC ブランドあたりの最大 10DLC キャンペーン	10	はい
10DLC キャンペーンあたりの 最大 10DLC 番号	49	いいえ

音声クォータ


音声チャンネルには、以下のクォータが適用されます。

Note

アカウントがサンドボックスから削除されると、以下の表に示す最大クォータが自動的に適用されます。

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
24 時間に送信できる音声メッセージの最大数。	アカウントがサンドボックスにある場合: 20 メッセージ。	いいえ
24 時間に 1 人の受信者に送信できる音声メッセージの数	5 メッセージ	いいえ
1 分あたりに送信できる音声メッセージの最大数。	アカウントがサンドボックスにある場合: 5 分あたり 5 個の呼び出し。	いいえ

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
	アカウントがサンドボックスの外にある場合: 1分あたり20個の呼び出し。	
1秒間に発信元の単一の電話番号から送信できる音声メッセージの数	1秒あたり1メッセージ	いいえ
音声メッセージの長さ。	アカウントがサンドボックスにある場合: 30秒。 アカウントがサンドボックスの外にある場合: 5分。	いいえ

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
国際電話番号に音声メッセージを送信する機能	<p>アカウントがサンドボックスにある場合は、次の国の受信者にのみメッセージを送信できます。</p> <ul style="list-style-type: none">オーストラリアカナダドイツ香港イスラエル日本メキシコシンガポールスウェーデンアメリカ英国 <p>アカウントがサンドボックスの外にある場合は、どの国の受信者にもメッセージを送信できます。</p> <div data-bbox="591 1402 1029 1766"><p> Note</p><p>国際電話には追加料金がかかりますが、これは送信先の国やリージョンによって異なります。</p></div>	いいえ

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
音声メッセージの文字数	3,000 の請求可能な文字 (話されている単語の中の文字) 合計 6,000 文字 (請求可能な文字と SSML タグを含む)	いいえ
設定セットの数	10,000 個の音声設定セット	いいえ

クォータ引き上げのリクエスト

上記のいずれかの表の [Eligible for Increase] 列の値が [Yes] の場合、そのクォータの引き上げをリクエストすることができます。

クォータの引き上げをリクエストするには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. [お客様のサポートケース] ペインで、[ケースを作成] を選択します。
3. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択します。
4. [サービスクォータの引き上げ] で、以下の操作を行います。
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) [What type of messages do you plan to send (送信するメッセージのタイプ)] で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。

- (オプション) からメッセージを送信する AWS リージョンで、メッセージを送信するリージョンを選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
5. [Requests (リクエスト)] で、次のいずれかを実行します。
- リージョン で、 を選択します AWS リージョン。
 - [リソースタイプ] で、 [一般的な制限] を選択します。
 - クォータで、 変更するクォータを選択します。
 - 新しいクォータ値には、クォータの新しい値を入力します。
 - 追加の で同じクォータの引き上げをリクエストするには AWS リージョン、別のリクエストを追加を選択し、追加の を選択して新しいリクエスト AWS リージョン を入力します。
6. [Case description] の [Use case description] で、クォータの引き上げをリクエストする理由を説明します。
7. 問い合わせオプション で、優先する問い合わせ言語 で、 AWS サポートチームと通信するときに使用する言語を選択します。
8. 連絡方法 で、 AWS サポートチームとの連絡方法を選択します。
9. [送信] を選択します。

AWS サポートチームは、お客様のリクエストに対して 24 時間以内に最初のレスポンスを提供します。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。可能であれば、24 時間以内にリクエストを承認します。ただし、お客様から追加情報を取得する必要がある場合は、お客様のリクエストの解決に時間がかかる場合があります。

お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

Amazon Pinpoint SMS ユーザーガイドのドキュメント履歴

次の表では、Amazon Pinpoint SMS のドキュメントリリースについて説明しています。

変更	説明	日付
SMS サンドボックス	SMS 確認メッセージの料金は、最初の確認メッセージが送信された後に請求されます。詳細については、「 SMS サンドボックス 」を参照してください。	2023 年 11 月 28 日
電話番号、双方向メッセージング	Amazon Pinpoint SMS は、Amazon Connect への双方向の SMS メッセージの送信をサポートするようになりました。詳細については、「 双方向 SMS メッセージング 」を参照してください。	2023 年 11 月 28 日
初回リリース	Amazon Pinpoint SMS ユーザーガイドの初回リリース	2023 年 11 月 16 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。